

第46回（令和5年度）

久留米市民意識調査 報告書

令和6年3月

久留米市

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果の表示方法.....	6
5. 標本誤差	7
6. 地域区分別・年齢別の回収状況.....	8
7. 標本の構成	9

II 調査結果の分析

1. 久留米市の住みやすさや愛着度について

(1) 久留米市の住みやすさ.....	13
(2) 久留米市の愛着度	15
(3) 久留米市の状況	17
(4) 久留米市への定住意向	31
(5) まちづくり政策の重要度と満足度.....	32
(6) まちづくり政策で特に力を入れて欲しいもの	44

2. ふだんの生活について

(1) 環境に配慮した取り組みの状況	47
(2) 自分自身の健康状況	49
(3) 運動・スポーツ活動の状況.....	51
(4) 自身や周囲の人のワークライフバランス	53
(5) 「安心安全のまちづくり」の協力体制	55
(6) 生涯学習活動の状況	57
(7) 市民活動の参加意向	59
(8) 市民活動の参加状況	61
(9) 人権に対する意識向上.....	65
(10) 家庭で使用する水の種類	69
(11) まちづくりに関する取り組みの満足度	70

3. 市の情報発信について

(1) 「広報久留米」の閲読状況.....	77
(2) 「広報久留米」の発行頻度.....	83
(3) 市の情報源.....	84

4. 在宅医療・介護に関する意識について	
(1) 療養生活と最期を迎えたい場所	86
(2) 安心して居宅で療養し、最期を迎えることができる	88
(3) 家族等の身近な人を居宅で看取った経験	93
(4) 人生会議（ACP）の認知度	97
5. こころの健康について	
(1) 不安や悩み、ストレスの状況	101
(2) 相談や助けを求めることのためらい	107
(3) 不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先	113
6. 障害者福祉について	
(1) 障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動	116
(2) 障害者差別解消法及び、障害者虐待防止法の認知度	123
(3) 障害者への差別や偏見	128
(4) 障害者支援活動の参加意向	130
Ⅲ 使用した調査票と全体結果	132

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、変化する市民意識の動向と現在の多様な市民ニーズを統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用することを目的とする。

2. 調査の方法

(1) 調査地域	久留米市全域
(2) 調査対象者	久留米市に在住する満 18 歳以上の人
(3) サンプル数	7,000 人
(4) 抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出法
(5) 調査方法	郵送調査または、インターネット回答
(6) 調査期間	令和 5 年 7 月 27 日～8 月 31 日
(7) 回収数 (%)	3,010 票 (43.0%) うちインターネット回答 992 票
(8) 調査の企画と実施	企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課 実施 エイジス九州株式会社 R C 事業部

3. 調査項目

今回の意識調査は、1. 久留米の住みやすさや愛着度について 2. ふだんの生活について 3. 市の情報発信について 4. 在宅医療・介護に関する意識について 5. こころの健康について 6. 障害者福祉についてという 5 つのテーマについて実施した。

1. 久留米市の住みやすさや愛着度について

久留米市の住みやすさや愛着度、市の状況をどう感じるか、定住意向のほか、令和 8 年度からはじまる次期総合計画策定に向け、行政施策 3 3 項目について、「重要度」、「満足度」等を調査し、市民の意識・意向を把握できるように努めた。

2. ふだんの生活について

環境に配慮した取り組み、自身の健康、運動・スポーツの習慣、ワークライフバランス、生涯学習、市民活動の参加状況、まちづくりに関する満足度などを把握する。

3. 市の情報発信について

「広報久留米」の閲読状況、見やすさ、読みやすいと感じる部分、必ず目を通す紙面と読まない理由、市の情報源の入手先などについて調査し、久留米市の効果的な情報発信方法を検討するための基礎資料として活用する。

4. 在宅医療・介護に関する意識について

人生の最終段階の希望、看取りの状況、人生会議（ACP）の認知度について把握し、在宅医療・介護の連携の為に施策策定の基礎資料とする。

5. こころの健康について

久留米市が取り組んでいるセーフコミュニティのうち、市民の不安や悩みの状況を把握し、安心安全に暮らしていけるまちづくりを実現するための基礎資料とする。

6. 障害者福祉について

障害者に関する認識、障害者差別解消法及び障害者虐待防止法の認知度、障害者支援活動の参加意向を把握し、障害者が安心して暮らせるまちづくりを実現するための基礎資料とする。

◆設問概要図

令和５年度久留米市民意識調査

久留米市の住みやすさや愛着度について

久留米市の住みやすさ	(問 1)
久留米市の愛着度	(問 2)
久留米市の状況	(問 3)
久留米市への定住意向	(問 4)
まちづくり政策の重要度と満足度	(問 5)
まちづくり政策で特に力を入れて欲しいもの	(問 6)
10 年後の久留米市に必要なと思う取り組み	(問 7)

ふだんの生活について

環境に配慮した取り組みの状況	(問 8)
自分自身の健康状況	(問 9)
運動・スポーツ活動の状況	(問 10)
自身や周囲の人のワークライフバランス	(問 11)
「安心安全のまちづくり」の協力体制	(問 12)
生涯学習活動の状況	(問 13)
市民活動の参加意向	(問 14)
市民活動の参加状況	(問 15)
オンライン開催による市民活動への参加状況	(問 15 付問 1)
人権に対する意識向上	(問 16)
人権に対する感覚を高めるためにしたいこと	(問 16 付問 1)
家庭で使用する水の種類	(問 17)
まちづくりに関する取り組みの満足度	(問 18)

市の情報発信について

「広報久留米」の閲読状況	(問 19)
「広報久留米」の見やすさ	(問 19 付問 1)
読みやすいと感じる部分	(問 19 付問 2)
必ず目を通す紙面	(問 19 付問 3)
読まない理由	(問 19 付問 4)
「広報久留米」の発行頻度	(問 20)
市の情報源	(問 21)

在宅医療・介護に関する意識について

療養生活と最期を迎えたい場所	(問 22)
安心して居宅で療養し、最期を迎えることができる	(問 23)
できないと思う・わからない理由	(問 23 付問 1)
家族等の身近な人を居宅で看取った経験	(問 24)
居宅で看取った際に大変だったこと	(問 24 付問 1)
人生会議（ACP）の認知度	(問 25)
人生会議について知ったきっかけ	(問 25 付問 1)

こころの健康について

不安や悩み、ストレスの状況	(問 26)
どのようなことが原因か	(問 26 付問 1)
相談や助けを求めることのためらい	(問 27)
ためらいを感じる原因	(問 27 付問 1)
不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先	(問 28)

障害者福祉について

障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動	(問 29)
障害者差別解消法及び、障害者虐待防止法の認知度	(問 30)
障害者への差別や偏見	(問 31)
障害者支援活動の参加意向	(問 32)

4. 調査結果の表示方法

- ◆ 回答は各質問の回答者（n）を基数とした百分率（％）で示している。また小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。
- ◆ 複数回答が可能な質問の場合、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の比率である。したがって、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ◆ クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計の事で、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。なお、クロス集計表では「18・19 歳」と「20 歳代」を合計し、『18～29 歳』として記載している場合がある。
- ◆ 文中の選択肢の表示は「 」で行い選択肢のうち二つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。その場合の数値については、選択肢の数値を合計したものである。
- ◆ 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を省略している場合があるので、巻末の調査票を参照のこと。
- ◆ 各属性別の集計結果の最高値には網掛けを行っている。
- ◆ 本調査における標本誤差は、回答数（n）と得られた結果の比率によって異なるが、単純無作為抽出法を仮定した場合の誤差（95%は信頼できる誤差の範囲）は、下表のとおりである。

各回答の比率 回答者数		10% (または90%)	20% (または80%)	30% (または70%)	40% (または60%)	50% (または50%)
	4,000	±0.9	±1.2	±1.4	±1.5	±1.5
	3,000	±1.1	±1.4	±1.6	±1.7	±1.8
	2,000	±1.3	±1.8	±2.0	±2.1	±2.2
	1,000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
	500	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4
	100	±5.9	±7.8	±9.0	±9.6	±9.8

- ◆ 過去の調査で今回の同様の質問を行っている場合、随時その結果を掲載している。
各テーマ別に比較した過去の調査は以下の通りである。
 - 久留米市の住みやすさや愛着度について
令和3年度・令和4年度 久留米市民意識調査
 - ふだんの生活について
令和3年度・令和4年度 久留米市民意識調査
 - 市の情報発信について
令和3年度 久留米市民意識調査
 - 在宅医療・介護に関する意識について
平成28年度・令和3年度 久留米市民意識調査
 - こころの健康について
平成29年度・令和3年度・令和4年度 久留米市民意識調査
 - 障害者福祉について
平成29年度 久留米市民意識調査

5. 標本誤差

本調査は全数調査（悉皆調査）ではなく、標本調査（サンプル調査）であり、ある集団の中から一部の対象だけを抽出して調査されており、調査対象となる調査対象集団（母集団）の中から抽出した標本を調査し、全体の数を推定するものであり、一定の範囲で誤差含まれる可能性がある。真の値（全数調査の値）と誤差が生じる可能性を考慮して、調査結果が調査対象集団の縮図とみなすことができるように、本調査の標本は無作為抽出法により抽出した。

標本調査で得られた回答結果の数値が、信頼性の高い数値（偶然の結果ではない）とみなすことができるかどうかの基準として世論調査で一般的に用いられるのが、「信頼度 95%の確率で標本誤差が±5%の範囲に収まる」という基準である。

標本誤差±5%とは、「ある質問の回答比率が 50%のとき、母集団の回答比は 45～55%と推定される」という意味であり、100 回標本調査を行って、95 回は標本誤差が±5%以内に収まると判断することができれば、本調査で得られた回答結果の数値は偶然の結果ではなく、信頼性の高いものと判断される。

母集団 251,787 [久留米市の 18 歳以上の人口（令和 5 年 3 月 1 日時点）]

信頼度 95%の信頼係数 1.96

回答比率 標本数	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
3,010	± 0.78	± 1.07	± 1.28	± 1.43	± 1.55	± 1.64	± 1.70	± 1.75	± 1.78	± 1.79

標本誤差は回答比率が 50%のとき最大になるため、本調査の標本誤差は最大±1.79%となる。したがって、本調査の標本誤差は基準である標本誤差±5%の範囲内に収まっており、本調査で得られた回答結果は偶然の結果ではなく、真の値に近い信頼性の高いものと判断される。

6. 地域区分別・年齢別の回収状況

地域別の特徴をみるために、市全体を合計 11 ブロックに区分し、分析を行っている。

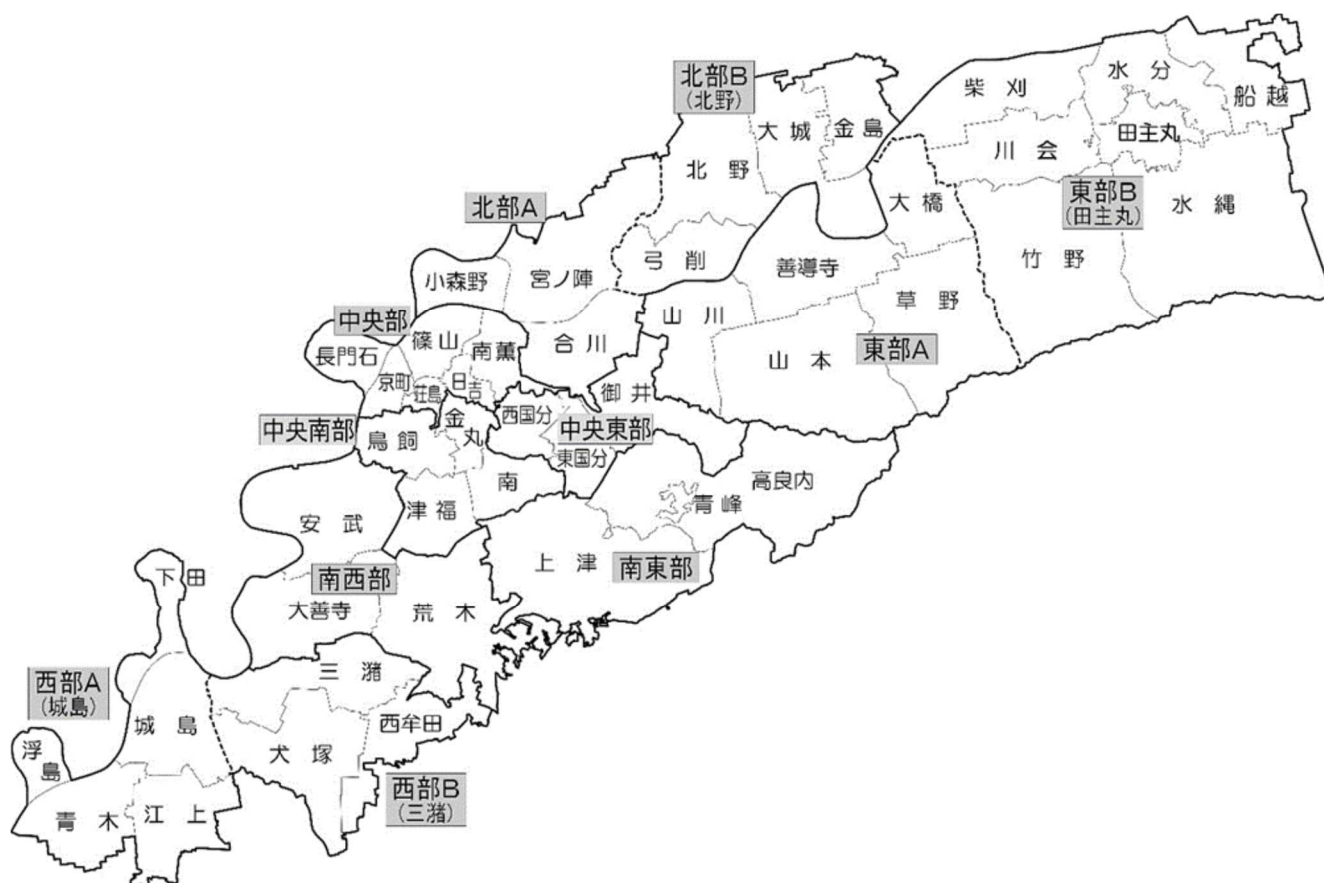
各ブロックに対応する小学校区および校区別の有効回収率は下記の通りである。

ブロック別	校区別	配布数	有効 回答数	有効 回収率(%)
東部A	山川	153	53	34.6
	山本	61	30	49.2
	草野	30	17	56.7
	善導寺	173	75	43.4
	大橋	26	17	65.4
東部B (田主丸)	船越	37	13	35.1
	水縄	52	13	25.0
	田主丸	153	100	65.4
	水分	39	12	30.8
	竹野	47	15	31.9
	川会	41	19	46.3
	柴刈	34	13	38.2
北部A	小森野	104	46	44.2
	合川	381	147	38.6
	宮ノ陣	209	88	42.1
北部B (北野)	弓削	61	18	29.5
	北野	167	106	63.5
	大城	87	32	36.8
	金島	42	19	45.2
中央東部	西国分	419	212	50.6
	東国分	258	100	38.8
	御井	232	87	37.5
南東部	上津	404	156	38.6
	高良内	249	102	41.0
	青峰	66	27	40.9
中央部	荘島	117	52	44.4
	日吉	167	68	40.7
	篠山	179	70	39.1
	京町	128	44	34.4
	南薫	236	112	47.5
	長門石	128	38	29.7
中央南部	鳥飼	255	62	24.3
	金丸	313	139	44.4
	南	390	147	37.7
	津福	305	159	52.1
南西部	安武	128	61	47.7
	荒木	280	134	47.9
	大善寺	185	87	47.0
西部A (城島)	城島	106	62	58.5
	下田	23	9	39.1
	江上	62	20	32.3
	青木	53	12	22.6
西部B (三瀬)	浮島	6	0	0.0
	西牟田	112	37	33.0
	犬塚	146	35	24.0
	三瀬	156	99	63.5
わからない・無回答		-	46	-
全市		7,000	3,010	43.0

ブロック別	配布数	有効 回答数	有効 回収率(%)
東部A	443	192	43.3
東部B (田主丸)	403	185	45.9
北部A	694	281	40.5
北部B (北野)	357	175	49.0
中央東部	909	399	43.9
南東部	719	285	39.6
中央部	955	384	40.2
中央南部	1,263	507	40.1
南西部	593	282	47.6
西部A (城島)	250	103	41.2
西部B (三瀬)	414	171	41.3
わからない・無回答	-	46	-
全市	7,000	3,010	43.0

年齢別	配布数	有効 回答数	有効 回収率(%)
18・19歳	337	88	26.1
20歳代	1,526	390	25.6
30歳代	1,107	397	35.9
40歳代	1,306	576	44.1
50歳代	1,064	507	47.7
60～64歳	435	252	57.9
65～69歳	409	268	65.5
70～74歳	488	329	67.4
75歳以上	328	198	60.4
無回答	-	5	-
合計	7,000	3,010	43.0

◆ブロック地図



7. 標本の構成

(%)

		回答者数	性別				年齢別										住まいの形態別							
			男性	女性	() ()	無回答	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答	持ち家（一戸建て）	分譲マンション（集合住宅・シヨン）	（一戸建て）賃貸住宅	賃貸住宅（アパート・マンション）	勤務先給与住宅（公務員住宅・社宅・寮など）	間借り、その他	無回答	
全体		3,010 100.0	1,330 44.2	1,668 55.4	6 0.2	6 0.2	88 2.9	390 13.0	397 13.2	576 19.1	507 16.8	252 8.4	268 8.9	329 10.9	198 6.6	5 0.2	1,793 59.6	338 11.2	109 3.6	657 21.8	68 2.3	30 1.0	15 0.5	
ブロック別	東部A	192	45.8	53.6	-	0.5	5.2	7.8	11.5	15.6	14.1	7.8	12.5	15.1	10.4	-	78.6	2.1	2.1	14.1	1.6	1.0	0.5	
	東部B（田主丸）	185	43.8	55.7	-	0.5	2.2	15.7	10.3	15.1	15.1	8.1	14.1	11.9	7.6	-	82.7	0.5	4.3	7.0	1.1	3.2	1.1	
	北部A	281	41.3	58.7	-	-	2.8	18.1	13.2	18.9	17.1	6.4	10.0	9.3	4.3	-	56.6	4.6	6.4	29.9	2.1	-	0.4	
	北部B（北野）	175	47.4	52.0	0.6	-	4.6	8.0	18.3	19.4	16.6	6.3	7.4	14.3	4.6	0.6	85.7	-	1.7	9.7	1.1	1.7	-	
	中央東部	399	43.6	56.1	-	0.3	2.0	14.0	14.3	18.3	19.0	10.8	7.5	9.8	4.3	-	44.4	21.3	6.0	25.3	2.0	0.5	0.5	
	南東部	285	46.0	53.3	0.7	-	3.2	13.0	10.9	18.9	15.8	9.8	8.8	13.0	6.7	-	65.6	0.7	3.9	21.8	6.3	1.8	-	
	中央部	384	44.5	55.5	-	-	3.1	12.8	12.8	25.8	15.1	8.3	7.8	7.8	6.5	-	30.7	36.7	1.6	27.1	2.9	0.3	0.8	
	中央南部	507	42.8	56.6	0.4	0.2	2.6	12.6	15.2	19.3	19.3	8.5	8.5	9.7	4.1	0.2	47.1	15.0	3.0	31.0	2.6	1.0	0.4	
	南西部	282	43.6	56.4	-	-	2.5	13.5	12.1	14.5	16.3	8.5	9.6	14.5	8.2	0.4	72.7	2.5	5.0	16.7	1.8	1.1	0.4	
	西部A（城島）	103	49.5	50.5	-	-	1.0	11.7	12.6	17.5	19.4	4.9	7.8	14.6	10.7	-	90.3	-	1.9	7.8	-	-	-	
	西部B（三瀬）	171	45.6	54.4	-	-	4.7	10.5	14.0	25.1	13.5	7.0	6.4	7.0	11.7	-	87.1	0.6	1.8	8.2	-	1.2	1.2	
	わからない・無回答	46	37.0	56.5	2.2	4.3	-	15.2	4.3	10.9	19.6	13.0	6.5	8.7	17.4	4.3	26.1	17.4	2.2	50.0	-	2.2	2.2	

I 調査の概要

n=3,010		回収数 (票)	比率 (%)
性別	男性	1,330	44.2
	女性	1,668	55.4
	()	6	0.2
	無回答	6	0.2
年齢別	18・19歳	88	2.9
	20歳代	390	13.0
	30歳代	397	13.2
	40歳代	576	19.1
	50歳代	507	16.8
	60～64歳	252	8.4
	65～69歳	268	8.9
	70～74歳	329	10.9
	75歳以上	198	6.6
	無回答	5	0.2
家族構成別	単身	407	13.5
	夫婦のみ	618	20.5
	親・子（2世代）	1,616	53.7
	親・子・孫（3世代）	269	8.9
	その他	89	3.0
同居家族別	無回答	11	0.4
	世帯の中に就学前の子どもがいる	394	13.1
	世帯の中に小学生がいる	422	14.0
	世帯の中に中学生がいる	260	8.6
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	8.7
	世帯の中に65歳以上の人がいる	991	32.9
	世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	335	11.1
	世帯に上記にあてはまる人はいない	1,060	35.2
	無回答	38	1.3

n=3,010		回収数 (票)	比率 (%)
職業別	農林漁業	68	2.3
	自営業	209	6.9
	給与所得者（常勤）	1,256	41.7
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	16.1
	学生	170	5.6
	家事に専念	309	10.3
	無職	483	16.0
	その他	20	0.7
住まいの形態別	無回答	10	0.3
	持ち家（一戸建て）	1,793	59.6
	持ち家（集合住宅・分譲マンション）	338	11.2
	賃貸住宅（一戸建て）	109	3.6
	賃貸住宅（アパート・マンション）	657	21.8
	勤務先給与住宅（公務員住宅・社宅・寮など）	68	2.3
	間借り、その他	30	1.0
	無回答	15	0.5
居住年数	5年未満	294	9.8
	5～10年未満	208	6.9
	10～20年未満	480	15.9
	20～30年未満	544	18.1
	30～40年未満	436	14.5
	40年以上	1,040	34.6
	無回答	8	0.3
久留米市以前の居住地	ずっと久留米市在住	1,164	38.7
	東京圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）	154	5.1
	名古屋圏（岐阜県・愛知県・三重県）	35	1.2
	大阪圏（京都府・大阪府・兵庫県・奈良県）	107	3.6
	福岡市及び近隣市町	761	25.3
	佐賀県内	160	5.3
	その他	602	20.0
	無回答	27	0.9

(内 WEB 回答分)

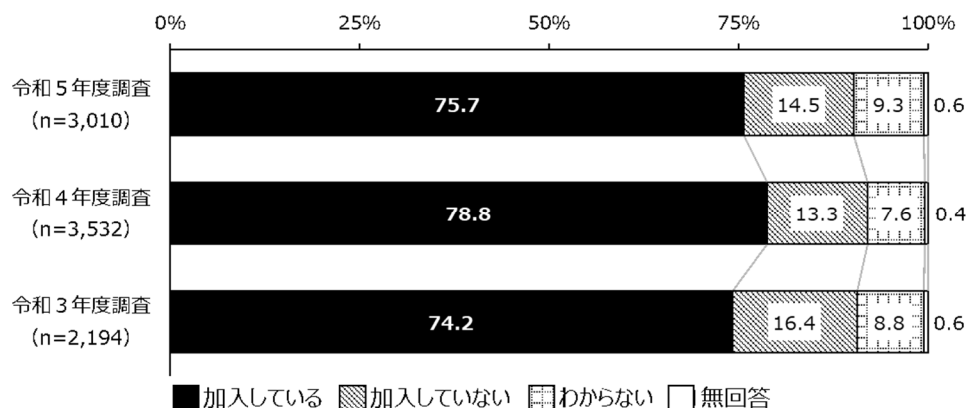
n=992		回収数 (票)	比率 (%)
性別	男性	490	49.4
	女性	500	50.4
	()	2	0.2
	無回答	-	-

n=992		回収数 (票)	比率 (%)
年齢	18・19歳	49	4.9
	20歳代	220	22.2
	30歳代	205	20.7
	40歳代	245	24.7
	50歳代	169	17.0
	60～64歳	53	5.3
	65～69歳	28	2.8
	70～74歳	17	1.7
	75歳以上	6	0.6
	無回答	-	-

◇自治会（町内会）加入状況

【経年比較】

自治会（町内会）に「加入している」は 75.7%、「加入していない」は 14.5%である。「加入している」割合を令和 4 年度調査と比較すると 3.1 ポイント減少したが、令和 3 年度調査と比較すると 1.5 ポイント増加している。



【性別】「加入している」割合には「男性」が 76.1%、「女性」が 75.5%と、共に 7 割半ばとなっている。

【年齢別】年齢層が高くなるにつれて「加入している」割合が高くなり、「70 歳～74 歳」が 90.9%で最も高い割合となっている。

【ブロック別】「加入している」割合は、「西部 B（三潁）」が 86.5%と最も高く、その他 6 つのブロックで 8 割を超える結果となっている。

		回答者数	自治会（町内会）加入状況			
			加入している	加入していない	わからない	無回答
全体		3,010 100.0	2,279 75.7	435 14.5	279 9.3	17 0.6
性別	男性	1,330	76.1	15.0	8.3	0.6
	女性	1,668	75.5	14.0	10.0	0.5
	（ ）	6	33.3	33.3	33.3	-
	無回答	6	83.3	-	-	16.7
年齢別	18～29歳	478	55.6	18.8	25.1	0.4
	30歳代	397	61.5	23.4	14.6	0.5
	40歳代	576	77.8	14.4	7.6	0.2
	50歳代	507	78.5	14.6	6.5	0.4
	60～64歳	252	85.3	11.1	3.2	0.4
	65～69歳	268	87.7	9.3	1.9	1.1
	70～74歳	329	90.9	7.0	1.5	0.6
	75歳以上	198	86.9	9.6	2.0	1.5
	無回答	5	40.0	-	40.0	20.0

(%)

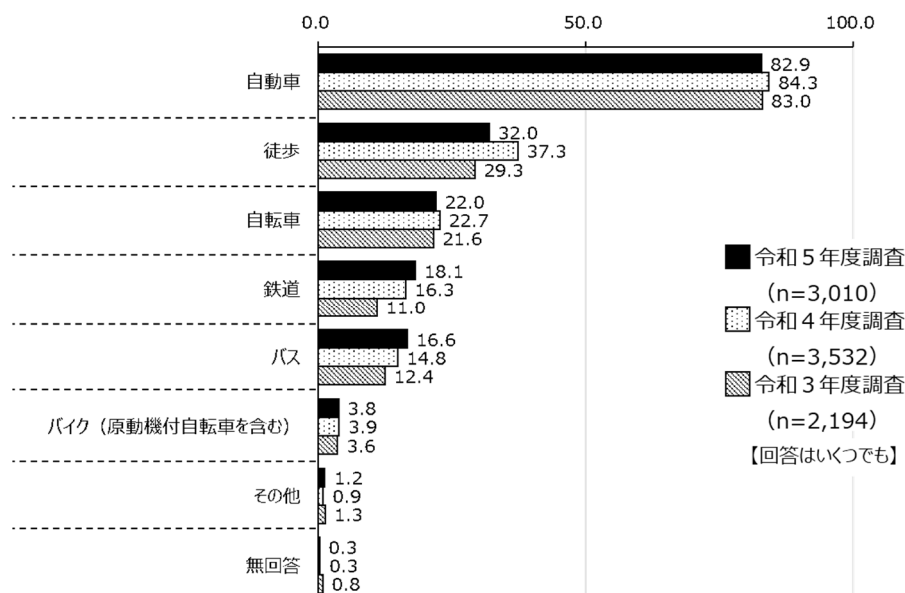
		回答者数	自治会（町内会）加入状況			
			加入している	加入していない	わからない	無回答
全体		3,010 100.0	2,279 75.7	435 14.5	279 9.3	17 0.6
ブロック別	東部A	192	81.3	12.5	5.7	0.5
	東部B （田主丸）	185	83.8	9.2	5.9	1.1
	北部A	281	71.5	15.7	11.7	1.1
	北部B （北野）	175	82.3	12.0	5.1	0.6
	中央東部	399	72.2	19.0	8.5	0.3
	南東部	285	80.0	11.6	8.1	0.4
	中央部	384	64.3	20.8	14.3	0.5
	中央南部	507	72.4	17.8	9.7	0.2
	南西部	282	84.4	8.2	7.1	0.4
	西部A （城島）	103	82.5	5.8	9.7	1.9
	西部B （三潁）	171	86.5	4.7	8.2	0.6
	わからない・無回答	46	47.8	28.3	21.7	2.2

(%)

◇ 日常よく利用する移動手段

【経年比較】

「自動車」を利用する人の割合は令和3年度調査と大差なく、令和4年度調査と比較すると1.4ポイント減少している。一方で、「鉄道」、「バス」を利用する人は、令和3年度調査、令和4年度調査と比較して増加傾向にある。



【性別】「自動車」の割合は「男性」が85.5%、「女性」が81.1%と男性が4.4ポイント高い。一方で、「徒歩」の割合は「女性」が33.8%、「男性」が29.8%と女性が4.0ポイント高い結果となっている。

【年齢別】「徒歩」、「自転車」、「バイク（原動機付自転車を含む）」、「鉄道」の割合は『18～29歳』が最も高い。一方で、「自動車」の割合は「40歳代」が89.6%で最も高く、『18～29歳』が69.7%と最も低い結果となっている。

【ブロック別】「鉄道」の割合は「中央南部」が25.4%と最も高く、次いで「中央部」が24.0%となっている。一方で「西部A（城島）」の「鉄道」の割合は7.8%と最も低い結果となっている。

		回答者数	日常よく利用する移動手段								(%)
			徒歩	自転車	バイク（含む） （原動機付自転車）	自動車	バス	鉄道	その他	無回答	
全体		3,010 100.0	964 32.0	661 22.0	114 3.8	2,496 82.9	500 16.6	544 18.1	36 1.2	8 0.3	
性別	男性	1,330	29.8	22.6	6.5	85.5	12.9	17.5	0.6	0.2	
	女性	1,668	33.8	21.5	1.6	81.1	19.7	18.5	1.7	0.3	
	（ ）	6	50.0	16.7	-	83.3	-	33.3	-	-	
	無回答	6	16.7	33.3	16.7	33.3	-	16.7	-	16.7	
年齢別	18～29歳	478	40.2	31.6	5.0	69.7	22.4	37.4	0.4	0.6	
	30歳代	397	27.7	17.1	3.5	86.4	13.4	15.9	-	0.3	
	40歳代	576	26.6	21.4	4.2	89.6	11.1	15.1	0.3	-	
	50歳代	507	27.6	19.1	4.9	87.4	15.8	16.0	1.0	-	
	60～64歳	252	30.6	17.1	3.6	84.1	15.1	15.1	2.4	-	
	65～69歳	268	36.2	17.5	2.2	85.1	19.4	13.8	1.1	0.4	
	70～74歳	329	35.0	23.1	2.4	82.4	17.6	8.8	2.1	0.6	
	75歳以上	198	39.4	27.8	2.0	73.7	24.2	14.1	5.6	-	
無回答		5	40.0	20.0	-	80.0	-	40.0	-	20.0	

		回答者数	日常よく利用する移動手段								(%)
			徒歩	自転車	バイク（原動機付自転車を含む）	自動車	バス	鉄道	その他	無回答	
全体		3,010 100.0	964 32.0	661 22.0	114 3.8	2,496 82.9	500 16.6	544 18.1	36 1.2	8 0.3	
ブロック別	東部A	192	25.5	19.3	5.7	84.9	24.5	10.9	1.0	-	
	東部B（田主丸）	185	16.8	13.0	2.7	92.4	10.8	10.3	1.6	1.1	
	北部A	281	29.9	17.8	1.8	81.9	15.3	16.4	0.4	0.4	
	北部B（北野）	175	22.3	17.1	2.9	92.0	4.0	13.7	-	-	
	中央東部	399	40.4	26.1	4.5	83.0	21.8	18.8	1.5	0.5	
	南東部	285	24.9	17.5	4.2	83.9	21.4	10.2	1.1	0.4	
	中央部	384	47.1	31.5	2.6	72.9	26.0	24.0	1.6	-	
	中央南部	507	39.6	29.8	4.5	80.1	16.8	25.4	1.6	-	
	南西部	282	27.3	14.9	5.7	86.5	10.3	20.9	0.7	-	
	西部A（城島）	103	15.5	19.4	1.0	93.2	5.8	7.8	-	-	
	西部B（三瀬）	171	22.2	15.2	4.7	85.4	4.7	21.1	0.6	0.6	
	わからない・無回答	46	34.8	13.0	-	63.0	15.2	13.0	8.7	2.2	

Ⅱ 調査結果の分析

１．久留米市の住みやすさや愛着度について

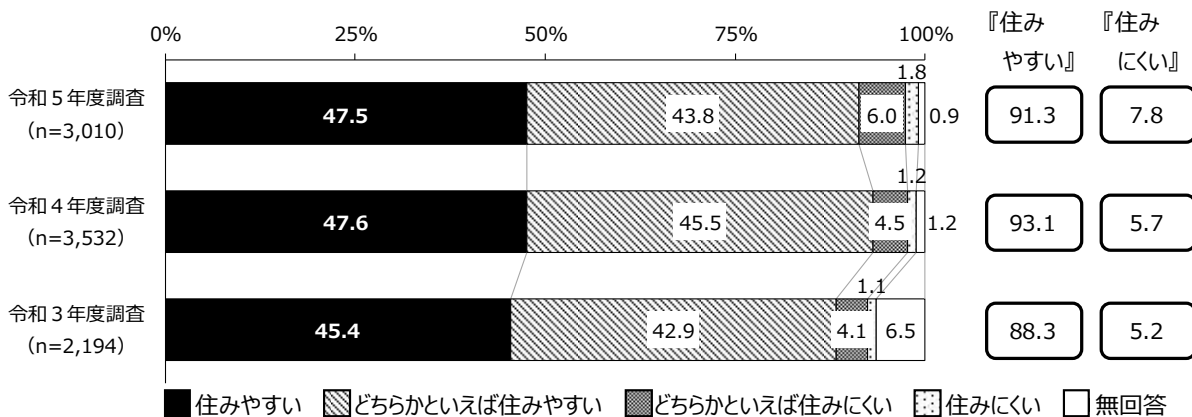
（１）久留米市の住みやすさ

問１ あなたは、久留米市は住みやすいと思いますか。（あてはまる番号１つだけ）

「住みやすい」の 47.5%と「どちらかといえば住みやすい」の 43.8%をあわせた『住みやすい』は 91.3%となっている。一方で、「住みにくい」の 1.8%と「どちらかといえば住みにくい」の 6.0%をあわせた『住みにくい』は、7.8%となっている。

【経年比較】

過去最高となった令和４年度調査と比較して、「住みやすい」の割合は、ほぼ変わらず 0.1 ポイント低下している。また、「どちらかといえば住みやすい」の割合は、令和４年度からは 1.7 ポイント低下している。



【性別】『住みやすい』に関して、「男性」が 90.1%、「女性」が 92.2%となり、女性が 2.1 ポイント高い。

【年齢別】『住みやすい』の割合は、「65 歳～69 歳」が 95.9%と最も高く、「40 歳代」が 89.6%と最も低い。また、『18～29 歳』と「75 歳以上」は、「住みやすい」が「どちらかといえば住みやすい」を 8.6 ポイント以上上回っている。

【ブロック別】『住みやすい』は、「北部 A」94.6%で最も高く、次いで「中央東部」が 93.7%である。一方、「西部 A（城島）」や「北部 B（北野）」、「東部 A」では、『住みにくい』で 1 割を超えており、特に「西部 A（城島）」では『住みやすい』が 85.5%と最も低く、「住みやすい」が「どちらかといえば住みやすい」を 31.1 ポイント下回っている。

Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（１）久留米市の住みやすさ

(%)

		回答者数	久留米市の住みやすさ						
			住みやすい	どちらやすいといえ	どちらにくいといえ	住みにくい	無回答	『住みやすい』	『住みにくい』
全体		3,010 100.0	1,430 47.5	1,318 43.8	181 6.0	54 1.8	27 0.9	2,748 91.3	235 7.8
性別	男性	1,330	48.0	42.1	6.8	2.2	0.9	90.1	9.0
	女性	1,668	47.1	45.1	5.5	1.5	0.8	92.2	7.0
	()	6	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
	無回答	6	50.0	33.3	-	-	16.7	83.3	-
年齢別	18～29歳	478	50.8	40.6	4.6	1.9	2.1	91.4	6.5
	30歳代	397	41.8	48.6	5.8	2.0	1.8	90.4	7.8
	40歳代	576	46.7	42.9	7.1	3.1	0.2	89.6	10.2
	50歳代	507	46.4	45.0	7.1	1.0	0.6	91.4	8.1
	60～64歳	252	48.4	41.7	8.3	1.2	0.4	90.1	9.5
	65～69歳	268	48.9	47.0	3.4	0.4	0.4	95.9	3.8
	70～74歳	329	49.5	43.5	5.5	1.5	-	93.0	7.0
	75歳以上	198	49.5	40.9	5.1	2.5	2.0	90.4	7.6
	無回答	5	60.0	20.0	20.0	-	-	80.0	20.0
ブロック別	東部A	192	44.8	44.3	8.9	1.6	0.5	89.1	10.5
	東部B（田主丸）	185	36.2	55.7	5.4	2.2	0.5	91.9	7.6
	北部A	281	52.3	42.3	4.3	0.7	0.4	94.6	5.0
	北部B（北野）	175	38.9	46.9	9.7	2.9	1.7	85.8	12.6
	中央東部	399	54.6	39.1	4.5	1.0	0.8	93.7	5.5
	南東部	285	43.9	44.9	8.1	1.4	1.8	88.8	9.5
	中央部	384	51.6	41.4	5.2	1.3	0.5	93.0	6.5
	中央南部	507	50.7	42.4	4.9	1.4	0.6	93.1	6.3
	南西部	282	51.1	40.1	5.7	1.8	1.4	91.2	7.5
	西部A（城島）	103	27.2	58.3	7.8	4.9	1.9	85.5	12.7
	西部B（三瀬）	171	42.1	46.8	5.8	4.1	1.2	88.9	9.9
	わからない・無回答	46	43.5	39.1	10.9	6.5	-	82.6	17.4

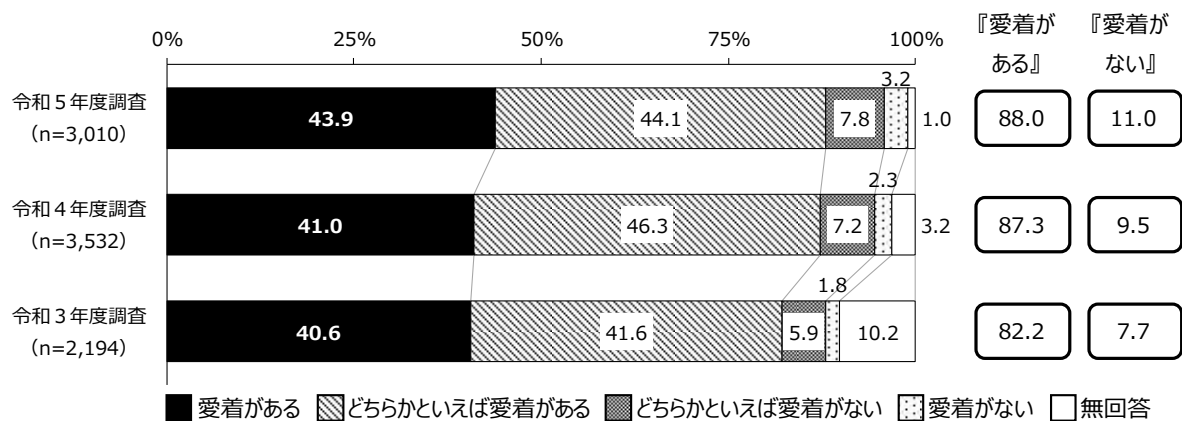
（２）久留米市の愛着度

問２ あなたは、久留米市に愛着がありますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

「愛着がある」の 43.9%と「どちらかといえば愛着がある」の 44.1%をあわせた『愛着がある』は 88.0%となっている。一方で、「愛着がない」の 3.2%と「どちらかといえば愛着がない」の 7.8%をあわせた『愛着がない』は 11.0%である。

【経年比較】

『愛着がある』『愛着がない』の両方が増加しており、「愛着がある」の割合は令和 3 年度調査から増加傾向にあり、『愛着がある』の割合は令和 5 年度調査が最も高い。



【性別】男女とも『愛着がある』の割合は 8 割後半となっているが、積極的な「愛着がある」の割合は、「男性」が 46.8%、「女性」が 41.6%と男性の方が 5.2 ポイント高い。

【年齢別】全ての年齢層において『愛着がある』の割合が 8 割を超えており、高い年齢層ほど割合が高くなる傾向にある。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を比較すると、60 歳代からは「愛着がある」が高くなっている。

【ブロック別】『愛着がある』で最も高い割合となっているのは、「中央東部」で 90.7%である。最も低いのは「西部 A（城島）」の 84.5%である。『愛着がない』の割合が最も高いのは、「西部 B（三潁）」で 13.5%となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（２）久留米市の愛着度

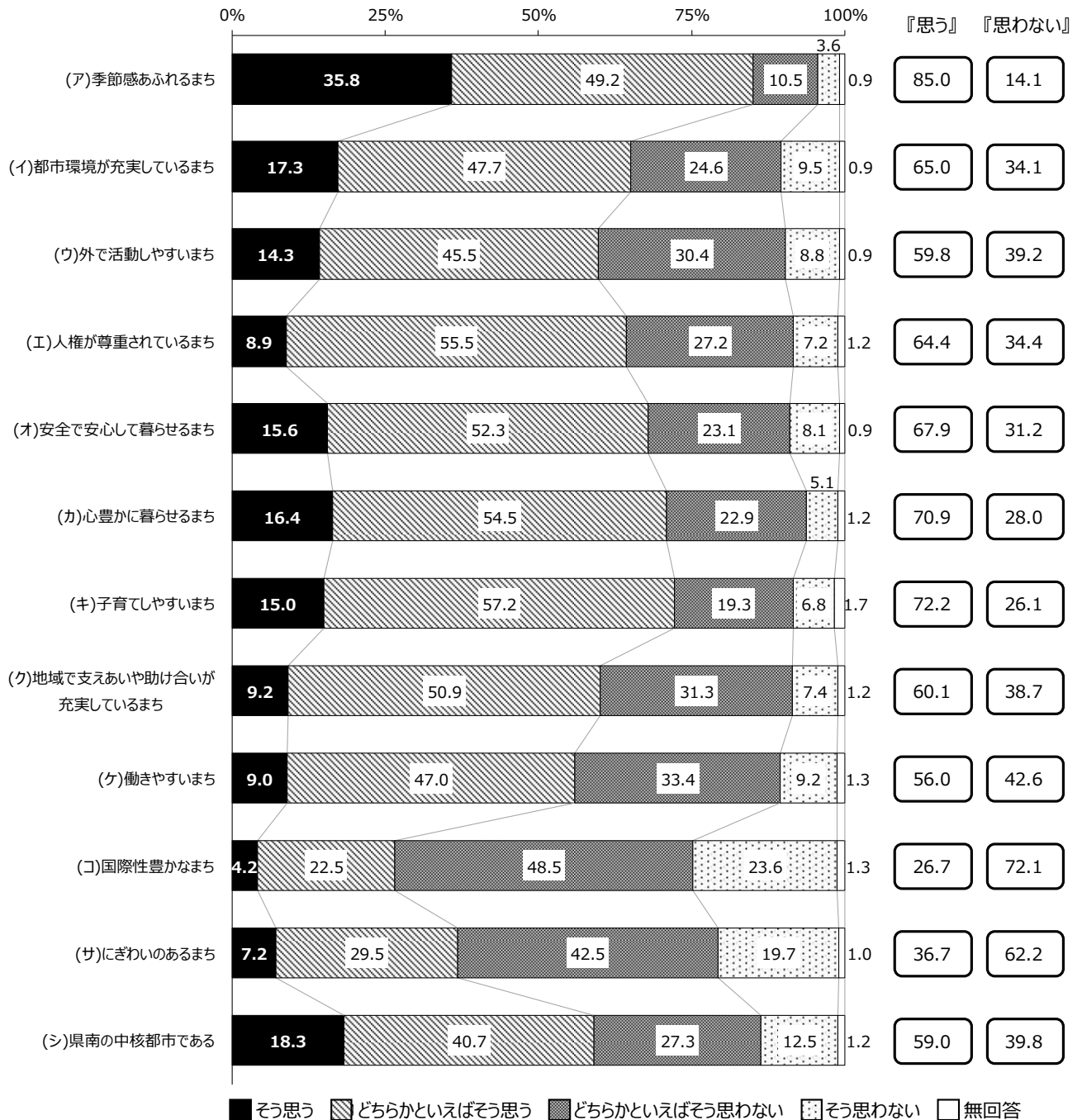
(%)

		回答者数	久留米市の愛着度						
			愛着がある	愛着どちらかといえ ば	愛着どちらかといえ ば	愛着がない	無回答	『愛着がある』	『愛着がない』
全体		3,010 100.0	1,322 43.9	1,327 44.1	234 7.8	96 3.2	31 1.0	2,649 88.0	330 11.0
性別	男性	1,330	46.8	41.5	7.0	3.5	1.1	88.3	10.5
	女性	1,668	41.6	46.2	8.3	2.9	0.9	87.8	11.2
	()	6	33.3	50.0	16.7	-	-	83.3	16.7
	無回答	6	50.0	16.7	16.7	-	16.7	66.7	16.7
年齢別	18～29歳	478	39.5	42.7	10.0	5.6	2.1	82.2	15.6
	30歳代	397	36.0	45.1	12.8	4.0	2.0	81.1	16.8
	40歳代	576	42.4	44.1	8.3	5.0	0.2	86.5	13.3
	50歳代	507	44.6	46.4	6.5	1.8	0.8	91.0	8.3
	60～64歳	252	47.2	44.0	7.5	0.8	0.4	91.2	8.3
	65～69歳	268	47.4	46.6	5.6	-	0.4	94.0	5.6
	70～74歳	329	51.4	42.2	4.6	1.2	0.6	93.6	5.8
	75歳以上	198	51.5	39.4	2.5	4.5	2.0	90.9	7.0
	無回答	5	60.0	40.0	-	-	-	100.0	-
ブロック別	東部A	192	49.0	38.5	9.9	2.1	0.5	87.5	12.0
	東部B（田主丸）	185	42.7	46.5	8.6	1.6	0.5	89.2	10.2
	北部A	281	47.7	40.9	8.2	2.8	0.4	88.6	11.0
	北部B（北野）	175	33.7	52.0	8.0	4.6	1.7	85.7	12.6
	中央東部	399	45.1	45.6	5.3	3.0	1.0	90.7	8.3
	南東部	285	44.9	41.8	8.8	2.5	2.1	86.7	11.3
	中央部	384	43.8	43.8	8.1	3.9	0.5	87.6	12.0
	中央南部	507	45.6	43.2	7.5	3.0	0.8	88.8	10.5
	南西部	282	47.5	42.2	6.7	2.1	1.4	89.7	8.8
	西部A（城島）	103	31.1	53.4	8.7	3.9	2.9	84.5	12.6
	西部B（三潴）	171	40.4	45.0	8.2	5.3	1.2	85.4	13.5
	わからない・無回答	46	30.4	47.8	10.9	10.9	-	78.2	21.8

（３）久留米市の状況

問３ 久留米市の状況として、次の（ア）～（シ）の事柄について、あなたはどのように思いますか。
（あてはまる番号それぞれ１つずつ）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が「（ア）季節感あふれるまち」が 85.0%と最も高く、次いで「（キ）子育てしやすいまち」が 72.2%、「（カ）心豊かに暮らせるまち」70.9%となっている。一方で、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた『思わない』の割合が最も高いのは、「（コ）国際性豊かなまち」で 72.1%、次いで「（サ）にぎわいのあるまち」が 62.2%となっている。



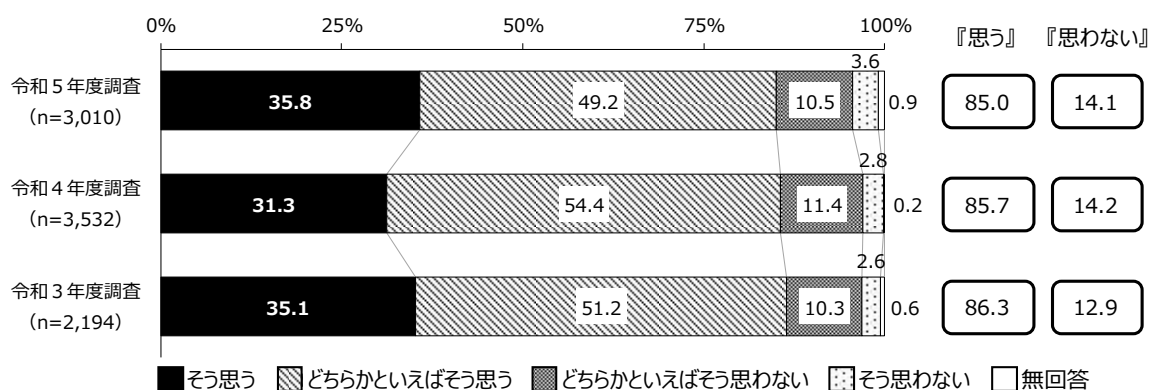
Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（ア）季節感あふれるまち

『思う』は 85.0%、『思わない』14.1%である。

【経年比較】

『思う』の割合は年々減少傾向にあるが、「そう思う」は令和 4 年度調査から 4.5 ポイント増加し、令和 3 年度調査以降、最も高い割合となっている。一方で、『思わない』の割合は令和 4 年度調査とほぼ同じ水準だが、「そう思わない」は増加し、「どちらかといえばそう思わない」は減少している。



【性別】『思う』の割合は「女性」が 86.9%、「男性」が 82.8%と、女性が 4.1 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】すべての年齢層において『思う』は 8 割を超えており、「65 歳～69 歳」で『思う』の割合が 91.1%と最も高い。一方で、『思わない』はすべての年齢層において 2 割未満となり、『思わない』は「30 歳代」の 17.9%が最も高い。

【ブロック別】「東部 B（田主丸）」と「東部 A」で『思う』が 9 割を超えている。一方で、「西部 B（三潞）」は 76.0%で『思う』の割合が最も低い。

(%)

		回 答 者 数	(ア) 季節感あふれるまち						
			そう 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か わ か な い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	そう 思 う そう	思 わ な い ない
全体		3,010 100.0	1,078 35.8	1,481 49.2	316 10.5	108 3.6	27 0.9	2,559 85.0	424 14.1
性別	男性	1,330	34.2	48.6	11.7	4.5	1.0	82.8	16.2
	女性	1,668	37.2	49.7	9.4	2.9	0.8	86.9	12.3
	()	6	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7
	無回答	6	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
年 齢 別	18～29歳	478	36.8	45.6	11.1	4.4	2.1	82.4	15.5
	30歳代	397	25.7	54.7	13.1	4.8	1.8	80.4	17.9
	40歳代	576	33.3	50.7	10.6	5.2	0.2	84.0	15.8
	50歳代	507	35.5	48.9	11.6	3.2	0.8	84.4	14.8
	60～64歳	252	32.5	54.4	10.3	2.8	-	86.9	13.1
	65～69歳	268	40.7	50.4	6.7	1.9	0.4	91.1	8.6
	70～74歳	329	45.6	42.9	8.5	2.7	0.3	88.5	11.2
	75歳以上	198	43.4	44.9	9.6	0.5	1.5	88.3	10.1
	無回答	5	20.0	80.0	-	-	-	100.0	-

(ア) 季節感あふれるまち										(%)
		回 答 者 数	そう 思 う	そ ち ら か と い え ば	そ ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	思 う だ ま	思 わ な い だ ま	
全体		3,010 100.0	1,078 35.8	1,481 49.2	316 10.5	108 3.6	27 0.9	2,559 85.0	424 14.1	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	46.9	46.4	4.7	2.1	-	93.3	6.8	
	東部B（田主丸）	185	58.4	35.1	3.8	2.2	0.5	93.5	6.0	
	北部A	281	39.9	48.4	8.5	2.8	0.4	88.3	11.3	
	北部B（北野）	175	33.1	54.9	6.3	4.0	1.7	88.0	10.3	
	中央東部	399	34.1	53.1	10.0	2.0	0.8	87.2	12.0	
	南東部	285	35.4	47.0	13.0	2.5	2.1	82.4	15.5	
	中央部	384	27.6	55.7	11.7	4.2	0.8	83.3	15.9	
	中央南部	507	33.3	50.5	12.6	3.2	0.4	83.8	15.8	
	南西部	282	32.6	49.3	12.8	3.9	1.4	81.9	16.7	
	西部A（城島）	103	38.8	42.7	12.6	4.9	1.0	81.5	17.5	
	西部B（三潞）	171	33.9	42.1	13.5	9.4	1.2	76.0	22.9	
	わからない・無回答	46	17.4	52.2	15.2	13.0	2.2	69.6	28.2	

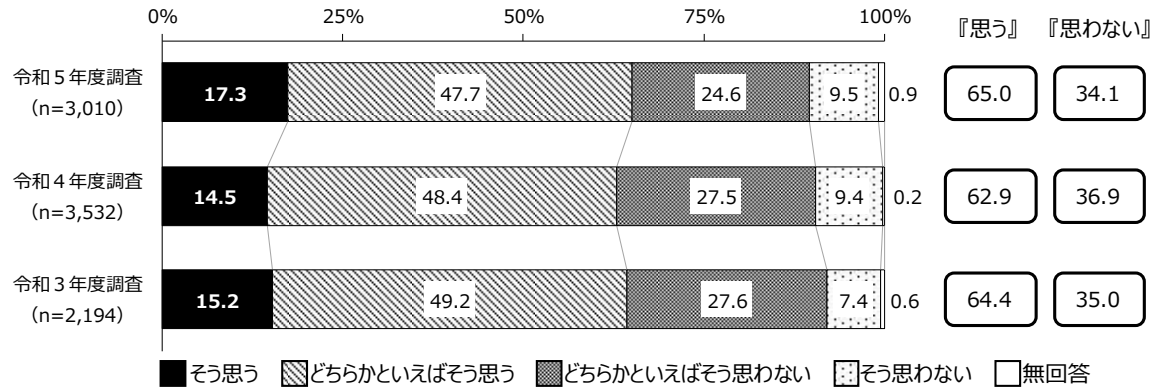
Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（イ）都市環境が充実しているまち

『思う』は 65.0%、『思わない』は 34.1%である。

【経年比較】

「そう思う」は 17.3%と令和 3 年度からの調査で最も高い。一方で、「そう思わない」は令和 4 年度調査と大差ないが、「どちらかといえばそう思わない」が減少し、『思わない』は令和 3 年度からの調査で最も低い割合となっている。



【性別】『思う』の割合は、「女性」が 66.5%、「男性」が 62.9%となっており、『思う』の割合は女性が 3.6 ポイント高い。

【年齢別】すべての年齢層において『思う』の割合は 6 割台であるが、『18～29 歳』68.6%が最も高い。

【ブロック別】『思う』においては「中央部」、「中央南部」、「北部 A」が 7 割を超える高水準となっている。『思わない』においては「西部 A（城島）」、「東部 B（田主丸）」が 5 割を超えており、それぞれ『思う』の割合を上回っている。

		回答者数	(イ) 都市環境が充実しているまち								(%)
			そう思う	そう思うかといえ	どちらかといえ	どちらかといえ	無回答	思う	思わない		
全体		3,010 100.0	522 17.3	1,435 47.7	740 24.6	287 9.5	26 0.9	1,957 65.0	1,027 34.1		
性別	男性	1,330	18.5	44.4	25.3	10.8	1.0	62.9	36.1		
	女性	1,668	16.3	50.2	24.0	8.6	0.8	66.5	32.6		
	()	6	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3		
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-		
年齢別	18～29歳	478	24.7	43.9	21.8	7.5	2.1	68.6	29.3		
	30歳代	397	16.9	47.4	23.9	10.1	1.8	64.3	34.0		
	40歳代	576	15.6	50.0	23.4	10.8	0.2	65.6	34.2		
	50歳代	507	12.6	50.1	25.2	11.2	0.8	62.7	36.4		
	60～64歳	252	13.9	50.0	24.6	11.5	-	63.9	36.1		
	65～69歳	268	15.7	45.9	30.2	7.8	0.4	61.6	38.0		
	70～74歳	329	19.8	46.2	24.9	9.1	-	66.0	34.0		
	75歳以上	198	20.7	46.0	25.8	6.1	1.5	66.7	31.9		
	無回答	5	-	60.0	40.0	-	-	60.0	40.0		

		回答者数	(イ) 都市環境が充実しているまち								(%)
			そう思う	そう思うかといえ	どちらかといえ	どちらかといえ	無回答	思う	思わない		
全体		3,010 100.0	522 17.3	1,435 47.7	740 24.6	287 9.5	26 0.9	1,957 65.0	1,027 34.1		
ブロック別	東部A	192	15.1	44.8	30.2	9.9	-	59.9	40.1		
	東部B（田主丸）	185	8.6	39.5	37.3	14.1	0.5	48.1	51.4		
	北部A	281	19.9	51.2	21.4	7.1	0.4	71.1	28.5		
	北部B（北野）	175	16.6	38.9	30.9	12.0	1.7	55.5	42.9		
	中央東部	399	20.3	48.9	20.8	9.3	0.8	69.2	30.1		
	南東部	285	16.8	48.1	23.9	9.1	2.1	64.9	33.0		
	中央部	384	18.5	53.9	19.0	8.1	0.5	72.4	27.1		
	中央南部	507	21.5	50.5	20.9	6.7	0.4	72.0	27.6		
	南西部	282	17.7	42.6	27.7	10.6	1.4	60.3	38.3		
	西部A（城島）	103	9.7	33.0	35.0	21.4	1.0	42.7	56.4		
	西部B（三瀬）	171	8.8	55.6	24.6	9.9	1.2	64.4	34.5		
わからない・無回答	46	17.4	43.5	28.3	8.7	2.2	60.9	37.0			

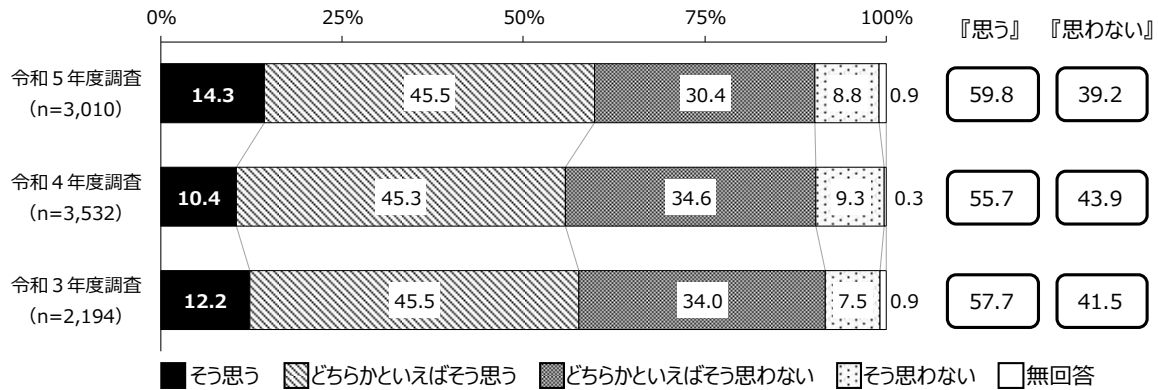
Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（ウ）外で活動しやすいまち

『思う』は 59.8%、『思わない』は 39.2%である。

【経年比較】

『思う』は令和 3 年度からの調査において最も高い。「どちらかといえばそう思う」は大差ない。一方で、「そう思う」は令和 4 年度調査と比較して 3.9 ポイント増加している。



【性別】『思う』の割合は「男性」が 60.8%、「女性」が 59.1%となり「男性」が「女性」より 1.7 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】『思う』の割合は『18～29 歳』が 69.9%で最も高く、次いで「75 歳以上」が 62.7%となっている。最も低いのは「65～69 歳」で 51.8%である。

【ブロック別】『思う』の割合は「北部 A」が 72.9%で最も高く 7 割を超えている。一方で、「東部 B（田主丸）」は 47.6%と最も低く 5 割弱にとどまっている。「西部 A（城島）」の 49.5%と、「北部 B（北野）」の 49.2%は『思う』と『思わない』が同じ割合となっている。

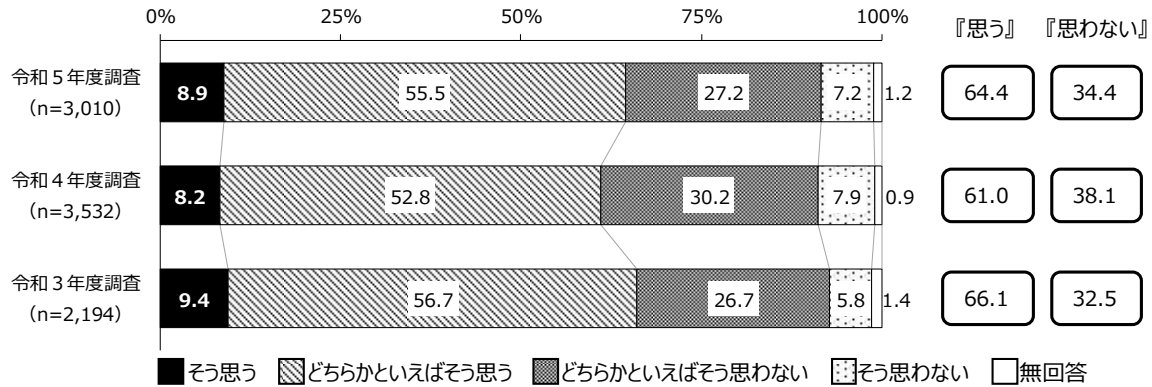
（％）										（％）									
		回答者数	（ウ）外で活動しやすいまち									回答者数	（ウ）外で活動しやすいまち						
			そう思う	どちらか 思う かとい え	ど ち ら か な い え	ど ち ら か な い え	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』				そう 思 う	ど ち ら か とい え	ど ち ら か な い え	ど ち ら か な い え	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』
全体		3,010 100.0	431 14.3	1,370 45.5	915 30.4	266 8.8	28 0.9	1,801 59.8	1,181 39.2	全体		3,010 100.0	431 14.3	1,370 45.5	915 30.4	266 8.8	28 0.9	1,801 59.8	1,181 39.2
性別	男性	1,330	15.8	45.0	29.1	9.2	1.0	60.8	38.3	ブロック別	東部A	192	9.4	47.9	34.9	7.3	0.5	57.3	42.2
	女性	1,668	13.1	46.0	31.4	8.6	0.8	59.1	40.0		東部B（田主丸）	185	11.9	35.7	38.4	13.5	0.5	47.6	51.9
	（ ）	6	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0		北部A	281	18.5	54.4	21.0	5.7	0.4	72.9	26.7
	無回答	6	50.0	16.7	16.7	-	16.7	66.7	16.7		北部B（北野）	175	14.3	34.9	38.9	10.3	1.7	49.2	49.2
年齢別	18～29歳	478	23.0	46.9	21.1	6.9	2.1	69.9	28.0	中央東部	399	16.8	42.6	29.3	10.5	0.8	59.4	39.8	
	30歳代	397	15.1	46.1	29.0	8.1	1.8	61.2	37.1	南東部	285	13.3	43.9	34.0	6.7	2.1	57.2	40.7	
	40歳代	576	13.4	46.7	30.9	8.9	0.2	60.1	39.8	中央部	384	18.8	48.7	24.0	8.1	0.5	67.5	32.1	
	50歳代	507	10.8	47.1	32.3	8.7	1.0	57.9	41.0	中央南部	507	15.8	47.7	30.2	5.7	0.6	63.5	35.9	
	60～64歳	252	9.9	44.4	36.5	9.1	-	54.3	45.6	南西部	282	9.9	41.1	35.1	12.4	1.4	51.0	47.5	
	65～69歳	268	10.8	41.0	37.3	10.4	0.4	51.8	47.7	西部A（城島）	103	8.7	40.8	34.0	15.5	1.0	49.5	49.5	
	70～74歳	329	12.2	42.6	34.0	11.2	-	54.8	45.2	西部B（三瀬）	171	9.4	55.0	24.6	9.9	1.2	64.4	34.5	
	75歳以上	198	17.2	45.5	26.3	9.1	2.0	62.7	35.4	わからない・無回答	46	8.7	47.8	32.6	8.7	2.2	56.5	41.3	
	無回答	5	20.0	60.0	20.0	-	-	80.0	20.0										

（エ）人権が尊重されているまち

『思う』は 64.4%、『思わない』は 34.4%である。

【経年比較】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」はいずれも令和 4 年度調査と比較してやや増加し、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『思う』は令和 4 年度調査と比較して、3.4 ポイント増加している。



【性別】『思う』の割合は「男性」が 65.6%、「女性」が 63.5%で「男性」が「女性」より 2.1 ポイント高い。積極的な「そう思う」の割合は「男性」が 11.4%、「女性」が 6.9%と「男性」が 4.5 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】『思う』の割合は『18～29 歳』が 71.6%で最も高く 7 割を超えている。一方で「30 歳代」が 56.4%で最も低く 5 割後半にとどまっている。その他の年齢層は 6 割台となっている。

【ブロック別】すべてのブロックにおいて『思う』が『思わない』を上回っており、「北部 A」は 70.5%で最も高い。一方で、『思わない』の割合は「北部 B（北野）」が 40.0%で最も高い結果となっている。

		回答者数	(工) 人権が尊重されているまち							(%)
			そう思う	どちらか そう思う かといえ ば	どちらか そう思わ ないとい え	そう思わ ない	無回答	『思う』	『思わ ない』	
全体		3,010 100.0	267 8.9	1,672 55.5	819 27.2	217 7.2	35 1.2	1,939 64.4	1,036 34.4	
性別	男性	1,330	11.4	54.2	25.6	7.5	1.3	65.6	33.1	
	女性	1,668	6.9	56.6	28.5	7.0	1.1	63.5	35.5	
	()	6	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0	
	無回答	6	16.7	66.7	16.7	-	-	83.4	16.7	
年齢別	18～29歳	478	13.0	58.6	21.1	5.2	2.1	71.6	26.3	
	30歳代	397	4.8	51.6	30.0	11.8	1.8	56.4	41.8	
	40歳代	576	6.8	56.8	26.9	9.2	0.3	63.6	36.1	
	50歳代	507	7.7	53.8	30.2	7.1	1.2	61.5	37.3	
	60～64歳	252	9.1	56.0	29.0	6.0	-	65.1	35.0	
	65～69歳	268	7.8	55.6	31.0	4.5	1.1	63.4	35.5	
	70～74歳	329	10.9	56.8	25.8	5.8	0.6	67.7	31.6	
	75歳以上	198	14.1	53.5	24.7	5.1	2.5	67.6	29.8	
	無回答	5	-	80.0	20.0	-	-	80.0	20.0	

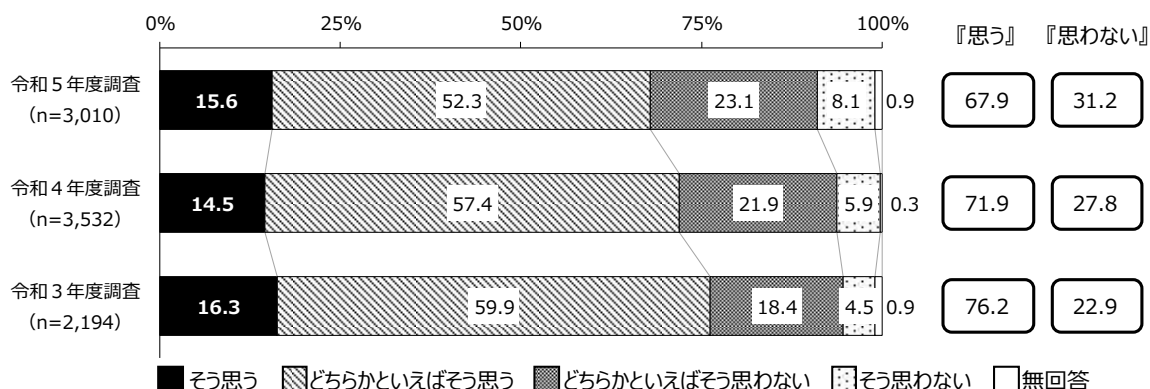
		回答者数	(工) 人権が尊重されているまち						(%)
			そう思う	どちらか 思う う	どちら 思わ ない う	そう 思わ ない	無 回 答	『 思 う 』 %	『 思 わ ない 』 %
全体		3,010 100.0	267 8.9	1,672 55.5	819 27.2	217 7.2	35 1.2	1,939 64.4	1,036 34.4
ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	9.9	51.6	32.3	6.3	-	61.5	38.6
	東部B（田主丸）	185	10.8	53.5	25.4	9.2	1.1	64.3	34.6
	北部A	281	9.6	60.9	21.7	7.1	0.7	70.5	28.8
	北部B（北野）	175	9.7	48.6	31.4	8.6	1.7	58.3	40.0
	中央東部	399	10.3	56.1	26.3	6.5	0.8	66.4	32.8
	南東部	285	9.5	55.8	27.7	4.9	2.1	65.3	32.6
	中央部	384	7.8	57.6	26.3	7.3	1.0	65.4	33.6
	中央南部	507	7.9	56.0	28.2	7.1	0.8	63.9	35.3
	南西部	282	7.1	51.8	32.6	6.7	1.8	58.9	39.3
	西部A（城島）	103	6.8	57.3	24.3	9.7	1.9	64.1	34.0
	西部B（三瀬）	171	9.4	58.5	22.2	8.8	1.2	67.9	31.0
わからない・無回答		46	6.5	54.3	23.9	10.9	4.3	60.8	34.8

（オ）安全で安心して暮らせるまち

『思う』は 67.9%、『思わない』は 31.2%である。

【経年比較】

令和３年度調査から『思う』が年々減少傾向にある。一方で、「どちらかといえばそう思わない」、「思わない」がそれぞれ増加しており、「どちらかといえばそう思う」は減少している。「そう思う」の割合は令和３年度調査と比較すると低いが、令和４年度調査と比べると 1.1 ポイント増加している。



【性別】「そう思う」の割合は「男性」が 16.3%、「女性」が 15.0%で「男性」が 1.3 ポイント高い。一方で、「どちらかといえばそう思う」は「女性」が 54.2%、「男性」が 49.8%で「女性」が 4.4 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】高い年齢層で『思う』の割合が高い傾向にあり、「75 歳以上」が 80.3%と 8 割を超えて最も高い。一方で、「30 歳代」は 56.7%と最も低く 5 割台にとどまっている。

【ブロック別】『思う』の割合は「西部 B（三潞）」が 73.1%、「東部 A」が 71.9%、「南東部」が 71.2%、「南西部」が 70.2%で、それぞれ 7 割を超えている。一方で、『思わない』の割合は、「北部 B（北野）」が 38.9%、「東部 B（田主丸）」が 37.3%、「中央部」が 34.3%、「中央南部」が 32.9%、「西部 A（城島）」が 31.1%、「北部 A」が 30.6%となり 3 割を超えている。

		(オ) 安全で安心して暮らせるまち							
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	469 15.6	1,575 52.3	695 23.1	243 8.1	28 0.9	2,044 67.9	938 31.2
性別	男性	1,330	16.3	49.8	23.2	9.7	1.0	66.1	32.9
	女性	1,668	15.0	54.2	23.1	6.8	0.9	69.2	29.9
	()	6	-	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年齢別	18～29歳	478	19.2	44.4	23.4	10.9	2.1	63.6	34.3
	30歳代	397	8.3	48.4	29.0	12.6	1.8	56.7	41.6
	40歳代	576	12.3	50.3	27.3	9.7	0.3	62.6	37.0
	50歳代	507	12.6	54.0	25.4	7.1	0.8	66.6	32.5
	60～64歳	252	15.9	58.7	19.4	6.0	-	74.6	25.4
	65～69歳	268	18.3	57.5	17.2	6.7	0.4	75.8	23.9
	70～74歳	329	22.5	57.1	17.6	2.4	0.3	79.6	20.0
	75歳以上	198	22.7	57.6	14.6	3.5	1.5	80.3	18.1
	無回答	5	20.0	60.0	-	20.0	-	80.0	20.0

		(オ) 安全で安心して暮らせるまち							
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	469 15.6	1,575 52.3	695 23.1	243 8.1	28 0.9	2,044 67.9	938 31.2
ブロック別	東部 A	192	21.4	50.5	20.8	7.3	-	71.9	28.1
	東部 B（田主丸）	185	11.9	50.3	27.6	9.7	0.5	62.2	37.3
	北部 A	281	16.0	53.0	19.9	10.7	0.4	69.0	30.6
	北部 B（北野）	175	15.4	44.0	28.6	10.3	1.7	59.4	38.9
	中央東部	399	17.0	52.4	21.1	8.8	0.8	69.4	29.9
	南東部	285	15.1	56.1	18.2	8.1	2.5	71.2	26.3
	中央部	384	14.8	50.0	24.7	9.6	0.8	64.8	34.3
	中央南部	507	14.0	52.7	27.0	5.9	0.4	66.7	32.9
	南西部	282	15.2	55.0	22.0	6.4	1.4	70.2	28.4
	西部 A（城島）	103	19.4	48.5	23.3	7.8	1.0	67.9	31.1
	西部 B（三潞）	171	14.6	58.5	20.5	5.3	1.2	73.1	25.8
	わからない・無回答	46	15.2	56.5	19.6	6.5	2.2	71.7	26.1

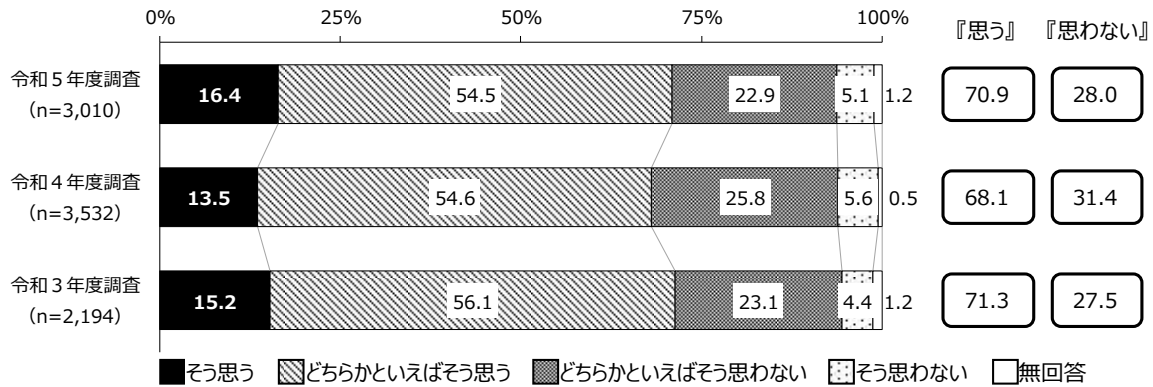
Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（カ）心豊かに暮らせるまち

『思う』は 70.9%、『思わない』は 28.0%である。

【経年比較】

「そう思う」の割合が令和 3 年度調査から令和 4 年度調査にかけて減少していたが、令和 5 年度調査で増加した。



【性別】『思う』の割合は男女に大差なく、それぞれ約 7 割となっている。

【年齢別】『思う』の割合は、「40 歳代」が 75.3%と最も高く、次いで『18～29 歳』が 73.9%、「50 歳代」が 72.2%とそれぞれ 7 割を超えている。

【ブロック別】『思う』の割合は「北部 A」が 77.6%で最も高く、次いで「中央東部」が 73.9%、「西部 B（三潴）」が 73.1%となっている。一方で、「西部 A（城島）」は 64.0%となり最も低い。

		(カ) 心豊かに暮らせるまち (%)							
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	495 16.4	1,639 54.5	688 22.9	153 5.1	35 1.2	2,134 70.9	841 28.0
性別	男性	1,330	17.3	53.8	22.2	5.6	1.2	71.1	27.8
	女性	1,668	15.8	55.0	23.4	4.7	1.1	70.8	28.1
	()	6	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0
	無回答	6	33.3	50.0	16.7	-	-	83.3	16.7
年齢別	18～29歳	478	24.1	49.8	18.8	5.2	2.1	73.9	24.0
	30歳代	397	13.9	54.2	23.7	6.5	1.8	68.1	30.2
	40歳代	576	15.8	59.5	18.9	5.4	0.3	75.3	24.3
	50歳代	507	12.4	59.8	21.7	4.9	1.2	72.2	26.6
	60～64歳	252	12.7	54.8	28.2	4.4	-	67.5	32.6
	65～69歳	268	16.4	48.9	28.4	4.9	1.5	65.3	33.3
	70～74歳	329	17.6	51.4	25.5	4.9	0.6	69.0	30.4
	75歳以上	198	18.2	49.5	27.3	3.0	2.0	67.7	30.3
	無回答	5	20.0	80.0	-	-	-	100.0	-

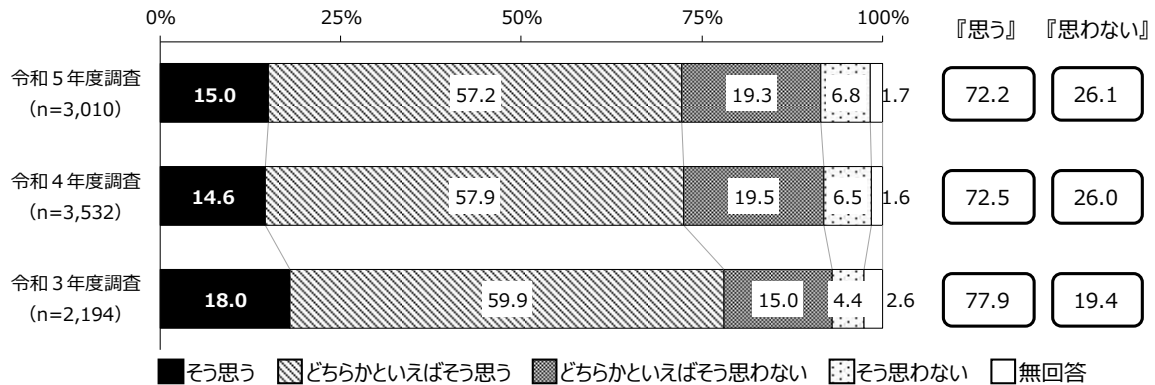
		(カ) 心豊かに暮らせるまち (%)							
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	495 16.4	1,639 54.5	688 22.9	153 5.1	35 1.2	2,134 70.9	841 28.0
ブロック別	東部A	192	15.1	55.2	24.5	5.2	-	70.3	29.7
	東部B（田主丸）	185	14.1	51.9	27.0	6.5	0.5	66.0	33.5
	北部A	281	18.9	58.7	16.0	5.7	0.7	77.6	21.7
	北部B（北野）	175	15.4	52.0	25.1	5.7	1.7	67.4	30.8
	中央東部	399	19.8	54.1	21.3	4.0	0.8	73.9	25.3
	南東部	285	14.4	55.1	21.4	6.3	2.8	69.5	27.7
	中央部	384	18.2	54.2	20.3	6.0	1.3	72.4	26.3
	中央南部	507	17.0	54.4	24.9	3.2	0.6	71.4	28.1
	南西部	282	13.5	54.6	25.5	5.0	1.4	68.1	30.5
	西部A（城島）	103	15.5	48.5	31.1	2.9	1.9	64.0	34.0
	西部B（三潴）	171	14.0	59.1	19.9	5.8	1.2	73.1	25.7
	わからない・無回答	46	13.0	41.3	30.4	10.9	4.3	54.3	41.3

（キ）子育てしやすいまち

『思う』は 72.2%、『思わない』26.1%である。

【経年比較】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『思う』は、令和 3 年度調査に比べ、令和 4 年度調査は 5.4 ポイント低下し、令和 5 年度調査はさらに 0.3 ポイント低下している。



【性別】『思う』の割合は「女性」が 72.5%、「男性」が 71.5%となり、ともに 7 割を超えている。「そう思う」は「男性」が 16.3%、「女性」が 13.9%で、「男性」が 2.4 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】『思う』の割合は 40 歳以上の年齢層で 7 割を超えていて、「70～74 歳」が 77.8%と最も高い。一方で、『思わない』の割合は「30 歳代」が 34.5%と最も高く、各年齢層において唯一 3 割を超えている。

【ブロック別】『思う』の割合は「中央東部」が 74.9%で最も高く、「北部 B（北野）」が 62.8%で最も低い。一方で、「そう思う」の割合は「北部 B（北野）」が 19.4%と最も高い結果となっている。

【同居家族別】『思う』の割合は「小学生がいる」世帯が 76.6%で最も高い。

Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（キ）子育てしやすいまち

		(キ) 子育てしやすいまち (%)							
		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらかわからない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	452 15.0	1,721 57.2	582 19.3	205 6.8	50 1.7	2,173 72.2	787 26.1
性別	男性	1,330	16.3	55.2	18.7	8.2	1.6	71.5	26.9
	女性	1,668	13.9	58.6	20.0	5.8	1.7	72.5	25.8
	()	6	16.7	83.3	-	-	-	100.0	-
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年齢別	18～29歳	478	17.4	50.6	22.4	7.1	2.5	68.0	29.5
	30歳代	397	11.3	52.1	23.2	11.3	2.0	63.4	34.5
	40歳代	576	17.9	54.0	18.4	9.4	0.3	71.9	27.8
	50歳代	507	14.0	61.9	17.0	5.7	1.4	75.9	22.7
	60～64歳	252	12.7	59.1	21.0	6.3	0.8	71.8	27.3
	65～69歳	268	13.8	63.1	17.5	3.4	2.2	76.9	20.9
	70～74歳	329	15.5	62.3	17.0	4.0	1.2	77.8	21.0
	75歳以上	198	15.2	61.1	17.2	2.0	4.5	76.3	19.2
	無回答	5	-	60.0	20.0	20.0	-	60.0	40.0

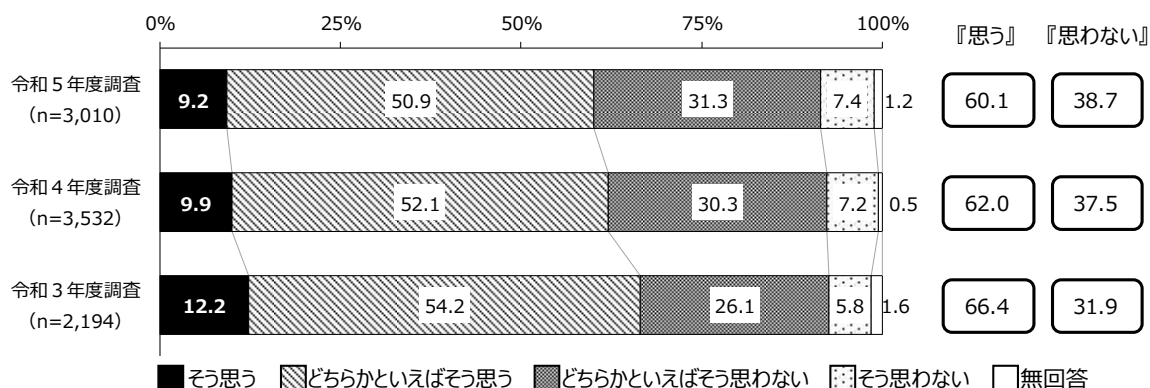
		(キ) 子育てしやすいまち (%)							
		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらかわからない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	452 15.0	1,721 57.2	582 19.3	205 6.8	50 1.7	2,173 72.2	787 26.1
ブロック別	東部A	192	15.1	59.4	18.8	6.3	0.5	74.5	25.1
	東部B（田主丸）	185	11.9	61.1	18.9	5.9	2.2	73.0	24.8
	北部A	281	14.9	58.7	18.9	6.4	1.1	73.6	25.3
	北部B（北野）	175	19.4	43.4	30.3	5.1	1.7	62.8	35.4
	中央東部	399	16.3	58.6	17.0	6.8	1.3	74.9	23.8
	南東部	285	15.8	55.1	17.9	7.7	3.5	70.9	25.6
	中央部	384	14.1	60.7	16.4	7.3	1.6	74.8	23.7
	中央南部	507	16.6	56.0	20.7	5.5	1.2	72.6	26.2
	南西部	282	12.8	58.9	18.8	7.8	1.8	71.7	26.6
	西部A（城島）	103	13.6	52.4	24.3	7.8	1.9	66.0	32.1
	西部B（三瀬）	171	14.0	56.1	20.5	7.6	1.8	70.1	28.1
	わからない・無回答	46	6.5	63.0	10.9	15.2	4.3	69.5	26.1
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	16.5	51.0	19.3	11.4	1.8	67.5	30.7
	小学生がいる	422	20.9	55.7	16.6	6.2	0.7	76.6	22.8
	中学生がいる	260	20.8	51.9	16.9	9.2	1.2	72.7	26.1
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	19.8	54.4	19.0	6.5	0.4	74.2	25.5
	65歳以上の人がいる	991	15.1	58.0	19.5	5.3	2.0	73.1	24.8
	障害者手帳を持っている人がいる	335	15.8	51.3	21.8	9.6	1.5	67.1	31.4
	上記にあてはまる人はいない	1,060	11.3	60.4	20.8	6.4	1.1	71.7	27.2
	無回答	38	7.9	65.8	2.6	5.3	18.4	73.7	7.9

（ク）地域で支えあいや助け合いが充実しているまち

『思う』は 60.1%、『思わない』は 38.7%である。

【経年比較】

令和３年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が年々減少傾向にあり、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『思う』の割合は令和５年度調査が最も低い。



【性別】『思う』の割合は、男女に大差はなく、それぞれ約 6 割となっている。

【年齢別】『思う』の割合は、高い年齢層において高い傾向にある。一方で、「30 歳代」は 52.6%と最も低い。

【ブロック別】『思う』の割合は「西部 A（城島）」が 71.8%、「東部 B（田主丸）」が 71.4%となり、7 割を超えている。一方で、『思わない』は「中央南部」が 44.6%、「中央部」が 42.2%、「南東部」が 41.7%、「中央東部」が 41.4%で、4 割を超えている。

		回答者数	(ク) 地域で支えあいや助け合いが充実しているまち							(%)
			そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	無回答	思う	思わない	
全体		3,010 100.0	277 9.2	1,533 50.9	943 31.3	222 7.4	35 1.2	1,810 60.1	1,165 38.7	
性別	男性	1,330	9.6	50.4	30.3	8.6	1.1	60.0	38.9	
	女性	1,668	8.8	51.4	32.1	6.5	1.1	60.2	38.6	
	()	6	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7	
	無回答	6	33.3	50.0	-	-	16.7	83.3	-	
年齢別	18～29歳	478	11.7	47.7	30.8	7.7	2.1	59.4	38.5	
	30歳代	397	5.0	47.6	34.5	11.1	1.8	52.6	45.6	
	40歳代	576	7.8	53.0	30.0	9.0	0.2	60.8	39.0	
	50歳代	507	6.9	55.6	30.6	5.9	1.0	62.5	36.5	
	60～64歳	252	10.3	51.6	29.8	7.9	0.4	61.9	37.7	
	65～69歳	268	10.1	49.6	35.1	4.1	1.1	59.7	39.2	
	70～74歳	329	11.6	50.5	31.3	5.8	0.9	62.1	37.1	
	75歳以上	198	15.2	49.5	28.8	4.0	2.5	64.7	32.8	
	無回答	5	-	40.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0	

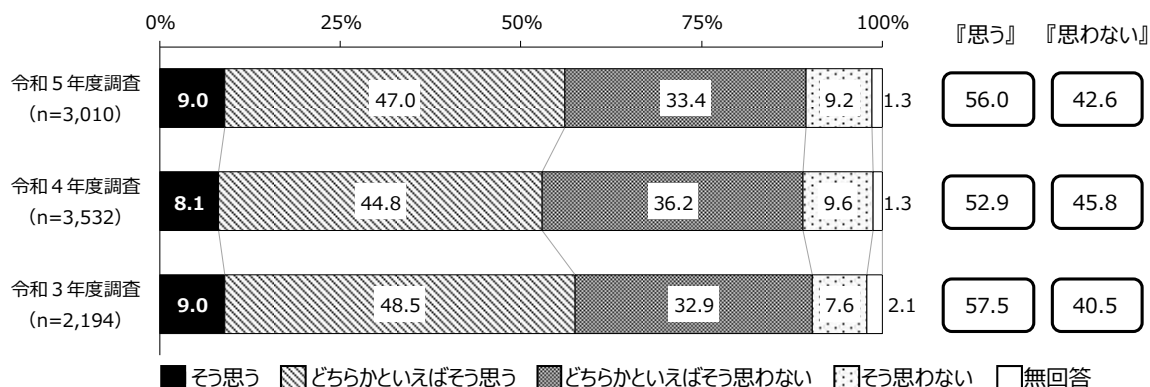
		回 答 者 数	(ク) 地域で支えあいや助け合いが充実しているまち							(%)
			そう 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	思 う 思 わ な い	思 わ な い	
全体		3,010 100.0	277 9.2	1,533 50.9	943 31.3	222 7.4	35 1.2	1,810 60.1	1,165 38.7	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	9.9	53.6	28.6	7.3	0.5	63.5	35.9	
	東部B（田主丸）	185	11.9	59.5	21.6	6.5	0.5	71.4	28.1	
	北部A	281	9.3	55.2	27.8	7.1	0.7	64.5	34.9	
	北部B（北野）	175	13.1	49.7	28.6	6.9	1.7	62.8	35.5	
	中央東部	399	8.3	49.6	35.6	5.8	0.8	57.9	41.4	
	南東部	285	8.1	47.4	34.7	7.0	2.8	55.5	41.7	
	中央部	384	7.3	49.5	32.0	10.2	1.0	56.8	42.2	
	中央南部	507	7.9	47.1	36.3	8.3	0.4	55.0	44.6	
	南西部	282	10.6	50.4	31.2	6.4	1.4	61.0	37.6	
	西部A（城島）	103	12.6	59.2	21.4	4.9	1.9	71.8	26.3	
	西部B（三瀬）	171	10.5	52.0	29.2	6.4	1.8	62.5	35.6	
わからない・無回答		46	4.3	52.2	26.1	13.0	4.3	56.5	39.1	

（ケ）働きやすいまち

『思う』は 56.0%、『思わない』は 42.6%である。

【経年比較】

「そう思う」は令和４年度調査と比較して 0.9 ポイント上昇し、令和３年度調査と同じ割合となっている。一方で、「そう思わない」は令和４年度調査と比較して 0.4 ポイント減少し、「どちらかといえばそう思わない」は 2.8 ポイント減少している。



【性別】『思う』の割合は男女に大きな差はなく、それぞれ 5 割半ばとなっている。

【年齢別】『思う』の割合は「40 歳代」が 59.9%と最も高く、次いで『18～29 歳』が 59.0%となっている。一方で、「60～64 歳」は 47.2%と最も低い結果となっている。

【ブロック別】『思う』の割合は「北部 A」が 63.3%と最も高い。一方で、『思わない』の割合は「西部 A（城島）」が 51.5%と最も高い。

(ケ) 働きやすいまち										(%)
		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』	
全体		3,010	272	1,414	1,006	278	40	1,686	1,284	
		100.0	9.0	47.0	33.4	9.2	1.3	56.0	42.6	
性別	男性	1,330	9.2	46.4	32.6	10.6	1.2	55.6	43.2	
	女性	1,668	8.8	47.6	34.1	8.2	1.4	56.4	42.3	
	()	6	16.7	16.7	66.7	-	-	33.4	66.7	
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6	16.7	
年齢別	18～29歳	478	12.8	46.2	32.0	6.7	2.3	59.0	38.7	
	30歳代	397	7.3	48.4	31.0	11.6	1.8	55.7	42.6	
	40歳代	576	9.9	50.0	28.3	11.6	0.2	59.9	39.9	
	50歳代	507	6.5	46.9	35.7	9.7	1.2	53.4	45.4	
	60～64歳	252	7.1	40.1	42.9	9.5	0.4	47.2	52.4	
	65～69歳	268	9.0	44.4	34.7	10.8	1.1	53.4	45.5	
	70～74歳	329	8.8	48.3	35.3	6.4	1.2	57.1	41.7	
	75歳以上	198	10.1	47.5	33.8	5.1	3.5	57.6	38.9	
	無回答	5	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0	40.0	

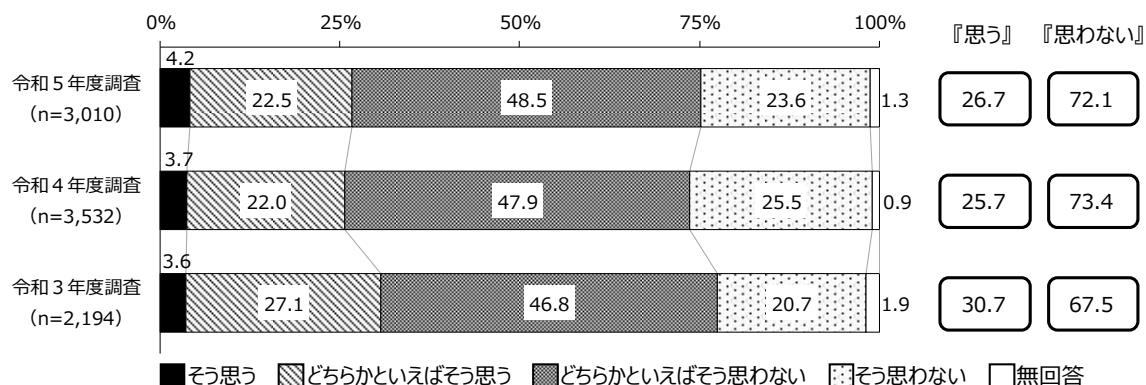
		回 答 者 数	(ケ) 働きやすいまち							(%)
			そう 思 う	そ う 思 う か と い え ば	そ う 思 わ か た い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	『思 う』	『思 わ な い』	
全体		3,010 100.0	272 9.0	1,414 47.0	1,006 33.4	278 9.2	40 1.3	1,686 56.0	1,284 42.6	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	8.3	48.4	37.5	5.2	0.5	56.7	42.7	
	東部B（田主丸）	185	8.6	40.5	36.2	12.4	2.2	49.1	48.6	
	北部A	281	9.6	53.7	27.0	8.5	1.1	63.3	35.5	
	北部B（北野）	175	9.1	44.0	29.1	16.0	1.7	53.1	45.1	
	中央東部	399	9.8	47.4	33.8	8.3	0.8	57.2	42.1	
	南東部	285	8.4	48.4	32.6	8.1	2.5	56.8	40.7	
	中央部	384	8.9	48.7	34.1	7.6	0.8	57.6	41.7	
	中央南部	507	11.4	45.6	32.5	9.5	1.0	57.0	42.0	
	南西部	282	6.7	45.0	37.6	9.2	1.4	51.7	46.8	
	西部A（城島）	103	5.8	41.7	40.8	10.7	1.0	47.5	51.5	
	西部B（三瀬）	171	7.6	48.0	32.7	9.4	2.3	55.6	42.1	
	わからない・無回答	46	8.7	45.7	26.1	15.2	4.3	54.4	41.3	

（コ）国際性豊かなまち

『思う』は 26.7%で、『思わない』は 72.1%である。

【経年比較】

『思う』の割合は令和 4 年度調査と比較して大差なく、令和 3 年度調査と比較すると令和 4 年度調査以降はやや低くなっている。



【性別】『思う』において、「男性」25.3%に対して「女性」27.7%と 2.4 ポイント高いが、「そう思う」では、「男性」が 4.8%で、「女性」が 3.7%となり「男性」が 1.1 ポイント高くなっている。

【年齢別】『思う』の割合は『18～29 歳』が 33.7%、「40 歳代」が 30.9%と 3 割を超えており、その他の年齢層は 2 割台となっている。

【ブロック別】『思う』の割合は「北部 B（北野）」が 30.3%、「中央東部」が 30.1%と、約 3 割となっている。「そう思う」の割合は「北部 B（北野）」が 6.9%と最も高く、次いで「東部 B（田主丸）」が 5.9%となっている。

		(コ) 国際性豊かなまち							
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010	125	677	1,460	710	38	802	2,170
		100.0	4.2	22.5	48.5	23.6	1.3	26.7	72.1
性別	男性	1,330	4.8	20.5	49.9	23.5	1.3	25.3	73.4
	女性	1,668	3.7	24.0	47.6	23.6	1.2	27.7	71.2
	()	6	-	16.7	16.7	66.7	-	16.7	83.4
	無回答	6	-	66.7	16.7	-	16.7	66.7	16.7
年齢別	18～29歳	478	8.4	25.3	40.2	24.1	2.1	33.7	64.3
	30歳代	397	2.5	22.9	42.3	30.5	1.8	25.4	72.8
	40歳代	576	3.5	27.4	48.1	20.8	0.2	30.9	68.9
	50歳代	507	3.0	20.9	53.6	21.3	1.2	23.9	74.9
	60～64歳	252	4.4	17.5	56.3	21.0	0.8	21.9	77.3
	65～69歳	268	4.5	22.0	47.8	24.6	1.1	26.5	72.4
	70～74歳	329	3.3	17.9	52.9	25.2	0.6	21.2	78.1
	75歳以上	198	2.5	18.7	53.0	22.2	3.5	21.2	75.2
	無回答	5	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0	40.0

		(コ) 国際性豊かなまち							
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010	125	677	1,460	710	38	802	2,170
		100.0	4.2	22.5	48.5	23.6	1.3	26.7	72.1
ブロック別	東部A	192	3.6	21.4	54.7	19.8	0.5	25.0	74.5
	東部B（田主丸）	185	5.9	16.2	44.3	31.9	1.6	22.1	76.2
	北部A	281	5.0	24.2	45.9	24.2	0.7	29.2	70.1
	北部B（北野）	175	6.9	23.4	42.9	25.1	1.7	30.3	68.0
	中央東部	399	3.5	26.6	50.9	18.0	1.0	30.1	68.9
	南東部	285	3.9	20.0	49.1	24.6	2.5	23.9	73.7
	中央部	384	3.6	26.3	49.5	19.8	0.8	29.9	69.3
	中央南部	507	5.7	23.5	48.1	21.9	0.8	29.2	70.0
	南西部	282	2.8	19.9	50.0	25.9	1.4	22.7	75.9
	西部A（城島）	103	3.9	19.4	42.7	33.0	1.0	23.3	75.7
	西部B（三瀬）	171	0.6	17.5	48.0	31.6	2.3	18.1	79.6
	わからない・無回答	46	-	17.4	54.3	23.9	4.3	17.4	78.2

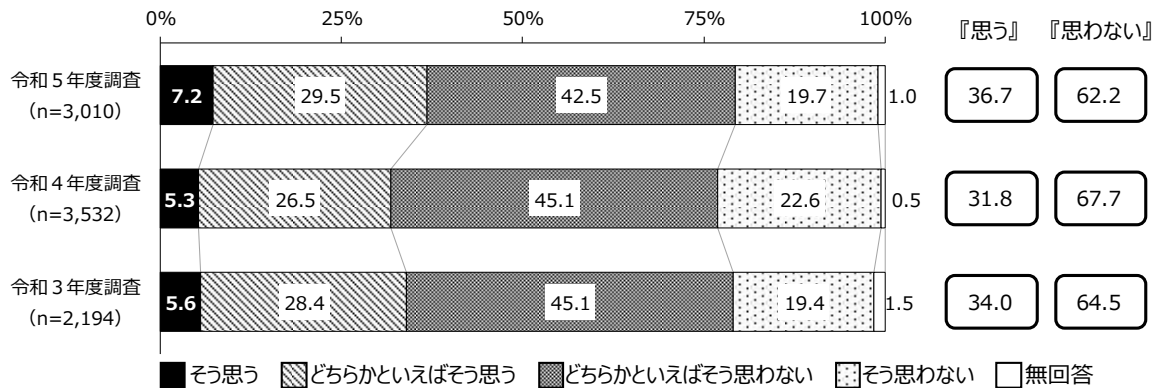
Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（サ）にぎわいのあるまち

『思う』は 36.7%、『思わない』は 62.2%である。

【経年比較】

令和４年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」がともに増加し、『思う』は 36.7%と過去２年間と比較すると最も高い。



【性別】『思う』の割合は「男性」が 37.9%、「女性」が 35.6%となり、「男性」が「女性」より 2.3%高い。

【年齢別】低い年齢層で『思う』の割合が高い傾向にあり、『18～29 歳』が 57.7%と最も高い。「そう思う」においても『18～29 歳』が 16.5%と最も高い結果となっている。

【ブロック別】『思わない』の割合は「東部 B（田主丸）」が 68.1%と最も高く、次いで「南西部」が 66.3%となっている。

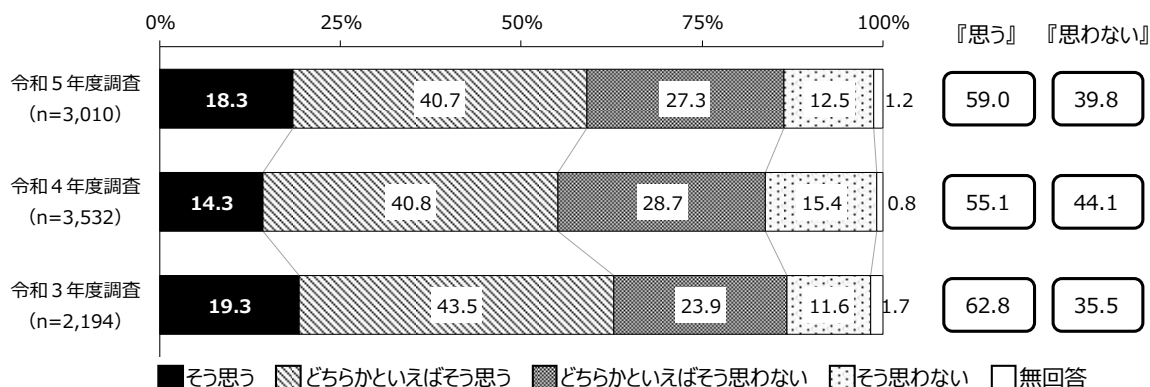
		回 答 者 数	(％)									回 答 者 数	(％)						
			(サ) にぎわいのあるまち										(サ) にぎわいのあるまち						
			そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』				そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』
全体		3,010 100.0	218 7.2	889 29.5	1,279 42.5	593 19.7	31 1.0	1,107 36.7	1,872 62.2	全体		3,010 100.0	218 7.2	889 29.5	1,279 42.5	593 19.7	31 1.0	1,107 36.7	1,872 62.2
性別	男性	1,330	8.2	29.7	42.0	19.0	1.1	37.9	61.0	ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	6.3	35.4	42.7	15.1	0.5	41.7	57.8
	女性	1,668	6.5	29.1	43.1	20.4	0.9	35.6	63.5		東部B（田主丸）	185	4.9	25.9	42.7	25.4	1.1	30.8	68.1
	()	6	16.7	66.7	16.7	-	-	83.4	16.7		北部A	281	8.5	36.7	37.0	17.4	0.4	45.2	54.4
	無回答	6	-	66.7	16.7	-	-	66.7	16.7		北部B（北野）	175	7.4	32.6	36.0	22.3	1.7	40.0	58.3
年 齢 別	18～29歳	478	16.5	41.2	28.9	11.3	2.1	57.7	40.2		中央東部	399	8.0	28.3	44.1	18.5	1.0	36.3	62.6
	30歳代	397	7.1	36.5	34.3	20.4	1.8	43.6	54.7		南東部	285	7.4	30.2	39.3	20.7	2.5	37.6	60.0
	40歳代	576	6.8	34.7	40.5	17.9	0.2	41.5	58.4		中央部	384	5.7	30.5	44.3	19.0	0.5	36.2	63.3
	50歳代	507	4.7	24.7	46.7	22.7	1.2	29.4	69.4		中央南部	507	7.5	28.4	44.4	19.3	0.4	35.9	63.7
	60～64歳	252	6.0	18.3	52.4	23.4	-	24.3	75.8		南西部	282	7.8	24.5	45.0	21.3	1.4	32.3	66.3
	65～69歳	268	4.5	23.9	47.0	24.3	0.4	28.4	71.3		西部A（城島）	103	7.8	27.2	41.7	22.3	1.0	35.0	64.0
	70～74歳	329	4.3	18.2	53.5	23.7	0.3	22.5	77.2		西部B（三瀬）	171	7.6	27.5	43.9	19.3	1.8	35.1	63.2
	75歳以上	198	3.5	24.7	50.5	18.7	2.5	28.2	69.2		わからない・無回答	46	8.7	19.6	50.0	19.6	2.2	28.3	69.6
	無回答	5	-	60.0	20.0	20.0	-	60.0	40.0										

（シ）県南の中核都市である

『思う』が 59.0%、『思わない』が 39.8%である。

【経年比較】

『思う』の割合が 59.0%と、令和 3 年度調査より 3.8 ポイント低く、令和 4 年度調査より 3.9 ポイント高い。「どちらかといえば思う」は、令和 4 年度調査と大差ないが、「そう思う」が増加している。



【性別】『思う』の割合は「男性」が 63.1%、「女性」が 55.8%となり、「男性」が「女性」より 7.3 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】『思う』の割合は「40 歳代」が 63.0%で最も高い。一方で、「50 歳代」が 54.5%で最も低い結果となっている。

【ブロック別】『思う』の割合は「北部 A」が 68.3%と最も高く、次いで「中央部」が 64.1%、「東部 A」が 62.5%、「中央東部」が 62.4%、「中央南部」が 61.3%とそれぞれ 6 割を超えている。一方で、「東部 B（田主丸）」は 44.4%で最も低く、唯一 4 割台にとどまっている。

(シ) 県南の中核都市である										(%)
		回答者数	そう思う	どちらか 思う かとい え	どちらか 思わ ない とい え	そう 思わ ない	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ ない 』	
全体		3,010 100.0	552 18.3	1,225 40.7	821 27.3	376 12.5	36 1.2	1,777 59.0	1,197 39.8	
性別	男性	1,330	23.8	39.3	23.8	11.9	1.2	63.1	35.7	
	女性	1,668	14.0	41.8	30.1	13.0	1.1	55.8	43.1	
	()	6	16.7	33.3	50.0	-	-	50.0	50.0	
	無回答	6	16.7	50.0	-	16.7	16.7	66.7	16.7	
年 齢 別	18～29歳	478	24.1	38.5	23.8	11.5	2.1	62.6	35.3	
	30歳代	397	16.9	40.6	24.7	16.1	1.8	57.5	40.8	
	40歳代	576	21.0	42.0	24.3	12.3	0.3	63.0	36.6	
	50歳代	507	15.6	38.9	32.3	11.8	1.4	54.5	44.1	
	60～64歳	252	17.9	42.5	28.2	11.5	-	60.4	39.7	
	65～69歳	268	16.4	44.8	23.9	14.2	0.7	61.2	38.1	
	70～74歳	329	16.1	38.9	34.7	9.7	0.6	55.0	44.4	
	75歳以上	198	13.6	42.4	27.3	13.6	3.0	56.0	40.9	
	無回答	5	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0	40.0	

(%)									
		回 答 者 数	(シ) 県南の中核都市である						
			そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』
全体		3,010 100.0	552 18.3	1,225 40.7	821 27.3	376 12.5	36 1.2	1,777 59.0	1,197 39.8
ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	16.7	45.8	25.0	12.0	0.5	62.5	37.0
	東部B（田主丸）	185	13.0	31.4	34.6	20.0	1.1	44.4	54.6
	北部A	281	19.9	48.4	22.4	8.9	0.4	68.3	31.3
	北部B（北野）	175	16.6	35.4	30.3	16.0	1.7	52.0	46.3
	中央東部	399	23.8	38.6	27.1	9.5	1.0	62.4	36.6
	南東部	285	19.3	37.9	26.0	14.0	2.8	57.2	40.0
	中央部	384	19.8	44.3	23.4	11.7	0.8	64.1	35.1
	中央南部	507	17.9	43.4	26.8	11.4	0.4	61.3	38.2
	南西部	282	14.9	40.4	30.9	12.1	1.8	55.3	43.0
	西部A（城島）	103	16.5	35.9	30.1	15.5	1.9	52.4	45.6
	西部B（三猪）	171	15.2	36.8	31.0	14.6	2.3	52.0	45.6
	わからない・無回答	46	19.6	32.6	30.4	15.2	2.2	52.2	45.6

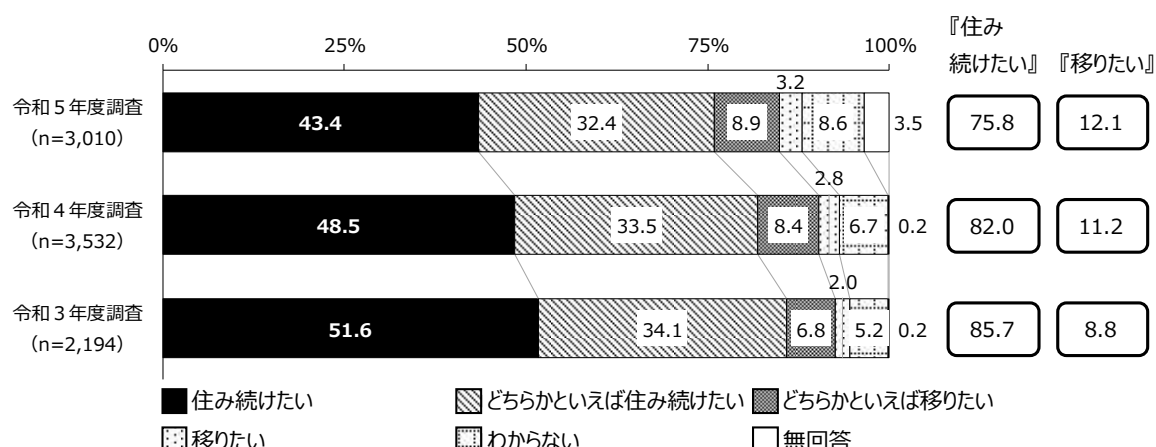
（４）久留米市への定住意向

問４ あなたは、事情が許せば今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

久留米市に「住み続けたい」が 43.4%と最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」の 32.4%をあわせた『住み続けたい』は、75.8 %である。一方で、「移りたい」の 3.2%と「どちらかといえば移りたい」の 8.9%をあわせた『移りたい』は、12.1%となっている。

【経年比較】

『住み続けたい』の割合は、令和 4 年度調査では、令和 3 年度調査と比較して 3.7 ポイント減少していたが、令和 5 年度調査では、さらに 6.2 ポイント減少と年々減少している。内訳をみても、「住み続けたい」の割合は、令和 5 年度調査では 43.4%と最も低くなっている。



【性別】『住み続けたい』の割合は、「男性」が 77.2%、「女性」が 74.8%となり、「男性」が 2.4 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】年齢が高い層で『住み続けたい』の割合が高い傾向がみられる。『移りたい』は、30 代以下の年齢層で高く、『18～29 歳』で 19.7%と最も高くなっている。

【ブロック別】『住み続けたい』の割合は、「北部 A」が 79.4%と最も高く、次いで「中央南部」が 78.9%となっている。一方で、『移りたい』の割合は、「中央部」が 14.9%と最も高い。令和 4 年度調査は『住み続けたい』の割合が「西部 A（城島）」を除くブロックで 8 割を超えていたが、令和 5 年度調査では最も高い「北部 A」でも 8 割にとどいていない。

久留米市への定住意向											久留米市への定住意向										
回答者数	住み続けたい	どちらかといえば	移りたい	どちらかといえば	移りたい	わからない	無回答	『住み続けたい』	『移りたい』	回答者数	住み続けたい	どちらかといえば	移りたい	どちらかといえば	移りたい	わからない	無回答	『住み続けたい』	『移りたい』		
全体	3,010 100.0	1,307 43.4	976 32.4	269 8.9	95 3.2	259 8.6	104 3.5	2,283 75.8	364 12.1	全体	3,010 100.0	1,307 43.4	976 32.4	269 8.9	95 3.2	259 8.6	104 3.5	2,283 75.8	364 12.1		
性別	男性	1,330	45.4	31.8	7.9	2.7	8.3	77.2	10.6	ブロック別	東部A	192	49.5	26.6	10.4	2.1	7.8	3.6	76.1	12.5	
	女性	1,668	41.9	32.9	9.8	3.5	8.9	3.0	74.8		13.3	東部B（田主丸）	185	43.8	29.7	12.4	1.1	10.3	2.7	73.5	13.5
	（ ）	6	33.3	50.0	16.7	-	-	-	83.3		16.7	北部A	281	50.9	28.5	6.0	4.3	8.2	2.1	79.4	10.3
	無回答	6	33.3	33.3	-	-	-	33.3	66.6		-	北部B（北野）	175	38.9	30.3	9.7	3.4	13.7	4.0	69.2	13.1
年齢別	18～29歳	478	28.0	33.9	13.8	5.9	14.4	4.0	61.9	19.7	中央東部	399	44.1	34.1	10.8	2.3	4.8	4.0	78.2	13.1	
	30歳代	397	34.0	35.5	12.8	4.3	10.1	3.3	69.5	17.1	南東部	285	41.4	34.0	9.8	2.8	6.7	5.3	75.4	12.6	
	40歳代	576	43.2	32.6	8.5	3.8	9.4	2.4	75.8	12.3	中央部	384	41.1	34.1	10.2	4.7	8.3	1.6	75.2	14.9	
	50歳代	507	43.2	36.3	8.1	1.8	7.7	3.0	79.5	9.9	中央南部	507	41.2	37.7	7.1	3.4	7.5	3.2	78.9	10.5	
	60～64歳	252	50.0	29.4	7.9	2.8	7.5	2.4	79.4	10.7	南西部	282	45.7	28.7	7.1	1.8	11.7	5.0	74.4	8.9	
	65～69歳	268	50.0	35.1	6.3	0.7	4.5	3.4	85.1	7.0	西部A（城島）	103	35.0	41.7	7.8	3.9	7.8	3.9	76.7	11.7	
	70～74歳	329	61.1	25.5	3.6	1.5	4.3	4.0	86.6	5.1	西部B（三瀬）	171	46.8	24.0	8.2	3.5	12.9	4.7	70.8	11.7	
	75歳以上	198	53.5	24.2	6.6	2.0	6.1	7.6	77.7	8.6	わからない・無回答	46	30.4	37.0	8.7	8.7	15.2	-	67.4	17.4	
	無回答	5	60.0	20.0	-	20.0	-	-	80.0	20.0											

（５）まちづくり政策の重要度と満足度

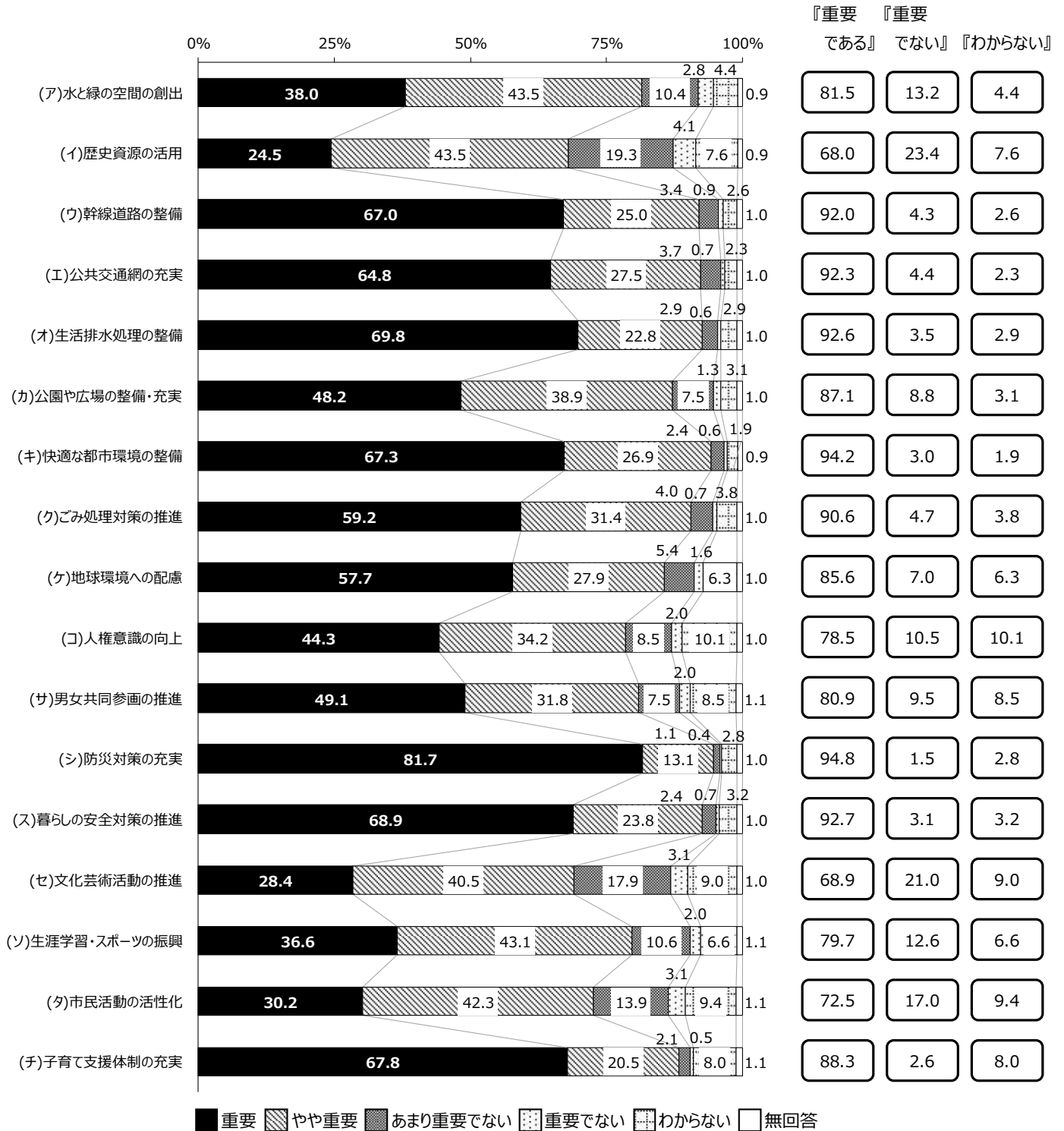
問５ この問は、令和８年度からはじまる次期総合計画策定に向けた調査です。

久留米市では、市民ニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。

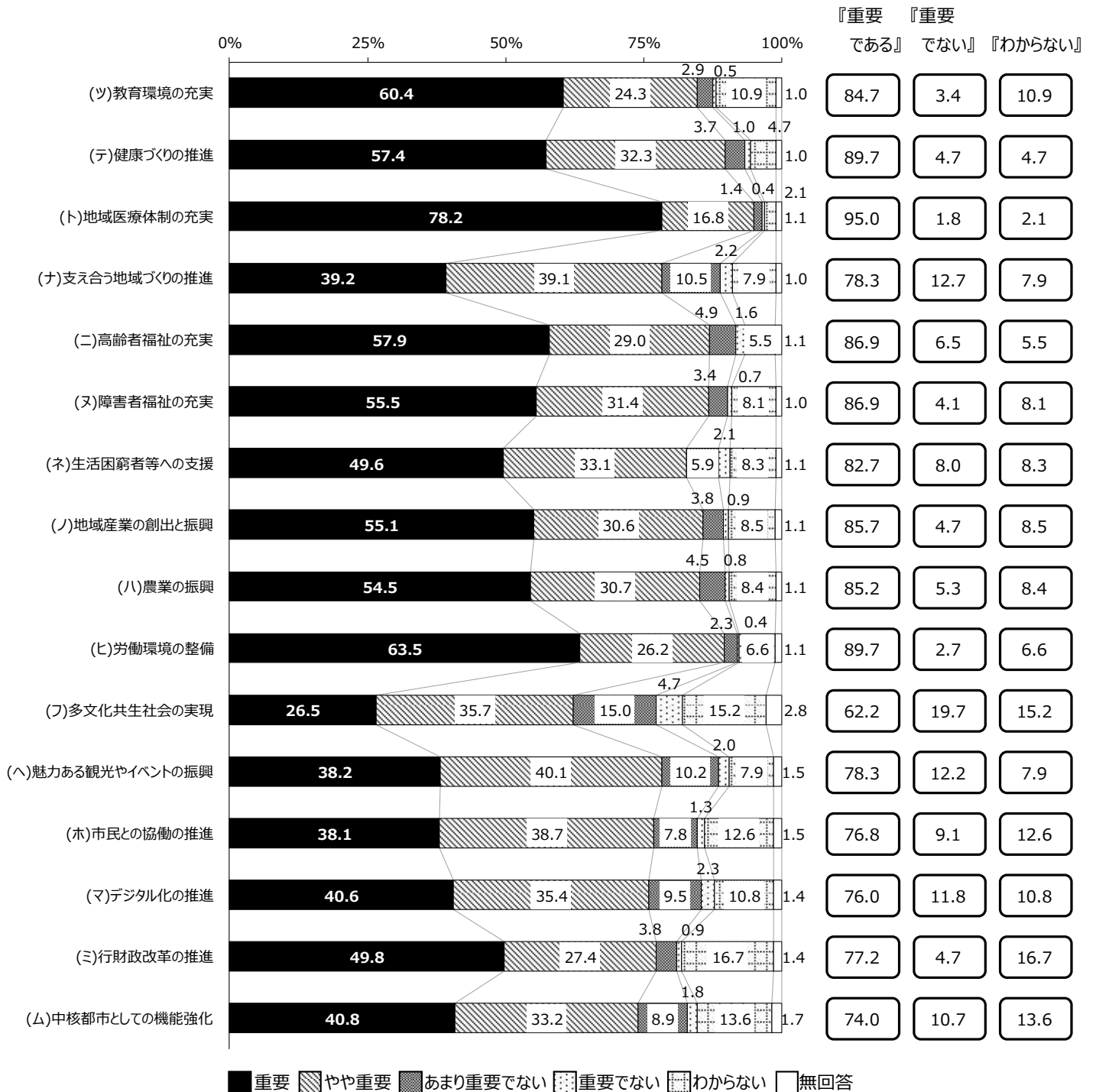
そこで、次の（ア）～（ム）の市の取り組みについて、お尋ねします。

（Ａ）あなたは、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。

（あてはまる番号それぞれ１つずつ）



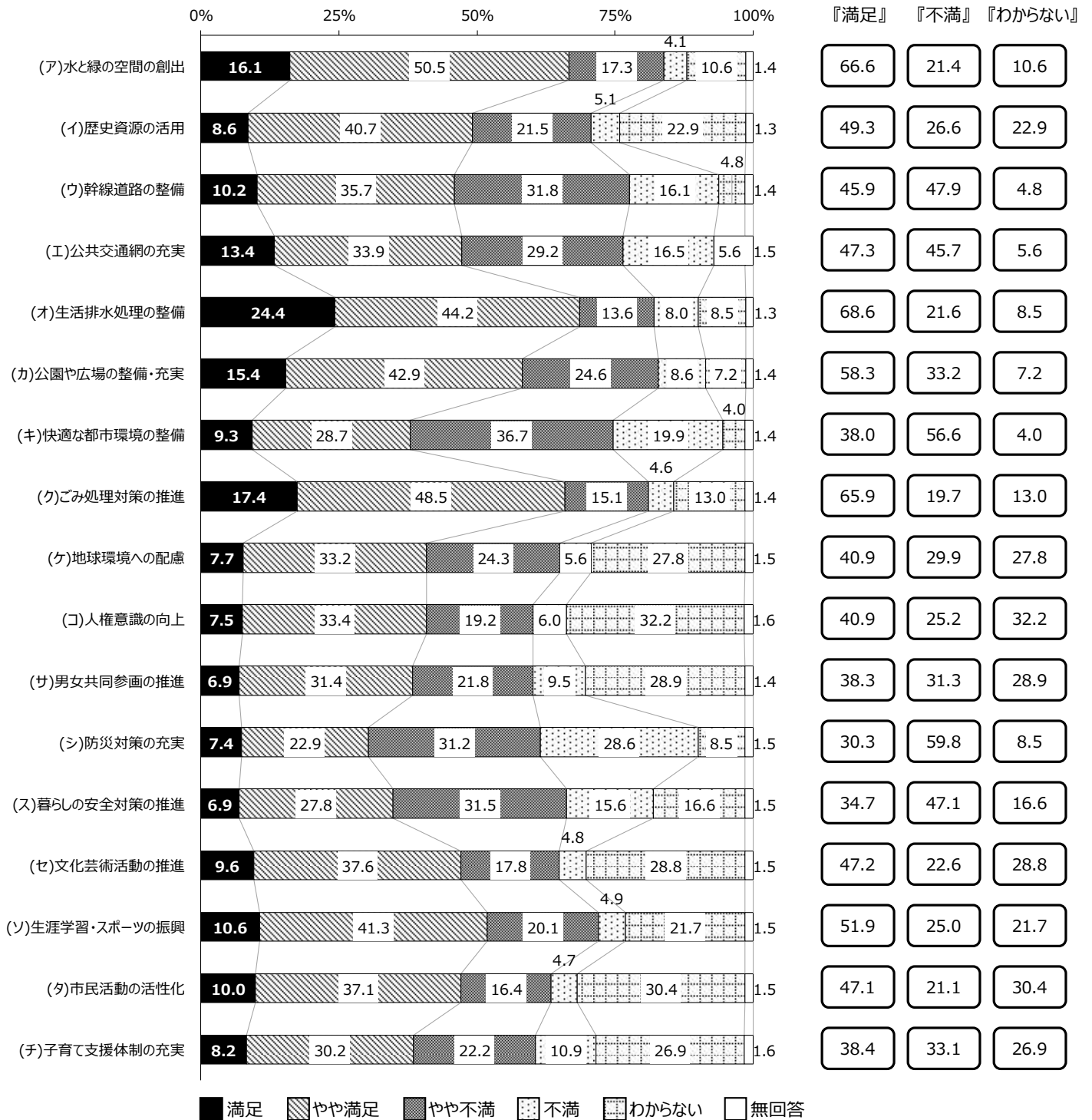
（５）まちづくり政策の重要度と満足度



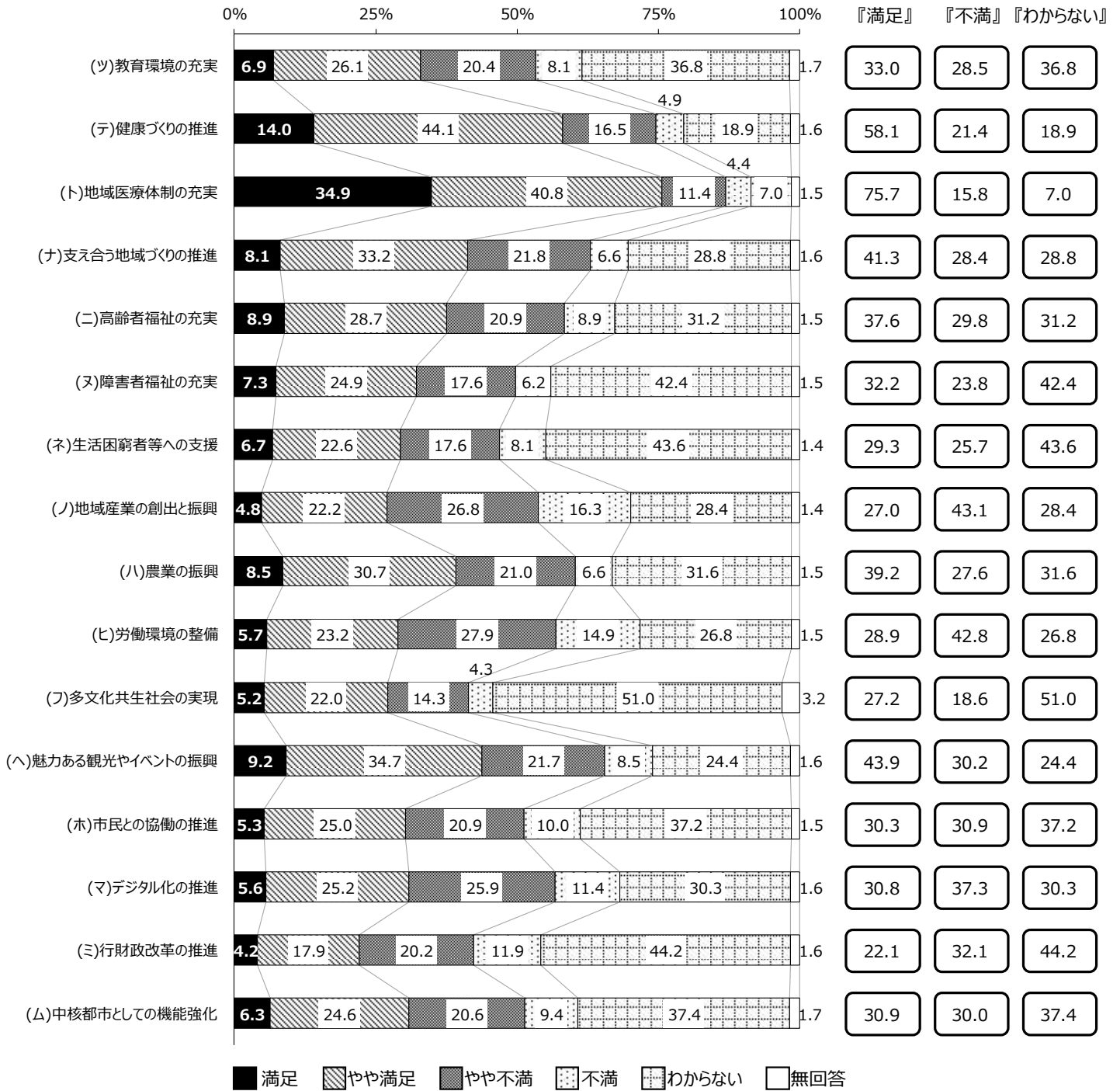
（５）まちづくり政策の重要度と満足度

問５ 次の（ア）～（ム）の取り組みについて、お尋ねします。

（Ｂ）あなたは、この取り組みにどの程度満足していますか。（あてはまる番号それぞれ１つずつ）



（５）まちづくり政策の重要度と満足度



（５）まちづくり政策の重要度と満足度

１－１ まちづくり政策の重要度・満足度の得点化

33 項目のまちづくり政策について、「どの程度重要だと思うか」、「どの程度満足しているか」を５つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し分析を行った。

■重要度・満足度の得点化の手順

重 要 度	得 点	満 足 度	得 点
1. 重 要	→ 6 点	1. 満 足	→ 6 点
2. やや重要	→ 4 点	2. やや満足	→ 4 点
3. あまり重要でない	→ 2 点	3. やや不満	→ 2 点
4. 重要でない	→ 0 点	4. 不 満	→ 0 点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算 の対象外)	5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算 の対象外)

重要度 (満足度) 得 点	$= \frac{(\text{選択肢 1}) \times 6 + (\text{選択肢 2}) \times 4 + (\text{選択肢 3}) \times 2 + (\text{選択肢 4}) \times 0}{(\text{選択肢 1} \sim \text{選択肢 4 の回答者数})}$
---------------------	--

（５）まちづくり政策の重要度と満足度

行政施策の重要度

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要でない』	わからない	重要度 得点	順位
(シ)防災対策の充実	94.8	1.5	2.8	5.66	1
(ト)地域医療体制の充実	95.0	1.8	2.1	5.57	2
(チ)子育て支援体制の充実	88.3	2.6	8.0	5.42	3
(オ)生活排水処理の整備	92.6	3.5	2.9	5.37	4
(ス)暮らしの安全対策の推進	92.7	3.1	3.2	5.36	5
(キ)快適な都市環境の整備	94.2	3.0	1.9	5.31	6
(ヒ)労働環境の整備	89.7	2.7	6.6	5.31	6
(ウ)幹線道路の整備	92.0	4.3	2.6	5.28	8
(ツ)教育環境の充実	84.7	3.4	10.9	5.28	8
(エ)公共交通網の充実	92.3	4.4	2.3	5.24	10
(ク)ごみ処理対策の推進	90.6	4.7	3.8	5.13	11
(ヌ)障害者福祉の充実	86.9	4.1	8.1	5.12	12
(テ)健康づくりの推進	89.7	4.7	4.7	5.10	13
(ノ)地域産業の創出と振興	85.7	4.7	8.5	5.09	14
(ミ)行財政改革の推進	77.2	4.7	16.7	5.08	15
(ニ)高齢者福祉の充実	86.9	6.5	5.5	5.07	16
(ハ)農業の振興	85.2	5.3	8.4	5.07	16
(ケ)地球環境への配慮	85.6	7.0	6.3	5.06	18
(ネ)生活困窮者等への支援	82.7	8.0	8.3	4.87	19
(サ)男女共同参画の推進	80.9	9.5	8.5	4.83	20
(カ)公園や広場の整備・充実	87.1	8.8	3.1	4.79	21
(コ)人権意識の向上	78.5	10.5	10.1	4.72	22
(ム)中核都市としての機能強化	74.0	10.7	13.6	4.67	23
(ホ)市民との協働の推進	76.8	9.1	12.6	4.64	24
(マ)デジタル化の推進	76.0	11.8	10.8	4.60	25
(ナ)支え合う地域づくりの推進	78.3	12.7	7.9	4.53	26
(ハ)魅力ある観光やイベントの振興	78.3	12.2	7.9	4.53	26
(ソ)生涯学習・スポーツの振興	79.7	12.6	6.6	4.48	28
(ア)水と緑の空間の創出	81.5	13.2	4.4	4.46	29
(タ)市民活動の活性化	72.5	17.0	9.4	4.23	30
(セ)文化芸術活動の推進	68.9	21.0	9.0	4.10	31
(フ)多文化共生社会の実現	62.2	19.7	15.2	4.05	32
(イ)歴史資源の活用	68.0	23.4	7.6	3.93	33

重要度【平均値】
4.92（満点6点）

『重要』＝「重要」＋「やや重要」
『重要でない』
＝「あまり重要でない」＋「重要でない」
●重要度得点は小数点以下
第3位で四捨五入しているため
同じ得点でも順位が変わることがある。

◆重要度得点の属性別特徴

【性別】33項目のうち、「(ノ)地域産業」「(ミ)行財政改革」「(ム)中核都市機能」「(マ)デジタル化」の4項目は「男性」の方が「女性」より重要度得点が高い。それ以外の項目はすべて「女性」の方が重要度得点が高い。

【年齢別】重要度得点は「70歳以上」以外は、第1位に「(シ)防災」があげられている。「70歳以上」の第1位は「(ト)地域医療」で、これは「40歳代」「50歳代」「60歳代」では第2位である。『18～29歳代』と「30歳代」では第2位に「(チ)子育て支援」があげられている。「70歳以上」は、「(ク)ごみ処理」が他の年代に比べて重要度が高く、第3位にあげられている。

【ブロック別】「西部A」を除くすべてのブロックで「(シ)防災」が重要度得点第1位となっている。「西部A」では「(ト)地域医療」が第1位で、こちらは「西部A」以外第2位である。「東部B」では「(ニ)高齢者福祉」、「東部A」では「(ウ)幹線道路」、「中央東部」では「(ツ)教育環境」が他のブロックに比べて順位が高い。

Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（５）まちづくり政策の重要度と満足度

行政施策の重要度（性別、年齢別、ブロック別）

項目	全 体		男 性		女 性		18～29歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上	
(シ)防災	5.66	1	5.62	1	5.69	1	5.70	1	5.74	1	5.66	1	5.63	1	5.73	1	5.52	2
(ト)地域医療	5.57	2	5.50	2	5.62	2	5.63	3	5.62	3	5.54	2	5.48	2	5.57	2	5.60	1
(チ)子育て支援	5.42	3	5.36	3	5.47	3	5.64	2	5.70	2	5.40	3	5.19	7	5.39	4	5.29	6
(オ)生活排水	5.37	4	5.28	4	5.44	5	5.53	5	5.35	9	5.32	7	5.30	3	5.42	3	5.31	5
(ス)暮らしの安全	5.36	5	5.23	6	5.46	4	5.46	9	5.46	6	5.38	4	5.29	4	5.37	5	5.23	9
(ホ)都市環境	5.31	6	5.19	9	5.41	6	5.50	7	5.39	8	5.38	4	5.16	8	5.27	8	5.21	10
(ヒ)労働環境	5.31	6	5.20	8	5.40	7	5.50	7	5.58	4	5.34	6	5.13	9	5.25	10	5.14	15
(フ)幹線道路	5.28	8	5.27	5	5.29	10	5.59	4	5.55	5	5.29	9	5.26	5	5.17	14	4.94	19
(ウ)教育環境	5.28	8	5.23	6	5.33	9	5.38	10	5.45	7	5.32	7	5.09	11	5.24	11	5.26	8
(エ)公共交通網	5.24	10	5.10	10	5.34	8	5.51	6	5.27	10	5.24	10	5.21	6	5.21	12	5.00	18
(ク)ごみ処理	5.13	11	4.98	15	5.25	11	5.14	14	4.97	17	4.96	17	5.03	12	5.29	6	5.38	3
(ヌ)障害者福祉	5.12	12	4.99	14	5.22	14	5.21	13	5.08	14	5.07	11	5.02	13	5.18	13	5.15	14
(テ)健康づくり	5.10	13	4.95	16	5.22	14	5.25	12	5.16	11	4.97	16	4.93	18	5.12	15	5.19	11
(ノ)地域産業	5.09	14	5.10	10	5.09	17	5.05	17	5.05	15	5.06	13	5.10	10	5.12	15	5.16	13
(ニ)行財政改革	5.08	15	5.09	12	5.07	18	5.28	11	5.12	12	4.98	15	4.96	16	5.11	17	5.07	16
(二)高齢者福祉	5.07	16	4.87	17	5.23	12	4.90	23	4.85	20	5.01	14	5.02	13	5.29	6	5.28	7
(ハ)農業振興	5.07	16	5.01	13	5.12	16	5.01	19	5.09	13	5.07	11	5.00	15	5.09	18	5.17	12
(ケ)地球環境	5.06	18	4.84	18	5.23	12	5.05	17	4.86	19	4.87	18	4.95	17	5.27	8	5.35	4
(ネ)生活困窮者支援	4.87	19	4.71	19	5.01	20	5.00	21	4.77	22	4.73	21	4.66	19	5.06	19	5.04	17
(サ)男女共同参画	4.83	20	4.60	23	5.02	19	5.13	15	4.88	18	4.85	19	4.48	23	4.87	20	4.83	20
(カ)公園・広場	4.79	21	4.70	20	4.87	21	5.01	19	5.05	15	4.73	21	4.55	21	4.81	21	4.72	25
(コ)人権意識	4.72	22	4.51	25	4.87	21	5.08	16	4.65	23	4.71	23	4.50	22	4.71	23	4.64	26
(ム)中核都市機能	4.67	23	4.68	21	4.66	24	4.83	26	4.54	26	4.57	24	4.56	20	4.74	22	4.79	22
(ホ)市民協働	4.64	24	4.60	23	4.68	23	4.85	25	4.61	25	4.54	25	4.46	24	4.69	24	4.75	23
(マ)デジタル化	4.60	25	4.65	22	4.56	27	4.91	22	4.80	21	4.75	20	4.34	27	4.47	30	4.35	30
(ナ)支え合う地域づくり	4.53	26	4.42	26	4.62	26	4.58	27	4.27	29	4.44	27	4.44	25	4.60	25	4.83	20
(ハ)観光・イベント	4.53	26	4.40	28	4.63	25	4.87	24	4.62	24	4.46	26	4.26	29	4.51	27	4.53	29
(リ)生涯学習・スポーツ	4.48	28	4.41	27	4.53	29	4.58	27	4.44	27	4.38	29	4.27	28	4.48	29	4.74	24
(ア)水・緑の空間	4.46	29	4.35	29	4.55	28	4.48	29	4.28	28	4.41	28	4.38	26	4.59	26	4.61	27
(イ)市民活動	4.23	30	4.14	30	4.30	30	4.29	31	3.86	31	3.97	30	4.14	30	4.49	28	4.59	28
(セ)文化芸術	4.10	31	3.95	31	4.21	31	4.31	30	3.94	30	3.90	32	4.00	31	4.19	31	4.27	31
(フ)多文化共生	4.05	32	3.90	32	4.16	32	4.24	32	3.82	32	3.92	31	3.88	32	4.18	32	4.25	32
(イ)歴史資源	3.93	33	3.80	33	4.04	33	3.92	33	3.64	33	3.76	33	3.87	33	4.16	33	4.19	33
平均	4.92		4.81		5.00		5.05		4.91		4.85		4.79		4.97		4.96	

項目	東部A		東部B		北部A		北部B		中央東部		南東部		中央部		中央南部		南西部		西部A		西部B	
(シ)防災	5.74	1	5.71	1	5.68	1	5.74	1	5.65	1	5.63	1	5.64	1	5.70	1	5.66	1	5.48	2	5.56	1
(ト)地域医療	5.52	2	5.59	2	5.55	2	5.56	2	5.64	2	5.59	2	5.57	2	5.59	2	5.55	2	5.52	1	5.50	2
(チ)子育て支援	5.34	3	5.47	3	5.47	3	5.44	3	5.50	3	5.45	4	5.34	4	5.48	4	5.42	3	5.13	4	5.39	3
(オ)生活排水	5.26	5	5.18	14	5.45	4	5.36	7	5.42	6	5.47	3	5.32	5	5.52	3	5.40	4	4.89	14	5.24	8
(ス)暮らしの安全	5.24	7	5.34	6	5.35	7	5.40	5	5.44	5	5.31	8	5.37	3	5.44	5	5.35	5	5.09	5	5.37	5
(ホ)都市環境	5.19	9	5.23	9	5.36	6	5.42	4	5.39	7	5.32	7	5.22	8	5.44	5	5.27	8	4.86	15	5.37	5
(ヒ)労働環境	5.16	10	5.36	5	5.38	5	5.30	8	5.35	8	5.43	5	5.15	10	5.36	8	5.30	6	5.29	3	5.38	4
(フ)幹線道路	5.30	4	5.20	10	5.35	7	5.23	9	5.29	9	5.36	6	5.21	9	5.39	7	5.29	7	5.04	6	5.28	7
(ツ)教育環境	5.25	6	5.25	8	5.27	10	5.19	12	5.45	4	5.29	9	5.28	6	5.33	10	5.27	8	5.00	9	5.21	9
(エ)公共交通網	5.21	8	5.20	10	5.28	9	5.20	10	5.25	10	5.28	10	5.25	7	5.36	8	5.25	10	4.90	12	5.07	14
(ク)ごみ処理	5.15	11	5.19	12	5.18	14	5.40	5	5.16	11	5.12	14	5.05	12	5.20	11	5.06	15	4.83	18	5.04	16
(ヌ)障害者福祉	5.14	12	5.26	7	5.25	11	5.08	15	5.04	17	5.10	15	4.98	15	5.15	13	5.20	11	4.99	10	5.15	10
(テ)健康づくり	5.01	17	5.15	15	5.01	18	5.09	13	5.16	11	5.15	13	5.05	12	5.15	13	5.10	14	5.01	8	5.12	11
(ノ)地域産業	5.10	14	5.19	12	5.13	15	4.94	19	5.08	16	5.08	16	5.14	11	5.14	16	5.05	17	4.98	11	5.11	12
(ニ)行財政改革	4.87	19	4.99	18	5.23	12	5.09	13	5.15	14	5.19	11	5.02	14	5.11	17	5.12	12	4.85	17	4.95	17
(二)高齢者福祉	5.02	16	5.41	4	5.20	13	5.03	17	4.97	19	5.06	17	4.83	18	5.17	12	5.12	12	5.03	7	5.05	15
(ハ)農業振興	5.03	15	5.14	16	5.09	17	5.08	15	5.16	11	5.18	12	4.97	16	5.06	18	5.06	15	4.90	12	5.09	13
(ケ)地球環境	5.11	13	5.13	17	5.11	16	5.20	10	5.10	15	5.04	18	4.96	17	5.15	13	5.02	18	4.86	15	4.92	18
(ネ)生活困窮者支援	5.01	17	4.99	18	4.92	20	4.92	20	4.80	21	4.93	19	4.65	21	4.95	19	4.98	19	4.69	19	4.80	19
(サ)男女共同参画	4.85	20	4.93	20	4.97	19	4.97	18	4.85	20	4.83	20	4.66	20	4.95	19	4.75	20	4.58	21	4.70	21
(カ)公園・広場	4.73	21	4.61	27	4.86	21	4.85	21	4.99	18	4.83	20	4.79	19	4.91	21	4.64	24	4.27	29	4.76	20
(コ)人権意識	4.69	22	4.81	21	4.86	21	4.83	22	4.66	24	4.63	25	4.63	22	4.84	22	4.71	22	4.41	26	4.62	22
(ム)中核都市機能	4.52	27	4.67	23	4.73	24	4.55	25	4.72	23	4.81	22	4.58	23	4.75	23	4.72	21	4.63	20	4.57	25
(ホ)市民協働	4.54	24	4.67	23	4.75	23	4.60	24	4.76	22	4.68	24	4.53	25	4.66	24	4.71	22	4.51	24	4.41	28
(マ)デジタル化	4.51	28	4.48	30	4.64	25	4.70	23	4.65	25	4.80	23	4.55	24	4.65	25	4.39	27	4.56	23	4.58	24
(ナ)支え合う地域づくり	4.56	23	4.80	22	4.60	26	4.53	26	4.45	29	4.61	26	4.28	29	4.54	28	4.60	25	4.58	21	4.61	23
(ハ)観光・イベント	4.53	26	4.61	27	4.47	29	4.37	28	4.56	28	4.61	26	4.49	26	4.58	26	4.52	26	4.50	25	4.46	27
(ソ)生涯学習・スポーツ	4.37	29	4.67	23	4.52	27	4.35	29	4.58	27	4.52	28	4.37	28	4.55	27	4.33	28	4.36	28	4.48	26
(ア)水・緑の空間	4.54	24	4.62	26	4.49	28	4.42	27	4.63	26	4.35	29	4.47	27	4.45	29	4.32	29	4.40	27	4.40	29
(タ)市民活動	4.24	30	4.60	29	4.25	30	4.00	31	4.19	31	4.33	30	4.01	31	4.36	30	4.15	30	4.26	30	4.15	30
(セ)文化芸術	4.12	32	4.01	32	4.05	32	3.83	32	4.26	30	4.20	31	4.09	30	4.30	31	3.89	32	3.89	32	3.87	32
(フ)多文化共生	4.22	31	4.12	31	4.21	31	4.10	30	4.19	31	4.10	32	3.84	32	3.99	33	3.93	31	4.10	31	3.94	31
(イ)歴史資源	4.09	33	3.99	33	3.96	33	3.83	32	4.05	33	3.76	33	3.81	33	4.08	32	3.86	33	3.84	33	3.74	33
平均	4.89		4.97		4.97		4.91		4.96		4.95		4.83		4.99		4.89		4.74		4.86	

（５）まちづくり政策の重要度と満足度

行政施策の満足度

	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
(ト)地域医療体制の充実	75.7	15.8	7.0	4.32	1
(オ)生活排水処理の整備	68.6	21.6	8.5	3.88	2
(ク)ごみ処理対策の推進	65.9	19.7	13.0	3.84	3
(ア)水と緑の空間の創出	66.6	21.4	10.6	3.79	4
(テ)健康づくりの推進	58.1	21.4	18.9	3.69	5
(タ)市民活動の活性化	47.1	21.1	30.4	3.54	6
(ソ)生涯学習・スポーツの振興	51.9	25.0	21.7	3.50	7
(セ)文化芸術活動の推進	47.2	22.6	28.8	3.49	8
(カ)公園や広場の整備・充実	58.3	33.2	7.2	3.42	9
(イ)歴史資源の活用	49.3	26.6	22.9	3.39	10
(コ)人権意識の向上	40.9	25.2	32.2	3.28	11
(ナ)支え合う地域づくりの推進	41.3	28.4	28.8	3.23	12
(ハ)農業の振興	39.2	27.6	31.6	3.23	12
(フ)多文化共生社会の実現	27.2	18.6	51.0	3.23	12
(ケ)地球環境への配慮	40.9	29.9	27.8	3.21	15
(ヘ)魅力ある観光やイベントの振興	43.9	30.2	24.4	3.20	16
(ヌ)障害者福祉の充実	32.2	23.8	42.4	3.19	17
(ニ)高齢者福祉の充実	37.6	29.8	31.2	3.12	18
(サ)男女共同参画の推進	38.3	31.3	28.9	3.03	19
(ツ)教育環境の充実	33.0	28.5	36.8	3.03	19
(ネ)生活困窮者等への支援	29.3	25.7	43.6	3.02	21
(チ)子育て支援体制の充実	38.4	33.1	26.9	3.00	22
(エ)公共交通網の充実	47.3	45.7	5.6	2.95	23
(ム)中核都市としての機能強化	30.9	30.0	37.4	2.91	24
(ウ)幹線道路の整備	45.9	47.9	4.8	2.85	25
(ホ)市民との協働の推進	30.3	30.9	37.2	2.84	26
(マ)デジタル化の推進	30.8	37.3	30.3	2.74	27
(ス)暮らしの安全対策の推進	34.7	47.1	16.6	2.64	28
(キ)快適な都市環境の整備	38.0	56.6	4.0	2.58	29
(ヒ)労働環境の整備	28.9	42.8	26.8	2.55	30
(ミ)行財政改革の推進	22.1	32.1	44.2	2.53	31
(ノ)地域産業の創出と振興	27.0	43.1	28.4	2.44	32
(シ)防災対策の充実	30.3	59.8	8.5	2.20	33

満足度【平均値】
3.16（満点 6点）

『満足』＝「満足」＋「やや満足」

『不満』

＝「やや不満」＋「不満」

●満足度得点は小数点以下

第 3 位で四捨五入しているため

同じ得点でも順位が変わることがある。

◆満足度得点の属性別特徴

【性別】33 項目のうち、「(カ)公園・広場」「(ヌ)障害者福祉」「(サ)男女共同参画」「(ヒ)労働環境」の 4 項目は「男性」の方が「女性」より満足度得点が高い。それ以外の項目はすべて「女性」の方が、満足度得点が高い。

【年齢別】「(ト)地域医療」は全年代で第 1 位である。「(オ)生活排水」は 50 歳代以下の年齢層で第 2 位、で 60 歳代以上の年齢層で第 3 位となっている。「(ク)ごみ処理」は 50 歳代以上の年齢層で第 2 位にあげられている。「(セ)文化芸術活動」は「30 歳代」で第 4 位と順位が高い。

【ブロック別】満足度得点の平均値は「北部 A」で最も高く、「東部 B」で最も低い。「(ト)地域医療」は「東部 B」以外で第 1 位、「東部 B」でも第 2 位にあげられている。「(イ)歴史資源の活用」は「西部 A」で第 2 位と他のブロックに比べ順位が高い。

Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（５）まちづくり政策の重要度と満足度

行政施策の満足度（性別、年齢別、ブロック別）

項目	全 体		男 性		女 性		18～29歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
(ト)地域医療	4.32	1	4.25	1	4.37	1	4.58	1	4.24	1	4.24	1
(オ)生活排水	3.88	2	3.84	2	3.92	2	4.36	2	3.82	2	3.76	3
(ウ)ごみ処理	3.84	3	3.77	3	3.89	4	4.11	3	3.69	4	3.69	2
(ア)水・緑の空間	3.79	4	3.63	4	3.91	3	4.08	4	3.80	3	3.67	4
(エ)健康づくり	3.69	5	3.59	5	3.78	5	4.00	6	3.52	8	3.67	5
(イ)市民活動	3.54	6	3.39	9	3.66	6	4.01	5	3.66	7	3.62	7
(ロ)生涯学習・スポーツ	3.50	7	3.43	6	3.56	7	3.90	8	3.67	6	3.60	8
(セ)文化芸術	3.49	8	3.40	8	3.56	7	3.93	7	3.71	4	3.65	6
(カ)公園・広場	3.42	9	3.43	6	3.41	10	3.80	11	3.31	12	3.47	10
(ク)歴史資源	3.39	10	3.26	11	3.50	9	3.87	9	3.40	10	3.50	9
(コ)人権意識	3.28	11	3.27	10	3.28	15	3.76	13	3.20	16	3.24	13
(ナ)支え合う地域づくり	3.23	12	3.12	15	3.31	14	3.70	15	3.22	15	3.21	14
(ハ)農業振興	3.23	12	3.07	17	3.37	11	3.77	12	3.34	11	3.26	12
(フ)多文化共生	3.23	12	3.13	14	3.32	13	3.64	18	3.18	17	3.19	15
(ケ)地球環境	3.21	15	3.18	13	3.25	16	3.66	17	3.46	9	3.11	16
(ヘ)観光・イベント	3.20	16	3.04	19	3.33	12	3.70	15	3.24	14	3.39	11
(ヌ)障害者福祉	3.19	17	3.20	12	3.16	18	3.74	14	3.25	13	3.10	17
(ニ)高齢者福祉	3.12	18	3.05	18	3.17	17	3.86	10	3.18	17	3.05	18
(サ)男女共同参画	3.03	19	3.09	16	2.97	23	3.56	19	3.01	20	2.95	22
(ツ)教育環境	3.03	19	2.91	22	3.14	19	3.27	24	2.76	24	2.86	25
(ネ)生活困窮者支援	3.02	21	2.95	20	3.07	21	3.43	20	2.78	23	2.99	20
(チ)子育て支援	3.00	22	2.88	23	3.10	20	3.17	27	2.59	29	3.05	18
(工)公共交通網	2.95	23	2.93	21	2.96	25	3.41	21	3.10	19	2.91	24
(ム)中核都市機能	2.91	24	2.86	24	2.97	23	3.36	22	2.99	21	2.94	23
(ウ)幹線道路	2.85	25	2.65	26	3.01	22	3.17	27	2.69	26	2.78	26
(ホ)市民協働	2.84	26	2.71	25	2.95	26	3.31	23	2.79	22	2.99	20
(マ)デジタル化	2.74	27	2.58	27	2.87	27	3.09	30	2.76	24	2.70	27
(ス)暮らしの安全	2.64	28	2.55	28	2.71	28	3.21	25	2.62	28	2.43	31
(キ)都市環境	2.58	29	2.53	30	2.60	30	3.20	26	2.68	27	2.46	30
(ヒ)労働環境	2.55	30	2.55	28	2.54	31	2.88	32	2.27	32	2.43	31
(ニ)行財政改革	2.53	31	2.40	31	2.65	29	3.04	31	2.47	31	2.49	29
(ノ)地域産業	2.44	32	2.32	32	2.54	31	3.11	29	2.56	30	2.53	28
(シ)防災	2.20	33	2.07	33	2.30	33	2.69	33	2.09	33	1.98	33
平均	3.16		3.07		3.24		3.59		3.13		3.13	

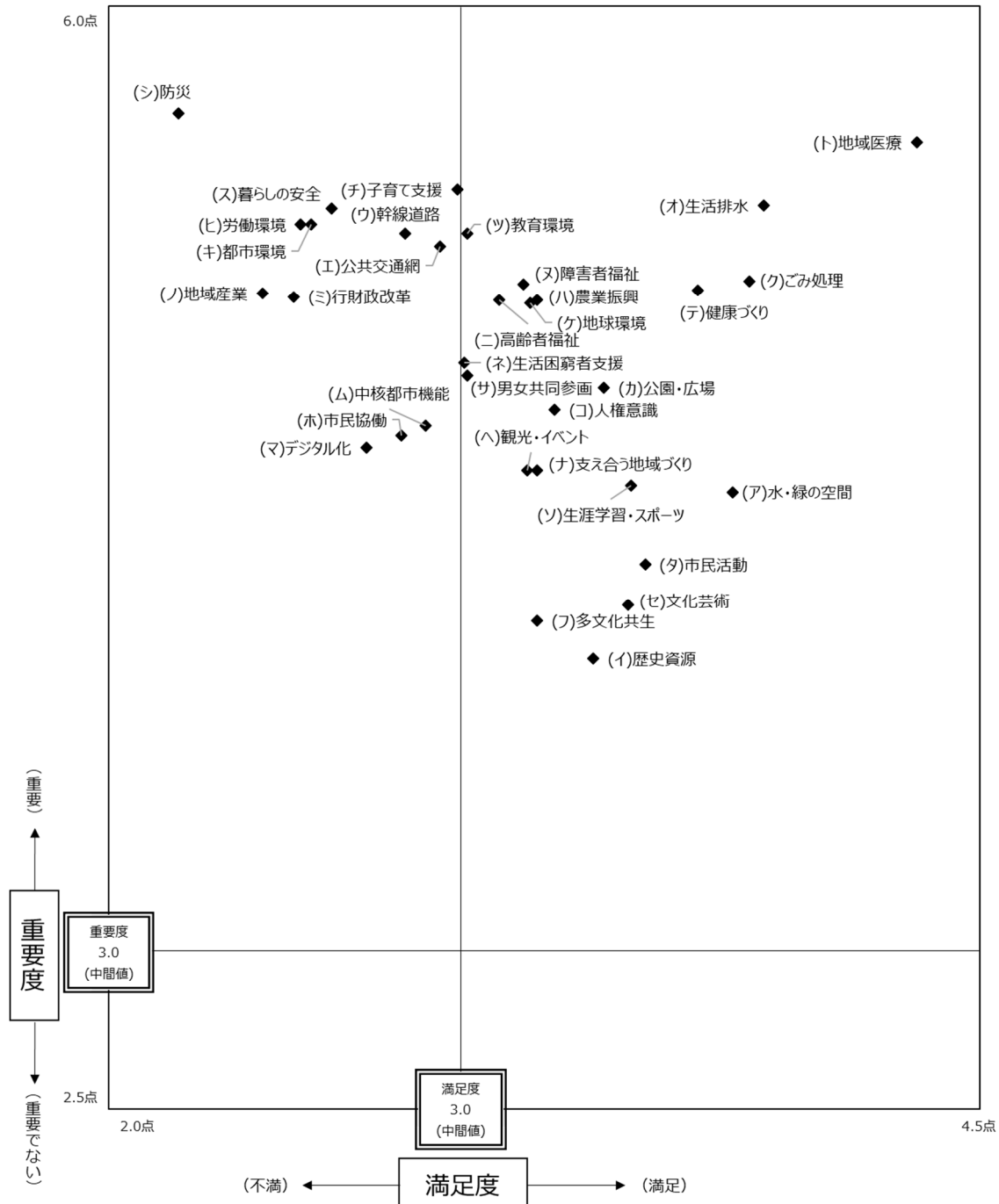
項目	東部A		東部B		北部A		北部B		中央東部		南東部		中央部		中央南部		南西部		西部A		西部B	
(ト)地域医療	4.16	1	3.73	2	4.35	1	4.03	1	4.47	1	4.44	1	4.46	1	4.48	1	4.35	1	3.83	1	4.34	1
(オ)生活排水	3.67	4	3.44	5	3.81	4	3.57	4	4.08	2	4.13	2	3.99	2	4.23	2	4.04	2	3.03	18	3.24	15
(ウ)ごみ処理	3.80	3	3.65	3	4.00	2	3.57	4	3.85	3	3.93	3	3.92	3	3.93	3	3.83	3	3.47	6	3.82	2
(ア)水・緑の空間	3.82	2	4.11	1	3.88	3	3.74	3	3.84	4	3.72	4	3.75	5	3.83	4	3.60	5	3.48	4	3.77	3
(エ)健康づくり	3.60	5	3.51	4	3.70	6	3.75	2	3.73	5	3.59	7	3.82	4	3.77	5	3.63	4	3.52	3	3.68	7
(イ)市民活動	3.28	10	3.35	6	3.74	5	3.36	10	3.54	6	3.63	5	3.45	8	3.69	6	3.44	6	3.44	7	3.64	8
(ロ)生涯学習・スポーツ	3.34	7	3.15	10	3.70	6	3.50	6	3.52	7	3.54	9	3.49	7	3.59	8	3.21	9	3.41	10	3.74	4
(セ)文化芸術	3.37	6	3.06	15	3.58	9	3.50	6	3.50	8	3.57	8	3.54	6	3.57	9	3.30	8	3.48	4	3.70	6
(カ)公園・広場	3.29	9	2.93	18	3.60	8	3.32	12	3.45	9	3.60	6	3.40	11	3.60	7	3.14	12	2.94	20	3.72	5
(ク)歴史資源	3.31	8	3.23	9	3.55	10	3.32	12	3.35	10	3.44	11	3.45	8	3.29	14	3.34	7	3.56	2	3.57	10
(コ)人権意識	3.13	13	3.10	13	3.35	16	3.32	12	3.23	12	3.45	10	3.27	12	3.31	13	3.19	10	3.11	13	3.60	9
(ナ)支え合う地域づくり	3.17	12	3.26	7	3.43	13	3.41	9	3.06	19	3.13	18	3.24	15	3.20	17	3.13	13	3.44	7	3.30	14
(ハ)農業振興	3.05	15	2.76	23	3.44	12	3.43	8	3.15	14	3.24	14	3.44	10	3.52	10	2.95	18	3.10	15	2.90	24
(フ)多文化共生	3.23	11	3.01	17	3.31	17	3.33	11	3.11	17	3.24	14	3.26	13	3.40	11	2.93	19	2.98	19	3.49	12
(ケ)地球環境	3.02	16	3.07	14	3.36	15	3.20	17	3.21	13	3.32	12	3.24	15	3.38	12	3.06	14	2.88	24	3.24	15
(ヘ)観光・イベント	3.10	14	3.03	16	3.53	11	3.31	15	3.10	18	3.10	19	3.03	21	3.29	14	3.01	17	3.42	9	3.54	11
(ヌ)障害者福祉	2.93	19	3.26	7	3.25	18	3.13	18	3.15	14	3.32	12	3.23	17	3.26	16	3.15	11	3.21	11	2.89	25
(ニ)高齢者福祉	2.94	18	2.90	19	3.07	21	3.08	20	3.13	16	3.15	16	3.15	18	3.16	19	3.02	16	3.21	11	3.41	13
(サ)男女共同参画	2.78	23	2.82	22	3.23	19	3.29	16	3.00	20	2.99	21	2.94	24	3.14	20	2.89	21	3.11	13	3.08	19
(ツ)教育環境	2.83	22	3.11	12	3.05	22	3.09	19	2.94	21	2.84	24	3.02	22	3.17	18	3.05	15	3.05	16	3.05	20
(ネ)生活困窮者支援	2.88	20	3.14	11	2.87	27	2.94	24	2.93	22	3.04	20	3.13	19	3.09	21	2.92	20	3.05	16	3.05	20
(チ)子育て支援	2.97	17	2.88	20	3.05	22	3.08	20	2.87	24	2.95	22	3.09	20	3.04	23	2.89	21	2.94	20	3.02	17
(工)公共交通網	2.62	28	2.25	32	3.17	20	2.68	27	3.32	11	3.14	17	3.25	14	3.05	22	2.65	26	2.08	33	2.64	29
(ム)中核都市機能	2.59	29	2.88	20	3.42	14	2.83	25	2.92	23	2.92	23	2.75	27	2.96	25	2.74	24	2.90	22	3.02	23
(ウ)幹線道路	2.84	21	2.67	26	3.01	24	2.96	22	2.84	25	2.56	29	3.01	23	2.87	26	2.81	23	2.67	26	2.88	26
(ホ)市民協働	2.70	25	2.69	25	2.95	26	2.95	23	2.73	26	2.74	25	2.85	26	3.01	24	2.62	27	2.83	25	3.03	22
(マ)デジタル化	2.72	24	2.65	27	2.99	25	2.43	31	2.63	28	2.59	28	2.66	29	2.84	27	2.71	25	2.90	22	3.09	18
(ス)暮らしの安全	2.66	26	2.30	30	2.66	28	2.69	26	2.70	27	2.74	25	2.69	28	2.67	29	2.44	28	2.51	29	2.74	27
(キ)都市環境	2.40	31	2.28	31	2.57	31	2.67	28	2.52	30	2.64	27	2.90	25	2.72	28	2.25	31	2.19	32	2.58	31
(ヒ)労働環境	2.63	27	2.56	28	2.58	30	2.61	29	2.47	31	2.55	30	2.55	30	2.65	30	2.33	29	2.55	28	2.51	32
(ニ)行財政改革	2.39	32	2.71	24	2.66	28	2.38	32	2.56	29	2.45	31	2.53	31	2.55	32	2.30	30	2.62	27	2.73	28
(ノ)地域産業	2.53	30	2.37	29	2.56	32	2.57	30	2.40	32	2.40	32	2.21	33	2.63	31	2.21	33	2.44	30	2.48	33
(シ)防災	1.97	33	1.78	33	2.02	33	1.82	33	2.34	33	2.23	33	2.30	32	2.28	33	2.24	32	2.29	31	2.64	29
平均	3.04		2.95		3.27		3.13		3.17		3.18		3.20		3.26		3.03		3.02		3.23	

（５）まちづくり政策の重要度と満足度

１－２ 重要度・満足度のプロット図

各施策の重要度と満足度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、33 項目を図示した。重要度・満足度それぞれ中間値（3.0）を境界にして領域を４つに分けると、33 項目はすべて重要度が中間値（3.0）を上回るため、33 項目はどれも散布図の上半分に位置している。

重要度・満足度のプロット図



33 項目の重要度得点の全体平均は、4.92（満点 6 点）で中間値（3.0）を大きく上回り、満足度得点の全体平均 3.16、（満点 6 点）は中間値をわずかに上まわっている。

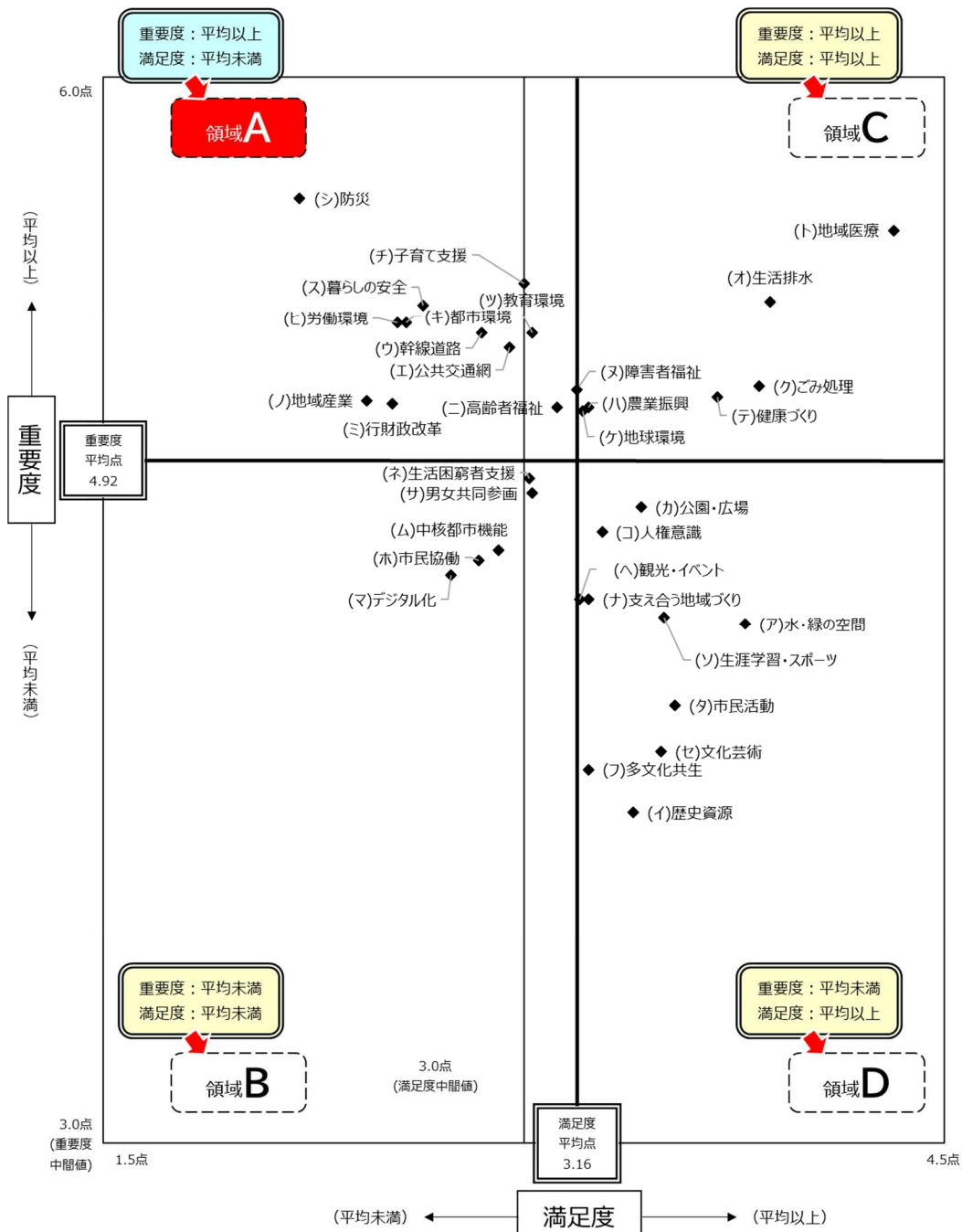
【領域 A】（重要度が高く、満足度が低い項目）に 12 項目が該当している。

（５）まちづくり政策の重要度と満足度

重要度得点・満足度得点の平均値を境界として、A、B、C、Dの4つの領域に区分したプロット図を作成した。各領域に該当する項目には、次のような特徴が見い出せる。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度を上げていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。

重要度・満足度のプロット図（領域別）



（５）まちづくり政策の重要度と満足度

行政施策の重要度×満足度

項目	重要度			満足度			重要度 × 満足度
	重要度 得点	全体 平均 との差	順位	満足度 得点	全体 平均 との差	順位	
(シ)防災対策の充実	5.66	0.74	1	2.20	▲ 0.96	33	A
(チ)子育て支援体制の充実	5.42	0.50	3	3.00	▲ 0.16	22	A
(ス)暮らしの安全対策の推進	5.36	0.44	5	2.64	▲ 0.52	28	A
(キ)快適な都市環境の整備	5.31	0.39	6	2.58	▲ 0.58	29	A
(ヒ)労働環境の整備	5.31	0.39	6	2.55	▲ 0.61	30	A
(ウ)幹線道路の整備	5.28	0.36	8	2.85	▲ 0.31	25	A
(ツ)教育環境の充実	5.28	0.36	8	3.03	▲ 0.13	19	A
(エ)公共交通網の充実	5.24	0.32	10	2.95	▲ 0.21	23	A
(ノ)地域産業の創出と振興	5.09	0.17	14	2.44	▲ 0.72	32	A
(ミ)行財政改革の推進	5.08	0.16	15	2.53	▲ 0.63	31	A
(ニ)高齢者福祉の充実	5.07	0.15	16	3.12	▲ 0.04	18	A
(ネ)生活困窮者等への支援	4.87	▲ 0.05	19	3.02	▲ 0.14	21	B
(サ)男女共同参画の推進	4.83	▲ 0.09	20	3.03	▲ 0.13	19	B
(ム)中核都市としての機能強化	4.67	▲ 0.25	23	2.91	▲ 0.25	24	B
(ホ)市民との協働の推進	4.64	▲ 0.28	24	2.84	▲ 0.32	26	B
(マ)デジタル化の推進	4.60	▲ 0.32	25	2.74	▲ 0.42	27	B
(ト)地域医療体制の充実	5.57	0.65	2	4.32	1.16	1	C
(オ)生活排水処理の整備	5.37	0.45	4	3.88	0.72	2	C
(ク)ごみ処理対策の推進	5.13	0.21	11	3.84	0.68	3	C
(ヌ)障害者福祉の充実	5.12	0.20	12	3.19	0.03	17	C
(テ)健康づくりの推進	5.10	0.18	13	3.69	0.53	5	C
(ハ)農業の振興	5.07	0.15	16	3.23	0.07	12	C
(ケ)地球環境への配慮	5.06	0.14	18	3.21	0.05	15	C
(カ)公園や広場の整備・充実	4.79	▲ 0.13	21	3.42	0.26	9	D
(コ)人権意識の向上	4.72	▲ 0.20	22	3.28	0.12	11	D
(ナ)支え合う地域づくりの推進	4.53	▲ 0.39	26	3.23	0.07	12	D
(ヘ)魅力ある観光やイベントの振興	4.53	▲ 0.39	26	3.20	0.04	16	D
(ソ)生涯学習・スポーツの振興	4.48	▲ 0.44	28	3.50	0.34	7	D
(ア)水と緑の空間の創出	4.46	▲ 0.46	29	3.79	0.63	4	D
(タ)市民活動の活性化	4.23	▲ 0.69	30	3.54	0.38	6	D
(セ)文化芸術活動の推進	4.10	▲ 0.82	31	3.49	0.33	8	D
(フ)多文化共生社会の実現	4.05	▲ 0.87	32	3.23	0.07	12	D
(イ)歴史資源の活用	3.93	▲ 0.99	33	3.39	0.23	10	D
【全体平均】	4.92			3.16			

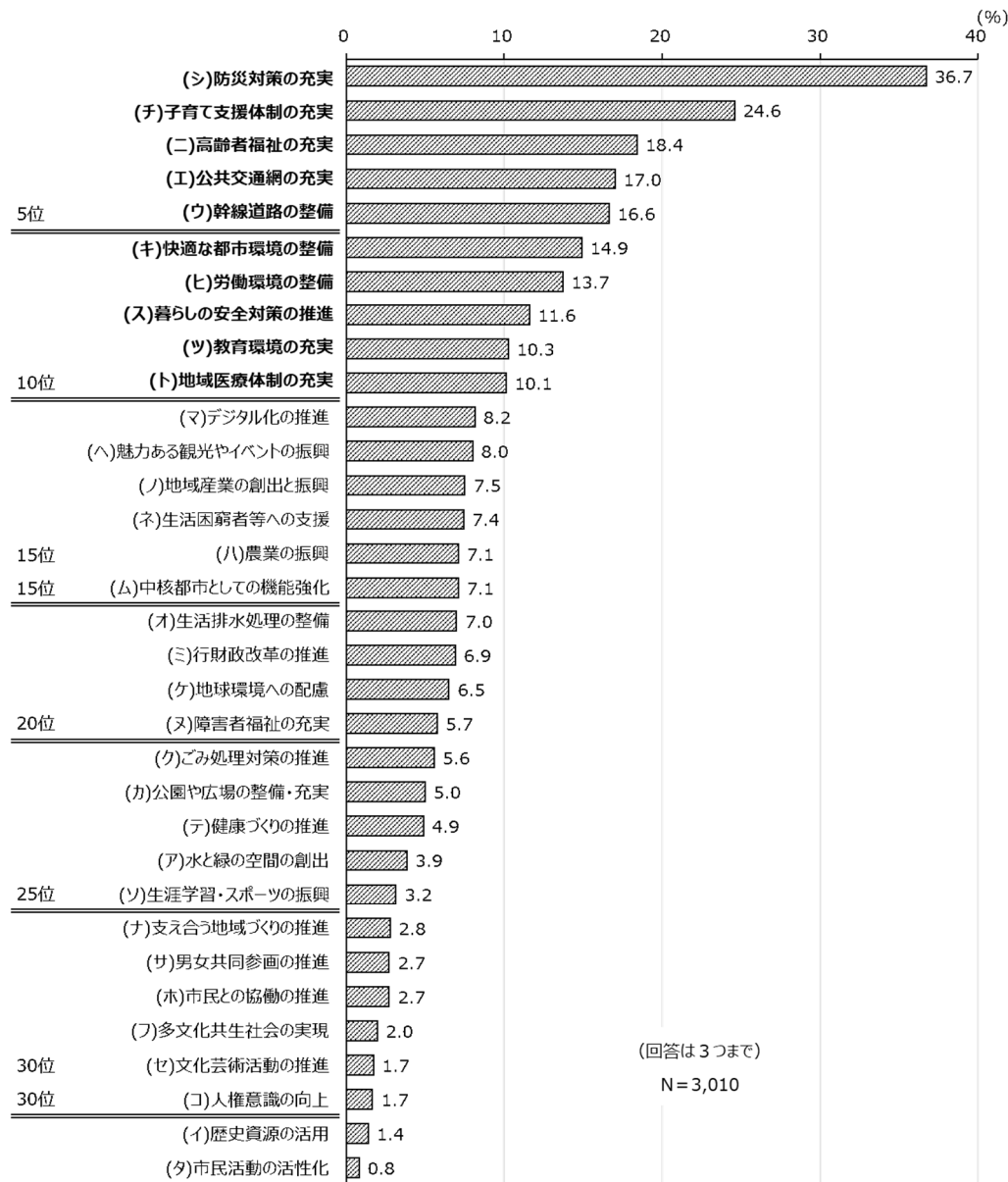
«重要度×満足度» 領域 A：【重要度】平均以上【満足度】平均未満 領域 B：【重要度】【満足度】ともに平均未満、
 領域 C：【重要度】【満足度】ともに平均以上 領域 D：【重要度】平均未満【満足度】平均以上
 «全体平均» 33 項目の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均なお 4 領域ごとに、散布図において重要度平均
 と満足度平均が交わった地点から遠いところにある順に並べている（前項参照）。

（６）まちづくり政策で特に力を入れて欲しいもの

問６ 問５で聞いた（ア）～（ム）の取り組みの中で、「特に力を入れて欲しいもの」を３つまで選び、その項目のカナを記入してください。

「（シ）防災対策の充実」が 36.7%と最も高く、次いで「（チ）子育て支援体制の充実」24.6%が高い。一方で、最も割合が低いのは「（タ）市民活動の活性化」で 0.8%である。

※令和５年７月の大雨災害による被害が大きく、その直後の調査であった影響もあると考えられる。



【性別】男女とも「（シ）防災」の割合が最も高く、3割を超え、第１位となっている。「男性」の第２位は「（ウ）幹線道路」、「女性」の第２位は「（チ）子育て支援」となっている。

【年齢別】すべての年齢層で「（シ）防災」は上位にあり、「30歳代」「18～29歳代」で「（ヒ）労働環境」は順位が高い傾向にある。

【ブロック別】中央東部では、「（チ）子育て支援」が１位、その他地域では、「（シ）防災」が１位となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（１．久留米市の住みやすさや愛着度について）

（６）まちづくり政策で特に力を入れて欲しいもの

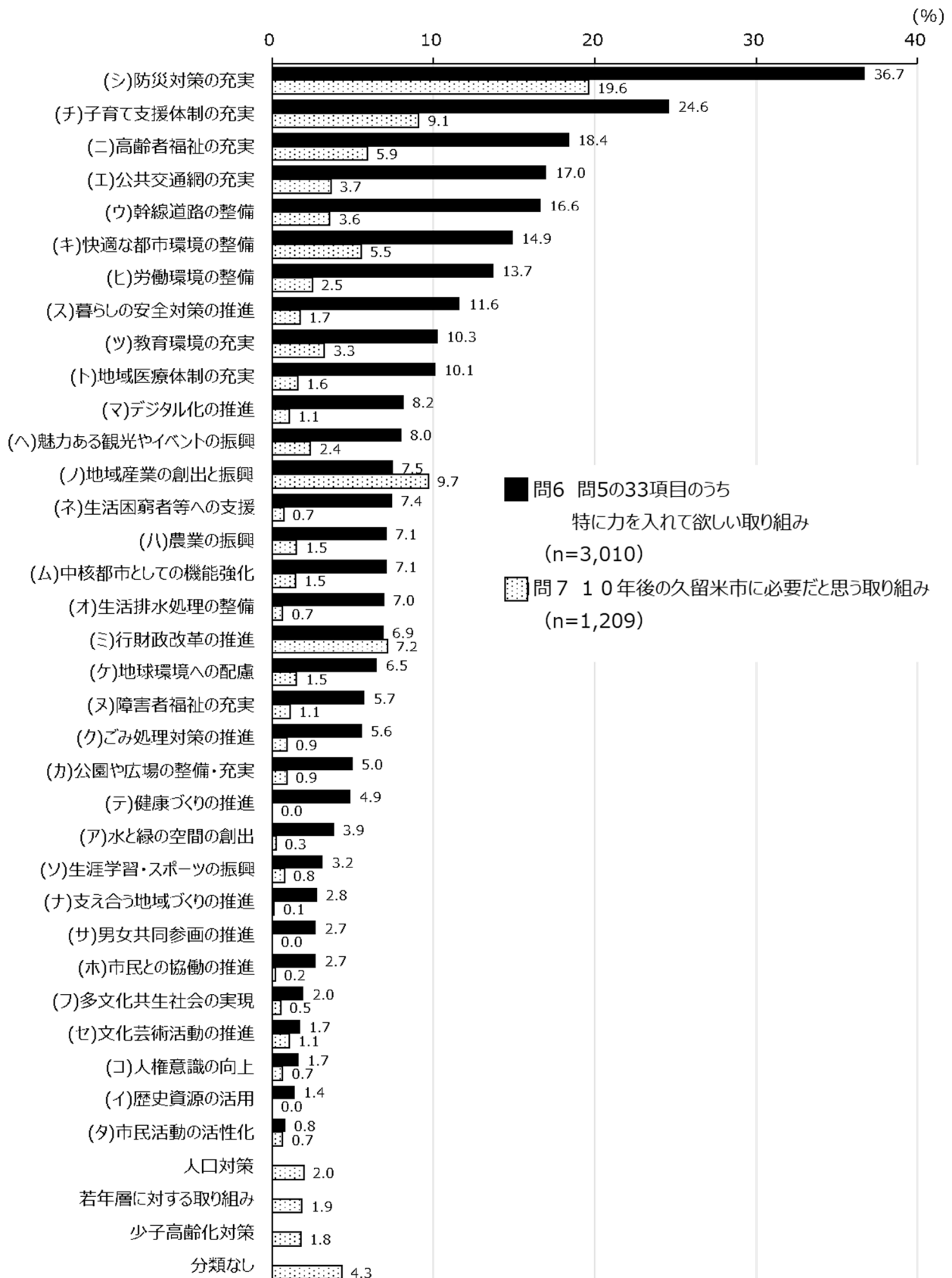
特に力を入れて欲しいもの（性別、年齢別、ブロック別）

項目	全 体		男 性		女 性		18～29歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上	
(シ)防災	36.7	1	38.4	1	35.5	1	32.0	2	34.8	2	39.2	1	41.0	1	39.6	1	33.0	2
(チ)子育て支援	24.6	2	20.9	3	27.6	2	33.3	1	48.6	1	29.3	2	15.8	5	17.3	4	9.5	9
(ニ)高齢者福祉	18.4	3	16.7	4	19.8	3	5.4	15	6.8	13	12.2	10	18.9	4	27.9	2	36.1	1
(工)公共交通網	17.0	4	15.0	5	18.7	4	23.8	3	13.9	6	15.3	5	19.5	2	13.5	6	16.3	3
(ウ)幹線道路	16.6	5	23.1	2	11.6	8	19.2	5	14.4	5	18.2	3	19.3	3	15.0	5	13.5	4
(キ)都市環境	14.9	6	13.5	6	16.1	5	16.1	6	13.1	7	13.7	8	15.4	6	18.1	3	13.1	5
(七)労働環境	13.7	7	11.4	7	15.5	6	21.3	4	21.9	3	14.9	6	13.8	7	8.5	13	4.6	20
(ス)暮らしの安全	11.6	8	10.4	9	12.6	7	10.9	9	11.1	9	14.2	7	12.6	8	11.9	7	8.7	12
(ツ)教育環境	10.3	9	9.5	11	10.9	10	13.0	7	20.2	4	16.0	4	6.1	18	4.8	21	3.6	25
(ト)地域医療	10.1	10	8.3	13	11.5	9	5.9	13	6.0	15	12.7	9	10.7	9	11.9	7	11.8	6
(マ)デジタル化	8.2	11	10.8	8	6.1	16	11.3	8	11.6	8	9.0	11	6.7	16	6.9	19	4.6	20
(ハ)観光・イベント	8.0	12	7.7	16	8.2	11	8.8	11	7.1	12	7.6	12	10.7	9	7.3	18	6.5	18
(ノ)地域産業	7.5	13	9.6	10	5.9	18	3.6	22	5.8	17	6.4	15	10.3	11	9.2	10	8.9	11
(ネ)生活困窮者支援	7.4	14	7.5	17	7.4	13	9.0	10	8.1	10	6.3	16	6.3	17	8.1	15	7.4	14
(ハ)農業振興	7.1	15	8.0	15	6.4	15	3.6	22	6.8	13	7.5	13	8.7	13	8.5	13	7.4	14
(ム)中核都市機能	7.1	15	9.5	11	5.2	20	6.3	12	5.3	18	5.7	20	10.1	12	7.9	16	7.2	16
(オ)生活排水	7.0	17	7.2	18	6.8	14	4.4	19	4.5	19	6.1	18	5.5	20	10.2	9	10.4	8
(三)行財政改革	6.9	18	8.1	14	5.9	18	3.3	24	4.5	19	6.3	16	7.3	14	7.5	17	11.4	7
(ケ)地球環境	6.5	19	4.7	22	7.9	12	4.4	19	3.0	23	6.1	18	7.1	15	9.0	11	8.5	13
(ヌ)障害者福祉	5.7	20	6.3	19	5.2	20	5.0	16	6.0	15	6.8	14	5.5	20	4.4	22	6.6	17
(ク)ごみ処理	5.6	21	5.0	21	6.1	16	2.5	29	3.0	23	4.5	22	4.9	22	8.7	12	9.1	10
(カ)公園・広場	5.0	22	5.3	20	4.7	23	5.6	14	7.3	11	5.6	21	3.6	23	4.0	25	4.4	22
(テ)健康づくり	4.9	23	4.4	23	5.2	20	4.8	17	3.3	21	3.8	24	6.1	18	5.2	20	5.7	19
(ア)水・緑の空間	3.9	24	3.8	24	3.9	24	4.8	17	3.3	21	4.3	23	3.6	23	4.2	24	2.8	26
(イ)生涯学習・スポーツ	3.2	25	3.5	25	2.9	26	3.3	24	3.0	23	2.6	27	3.2	25	4.0	25	2.8	26
(ナ)支え合う地域づくり	2.8	26	2.9	26	2.7	28	2.5	29	1.3	29	3.3	25	2.6	26	2.9	28	3.8	24
(サ)男女共同参画	2.7	27	1.7	30	3.5	25	2.9	27	1.5	26	3.3	25	2.2	28	4.4	22	1.7	31
(ホ)市民協働	2.7	27	2.6	27	2.8	27	3.1	26	1.5	26	1.2	30	2.2	28	4.0	25	4.2	23
(フ)多文化共生	2.0	29	2.0	28	1.9	30	4.4	19	0.3	32	1.2	30	2.4	27	1.2	30	2.3	28
(セ)文化芸術	1.7	30	1.1	33	2.2	29	2.1	31	0.8	31	2.1	28	2.2	28	1.0	31	2.1	29
(コ)人権意識	1.7	30	2.0	28	1.4	31	2.7	28	1.5	26	1.9	29	1.6	31	0.8	32	1.5	32
(イ)歴史資源	1.4	32	1.6	31	1.2	32	0.4	33	1.3	29	1.0	33	1.4	32	2.3	29	1.9	30
(ウ)市民活動	0.8	33	1.2	32	0.5	33	0.8	32	0.0	33	1.2	30	0.6	33	0.8	32	1.3	33

項目	東部A		東部B		北部A		北部B		中央東部		南東部		中央部		中央南部		南西部		西部A		西部B	
(シ)防災	48.4	1	45.9	1	40.2	1	46.9	1	29.8	2	29.1	1	36.7	1	37.3	1	33.3	1	36.9	1	29.8	1
(チ)子育て支援	17.2	5	20.5	2	24.9	2	22.9	2	30.6	1	23.5	2	27.6	2	25.4	2	25.2	2	22.3	3	21.1	2
(ニ)高齢者福祉	21.9	2	19.5	4	16.7	5	18.9	3	15.0	5	19.6	4	17.7	3	19.3	3	19.5	3	20.4	4	17.0	5
(工)公共交通網	20.8	3	20.5	2	18.9	3	14.9	4	11.8	8	15.1	5	14.8	5	17.8	4	18.1	5	23.3	2	19.9	3
(ウ)幹線道路	19.8	4	16.8	5	17.4	4	13.1	5	15.3	4	20.4	3	16.4	4	15.6	5	17.7	6	9.7	8	18.7	4
(キ)都市環境	14.1	7	10.8	11	12.5	8	11.4	7	21.8	3	11.6	7	13.3	6	14.8	7	18.8	4	15.5	5	17.0	5
(七)労働環境	16.1	6	12.4	9	13.9	7	9.7	9	13.3	6	14.0	6	12.2	7	15.0	6	16.0	7	9.7	8	17.0	5
(ス)暮らしの安全	11.5	8	13.5	7	14.6	6	10.9	8	10.8	9	8.1	14	11.7	10	11.6	9	10.6	9	12.6	6	14.6	8
(ツ)教育環境	10.9	9	5.9	15	10.3	10	9.7	9	12.8	7	9.8	9	12.2	7	10.3	10	9.6	10	7.8	12	10.5	9
(ト)地域医療	6.8	16	12.4	9	11.0	9	8.6	11	10.0	10	8.4	12	10.4	12	12.2	8	11.0	8	10.7	7	7.0	13
(マ)デジタル化	8.3	11	3.8	21	10.0	11	12.6	6	9.3	12	7.7	15	7.8	15	8.3	13	6.4	15	7.8	12	7.0	13
(ハ)観光・イベント	6.3	17	5.4	16	5.0	19	5.1	19	10.0	10	8.8	10	12.0	9	9.3	12	6.7	13	4.9	19	6.4	16
(ノ)地域産業	7.3	15	3.2	24	5.0	19	8.0	12	9.3	12	8.8	10	10.7	11	6.7	17	7.1	12	6.8	15	7.6	12
(ネ)生活困窮者支援	8.3	11	4.3	18	6.4	17	6.9	14	6.3	17	10.2	8	6.8	16	9.7	11	6.7	13	4.9	19	4.1	24
(ハ)農業振興	5.7	19	15.7	6	7.5	12	6.9	14	8.3	15	5.6	21	5.5	21	5.1	21	6.0	17	9.7	8	10.5	9
(ム)中核都市機能	6.3	17	7.0	14	7.5	12	6.9	14	8.5	14	6.0	20	8.3	14	7.7	14	6.4	15	3.9	22	6.4	16
(オ)生活排水	9.4	10	13.0	8	7.5	12	6.3	17	4.8	22	4.9	22	5.5	21	6.9	15	6.0	17	9.7	8	9.9	11
(三)行財政改革	8.3	11	3.8	21	7.5	12	4.6	20	6.3	17	7.0	17	9.1	13	6.3	18	5.7	20	7.8	12	7.0	13
(ケ)地球環境	8.3	11	7.6	13	7.5	12	5.7	18	6.8	16	3.2	28	6.5	18	6.9	15	8.2	11	2.9	26	5.3	19
(ヌ)障害者福祉	5.2	20	10.8	11	5.0	19	4.0	23	5.0	19	7.0	17	6.8	16	5.7	20	3.5	24	3.9	22	4.7	21
(ク)ごみ処理	3.1	23	4.3	18	5.0	19	8.0	12	4.8	22	7.4	16	5.7	20	5.9	19	6.0	17	5.8	18	4.7	21
(カ)公園・広場	2.6	24	4.9	17	5.3	18	4.0	23	5.0	19	6.7	19	6.0	19	4.7	22	4.6	22	2.9	26	5.8	18
(テ)健康づくり	4.7	21	2.2	27	3.9	23	2.9	25	5.0	19	8.4	12	5.5	21	3.9	24	5.3	21	6.8	15	5.3	19
(ア)水・緑の空間	2.6	24	2.2	27	3.9	23	4.6	20	4.5	24	3.9	24	4.7	24	4.5	23	3.2	26	1.0	32	3.5	25
(イ)生涯学習・スポーツ	2.1	27	3.8	21	2.5	26	4.6	20	3.8	25	3.5	26	2.9	28	1.2	31	3.5	24	6.8	15	4.7	21
(ナ)支え合う地域づくり	3.6	22	4.3	18	2.1	29	2.3	27	3.5	26	3.5	26	3.6	25	1.8	28	0.7	31	4.9	19	2.3	26
(サ)男女共同参画	2.1	27	2.7	25	2.5	26	2.9	25	3.5	26	4.9	22	1.0	31	2.2	27	4.3	23	1.9	29	2.3	26
(ホ)市民協働	2.1	27	1.6	29	3.6	25	1.7	30	2.3	29	3.9	24	3.1	26	3.2	25	2.8	27	2.9	26	0.6	32
(フ)多文化共生	1.6	30	2.7	25	2.5	26	0.6	31	3.0	28	1.1	31	2.3	29	0.8	32	2.5	28	3.9	22	1.2	30
(セ)文化芸術	0.5	32	1.6	29	1.8	31	0.6	31	2.3	29	1.4	30	3.1	26	2.6	26	0.7	31	1.0	32	0.6	32
(コ)人権意識	2.6	24	1.6	29	1.4	32	2.3	27	2.0	31	1.1	31	1.3	30	1.6	29	1.4	29	1.9	29	1.8	29
(イ)歴史資源	0.0	33	0.5	32	2.1	29	2.3	27	1.8	32	0.4	33	0.5	32	1.4	30	1.4	29	3.9	22	2.3	26
(ウ)市民活動	1.0	31	0.5	32	1.4	32	0.6	31	0.8	33	1.8	29	0.5	32	0.2	33	0.7	31	1.9	29	1.2	30

問 7 その他、10 年後の久留米市に必要だと思う取り組みがあれば記入してください。（自由記述）

特に力を入れて欲しい取り組みと、10 年後に必要だと思う取り組みを比較。「(ノ) 地域産業の創出と進行」、「(ミ) 行財政改革の推進」の項目は今より将来の方が、必要だと感じられている。



２．ふだんの生活について

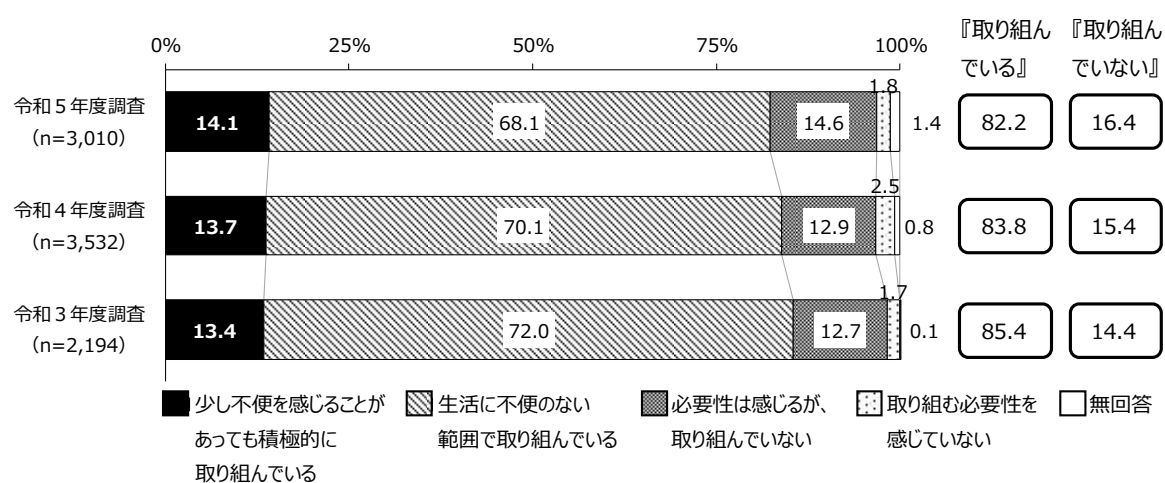
（１）環境に配慮した取り組みの状況

問 8 あなたは、ふだんの生活の中で、環境に配慮した取り組みをしていますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

環境に配慮した取り組みについて『取り組んでいる』は 82.2%、『取り組んでいない』は 16.4%である。

【経年比較】

令和 3 年度調査から『取り組んでいる』の割合は年々減少しているが、「少し不便を感じるがあっても積極的に取り組んでいる」の割合は緩やかに増加している。一方で、『取り組んでいない』の内訳を令和 4 年度調査と比較すると、「取り組む必要性を感じていない」は減少し、「必要性は感じるが取り組んでいない」は増加している。



【性別】『取り組んでいる』の割合は「女性」が 84.2%、「男性」が 80.0%となり、「女性」が 4.2 ポイント高くなっている。

【性別・年齢別】『取り組んでいる』の割合は「女性：40 歳代」が 90.1%と 9 割を超えており、最も高い。また、「男性：75 歳以上」の 79.3%を除いて、男女とも高い年齢層で『取り組んでいる』の割合が 8 割を超える傾向にある。

【ブロック別】『取り組んでいる』の割合は全ブロックで 7 割後半となっている。「東部 A」が 86.5%で最も高く、「南東部」が 76.1%で最も低い結果となっている。

（１）環境に配慮した取り組みの状況

(%)

		回答者数	環境に配慮した取り組みの状況						
			少し不便を感じることも積極的に取り組んでいる	生活に不便のない範囲で取り組んでいる	必要性は感じるが、取り組んでいない	取り組む必要性を感じていない	無回答	『取り組んでいる』	『取り組んでいない』
全体		3,010 100.0	425 14.1	2,050 68.1	439 14.6	54 1.8	42 1.4	2,475 82.2	493 16.4
性別	男性	1,330	13.1	66.9	15.9	2.7	1.4	80.0	18.6
	女性	1,668	15.0	69.2	13.4	1.0	1.4	84.2	14.4
	()	6	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0
	無回答	6	16.7	33.3	33.3	-	16.7	50.0	33.3
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	8.5	63.0	21.5	3.0	4.0	71.5	24.5
	男性：30歳代	163	6.7	65.6	17.2	7.4	3.1	72.3	24.6
	男性：40歳代	251	11.2	65.7	16.7	6.0	0.4	76.9	22.7
	男性：50歳代	243	16.9	68.7	13.2	0.4	0.8	85.6	13.6
	男性：60～64歳	115	17.4	67.0	15.7	-	-	84.4	15.7
	男性：65～69歳	118	11.9	74.6	11.9	0.8	0.8	86.5	12.7
	男性：70～74歳	150	18.7	69.3	12.0	-	-	88.0	12.0
	男性：75歳以上	87	17.2	62.1	18.4	1.1	1.1	79.3	19.5
	女性：18～29歳	275	7.6	65.1	24.0	1.1	2.2	72.7	25.1
	女性：30歳代	232	11.6	65.9	18.1	1.7	2.6	77.5	19.8
	女性：40歳代	324	14.2	75.9	7.7	1.5	0.6	90.1	9.2
	女性：50歳代	263	16.7	71.5	11.0	0.4	0.4	88.2	11.4
	女性：60～64歳	136	14.7	72.8	11.8	0.7	-	87.5	12.5
	女性：65～69歳	150	14.0	75.3	7.3	2.0	1.3	89.3	9.3
	女性：70～74歳	179	25.1	63.1	11.2	-	0.6	88.2	11.2
	女性：75歳以上	108	24.1	59.3	13.0	-	3.7	83.4	13.0
	()・無回答	16	6.3	43.8	31.3	6.3	12.5	50.1	37.6
ブロック別	東部A	192	15.1	71.4	10.9	1.6	1.0	86.5	12.5
	東部B（田主丸）	185	13.0	68.6	16.8	1.1	0.5	81.6	17.9
	北部A	281	14.2	69.8	14.2	0.7	1.1	84.0	14.9
	北部B（北野）	175	15.4	62.9	18.3	1.1	2.3	78.3	19.4
	中央東部	399	14.0	70.4	12.3	2.0	1.3	84.4	14.3
	南東部	285	15.4	60.7	18.2	1.8	3.9	76.1	20.0
	中央部	384	14.6	67.4	14.6	2.3	1.0	82.0	16.9
	中央南部	507	14.2	71.6	11.8	2.0	0.4	85.8	13.8
	南西部	282	12.8	68.4	16.0	1.1	1.8	81.2	17.1
	西部A（城島）	103	12.6	70.9	11.7	2.9	1.9	83.5	14.6
	西部B（三瀬）	171	11.7	67.3	16.4	2.9	1.8	79.0	19.3
	わからない・無回答	46	17.4	50.0	28.3	4.3	-	67.4	32.6

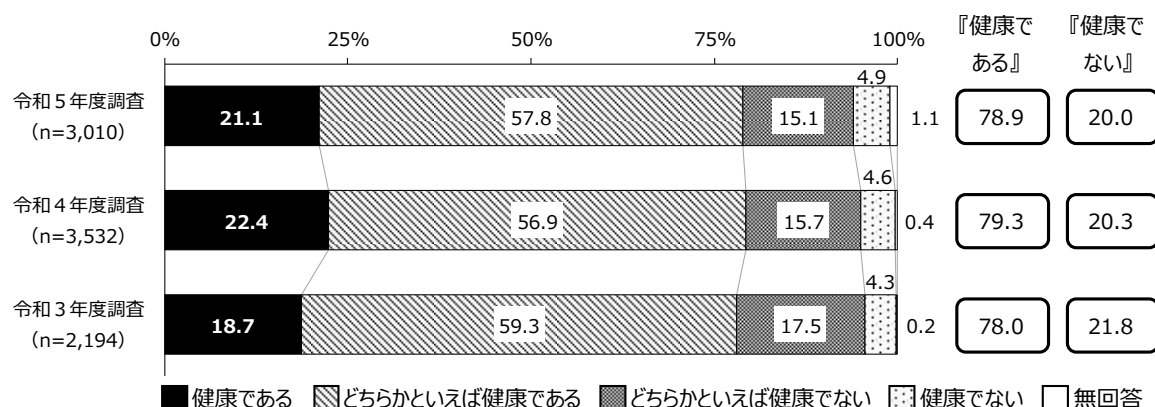
（２）自分自身の健康状況

問 9 あなたは、あなた自身の健康についてどう感じますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

「健康である」と「どちらかといえば健康である」をあわせた『健康である』が 78.9%となっている。一方で、「健康でない」と「どちらかといえば健康でない」をあわせた『健康でない』は 20.0%である。

【経年比較】

令和 4 年度調査と比較して『健康である』、『健康でない』がともにやや減少したが大差はない。



【性別】『健康である』の割合は「女性」が 81.5%、「男性」が 75.6%と「女性」が 5.9 ポイント高い。

【性別・年齢別】『健康である』の割合が最も高いのは『女性：18～29 歳』で 87.3%である。『健康でない』の割合は「男性：75 歳以上」が 34.5%で最も高く、次いで「女性：75 歳以上」が 31.5%となっている。

【ブロック別】『健康である』の割合は「北部 B（北野）」、「東部 B（田主丸）」、「中央部」、「北部 A」、「中央東部」で 8 割を超えており、「北部 B（北野）」が 82.9%で最も高い結果となっている。一方で、「東部 A」は 75.5%と最も低い。

（２）自分自身の健康状況

(%)

		回答者数	自分自身の健康状況						
			健康である	健康どちらかといえ	健康どちらかといえ	健康でない	無回答	『健康である』	『健康でない』
全体		3,010 100.0	634 21.1	1,740 57.8	456 15.1	148 4.9	32 1.1	2,374 78.9	604 20.0
性別	男性	1,330	19.0	56.6	17.1	6.1	1.1	75.6	23.2
	女性	1,668	22.7	58.8	13.6	4.0	1.0	81.5	17.6
	()	6	16.7	83.3	-	-	-	100.0	-
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6	16.7
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	35.0	45.5	13.0	2.5	4.0	80.5	15.5
	男性：30歳代	163	24.5	54.0	13.5	6.1	1.8	78.5	19.6
	男性：40歳代	251	17.9	58.6	16.3	6.8	0.4	76.5	23.1
	男性：50歳代	243	16.5	59.3	19.8	3.7	0.8	75.8	23.5
	男性：60～64歳	115	11.3	66.1	17.4	5.2	-	77.4	22.6
	男性：65～69歳	118	11.0	57.6	22.0	8.5	0.8	68.6	30.5
	男性：70～74歳	150	14.0	60.7	18.0	7.3	-	74.7	25.3
	男性：75歳以上	87	12.6	52.9	20.7	13.8	-	65.5	34.5
	女性：18～29歳	275	44.0	43.3	8.7	1.8	2.2	87.3	10.5
	女性：30歳代	232	22.8	62.9	9.5	2.6	2.2	85.7	12.1
	女性：40歳代	324	21.3	59.9	15.1	3.4	0.3	81.2	18.5
	女性：50歳代	263	17.9	62.4	16.7	2.7	0.4	80.3	19.4
	女性：60～64歳	136	22.8	60.3	12.5	4.4	-	83.1	16.9
	女性：65～69歳	150	10.7	70.0	14.0	4.7	0.7	80.7	18.7
	女性：70～74歳	179	16.8	60.3	15.6	7.3	-	77.1	22.9
	女性：75歳以上	108	10.2	57.4	20.4	11.1	0.9	67.6	31.5
	()・無回答	16	18.8	56.3	6.3	6.3	12.5	75.1	12.6
ブロック別	東部A	192	14.6	60.9	19.8	4.2	0.5	75.5	24.0
	東部B（田主丸）	185	22.2	60.0	13.5	3.8	0.5	82.2	17.3
	北部A	281	23.1	57.7	13.9	4.3	1.1	80.8	18.2
	北部B（北野）	175	22.9	60.0	9.7	5.7	1.7	82.9	15.4
	中央東部	399	22.6	57.6	14.5	4.3	1.0	80.2	18.8
	南東部	285	20.4	56.1	15.4	4.9	3.2	76.5	20.3
	中央部	384	24.7	56.5	13.0	5.2	0.5	81.2	18.2
	中央南部	507	18.7	58.4	17.0	5.5	0.4	77.1	22.5
	南西部	282	17.0	61.0	16.7	3.9	1.4	78.0	20.6
	西部A（城島）	103	30.1	48.5	13.6	6.8	1.0	78.6	20.4
	西部B（三瀬）	171	17.0	59.6	17.5	4.7	1.2	76.6	22.2
	わからない・無回答	46	30.4	39.1	17.4	13.0	-	69.5	30.4

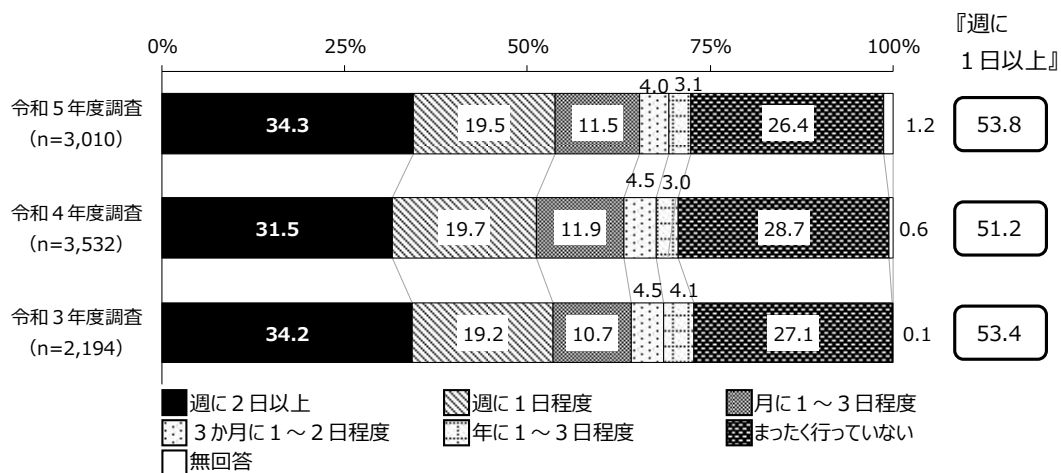
（３）運動・スポーツ活動の状況

問 10 あなたは、どれくらいの頻度で、健康づくりのために体を動かしたり、運動をしたりしていますか。（１日３０分以上）。
（あてはまる番号 1 つだけ）

「週に２日以上」が 34.3%と最も高く、次いで「まったく行っていない」が 26.4%となった。「週に２日以上」と「週に１日程度」をあわせた『週に１日以上』は 53.8%である。

【経年比較】

「週に２日以上」が令和４年度調査に比べて 2.8 ポイント増加し、令和３年度調査とほぼ同じ割合である。「週に２日以上」と「週に１日程度」をあわせた『週に１日以上』はわずかではあるが、令和５年度が令和３年度からの意識調査において最も高い。



【性別】「まったく行っていない」割合は「女性」が 31.3%、「男性」が 20.5%となり「女性」が 10.8 ポイント高く、各選択肢の中で最も差が大きくなっている。

【年齢別】「週に２日以上」は「70～74 歳」が 55.3%と最も高く、次いで「75 歳以上」が 51.5%となった。高い年齢層において比較的に高い割合となる傾向がある。

【ブロック別】「北部 B（北野）」の「まったく行っていない」割合は 30.3%と最も高く、「週に２日以上」と「週に１日程度」を合わせた『週に１日以上』の割合は 48.5%で最も低い。「東部 A」は「週に２日以上」が 38.5%と最も高く、「週に２日以上」と「週に１日程度」を合わせた『週に１日以上』が 57.3%と最も高い。

【同居家族別】「週に２日以上」の割合は「65 歳以上の人がいる」世帯が 39.0%と最も高く、次いで「障害者手帳を持っている人がある」世帯が 36.4%となっている。一方で、「就学前の子どもがいる」世帯は 22.6%と最も低い結果となっている。

（３）運動・スポーツ活動の状況

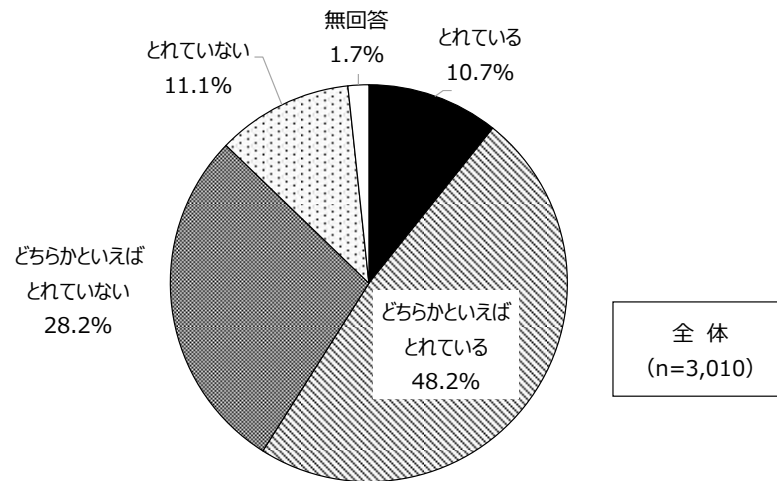
(%)

		回 答 者 数	運動・スポーツ活動の状況							『週に1日以上』
			週に2日以上	週に1日程度	月に1～3日程度	3か月に1～2日程度	年に1～3日程度	まったく行っていない	無回答	
全体		3,010 100.0	1,033 34.3	587 19.5	346 11.5	121 4.0	92 3.1	795 26.4	36 1.2	1,620 53.8
性別	男性	1,330	38.2	20.4	11.7	4.5	3.5	20.5	1.2	58.6
	女性	1,668	31.1	18.8	11.4	3.7	2.6	31.3	1.1	49.9
	()	6	50.0	33.3	-	-	16.7	-	-	83.3
	無回答	6	50.0	16.7	-	-	-	16.7	16.7	66.7
年齢別	18～29歳	478	30.5	18.4	16.1	4.4	3.6	24.1	2.9	48.9
	30歳代	397	20.7	18.9	17.1	6.0	4.8	30.5	2.0	39.6
	40歳代	576	26.7	18.8	10.8	6.3	3.5	33.7	0.3	45.5
	50歳代	507	31.2	21.1	11.0	3.6	3.4	29.0	0.8	52.3
	60～64歳	252	36.5	19.0	9.5	2.4	3.2	29.4	-	55.5
	65～69歳	268	43.3	19.0	9.0	2.2	1.1	24.6	0.7	62.3
	70～74歳	329	55.3	19.1	8.2	2.1	1.2	13.4	0.6	74.4
	75歳以上	198	51.5	22.7	4.0	1.5	2.0	16.7	1.5	74.2
	無回答	5	20.0	40.0	-	-	-	20.0	20.0	60.0
ブロック別	東部A	192	38.5	18.8	10.4	1.6	3.6	26.6	0.5	57.3
	東部B（田主丸）	185	35.1	16.8	13.0	3.8	2.7	27.6	1.1	51.9
	北部A	281	28.5	22.8	13.9	2.8	2.1	28.8	1.1	51.3
	北部B（北野）	175	31.4	17.1	10.9	2.9	4.6	30.3	2.9	48.5
	中央東部	399	33.1	20.8	13.5	5.0	3.0	23.6	1.0	53.9
	南東部	285	34.4	20.7	10.5	2.8	2.8	25.6	3.2	55.1
	中央部	384	36.5	20.3	11.7	5.5	2.9	22.7	0.5	56.8
	中央南部	507	36.1	18.5	10.8	4.9	3.0	26.2	0.4	54.6
	南西部	282	34.0	16.7	11.7	5.0	3.2	28.0	1.4	50.7
	西部A（城島）	103	37.9	18.4	8.7	2.9	2.9	27.2	1.9	56.3
	西部B（三瀬）	171	31.6	22.2	8.8	2.9	3.5	29.8	1.2	53.8
	わからない・無回答	46	37.0	17.4	6.5	4.3	4.3	30.4	-	54.4
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	22.6	18.3	15.7	4.8	5.1	30.7	2.8	40.9
	小学生がいる	422	28.7	18.5	15.4	5.9	3.1	27.3	1.2	47.2
	中学生がいる	260	28.5	20.8	12.7	5.4	2.7	29.2	0.8	49.3
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	32.3	22.1	10.3	4.9	3.4	26.2	0.8	54.4
	65歳以上の人がある	991	39.0	19.3	10.1	3.0	2.9	24.9	0.8	58.3
	障害者手帳を持っている人がある	335	36.4	20.0	9.3	4.5	2.4	26.6	0.9	56.4
	上記にあてはまる人はいない	1,060	35.1	19.0	11.7	3.8	3.1	26.4	0.9	54.1
	無回答	38	34.2	31.6	5.3	2.6	2.6	10.5	13.2	65.8

（４）自身や周囲の人のワークライフバランス

問 11 あなたやあなたの周囲の人は、仕事と生活（子育てや地域活動、趣味の時間など）が両立できるワークライフバランスがとれていますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

ライフワークバランスについて、「とれている」、「どちらかといえばとれている」をあわせた『とれている』が 58.9%。一方で、「とれていない」、「どちらかといえばとれていない」をあわせた『とれていない』が 39.3%となっている。



【性別】『とれている』と回答した「女性」の割合は 60.9%、「男性」は 56.7%となり、「女性」が 4.2 ポイント高い。

【年齢別】『とれている』では「70～74 歳」が 65.1%と最も高くなっている。一方で、「30 歳代」が 51.7%と最も低くなっている。

【ブロック別】『とれている』の割合が最も高いのは「北部 A」の 63.7%であり、最も低いのは「南西部」で 54.9%となっている。

【同居家族別】『とれている』の割合は「65 歳以上の人がいる」世帯が 60.8%と最も高い。一方で、「就学前の子どもがいる」世帯が 53.3%と最も低い。

（４）自身や周囲の人のワークライフバランス

(%)

		回答者数	自身や周囲の人のワークライフバランス						
			と れ て い る	と ど ち て ら い か と い え ば	と ど ち て ら い か と い え ば	と れ て い な い	無 回 答	『 と れ て い る 』	『 と れ て い な い 』
全体		3,010 100.0	323 10.7	1,452 48.2	850 28.2	334 11.1	51 1.7	1,775 58.9	1,184 39.3
性別	男性	1,330	11.4	45.3	29.7	12.3	1.4	56.7	42.0
	女性	1,668	10.1	50.8	27.0	10.2	1.9	60.9	37.2
	()	6	16.7	16.7	66.7	-	-	33.4	66.7
	無回答	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	50.0	33.4
年齢別	18～29歳	478	14.4	49.2	24.5	8.8	3.1	63.6	33.3
	30歳代	397	8.6	43.1	32.2	13.9	2.3	51.7	46.1
	40歳代	576	9.5	46.4	29.3	14.4	0.3	55.9	43.7
	50歳代	507	10.3	47.5	30.4	11.2	0.6	57.8	41.6
	60～64歳	252	10.3	50.8	32.5	5.6	0.8	61.1	38.1
	65～69歳	268	9.0	54.1	27.6	8.2	1.1	63.1	35.8
	70～74歳	329	13.4	51.7	22.8	9.7	2.4	65.1	32.5
	75歳以上	198	9.6	47.0	25.8	13.6	4.0	56.6	39.4
	無回答	5	-	40.0	-	40.0	20.0	40.0	40.0
ブロック別	東部A	192	10.4	50.0	27.6	10.4	1.6	60.4	38.0
	東部B（田主丸）	185	7.6	51.9	28.1	10.8	1.6	59.5	38.9
	北部A	281	10.0	53.7	24.2	10.7	1.4	63.7	34.9
	北部B（北野）	175	8.6	49.1	27.4	12.0	2.9	57.7	39.4
	中央東部	399	10.8	45.1	31.1	11.8	1.3	55.9	42.9
	南東部	285	8.1	50.2	27.4	10.5	3.9	58.3	37.9
	中央部	384	10.9	48.7	27.1	12.2	1.0	59.6	39.3
	中央南部	507	12.0	48.7	29.6	9.1	0.6	60.7	38.7
	南西部	282	11.3	43.6	33.3	9.6	2.1	54.9	42.9
	西部A（城島）	103	16.5	42.7	24.3	13.6	2.9	59.2	37.9
	西部B（三瀬）	171	14.0	46.8	23.4	14.0	1.8	60.8	37.4
	わからない・無回答	46	8.7	41.3	30.4	17.4	2.2	50.0	47.8
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	6.1	47.2	30.2	13.7	2.8	53.3	43.9
	小学生がいる	422	9.2	48.6	27.5	13.7	0.9	57.8	41.2
	中学生がいる	260	10.8	46.9	26.9	14.6	0.8	57.7	41.5
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	12.2	44.9	27.4	14.8	0.8	57.1	42.2
	65歳以上の人がいる	991	9.1	51.7	27.9	10.2	1.2	60.8	38.1
	障害者手帳を持っている人がいる	335	9.9	43.6	31.0	14.0	1.5	53.5	45.0
	上記にあてはまる人はいない	1,060	12.8	47.2	28.9	9.4	1.7	60.0	38.3
	無回答	38	5.3	44.7	21.1	13.2	15.8	50.0	34.3

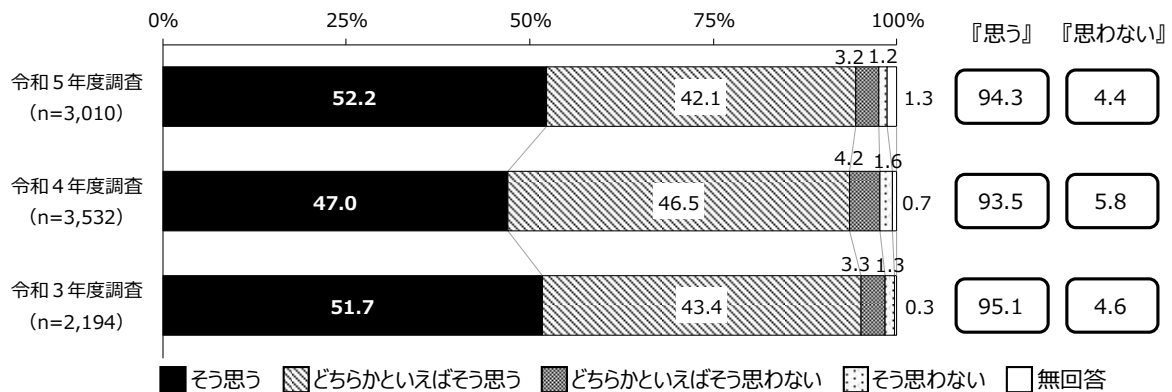
（５）「安心安全のまちづくり」の協力体制

問 12 あなたは、「安心安全のまちづくり」を、市と地域の皆さんがともに協力しあって進めていくことが必要だと思いますか。
（あてはまる番号 1 つだけ）

安心安全のまちづくり体制について、「そう思う」の 52.2%と、「どちらかといえばそう思う」の 42.1%をあわせた『思う』は 94.3%となっている。一方で、「そう思わない」の 1.2%と、「どちらかといえばそう思わない」の 3.2%をあわせた『思わない』は 4.4%である。

【経年比較】

「そう思う」は、令和 4 年度調査と比較すると 5.2 ポイント増加している。『思わない』においては最も低い割合である。



【性別】『思う』の割合は男女とも 9 割を超えているが、「女性」が 95.5%、「男性」が 92.8%となり、女性が 2.7 ポイント高い。

【性別・年齢別】『思わない』の割合は「男性：30 歳代」が 11.6%で最も高い。

【ブロック別】『思う』の割合は「東部 A」が 96.9%で最も高い。「西部 B（三潴）」が 89.4%で最も低く、その他のブロックは 9 割を超えている。

【同居家族別】すべての世帯において『思う』の割合は 9 割を超えており、最も高い割合となったのは「65 歳以上の人がいる」世帯の 96.6%である。

（５）「安心安全のまちづくり」の協力体制

		(%)										(%)									
		回答者数	「安心安全のまちづくり」の協力体制									回答者数	「安心安全のまちづくり」の協力体制								
			そう思う	そう思うかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答	「思う」	「思わない」				そう思う	そう思うかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答	「思う」	「思わない」		
全体		3,010 100.0	1,572 52.2	1,267 42.1	95 3.2	37 1.2	39 1.3	2,839 94.3	132 4.4			3,010 100.0	1,572 52.2	1,267 42.1	95 3.2	37 1.2	39 1.3	2,839 94.3	132 4.4		
性別	男性	1,330	53.0	39.8	4.0	2.0	1.3	92.8	6.0												
	女性	1,668	51.7	43.8	2.5	0.7	1.3	95.5	3.2												
	()	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-												
	無回答	6	33.3	50.0	-	-	16.7	83.3	-												
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	52.5	37.5	4.0	1.5	4.5	90.0	5.5												
	男性：30歳代	163	49.7	36.8	9.8	1.8	1.8	86.5	11.6												
	男性：40歳代	251	45.4	43.8	5.2	5.2	0.4	89.2	10.4												
	男性：50歳代	243	46.5	48.1	2.9	1.2	1.2	94.6	4.1												
	男性：60～64歳	115	56.5	40.0	2.6	0.9	-	96.5	3.5												
	男性：65～69歳	118	61.0	37.3	-	0.8	0.8	98.3	0.8												
	男性：70～74歳	150	64.7	33.3	1.3	0.7	-	98.0	2.0												
	男性：75歳以上	87	66.7	28.7	3.4	1.1	-	95.4	4.5												
	女性：18～29歳	275	53.5	40.7	2.5	0.7	2.5	94.2	3.2												
	女性：30歳代	232	46.1	45.3	4.7	1.7	2.2	91.4	6.4												
	女性：40歳代	324	43.5	51.5	3.4	1.2	0.3	95.0	4.6												
	女性：50歳代	263	44.5	53.2	1.9	-	0.4	97.7	1.9												
	女性：60～64歳	136	52.9	44.9	1.5	0.7	-	97.8	2.2												
	女性：65～69歳	150	63.3	34.0	1.3	-	1.3	97.3	1.3												
	女性：70～74歳	179	63.1	35.8	0.6	-	0.6	98.9	0.6												
	女性：75歳以上	108	65.7	28.7	2.8	-	2.8	94.4	2.8												
	()・無回答	16	25.0	56.3	6.3	-	12.5	81.3	6.3												

		(%)										(%)									
		回答者数	「安心安全のまちづくり」の協力体制									回答者数	「安心安全のまちづくり」の協力体制								
			そう思う	そう思うかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答	「思う」	「思わない」				そう思う	そう思うかといえ	どちらかといえ	そう思わない	無回答	「思う」	「思わない」		
全体		3,010 100.0	1,572 52.2	1,267 42.1	95 3.2	37 1.2	39 1.3	2,839 94.3	132 4.4			3,010 100.0	1,572 52.2	1,267 42.1	95 3.2	37 1.2	39 1.3	2,839 94.3	132 4.4		
ブロック別	東部A	192	49.0	47.9	2.1	0.5	0.5	96.9	2.6												
	東部B（田主丸）	185	57.8	37.3	2.2	0.5	2.2	95.1	2.7												
	北部A	281	53.0	42.0	2.5	1.4	1.1	95.0	3.9												
	北部B（北野）	175	52.0	42.9	1.1	1.1	2.9	94.9	2.2												
	中央東部	399	56.4	39.1	3.0	0.3	1.3	95.5	3.3												
	南東部	285	47.0	45.3	3.2	1.1	3.5	92.3	4.3												
	中央部	384	50.8	43.5	4.4	0.8	0.5	94.3	5.2												
	中央南部	507	52.5	41.4	3.6	2.2	0.4	93.9	5.8												
	南西部	282	52.1	43.3	2.5	0.7	1.4	95.4	3.2												
	西部A（城島）	103	50.5	44.7	2.9	1.0	1.0	95.2	3.9												
	西部B（三瀬）	171	52.0	37.4	5.3	4.1	1.2	89.4	9.4												
	わからない・無回答	46	50.0	41.3	6.5	2.2	-	91.3	8.7												
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	50.5	41.9	3.3	1.5	2.8	92.4	4.8												
	小学生がいる	422	51.7	42.2	3.8	1.4	0.9	93.9	5.2												
	中学生がいる	260	52.3	42.3	2.3	2.3	0.8	94.6	4.6												
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	50.2	44.1	3.8	1.1	0.8	94.3	4.9												
	65歳以上の人がある	991	55.6	41.0	1.7	0.9	0.8	96.6	2.6												
	障害者手帳を持っている人がある	335	53.1	40.6	3.3	1.8	1.2	93.7	5.1												
	上記にあてはまる人はいない	1,060	50.7	43.3	3.7	1.1	1.2	94.0	4.8												
無回答	38	50.0	39.5	-	-	10.5	89.5	-													

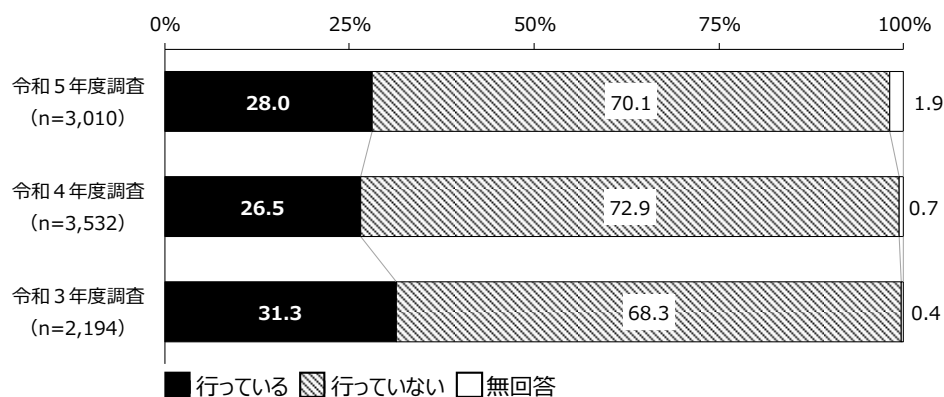
（６）生涯学習活動の状況

問 13 あなたは、ふだんの生活の中で、生涯学習活動を行っていますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

生涯学習について「行っている」は 28.0 %、「行っていない」は 70.1%である。

【経年比較】

「行っている」は令和 4 年度調査から 1.5 ポイント増加し、令和 3 年度調査に次いで高い割合となっている。



【性別】「行っている」の割合は「男性」が 29.8%、「女性」が 26.7%となっており、「男性」が 3.1 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】「行っている」の割合は「女性：75 歳以上」が 43.5%と最も高く、次いで「男性：75 歳以上」が 36.8%となっている。一方で、「女性：30 歳代」が 16.8%と最も低い結果となっている。

【ブロック別】「行っている」の割合は「西部 A（城島）」が 34.0%で最も高い。「南西部」と「中央東部」も 3 割を超えている。一方で、「東部 B（田主丸）」は 21.6%と最も低い結果となっている。

（６）生涯学習活動の状況

(%)

		回答者数	生涯学習活動の状況		
			行っている	行っていない	無回答
全体		3,010 100.0	843 28.0	2,111 70.1	56 1.9
性別	男性	1,330	29.8	68.3	1.9
	女性	1,668	26.7	71.5	1.8
	()	6	16.7	83.3	-
	無回答	6	16.7	66.7	16.7
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	35.0	60.0	5.0
	男性：30歳代	163	25.2	72.4	2.5
	男性：40歳代	251	26.7	72.5	0.8
	男性：50歳代	243	23.9	74.5	1.6
	男性：60～64歳	115	27.0	72.2	0.9
	男性：65～69歳	118	36.4	62.7	0.8
	男性：70～74歳	150	36.0	62.7	1.3
	男性：75歳以上	87	36.8	62.1	1.1
	女性：18～29歳	275	23.6	73.8	2.5
	女性：30歳代	232	16.8	79.7	3.4
	女性：40歳代	324	24.7	74.4	0.9
	女性：50歳代	263	22.8	76.8	0.4
	女性：60～64歳	136	32.4	66.2	1.5
	女性：65～69歳	150	32.7	66.0	1.3
	女性：70～74歳	179	34.1	64.8	1.1
	女性：75歳以上	108	43.5	52.8	3.7
	()・無回答	16	12.5	75.0	12.5
ブロック別	東部A	192	26.6	71.9	1.6
	東部B（田主丸）	185	21.6	76.2	2.2
	北部A	281	27.0	71.5	1.4
	北部B（北野）	175	25.1	71.4	3.4
	中央東部	399	30.3	68.2	1.5
	南東部	285	24.9	70.9	4.2
	中央部	384	29.9	68.5	1.6
	中央南部	507	28.2	70.6	1.2
	南西部	282	30.9	67.7	1.4
	西部A（城島）	103	34.0	64.1	1.9
	西部B（三瀬）	171	29.2	69.0	1.8
	わからない・無回答	46	21.7	78.3	-

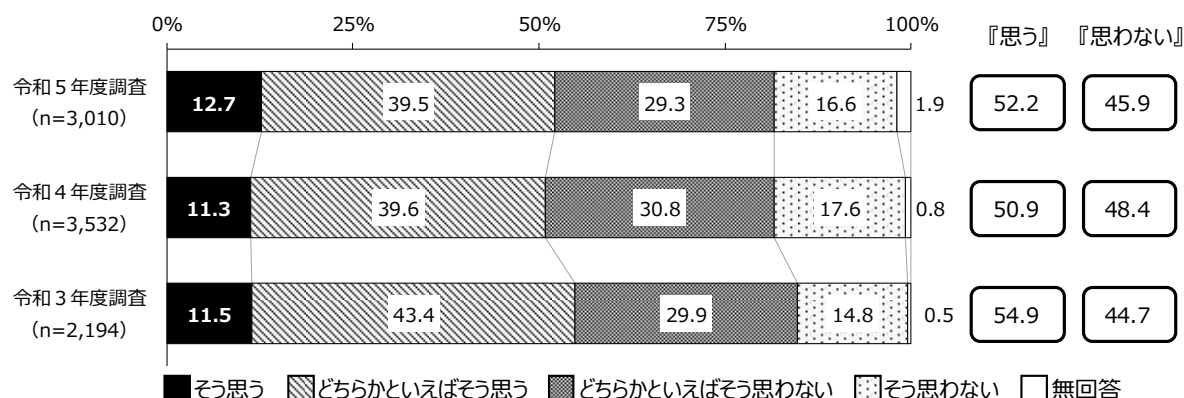
（７）市民活動の参加意向

問 14 あなたは、地域をよりよくするために、校区コミュニティ活動や自治会活動、ボランティア活動などの市民活動に参加したいと思いますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

市民活動の参加意向について「そう思う」の 12.7%と「どちらかといえばそう思う」の 39.5 %をあわせた『思う』は 52.2%となっている。一方で、「そう思わない」の 16.6%と「どちらかといえばそう思わない」29.3%をあわせた『思わない』は 45.9%である。

【経年比較】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『思う』は令和 3 年度調査に次いで高く、52.2%となっている。積極的な「そう思う」は令和 3 年度以降の意識調査において最も高く 12.7%となっている。



【性別】『思う』の割合は「男性」が 52.9%、「女性」が 51.7%となっており、「男性」が 1.2 ポイント高い。積極的な「そう思う」については「男性」が 14.9%、「女性」が 10.9%と「男性」が 4.0 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】男女ともに高い年齢層で『思う』の割合が高い傾向にある。積極的な「そう思う」の割合は「男性：75 歳以上」が 27.6%で最も高い。「どちらかといえばそう思う」の割合は「女性：65～69 歳」が 53.3%で最も高く、次いで「女性：75 歳以上」が 51.9%と、それぞれ 5 割を超えている。

【ブロック別】『思う』の割合について「西部 A（城島）」が 64.1%、「東部 B（田主丸）」が 60.5%と高く、6 割を超えている。一方、『思わない』は「中央部」が 49.7%で最も高く、次いで「中央東部」が 49.6%となっている。

【同居家族別】積極的な「そう思う」の割合は「中学生がいる」世帯が 16.2%と最も高い。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『思う』は「65 歳以上の人がいる」世帯が 57.5%と最も高い。

（７）市民活動の参加意向

(%)

		回答者数	市民活動の参加意向						
			そう思う	どちらかといえば	どちらかわからない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	381 12.7	1,190 39.5	883 29.3	500 16.6	56 1.9	1,571 52.2	1,383 45.9
性別	男性	1,330	14.9	38.0	29.4	16.1	1.7	52.9	45.5
	女性	1,668	10.9	40.8	29.3	17.1	1.9	51.7	46.4
	()	6	-	33.3	50.0	-	16.7	33.3	50.0
	無回答	6	16.7	33.3	16.7	-	33.3	50.0	16.7
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	9.5	31.5	34.5	19.5	5.0	41.0	54.0
	男性：30歳代	163	8.6	32.5	35.0	22.1	1.8	41.1	57.1
	男性：40歳代	251	13.9	33.9	26.3	25.5	0.4	47.8	51.8
	男性：50歳代	243	9.9	42.8	32.9	12.8	1.6	52.7	45.7
	男性：60～64歳	115	20.9	37.4	35.7	5.2	0.9	58.3	40.9
	男性：65～69歳	118	22.9	45.8	22.9	7.6	0.8	68.7	30.5
	男性：70～74歳	150	20.7	45.3	23.3	10.0	0.7	66.0	33.3
	男性：75歳以上	87	27.6	40.2	18.4	12.6	1.1	67.8	31.0
	女性：18～29歳	275	9.1	29.1	36.4	23.3	2.2	38.2	59.7
	女性：30歳代	232	6.9	34.1	29.7	25.9	3.4	41.0	55.6
	女性：40歳代	324	9.0	39.2	29.6	20.4	1.9	48.2	50.0
	女性：50歳代	263	8.4	42.2	33.1	16.0	0.4	50.6	49.1
	女性：60～64歳	136	10.3	49.3	30.1	9.6	0.7	59.6	39.7
	女性：65～69歳	150	14.0	53.3	22.0	9.3	1.3	67.3	31.3
	女性：70～74歳	179	20.1	45.3	25.1	8.4	1.1	65.4	33.5
	女性：75歳以上	108	17.6	51.9	15.7	11.1	3.7	69.5	26.8
	()・無回答		16	6.3	25.0	25.0	18.8	25.0	31.3

(%)

		回答者数	市民活動の参加意向						
			そう思う	どちらか という	どちらか もない	どちらか もない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	381 12.7	1,190 39.5	883 29.3	500 16.6	56 1.9	1,571 52.2	1,383 45.9
ブロック別	東部A	192	20.3	37.0	29.7	10.9	2.1	57.3	40.6
	東部B（田主丸）	185	11.9	48.6	25.4	11.9	2.2	60.5	37.3
	北部A	281	12.5	43.8	26.0	16.7	1.1	56.3	42.7
	北部B（北野）	175	10.9	42.9	27.4	15.4	3.4	53.8	42.8
	中央東部	399	12.8	36.3	35.6	14.0	1.3	49.1	49.6
	南東部	285	10.9	36.8	26.3	21.4	4.6	47.7	47.7
	中央部	384	9.9	39.1	29.4	20.3	1.3	49.0	49.7
	中央南部	507	11.8	38.1	32.5	16.4	1.2	49.9	48.9
	南西部	282	11.7	39.4	30.1	17.4	1.4	51.1	47.5
	西部A（城島）	103	17.5	46.6	23.3	10.7	1.9	64.1	34.0
	西部B（三瀬）	171	17.0	36.3	25.7	19.3	1.8	53.3	45.0
	わからない・無回答	46	13.0	37.0	21.7	26.1	2.2	50.0	47.8
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	11.9	37.8	30.2	17.0	3.0	49.7	47.2
	小学生がいる	422	15.9	39.6	28.2	14.9	1.4	55.5	43.1
	中学生がいる	260	16.2	40.0	25.0	16.9	1.9	56.2	41.9
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	14.1	37.3	27.4	19.4	1.9	51.4	46.8
	65歳以上の人がある	991	14.1	43.4	27.2	13.8	1.4	57.5	41.0
	障害者手帳を持っている人がある	335	12.2	43.3	25.7	16.7	2.1	55.5	42.4
	上記にあてはまる人はいない	1,060	11.3	36.6	31.8	18.6	1.7	47.9	50.4
	無回答	38	10.5	42.1	23.7	13.2	10.5	52.6	36.9

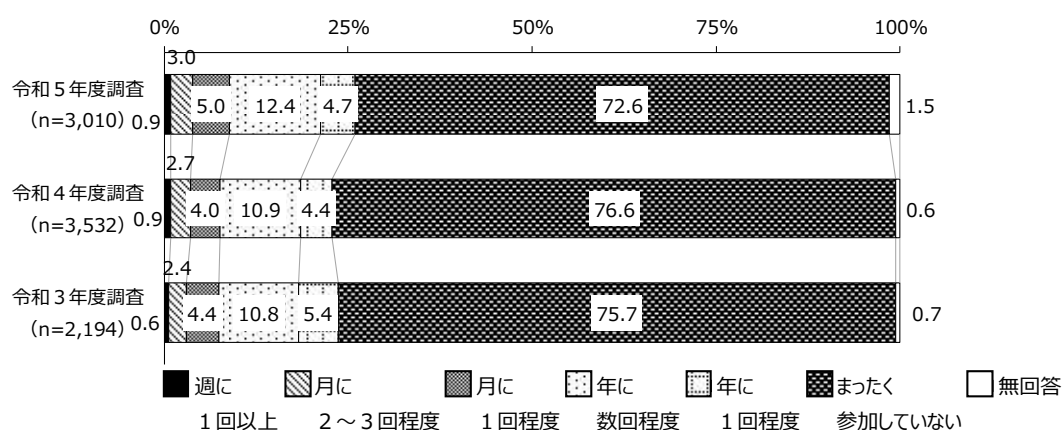
（８）市民活動の参加状況

問 15 あなたは、オンライン開催での参加も含めて、この１年間に、市民活動にどの程度参加しましたか。
（あてはまる番号１つだけ）

市民活動の参加状況について「まったく参加していない」が減少しているものの、72.6%と最も高い。行っている中では「年に数回程度」が12.4%と最も高くなっている。

【経年比較】

令和３年度調査以降、大きな変化はないが、参加している頻度において割合はやや増加している。



【性別】「まったく参加していない」の割合は「女性」が75.7%、「男性」が68.7%となり、「女性」が7.0ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】「週に1回以上」の割合は「男性：75歳以上」が3.4%と最も高く、次いで高い「女性：75歳以上」の1.9%より1.5ポイント高い。一方で、「まったく参加していない」の割合は『女性：18～29歳』が86.2%と最も高く、次いで『男性：18～29歳』が84.5%となっている。

【ブロック別】「中央南部」が「まったく参加していない」の割合が最も高く、78.1%となっている。そのほか、「中央東部」が77.2%、「中央部」が77.1%、「北部A」が72.2%、「南東部」が71.6%、「南西部」が70.6%となり、7割を超えている。

【同居家族別】「年に数回程度」の割合は「上記にあてはまる人はいない」世帯が9.2%となっており、その他の各世帯では1割を超えている。

（８）市民活動の参加状況

(%)

		回答者数	市民活動の参加状況						
			週に1回以上	月に2～3回程度	月に1回程度	年に数回程度	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体		3,010 100.0	26 0.9	91 3.0	150 5.0	373 12.4	141 4.7	2,185 72.6	44 1.5
性別	男性	1,330	1.1	3.3	5.5	15.6	4.6	68.7	1.3
	女性	1,668	0.7	2.8	4.5	9.9	4.8	75.7	1.6
	()	6	-	-	-	16.7	-	83.3	-
	無回答	6	-	-	33.3	-	-	50.0	16.7
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	1.0	0.5	1.0	4.5	4.5	84.5	4.0
	男性：30歳代	163	-	1.8	1.8	15.3	1.8	77.3	1.8
	男性：40歳代	251	1.2	4.4	8.8	16.3	4.0	64.9	0.4
	男性：50歳代	243	0.8	1.6	3.7	19.3	6.2	67.5	0.8
	男性：60～64歳	115	0.9	3.5	8.7	17.4	3.5	66.1	-
	男性：65～69歳	118	1.7	5.9	5.1	22.9	5.1	58.5	0.8
	男性：70～74歳	150	0.7	5.3	7.3	16.0	6.7	63.3	0.7
	男性：75歳以上	87	3.4	6.9	11.5	16.1	4.6	56.3	1.1
	女性：18～29歳	275	-	1.8	1.8	3.6	4.4	86.2	2.2
	女性：30歳代	232	1.7	0.9	3.0	6.5	4.3	80.6	3.0
	女性：40歳代	324	0.3	2.2	6.8	13.6	5.9	71.0	0.3
	女性：50歳代	263	0.4	3.4	3.8	9.9	5.3	76.4	0.8
	女性：60～64歳	136	1.5	0.7	3.7	6.6	5.9	81.6	-
	女性：65～69歳	150	0.7	5.3	4.0	17.3	4.0	67.3	1.3
	女性：70～74歳	179	0.6	7.3	6.7	14.5	1.7	65.9	3.4
	女性：75歳以上	108	1.9	1.9	7.4	8.3	7.4	71.3	1.9
()・無回答	16	-	-	12.5	6.3	-	75.0	6.3	

(%)

		回答者数	市民活動の参加状況						
			週に1回以上	月に2〜3回程度	月に1回程度	年に数回程度	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体		3,010 100.0	26 0.9	91 3.0	150 5.0	373 12.4	141 4.7	2,185 72.6	44 1.5
ブロック別	東部A	192	0.5	3.6	8.9	16.7	4.7	65.1	0.5
	東部B（田主丸）	185	-	2.2	10.3	13.5	4.9	68.1	1.1
	北部A	281	0.4	4.3	5.0	10.7	6.4	72.2	1.1
	北部B（北野）	175	0.6	2.3	7.4	20.6	1.1	66.9	1.1
	中央東部	399	1.0	2.0	3.5	10.5	4.5	77.2	1.3
	南東部	285	0.4	3.2	2.5	13.3	4.6	71.6	4.6
	中央部	384	1.0	1.8	4.2	10.2	4.4	77.1	1.3
	中央南部	507	2.0	3.2	2.8	7.3	5.9	78.1	0.8
	南西部	282	0.7	4.3	5.0	12.8	5.3	70.6	1.4
	西部A（城島）	103	-	5.8	9.7	22.3	2.9	57.3	1.9
	西部B（三瀬）	171	1.2	3.5	5.8	20.5	3.5	63.7	1.8
わからない・無回答		46	-	-	4.3	-	2.2	93.5	-
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	1.0	2.5	6.1	14.5	3.6	69.5	2.8
	小学生がいる	422	1.4	2.8	7.6	19.0	5.7	62.3	1.2
	中学生がいる	260	0.8	2.7	6.9	17.7	5.0	66.2	0.8
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	1.9	3.0	4.9	13.7	3.0	72.6	0.8
	65歳以上の人がいる	991	0.9	4.1	6.7	14.1	4.7	68.7	0.7
	障害者手帳を持っている人 がいる	335	-	3.3	6.3	10.7	4.8	74.3	0.6
	上記にあてはまる人はいない	1,060	0.8	2.3	3.2	9.2	4.8	78.1	1.7
	無回答	38	-	2.6	5.3	10.5	5.3	63.2	13.2

（８）市民活動の参加状況

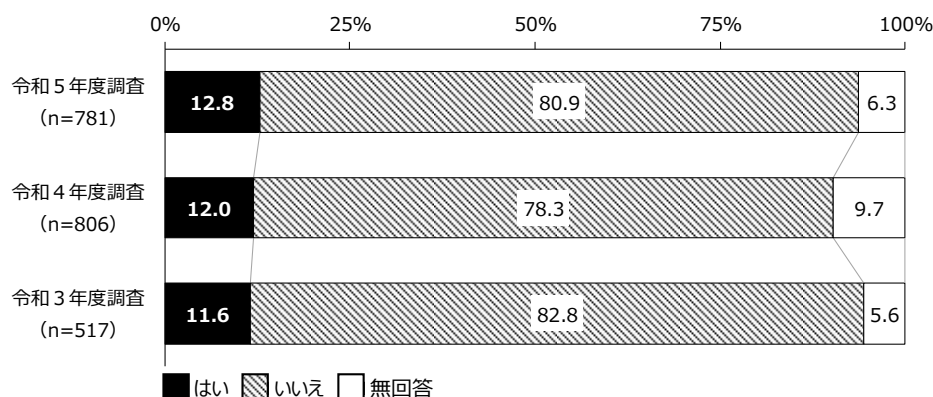
問 15 付問 1 【問 15 で選択肢 1 から 5 の『市民活動に参加した』と回答した人に 】

あなたは、この 1 年間にオンライン開催による市民活動に参加しましたか。（あてはまる番号 1 つだけ）

市民活動に参加した人のうち、オンライン参加について「はい」が 12.8%、「いいえ」が 80.9%である。

【経年比較】

令和 3 年度調査以降、大きな変化はないが、「はい」がやや増加傾向にある。



【性別】「はい」と回答した割合は「女性」が 13.5%、「男性」が 12.3%となり、「女性」が 1.2 ポイント高い。

【性年齢別】「はい」と回答した割合は「女性：60～64 歳」が 28.0%と最も高く、次いで「男性：60～64 歳」が 17.9%となっている。一方で、『男性：18～29 歳』は 4.3%となり最も低い。

【ブロック別】「はい」と回答した割合は「東部 A」が 21.2%、「中央部」が 20.5%となり、それぞれ約 2 割となっている。一方で、「西部 A（城島）」は 4.8%と最も低く、4 割台にとどまっている。

【同居家族別】「はい」と回答した割合は「上記にあてはまる人はいない」世帯が 15.9%と最も高く、次いで就学前から中学生の子どもを除く「18 歳未満の子どもがいる」世帯が 15.7%、「障害者手帳を持っている人がある」世帯が 15.5%となっている。

（８）市民活動の参加状況

		(%)						(%)			
		回 答 者 数	オンライン開催による 市民活動への参加			回 答 者 数	オンライン開催による 市民活動への参加				
			は い	い い え	無 回 答		は い	い い え	無 回 答		
全体		781 100.0	100 12.8	632 80.9	49 6.3	全体		781 100.0	100 12.8	632 80.9	49 6.3
性別	男性	399	12.3	83.2	4.5	ブ ロ ッ ク 別	東部A	66	21.2	71.2	7.6
	女性	379	13.5	78.9	7.7		東部B（田主丸）	57	8.8	87.7	3.5
	（　）	1	-	100.0	-		北部A	75	8.0	84.0	8.0
	無回答	2	-	-	100.0		北部B（北野）	56	10.7	80.4	8.9
性別 × 年 齢 別	男性：18～29歳	23	4.3	87.0	8.7		中央東部	86	14.0	82.6	3.5
	男性：30歳代	34	11.8	85.3	2.9		南東部	68	14.7	83.8	1.5
	男性：40歳代	87	11.5	86.2	2.3		中央部	83	20.5	77.1	2.4
	男性：50歳代	77	11.7	87.0	1.3		中央南部	107	14.0	74.8	11.2
	男性：60～64歳	39	17.9	76.9	5.1		南西部	79	8.9	87.3	3.8
	男性：65～69歳	48	14.6	83.3	2.1		西部A（城島）	42	4.8	85.7	9.5
	男性：70～74歳	54	9.3	81.5	9.3		西部B（三瀬）	59	10.2	81.4	8.5
	男性：75歳以上	37	16.2	73.0	10.8		わからない・無回答	3	-	66.7	33.3
	女性：18～29歳	32	15.6	71.9	12.5	同 居 家 族 別	就学前の子どもがいる	109	12.8	80.7	6.4
	女性：30歳代	38	15.8	71.1	13.2		小学生がいる	154	11.0	83.1	5.8
	女性：40歳代	93	11.8	81.7	6.5		中学生がいる	86	14.0	80.2	5.8
	女性：50歳代	60	10.0	81.7	8.3		上記以外の18歳未満の子どもがいる	70	15.7	78.6	5.7
	女性：60～64歳	25	28.0	68.0	4.0		65歳以上の人がいる	303	10.6	83.8	5.6
	女性：65～69歳	47	12.8	87.2	-		障害者手帳を持っている人がいる	84	15.5	73.8	10.7
	女性：70～74歳	55	14.5	74.5	10.9		上記にあてはまる人はいない	214	15.9	79.0	5.1
	女性：75歳以上	29	6.9	86.2	6.9		無回答	9	-	77.8	22.2
	（　）・無回答		3	-	33.3	66.7					

（９）人権に対する意識向上

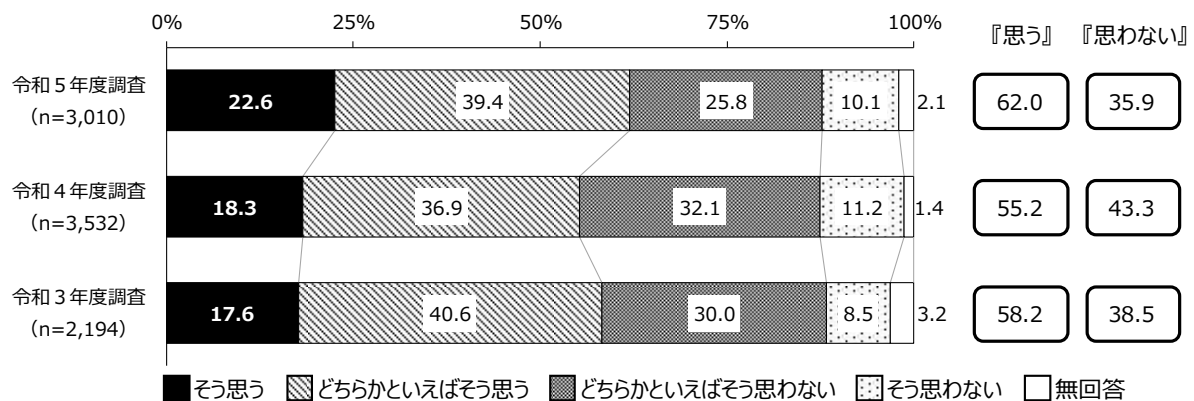
問 16 近年、久留米市において差別事件や人権侵害事案が発生しています。

あなたは、同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、自分自身の人権に対する感覚を高めたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

人権に対する感覚について、「そう思う」の 22.6%と「どちらかといえばそう思う」の 39.4%をあわせた『思う』は 62.0%となっている。一方で、「そう思わない」の 10.1%と「どちらかといえばそう思わない」の 25.8%をあわせた『思わない』は 35.9%である。

【経年比較】

「そう思う」の割合は増加傾向にあり、令和 5 年度調査は令和 3 年度調査に比べて 5.0 ポイント高い 22.6%となっている。



【性別】『思う』の割合は「女性」が 63.6%、「男性」が 59.9%となり、「女性」が 3.7 ポイント高い。一方で、積極的な「そう思う」の割合では「男性」が 23.7%、「女性」が 21.6%となり、「男性」が 2.1 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】年齢層が低いほど、『思う』の割合が高い傾向にあり、女性では『女性：18～29 歳』が 76.8%で最も高く、男性では『男性：18～29 歳』が 71.0%と最も高い結果となっている。

【ブロック別】『思う』の割合は「中央南部」が 66.5%で最も高く、次いで、「北部 A」が 65.5%、「西部 A（城島）」が 65.0%となっている。

（９）人権に対する意識向上

(%)

		回 答 者 数	人権に対する意識向上							
			そ う 思 う	思 う ど ち ら か と い え ば そ う	思 わ な い ど ち ら か と い え ば そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』	
全体		3,010 100.0	680 22.6	1,185 39.4	776 25.8	305 10.1	64 2.1	1,865 62.0	1,081 35.9	
性 別	男性	1,330	23.7	36.2	26.5	11.9	1.8	59.9	38.4	
	女性	1,668	21.6	42.0	25.4	8.7	2.3	63.6	34.1	
	()	6	50.0	33.3	-	16.7	-	83.3	16.7	
	無回答	6	33.3	16.7	-	16.7	33.3	50.0	16.7	
性 別 × 年 齢 別	男性：18～29歳	200	31.5	39.5	15.5	9.5	4.0	71.0	25.0	
	男性：30歳代	163	28.8	34.4	22.7	11.7	2.5	63.2	34.4	
	男性：40歳代	251	22.3	38.2	23.5	15.1	0.8	60.5	38.6	
	男性：50歳代	243	18.5	41.6	27.2	11.9	0.8	60.1	39.1	
	男性：60～64歳	115	25.2	31.3	32.2	10.4	0.9	56.5	42.6	
	男性：65～69歳	118	18.6	32.2	38.1	10.2	0.8	50.8	48.3	
	男性：70～74歳	150	24.7	36.0	24.7	12.0	2.7	60.7	36.7	
	男性：75歳以上	87	18.4	24.1	42.5	12.6	2.3	42.5	55.1	
	女性：18～29歳	275	39.3	37.5	15.3	5.8	2.2	76.8	21.1	
	女性：30歳代	232	22.8	48.3	15.9	10.3	2.6	71.1	26.2	
	女性：40歳代	324	19.8	50.9	19.4	9.3	0.6	70.7	28.7	
	女性：50歳代	263	17.5	40.3	31.9	9.1	1.1	57.8	41.0	
	女性：60～64歳	136	18.4	39.7	31.6	10.3	-	58.1	41.9	
	女性：65～69歳	150	12.7	42.0	36.0	6.7	2.7	54.7	42.7	
	女性：70～74歳	179	13.4	35.8	39.1	9.5	2.2	49.2	48.6	
	女性：75歳以上	108	19.4	31.5	28.7	9.3	11.1	50.9	38.0	
	()・無回答	16	31.3	18.8	18.8	12.5	18.8	50.1	31.3	
	ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	21.9	35.9	30.7	9.9	1.6	57.8	40.6
		東部B（田主丸）	185	22.2	40.0	27.6	9.2	1.1	62.2	36.8
北部A		281	24.6	40.9	23.5	9.3	1.8	65.5	32.8	
北部B（北野）		175	24.0	37.7	28.0	7.4	2.9	61.7	35.4	
中央東部		399	21.6	41.9	26.3	8.8	1.5	63.5	35.1	
南東部		285	21.1	33.7	28.4	11.6	5.3	54.8	40.0	
中央部		384	23.2	39.1	23.7	12.2	1.8	62.3	35.9	
中央南部		507	21.7	44.8	23.7	8.7	1.2	66.5	32.4	
南西部		282	23.0	35.8	26.6	13.1	1.4	58.8	39.7	
西部A（城島）		103	25.2	39.8	25.2	4.9	4.9	65.0	30.1	
西部B（三瀬）		171	23.4	37.4	23.4	12.9	2.9	60.8	36.3	
わからない・無回答		46	21.7	32.6	28.3	15.2	2.2	54.3	43.5	

（９）人権に対する意識向上

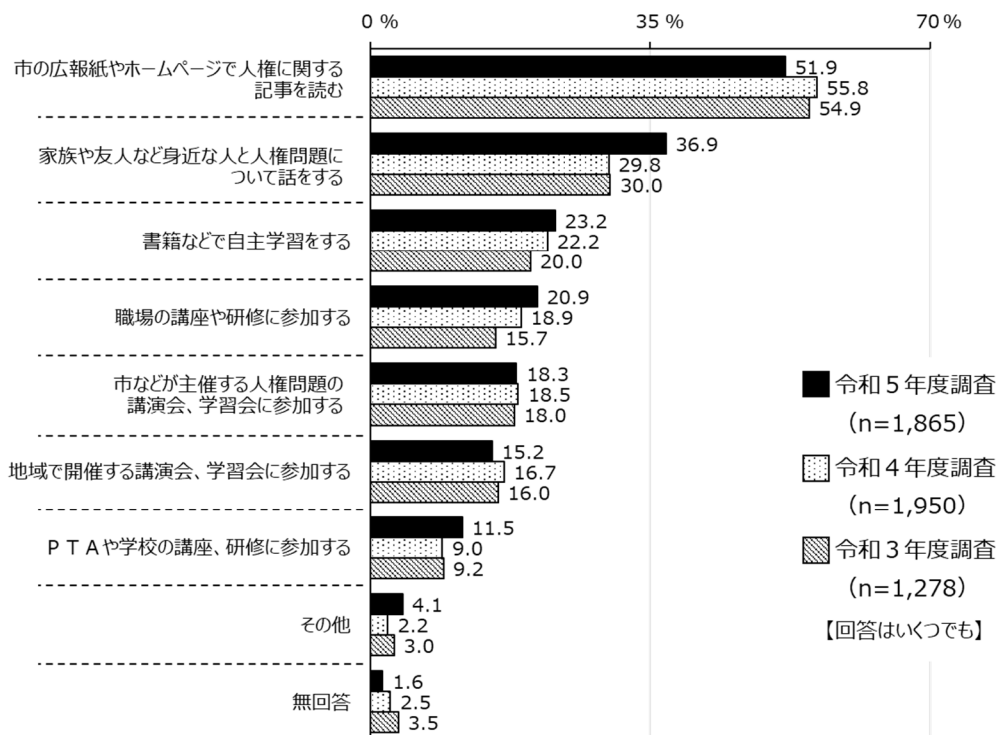
問 16 付問 1 【問 16 で「１．そう思う」または「２．どちらかといえばそう思う」と回答した人に】

あなたは、人権に対する感覚を高めるために、どのようなことをしたいと思いますか。（あてはまる番号いくつでも）

人権に対する感覚を高めるために取りたい行動として、「市の広報紙やホームページで人権に関する記事を読む」が 51.9%と最も高く、次いで「家族や友人など身近な人と人権問題について話をする」が 36.9%、「書籍などで自主学習をする」が 23.2%となっている。

【経年比較】

令和 3 年度、令和 4 年度調査と大差はないが、「市の広報紙やホームページで人権に関する記事を読む」が令和 4 年度調査と比較して 3.9 ポイント減少し、「家族や友人など身近な人と人権問題について話をする」は 7.1 ポイント増加した。



【性別】「職場の講座や研修に参加する」は「男性」が 21.2%、「女性」が 20.6%であり、「市の広報紙やホームページで人権に関する記事を読む」は「男性」が 51.1%、「女性」が 52.5%とそれぞれ差が 2.0 ポイント未満となっている。

【性別・年齢別】「市などが主催する人権問題の講演会、学習会に参加する」と「書籍などで自主学習をする」を比較すると、「男性」は 60 歳代と 75 歳以上、「女性」は 40 歳から 60 歳前半において研修への参加が自主学習を上回っている。「市の広報紙やホームページで人権に関する記事を読む」は男女ともにすべての年齢層で 4 割を超えており、その他の項目と比較しても高い水準となっている。

【ブロック別】「市などが主催する人権問題の講演会、学習会に参加する」の割合は、「東部 A」が 26.1%と最も高くなっている。また、「地域で開催する講演会、学習会に参加する」の割合も「東部 A」の 27.0%が最も高く、次いで、「西部 A（城島）」が 25.4%となっている。

（９）人権に対する意識向上

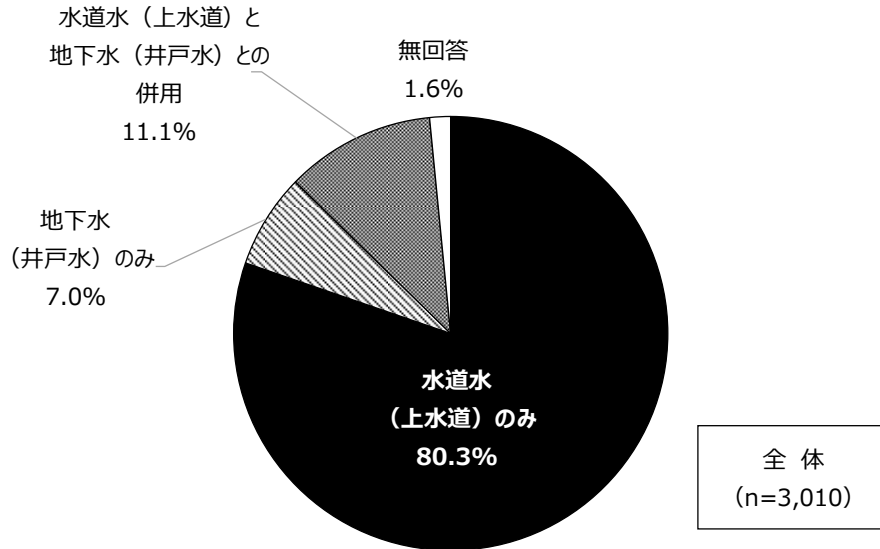
(%)

		回答者数	人権に対する感覚を高めるためにしたいこと								
			講演会、学習会に参加する人権問題の	市などが主催する人権問題の	地域で開催する講演会、学習	PTAや学校の講座、研修に参加する	職場の講座や研修に参加する	市の広報紙やホームページで人権に関する記事を読む	書籍などで自主学習をする	家族や友人など身近な人と人権問題について話をする	その他
全体		1,865 100.0	341 18.3	284 15.2	215 11.5	390 20.9	968 51.9	432 23.2	689 36.9	76 4.1	29 1.6
性別	男性	796	20.7	17.7	9.5	21.2	51.1	24.9	33.5	4.6	1.8
	女性	1,061	16.6	13.5	13.0	20.6	52.5	22.0	39.6	3.7	1.2
	()	5	-	-	-	40.0	80.0	20.0	20.0	-	-
	無回答	3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	66.7
性別×年齢別	男性：18～29歳	142	16.2	11.3	12.7	15.5	40.1	30.3	48.6	2.8	2.1
	男性：30歳代	103	19.4	11.7	15.5	28.2	47.6	23.3	32.0	5.8	-
	男性：40歳代	152	21.7	17.8	16.4	28.9	44.1	26.3	32.9	3.9	1.3
	男性：50歳代	146	19.9	12.3	3.4	32.2	55.5	24.7	32.2	7.5	2.1
	男性：60～64歳	65	30.8	26.2	9.2	24.6	52.3	18.5	27.7	4.6	3.1
	男性：65～69歳	60	26.7	30.0	6.7	8.3	58.3	21.7	23.3	3.3	1.7
	男性：70～74歳	91	16.5	24.2	1.1	4.4	67.0	25.3	26.4	4.4	2.2
	男性：75歳以上	37	24.3	29.7	2.7	5.4	62.2	18.9	32.4	2.7	2.7
	女性：18～29歳	211	10.4	9.5	8.1	24.2	42.2	28.9	52.6	3.8	0.9
	女性：30歳代	165	9.1	8.5	17.0	26.1	46.1	21.2	43.6	3.0	0.6
	女性：40歳代	229	16.2	12.7	29.7	23.6	47.6	14.8	34.9	5.7	1.7
	女性：50歳代	152	25.0	14.5	9.2	28.3	59.9	23.0	28.9	3.3	-
	女性：60～64歳	79	29.1	12.7	6.3	17.7	64.6	19.0	32.9	1.3	1.3
	女性：65～69歳	82	23.2	19.5	2.4	7.3	62.2	23.2	31.7	1.2	1.2
	女性：70～74歳	88	15.9	26.1	4.5	8.0	61.4	26.1	42.0	4.5	2.3
	女性：75歳以上	55	14.5	16.4	-	1.8	65.5	20.0	43.6	3.6	3.6
	()・無回答	8	-	-	12.5	25.0	50.0	12.5	25.0	-	25.0
	ブロック別	東部A	111	26.1	27.0	10.8	23.4	57.7	29.7	36.0	4.5
東部B（田主丸）		115	19.1	19.1	8.7	20.9	47.8	20.9	42.6	1.7	1.7
北部A		184	14.1	11.4	10.9	23.4	44.6	22.8	45.7	4.9	1.1
北部B（北野）		108	16.7	14.8	14.8	21.3	46.3	23.1	44.4	5.6	0.9
中央東部		253	19.0	15.0	10.7	23.3	49.8	26.5	37.5	6.3	0.4
南東部		156	17.3	11.5	8.3	18.6	57.1	22.4	29.5	3.2	5.1
中央部		239	19.2	15.1	13.0	19.2	52.3	24.7	40.2	3.3	1.7
中央南部		337	20.2	11.0	12.2	22.0	58.8	21.7	31.5	1.8	0.6
南西部		166	15.1	16.9	12.7	16.9	51.2	19.3	35.5	5.4	0.6
西部A（城島）		67	19.4	25.4	13.4	19.4	55.2	14.9	32.8	9.0	1.5
西部B（三瀬）		104	17.3	17.3	12.5	21.2	47.1	26.0	36.5	2.9	1.9
わからない・無回答		25	4.0	12.0	8.0	12.0	32.0	20.0	24.0	4.0	8.0

（10）家庭で使用する水の種類

問 17 ご家庭で使用する水の種類は何ですか。（あてはまる番号 1 つだけ）

家庭で使用する水は「水道水（上水道）のみ」が 80.3%で最も高く、次いで「水道水（上水道）と地下水（井戸水）との併用」が 11.1%、「地下水（井戸水）のみ」が 7.0%となっている。



【ブロック別】「水道水（上水道）のみ」の割合は「中央南部」が 94.9%で最も高く、次いで「中央部」94.5%、「中央東部」91.0%とそれぞれ 9 割を超えている。「地下水（井戸水）のみ」の割合は「東部 B（田主丸）」が 78.4%と最も高い結果となっている。

【住まいの形態別】「水道水（上水道）のみ」の割合は「持ち家（集合住宅・分譲マンション）」が 96.4%、「賃貸住宅（アパート・マンション）」が 92.8%とそれぞれ 9 割を超えている。一戸建てでは「賃貸住宅（一戸建て）」が 87.2%、「持ち家（一戸建て）」が 72.4%となっている。

		(%)							(%)				
		回答者数	家庭で使用する水の種類				回答者数	家庭で使用する水の種類					
			の水道水（上水道）のみ	の地下水（井戸水）のみ	水と水道水（上水道）と地下水（井戸水）の併用	無回答		の水道水（上水道）のみ	の地下水（井戸水）のみ	水と水道水（上水道）と地下水（井戸水）の併用	無回答		
全体		3,010 100.0	2,416 80.3	212 7.0	335 11.1	47 1.6	全体		3,010 100.0	2,416 80.3	212 7.0	335 11.1	47 1.6
ブロック別	東部A	192	65.6	14.1	19.3	1.0	住まいの形態別	持ち家（一戸建て）	1,793	72.4	10.3	16.0	1.3
	東部B（田主丸）	185	11.9	78.4	8.6	1.1		持ち家（集合住宅・分譲マンション）	338	96.4	-	2.7	0.9
	北部A	281	81.5	0.7	16.0	1.8		賃貸住宅（一戸建て）	109	87.2	7.3	4.6	0.9
	北部B（北野）	175	64.6	8.6	25.7	1.1		賃貸住宅（アパート・マンション）	657	92.8	1.7	3.8	1.7
	中央東部	399	91.0	1.3	6.3	1.5		勤務先給与住宅（公務員住宅・社宅・寮など）	68	83.8	4.4	5.9	5.9
	南東部	285	85.6	2.8	8.1	3.5		間借り、その他	30	66.7	13.3	20.0	-
	中央部	384	94.5	0.5	3.9	1.0		無回答	15	66.7	6.7	-	26.7
	中央南部	507	94.9	-	4.3	0.8							
	南西部	282	79.8	1.8	16.3	2.1							
	西部A（城島）	103	73.8	-	24.3	1.9							
	西部B（三瀬）	171	76.6	1.2	19.9	2.3							
	わからない・無回答	46	93.5	2.2	4.3	-							

（11）まちづくりに関する取り組みの満足度

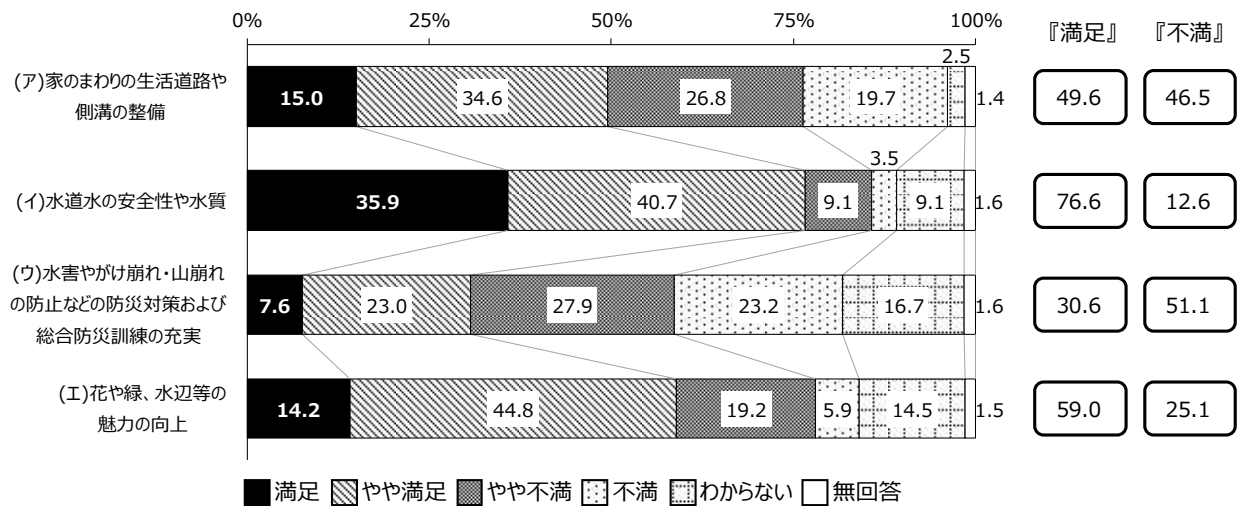
問 18 久留米市では、市民のニーズを的確に把握し、政策へと反映させるまちづくりを進めています。

そこで、次の（ア）～（エ）の取り組みについておたずねします。あなたは、これらの取り組みにどの程度満足していますか。（あてはまる番号それぞれ 1 つずつ）

「満足」と「やや満足」をあわせた『満足』が最も高いのは「（イ）水道水の安全性や水質」で 76.6%である。次いで、「（エ）花や緑、水辺等の魅力の向上」が 59.0%、「（ア）家のまわりの生活道路や側溝の整備」が 49.6%、「（ウ）水害やがけ崩れ・山崩れの防止などの防災対策および総合防災訓練の充実」が 30.6%となっている。

積極的な「満足」について最も高い「（イ）水道水の安全性や水質」はその他の項目と比べて 20 ポイント以上上回っている。

「不満」と「やや不満」をあわせた『不満』が最も高い「（ウ）水害やがけ崩れ・山崩れの防止などの防災対策および総合防災訓練の充実」について、「不満」と「やや不満」の割合がそれぞれ 2 割台となっている。

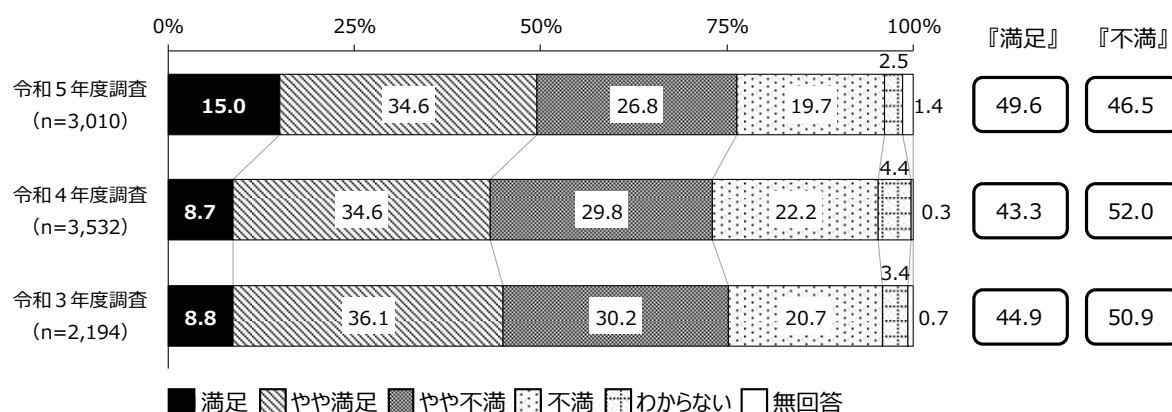


（ア）家のまわりの生活道路や側溝の整備

「満足」と「やや満足」をあわせた『満足』が 49.6%、「不満」と「やや不満」をあわせた『不満』が 46.5%となっており、『満足』が『不満』より 3.1 ポイント高い。

【経年比較】

令和 3 年度、令和 4 年度調査と比較して積極的な「満足」の割合が約 6 ポイント増加している。一方で、「やや不満」と「不満」は年々減少傾向にある。



【性別】『満足』の割合は「女性」が 51.4%、「男性」が 47.0%となり、「女性」が 4.4 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】積極的な「満足」については、『女性：18～29 歳』が 22.5%、『男性：18～29 歳』が 19.0%となり、男女それぞれにおいて最も高い割合となっている。一方で、「不満」の割合は「男性：30 歳代」が 26.4%、「女性：30 歳代」が 23.3%と、男女それぞれ 30 歳代が最も高い割合となっている。

【ブロック別】『満足』の割合は「中央部」が 57.0%と最も高く、次いで「中央南部」が 54.2%である。「南東部」は 51.9%、「中央東部」は 51.8%となっている。一方で、「西部 A（城島）」は 34.9%で最も低く、3 割台にとどまっている。

【同居家族別】『満足』の割合は就学前から中学生を除く「18 歳未満の子どもがいる」世帯と「上記にあてはまる人はいない」世帯がともに 52.1%となり最も高い。一方で、「就学前の子どもがいる」世帯は 41.7%と最も低い結果となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（２．ふだんの生活について）

（ア）家のまわりの生活道路や側溝の整備

(ア) 家のまわりの生活道路や側溝の整備											(%)
		回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	『満足』	『不満』	
全体		3,010 100.0	451 15.0	1,040 34.6	808 26.8	594 19.7	75 2.5	42 1.4	1,491 49.6	1,402 46.5	
性別	男性	1,330	14.1	32.9	27.4	21.7	2.4	1.5	47.0	49.1	
	女性	1,668	15.6	35.8	26.5	18.2	2.6	1.3	51.4	44.7	
	()	6	16.7	33.3	33.3	16.7	-	-	50.0	50.0	
	無回答	6	33.3	50.0	-	-	-	16.7	83.3	-	
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	19.0	32.0	22.5	18.0	4.0	4.5	51.0	40.5	
	男性：30歳代	163	12.3	32.5	24.5	26.4	1.8	2.5	44.8	50.9	
	男性：40歳代	251	11.2	30.7	31.1	22.7	4.0	0.4	41.9	53.8	
	男性：50歳代	243	16.5	35.0	23.9	23.0	0.4	1.2	51.5	46.9	
	男性：60～64歳	115	12.2	33.0	33.9	18.3	2.6	-	45.2	52.2	
	男性：65～69歳	118	10.2	33.9	32.2	21.2	1.7	0.8	44.1	53.4	
	男性：70～74歳	150	12.0	36.7	25.3	22.7	2.0	1.3	48.7	48.0	
	男性：75歳以上	87	18.4	29.9	32.2	17.2	2.3	-	48.3	49.4	
	女性：18～29歳	275	22.5	36.4	21.1	14.2	3.6	2.2	58.9	35.3	
	女性：30歳代	232	12.5	29.7	30.2	23.3	1.7	2.6	42.2	53.5	
	女性：40歳代	324	16.7	34.3	26.9	20.1	1.9	0.3	51.0	47.0	
	女性：50歳代	263	12.5	36.9	28.9	19.0	2.3	0.4	49.4	47.9	
	女性：60～64歳	136	18.4	34.6	25.7	18.4	2.9	-	53.0	44.1	
	女性：65～69歳	150	12.0	38.0	28.7	16.0	4.0	1.3	50.0	44.7	
	女性：70～74歳	179	13.4	38.0	27.9	17.9	2.2	0.6	51.4	45.8	
	女性：75歳以上	108	14.8	44.4	21.3	13.9	1.9	3.7	59.2	35.2	
	()・無回答	16	25.0	31.3	12.5	18.8	6.3	6.3	56.3	31.3	

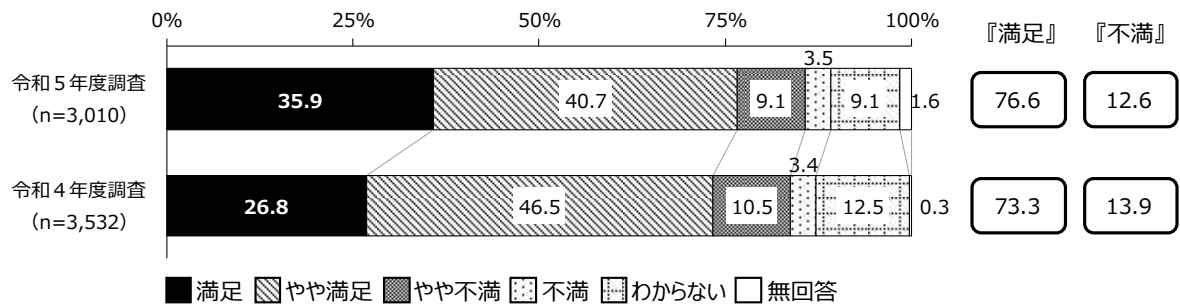
		回 答 者 数	(ア) 家のまわりの生活道路や側溝の整備								(%)
			満 足	やや 満 足	やや不 満	不 満	わ か ら ない	無 回 答	〓満 足〓	〓不 満〓	
全体		3,010 100.0	451 15.0	1,040 34.6	808 26.8	594 19.7	75 2.5	42 1.4	1,491 49.6	1,402 46.5	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	8.9	37.0	29.7	21.4	2.6	0.5	45.9	51.1	
	東部B（田主丸）	185	10.8	30.8	32.4	23.8	1.6	0.5	41.6	56.2	
	北部A	281	12.1	35.9	27.0	21.0	2.5	1.4	48.0	48.0	
	北部B（北野）	175	11.4	31.4	27.4	23.4	4.6	1.7	42.8	50.8	
	中央東部	399	16.0	35.8	27.8	18.5	0.8	1.0	51.8	46.3	
	南東部	285	14.7	37.2	26.3	15.4	2.8	3.5	51.9	41.7	
	中央部	384	23.4	33.6	23.2	15.6	3.1	1.0	57.0	38.8	
	中央南部	507	20.1	34.1	25.2	17.4	2.2	1.0	54.2	42.6	
	南西部	282	12.1	34.4	27.7	21.6	2.5	1.8	46.5	49.3	
	西部A（城島）	103	9.7	25.2	25.2	37.9	1.0	1.0	34.9	63.1	
	西部B（三瀬）	171	8.2	39.2	28.7	19.9	2.3	1.8	47.4	48.6	
わからない・無回答		46	8.7	32.6	23.9	19.6	13.0	2.2	41.3	43.5	
同 居 家 族 別	就学前の子どもがいる	394	13.5	28.2	31.7	21.6	2.3	2.8	41.7	53.3	
	小学生がいる	422	14.9	33.4	28.7	20.9	1.2	0.9	48.3	49.6	
	中学生がいる	260	11.9	34.6	31.9	18.5	2.3	0.8	46.5	50.4	
	上記以外の18歳未満の 子どもがいる	263	13.7	38.4	27.0	18.3	1.5	1.1	52.1	45.3	
	65歳以上の人がいる	991	13.8	35.5	27.7	20.1	1.9	0.9	49.3	47.8	
	障害者手帳を持っている人 がいる	335	11.9	32.8	27.5	22.4	4.2	1.2	44.7	49.9	
	上記にあてはまる人はいない	1,060	16.3	35.8	23.7	19.8	3.1	1.3	52.1	43.5	
	無回答	38	10.5	36.8	23.7	18.4	-	10.5	47.3	42.1	

（イ）水道水の安全性や水質

「満足」と「やや満足」をあわせた『満足』が 76.6%、「不満」と「やや不満」をあわせた『不満』が 12.6%となっており、『満足』が『不満』より 64.0 ポイント高い。

【経年比較】

「やや満足」は令和 4 年度調査と比較して 5.8 ポイント低下しているが、積極的な「満足」は 9.1 ポイント増加している。『不満』については令和 4 年度調査と比較して 1.3 ポイント低下している。



【性別】『満足』の割合は「男性」が 77.8%、「女性」が 75.6%となり、「男性」が 2.2 ポイント高い。また、積極的な「満足」の割合は「男性」が 38.9%、「女性」が 33.6%となり、「男性」が 5.3 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】『満足』の割合は『女性：18～29 歳』が 82.6%で最も高く、次いで「女性：75 歳以上」が 80.6%、「男性：75 歳以上」が 80.5%と 8 割を超える結果となっている。一方で、「女性：30 歳代」は 69.8%と最も低く、唯一 6 割台にとどまっている。

【ブロック別】『満足』の割合は「中央南部」が 81.6%、「中央部」と「中央東部」が 81.2%となり、8 割を超えている。一方で「東部 B（田主丸）」は 51.3%と最も低く 5 割台にとどまっている。

【住まいの形態別】「持ち家（集合住宅・分譲マンション）」が『満足』の割合で 82.3%と最も高い。その他の居住形態では 7 割台となっている。

【家庭で使用する水の種類別】『満足』と回答した割合は「水道水（上水道）のみ」が 80.4%と最も高く、次いで「水道水（上水道）と地下水（井戸水）との併用」が 76.7%、「地下水（井戸水）のみ」が 46.7%となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（２．ふだんの生活について）

（イ）水道水の安全性や水質

(%)

		回答者数	(イ) 水道水の安全性や水質							
			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	満足 [※]	不満 [※]
全体		3,010 100.0	1,081 35.9	1,225 40.7	274 9.1	106 3.5	275 9.1	49 1.6	2,306 76.6	380 12.6
性別	男性	1,330	38.9	38.9	9.2	3.2	7.9	1.9	77.8	12.4
	女性	1,668	33.6	42.0	9.1	3.7	10.1	1.4	75.6	12.8
	()	6	16.7	66.7	-	-	16.7	-	83.4	-
	無回答	6	16.7	66.7	-	16.7	-	-	83.4	16.7
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	48.0	29.0	7.0	4.0	7.5	4.5	77.0	11.0
	男性：30歳代	163	37.4	41.1	11.0	1.8	6.1	2.5	78.5	12.8
	男性：40歳代	251	39.0	37.5	9.2	4.0	10.0	0.4	76.5	13.2
	男性：50歳代	243	34.6	43.6	11.5	4.1	4.9	1.2	78.2	15.6
	男性：60～64歳	115	32.2	47.0	13.9	0.9	6.1	-	79.2	14.8
	男性：65～69歳	118	33.1	43.2	9.3	4.2	7.6	2.5	76.3	13.5
	男性：70～74歳	150	38.7	39.3	4.7	2.7	11.3	3.3	78.0	7.4
	男性：75歳以上	87	48.3	32.2	5.7	2.3	11.5	-	80.5	8.0
	女性：18～29歳	275	45.1	37.5	6.2	3.3	5.8	2.2	82.6	9.5
	女性：30歳代	232	36.6	33.2	12.1	4.3	11.2	2.6	69.8	16.4
	女性：40歳代	324	32.4	42.9	10.8	4.3	9.3	0.3	75.3	15.1
	女性：50歳代	263	25.1	48.3	10.3	6.1	9.9	0.4	73.4	16.4
	女性：60～64歳	136	33.8	41.9	9.6	2.9	11.8	-	75.7	12.5
	女性：65～69歳	150	28.7	44.0	8.0	2.7	15.3	1.3	72.7	10.7
	女性：70～74歳	179	30.2	45.8	8.9	2.2	11.7	1.1	76.0	11.1
	女性：75歳以上	108	35.2	45.4	3.7	0.9	9.3	5.6	80.6	4.6
	()・無回答		16	31.3	50.0	-	6.3	12.5	-	81.3

(%)

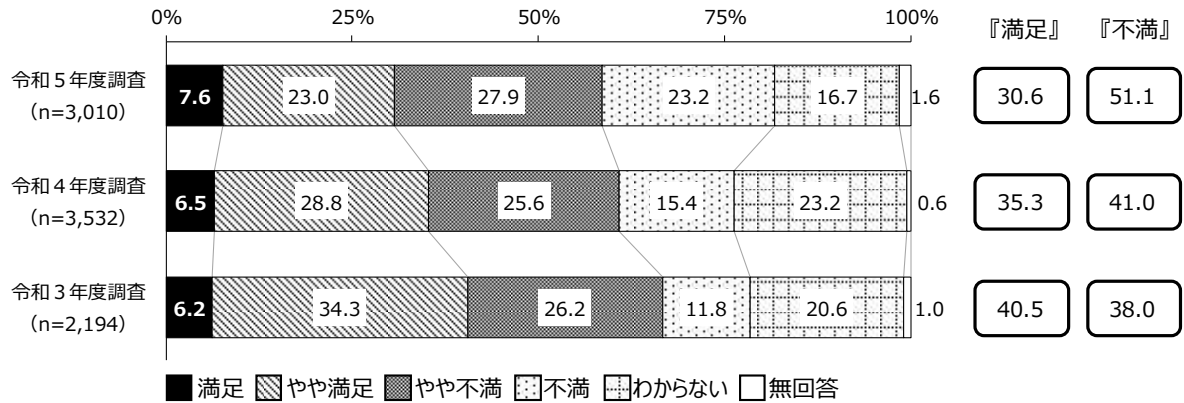
		回答者数	(イ) 水道水の安全性や水質								
			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	満足 %	不満 %	
全体		3,010 100.0	1,081 35.9	1,225 40.7	274 9.1	106 3.5	275 9.1	49 1.6	2,306 76.6	380 12.6	
ブロック別	東部A	192	34.4	45.3	6.3	3.1	10.9	-	79.7	9.4	
	東部B（田主丸）	185	25.9	25.4	11.9	7.0	27.0	2.7	51.3	18.9	
	北部A	281	33.1	42.7	9.6	4.3	8.9	1.4	75.8	13.9	
	北部B（北野）	175	32.0	35.4	10.9	2.9	16.6	2.3	67.4	13.8	
	中央東部	399	39.1	42.1	6.8	4.0	7.0	1.0	81.2	10.8	
	南東部	285	37.9	41.4	8.1	1.4	7.7	3.5	79.3	9.5	
	中央部	384	39.3	41.9	8.6	3.1	6.0	1.0	81.2	11.7	
	中央南部	507	41.2	40.4	7.9	3.6	5.9	1.0	81.6	11.5	
	南西部	282	34.8	42.6	13.5	2.8	4.3	2.1	77.4	16.3	
	西部A（城島）	103	33.0	42.7	8.7	4.9	7.8	2.9	75.7	13.6	
	西部B（三瀬）	171	31.0	45.0	9.9	2.3	9.9	1.8	76.0	12.2	
	わからない・無回答	46	19.6	34.8	15.2	6.5	21.7	2.2	54.4	21.7	
住まいの形態別	持ち家（一戸建て）	1,793	37.3	39.7	8.4	3.5	9.5	1.6	77.0	11.9	
	持ち家（集合住宅・分譲マンション）	338	37.0	45.3	8.9	2.4	5.9	0.6	82.3	11.3	
	賃貸住宅（一戸建て）	109	32.1	43.1	5.5	4.6	14.7	-	75.2	10.1	
	賃貸住宅（アパート・マンション）	657	33.3	40.5	12.0	4.0	8.7	1.5	73.8	16.0	
	勤務先給与住宅（公務員住宅・社宅・寮など）	68	27.9	42.6	13.2	4.4	5.9	5.9	70.5	17.6	
	間借り、その他	30	30.0	43.3	-	3.3	20.0	3.3	73.3	3.3	
	無回答	15	33.3	33.3	-	-	6.7	26.7	66.6	-	
	用 1 する 7 る 水 家 水 の 道 庭 種 で 類 使	水道水（上水道）のみ	2,416	37.8	42.6	8.7	3.4	7.1	0.3	80.4	12.1
地下水（井戸水）のみ	212	19.8	26.9	10.4	6.1	34.4	2.4	46.7	16.5		
水道水（上水道）と地下水（井戸水）との併用	335	36.7	40.0	11.6	3.0	8.1	0.6	76.7	14.6		
無回答	47	6.4	8.5	6.4	-	6.4	72.3	14.9	6.4		

（ウ）水害やがけ崩れ・山崩れの防止などの防災対策および総合防災訓練の充実

「満足」と「やや満足」をあわせた『満足』は 30.6%、「やや不満」と「不満」をあわせた『不満』は 51.1%となっており、『不満』が『満足』より 20.5 ポイント高い。

【経年比較】

『不満』の割合は年々増加しており、令和 5 年度調査が最も高い。



【性別】『満足』割合は男女ともに 3 割前半となっている。

【性別・年齢別】積極的な「満足」の割合は『男性：18～29 歳』が 13.0%と最も高く、次いで『女性：18～29 歳』が 11.6%、「女性：60～64 歳」が 10.3%と 1 割を超えている。

【ブロック別】『満足』の割合は「西部 B（三潺）」が 36.8%で最も高い。一方で、「東部 B（田主丸）」は 14.0%となり最も低い結果となっている。

【同居家族別】『満足』の割合は就学前から中学生を除く「18 歳未満の子どもがいる」世帯が 33.5%で最も高く、次いで「65 歳以上の人がいる」世帯が 31.3%である。

		回答者数	(ウ) 水害やがけ崩れ・山崩れの防止などの 防災対策および総合防災訓練の充実							
			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	満足 %	不満 %
全体		3,010 100.0	230 7.6	693 23.0	841 27.9	697 23.2	502 16.7	47 1.6	923 30.6	1,538 51.1
性別	男性	1,330	7.9	23.2	28.3	25.5	13.6	1.5	31.1	53.8
	女性	1,668	7.4	22.8	27.8	21.3	19.1	1.6	30.2	49.1
	()	6	-	16.7	16.7	33.3	33.3	-	16.7	50.0
	無回答	6	16.7	66.7	-	-	16.7	-	83.4	-
性別 × 年齢別	男性：18～29歳	200	13.0	19.5	24.0	24.0	15.0	4.5	32.5	48.0
	男性：30歳代	163	9.2	16.0	35.0	29.4	8.0	2.5	25.2	64.4
	男性：40歳代	251	6.4	21.1	29.5	29.5	13.1	0.4	27.5	59.0
	男性：50歳代	243	5.3	27.6	27.6	25.5	12.8	1.2	32.9	53.1
	男性：60～64歳	115	9.6	22.6	28.7	25.2	13.9	-	32.2	53.9
	男性：65～69歳	118	4.2	28.8	29.7	24.6	11.9	0.8	33.0	54.3
	男性：70～74歳	150	6.7	24.7	28.7	22.0	16.7	1.3	31.4	50.7
	男性：75歳以上	87	9.2	28.7	21.8	18.4	21.8	-	37.9	40.2
	女性：18～29歳	275	11.6	23.6	27.6	21.8	13.1	2.2	35.2	49.4
	女性：30歳代	232	6.0	18.5	31.9	26.7	14.2	2.6	24.5	58.6
	女性：40歳代	324	6.8	25.0	26.9	22.8	18.2	0.3	31.8	49.7
	女性：50歳代	263	8.0	18.6	28.9	24.3	19.8	0.4	26.6	53.2
	女性：60～64歳	136	10.3	21.3	26.5	19.9	20.6	1.5	31.6	46.4
	女性：65～69歳	150	4.0	25.3	29.3	17.3	22.0	2.0	29.3	46.6
	女性：70～74歳	179	3.4	26.3	27.9	18.4	22.3	1.7	29.7	46.3
	女性：75歳以上	108	8.3	25.9	18.5	9.3	33.3	4.6	34.2	27.8
	()・無回答	16	12.5	37.5	12.5	12.5	25.0	-	50.0	25.0

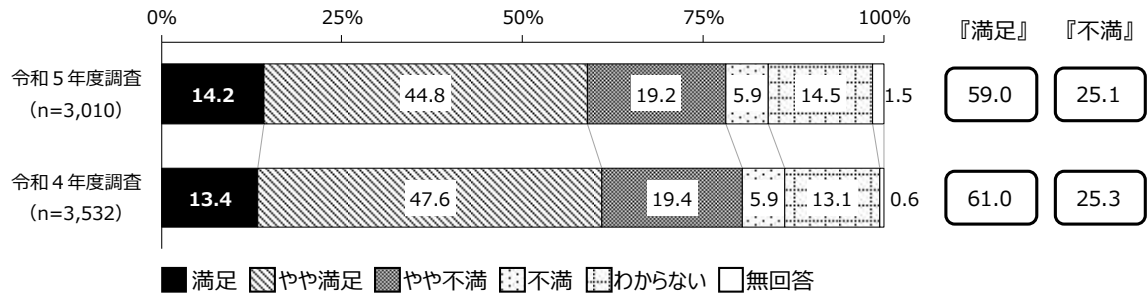
		回答者数	(ウ) 水害やがけ崩れ・山崩れの防止などの 防災対策および総合防災訓練の充実								
			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	満足 %	不満 %	
全体		3,010 100.0	230 7.6	693 23.0	841 27.9	697 23.2	502 16.7	47 1.6	923 30.6	1,538 51.1	
ブロック別	東部A	192	3.1	21.4	29.7	32.8	13.0	-	24.5	62.5	
	東部B（田主丸）	185	3.2	10.8	30.3	44.9	9.7	1.1	14.0	75.2	
	北部A	281	7.5	24.6	26.0	24.2	16.0	1.8	32.1	50.2	
	北部B（北野）	175	7.4	16.0	26.3	34.3	14.3	1.7	23.4	60.6	
	中央東部	399	10.5	24.8	25.3	22.8	15.5	1.0	35.3	48.1	
	南東部	285	6.7	29.5	27.7	17.5	14.7	3.9	36.2	45.2	
	中央部	384	7.6	20.8	28.9	22.4	19.0	1.3	28.4	51.3	
	中央南部	507	8.9	26.6	27.4	17.9	17.9	1.2	35.5	45.3	
	南西部	282	8.9	23.8	32.6	14.9	18.1	1.8	32.7	47.5	
	西部A（城島）	103	3.9	14.6	36.9	25.2	17.5	1.9	18.5	62.1	
	西部B（三瀬）	171	10.5	26.3	24.6	15.8	21.1	1.8	36.8	40.4	
	わからない・無回答	46	4.3	21.7	15.2	21.7	34.8	2.2	26.0	36.9	
	同居家族別	就学前の子どもがいる	394	6.6	20.6	28.4	28.2	13.5	2.8	27.2	56.6
		小学生がいる	422	8.3	22.5	31.5	23.9	12.8	0.9	30.8	55.4
		中学生がいる	260	8.8	21.9	33.5	23.8	11.2	0.8	30.7	57.3
		上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	8.4	25.1	30.8	20.5	14.1	1.1	33.5	51.3
		65歳以上の人がいる	991	6.5	24.8	28.7	22.8	16.0	1.2	31.3	51.5
障害者手帳を持っている人がいる		335	7.8	19.1	27.5	23.3	20.9	1.5	26.9	50.8	
上記にあてはまる人はいない		1,060	8.1	21.8	26.4	23.0	19.2	1.4	29.9	49.4	
無回答	38	7.9	31.6	26.3	18.4	5.3	10.5	39.5	44.7		

（エ）花や緑、水辺等の魅力の向上

「満足」と「やや満足」をあわせた『満足』は 59.0%、「やや不満」と「不満」をあわせた『不満』は 25.1%となっており、『満足』は『不満』より、33.9 ポイント高い。

【経年比較】

令和４年度調査と大差ない結果となっている。



【性別】『満足』の割合は「女性」が 60.1%、「男性」が 57.3%となり、「女性」が 2.8 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】『満足』の割合は男女ともに低い年齢層が高い傾向にある。女性では『女性：18～29 歳』が 69.5%で最も高く、男性では『男性：30 歳代』が 62.6%で最も高い結果となっている。

【ブロック別】『満足』の割合は「中央東部」が 64.4%と最も高く、次いで「北部 A」が 63.0%となっている。一方で、「西部 A（城島）」は 45.6%で最も低い結果となっている。

【同居家族別】『満足』の割合は「小学生がいる」世帯が 67.1%で最も高く、次いで「就学前の子どもがいる」世帯が 64.0%、「中学生がいる」世帯が 63.5%となり、それぞれ 6 割を超えている。

		(Ⅰ) 花や緑、水辺等の魅力の向上 (%)									
		回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	『満足』	『不満』	
全体		3,010	426	1,347	577	179	436	45	1,773	756	
		100.0	14.2	44.8	19.2	5.9	14.5	1.5	59.0	25.1	
性別	男性	1,330	13.2	44.1	20.2	7.0	14.0	1.5	57.3	27.2	
	女性	1,668	14.9	45.2	18.4	5.1	14.9	1.4	60.1	23.5	
	()	6	-	50.0	16.7	16.7	-	-	50.0	33.4	
	無回答	6	16.7	66.7	-	-	-	16.7	83.4	-	
性別 × 年齢別	男性：18～29歳	200	16.5	44.0	18.0	3.5	13.5	4.5	60.5	21.5	
	男性：30歳代	163	14.1	48.5	16.6	9.2	9.2	2.5	62.6	25.8	
	男性：40歳代	251	12.4	44.6	18.3	7.6	16.7	0.4	57.0	25.9	
	男性：50歳代	243	14.4	41.2	23.0	6.2	14.0	1.2	55.6	29.2	
	男性：60～64歳	115	9.6	44.3	22.6	8.7	14.8	-	53.9	31.3	
	男性：65～69歳	118	11.9	44.9	22.0	6.8	13.6	0.8	56.8	28.8	
	男性：70～74歳	150	10.7	40.7	26.7	9.3	11.3	1.3	51.4	36.0	
	男性：75歳以上	87	14.9	44.8	13.8	5.7	20.7	-	59.7	19.5	
	女性：18～29歳	275	24.4	45.1	12.4	5.1	10.9	2.2	69.5	17.5	
	女性：30歳代	232	16.4	45.3	12.9	3.9	19.0	2.6	61.7	16.8	
	女性：40歳代	324	16.7	47.8	16.0	4.6	14.5	0.3	64.5	20.6	
	女性：50歳代	263	12.9	43.0	19.8	6.1	17.9	0.4	55.9	25.9	
	女性：60～64歳	136	9.6	41.9	28.7	6.6	12.5	0.7	51.5	35.3	
	女性：65～69歳	150	9.3	45.3	27.3	4.7	12.0	1.3	54.6	32.0	
	女性：70～74歳	179	8.9	46.4	21.8	5.6	15.6	1.7	55.3	27.4	
	女性：75歳以上	108	12.0	45.4	18.5	4.6	15.7	3.7	57.4	23.1	
	()・無回答	16	6.3	62.5	6.3	6.3	12.5	6.3	68.8	12.6	

		(Ⅰ) 花や緑、水辺等の魅力の向上 (%)									
		回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	『満足』	『不満』	
全体		3,010	426	1,347	577	179	436	45	1,773	756	
		100.0	14.2	44.8	19.2	5.9	14.5	1.5	59.0	25.1	
ブロック別	東部A	192	14.1	46.9	19.8	5.2	14.1	-	61.0	25.0	
	東部B（田主丸）	185	10.3	44.9	22.2	9.2	11.9	1.6	55.2	31.4	
	北部A	281	19.2	43.8	14.6	5.3	15.7	1.4	63.0	19.9	
	北部B（北野）	175	10.3	49.7	16.0	5.1	17.1	1.7	60.0	21.1	
	中央東部	399	17.8	46.6	20.8	5.0	8.8	1.0	64.4	25.8	
	南東部	285	14.4	38.2	20.0	4.6	18.9	3.9	52.6	24.6	
	中央部	384	15.4	45.3	19.3	6.5	12.5	1.0	60.7	25.8	
	中央南部	507	14.4	46.7	16.6	6.1	15.2	1.0	61.1	22.7	
	南西部	282	10.3	41.5	23.0	6.4	16.7	2.1	51.8	29.4	
	西部A（城島）	103	9.7	35.9	29.1	8.7	14.6	1.9	45.6	37.8	
同居家族別	西部B（三瀬）	171	11.1	48.0	16.4	6.4	16.4	1.8	59.1	22.8	
	わからない・無回答	46	13.0	47.8	17.4	2.2	19.6	-	60.8	19.6	
	就学前の子どもがいる	394	17.8	46.2	14.7	5.6	12.9	2.8	64.0	20.3	
	小学生がいる	422	16.4	50.7	14.5	5.2	12.3	0.9	67.1	19.7	
	中学生がいる	260	17.7	45.8	16.9	5.0	13.8	0.8	63.5	21.9	
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	15.2	43.0	22.4	4.2	14.1	1.1	58.2	26.6	
	65歳以上の人がある	991	11.1	45.6	22.9	5.8	13.3	1.3	56.7	28.7	
	障害者手帳を持っている人がある	335	12.5	42.4	16.7	7.2	20.0	1.2	54.9	23.9	
同居家族別	上記にあてはまる人はいない	1,060	14.6	43.9	17.7	6.4	16.1	1.2	58.5	24.1	
	無回答	38	13.2	47.4	15.8	2.6	10.5	10.5	60.6	18.4	

3. 市の情報発信について

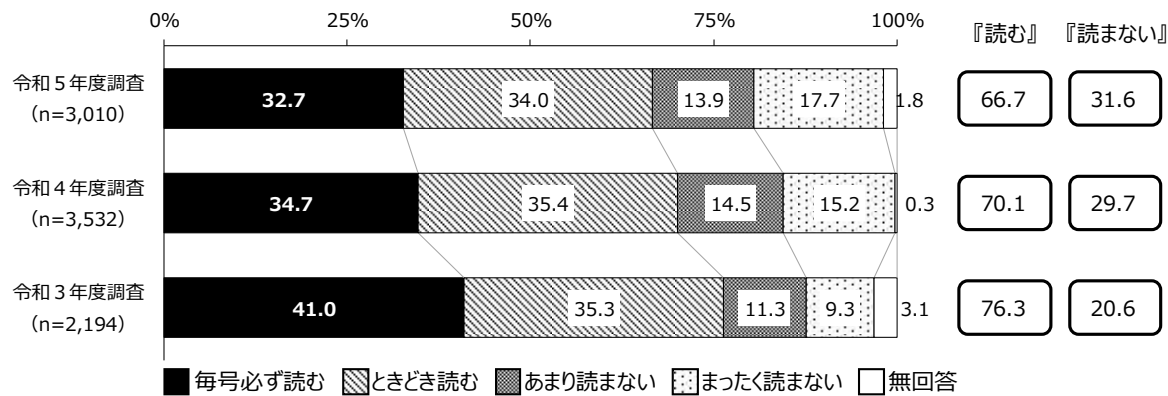
(1) 「広報久留米」の閲読状況

問 19 あなたは、「広報久留米」を読んでいますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

「毎号必ず読む」と「ときどき読む」をあわせた『読む』は 66.7%。一方で、「あまり読まない」と「まったく読まない」をあわせた『読まない』は 31.6%である。

【経年比較】

「広報久留米」を『読む』割合が、令和 3 年度調査から徐々に減少傾向にある。



【性別】「毎号必ず読む」の割合は「女性」が 36.7%、「男性」が 27.8%となり、「女性」が 8.9 ポイント高い。『読む』の割合は「女性」が 70.2%、「男性」が 62.4%で「女性」が 7.8 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】「毎号必ず読む」の割合は高い年齢層で高い傾向にあり、「70～74 歳」が 58.1%と最も高い。『18～29 歳』は 4.4%と最も低い。

【ブロック別】「毎号必ず読む」の割合は「西部 A（城島）」が 39.8%と最も高い。一方で、「中央部」は 29.9%となり最も低い結果となっている。

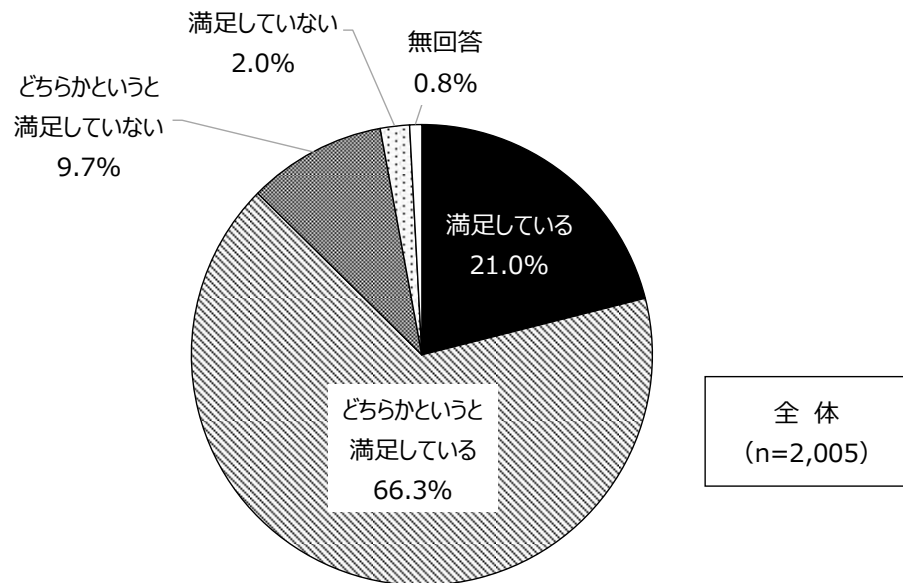
		「広報久留米」の閲読状況								(%)
		回答者数	毎号必ず読む	ときどき読む	あまり読まない	まったく読まない	無回答	『読む』	『読まない』	
全体		3,010	983	1,022	418	534	53	2,005	952	
		100.0	32.7	34.0	13.9	17.7	1.8	66.7	31.6	
性別	男性	1,330	27.8	34.6	15.0	20.5	2.0	62.4	35.5	
	女性	1,668	36.7	33.5	12.9	15.5	1.4	70.2	28.4	
	()	6	-	50.0	16.7	33.3	-	50.0	50.0	
	無回答	6	16.7	16.7	33.3	-	33.3	33.4	33.3	
年齢別	18～29歳	478	4.4	28.2	15.3	48.7	3.3	32.6	64.0	
	30歳代	397	21.2	35.0	18.6	23.2	2.0	56.2	41.8	
	40歳代	576	31.8	41.5	12.0	13.9	0.9	73.3	25.9	
	50歳代	507	33.7	38.3	15.8	11.0	1.2	72.0	26.8	
	60～64歳	252	34.9	34.5	16.7	11.9	2.0	69.4	28.6	
	65～69歳	268	50.0	30.6	12.7	6.0	0.7	80.6	18.7	
	70～74歳	329	58.1	29.2	7.6	3.6	1.5	87.3	11.2	
	75歳以上	198	55.6	24.7	10.1	7.1	2.5	80.3	17.2	
	無回答	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	

		「広報久留米」の閲読状況								(%)
		回答者数	毎号必ず読む	ときどき読む	あまり読まない	まったく読まない	無回答	『読む』	『読まない』	
全体		3,010	983	1,022	418	534	53	2,005	952	
		100.0	32.7	34.0	13.9	17.7	1.8	66.7	31.6	
ブロック別	東部A	192	35.9	35.9	10.9	16.7	0.5	71.8	27.6	
	東部B（田主丸）	185	32.4	29.7	16.8	20.5	0.5	62.1	37.3	
	北部A	281	31.7	34.2	11.7	19.9	2.5	65.9	31.6	
	北部B（北野）	175	33.1	30.9	14.3	18.9	2.9	64.0	33.2	
	中央東部	399	31.3	31.8	12.3	23.6	1.0	63.1	35.9	
	南東部	285	30.9	34.4	15.1	15.8	3.9	65.3	30.9	
	中央部	384	29.9	38.0	14.3	16.9	0.8	67.9	31.2	
	中央南部	507	34.1	36.5	14.0	14.4	1.0	70.6	28.4	
	南西部	282	34.8	36.2	14.5	11.7	2.8	71.0	26.2	
	西部A（城島）	103	39.8	27.2	17.5	13.6	1.9	67.0	31.1	
	西部B（三瀬）	171	34.5	30.4	13.5	18.7	2.9	64.9	32.2	
	わからない・無回答	46	17.4	21.7	17.4	41.3	2.2	39.1	58.7	

（１）「広報久留米」の閲読状況

問 19 付問 1 【問 19 で「１．毎号必ず読む」または「２．ときどき読む」と回答した人に】
広報久留米の見やすさについて感想をお聞きます。（あてはまる番号 1 つだけ）

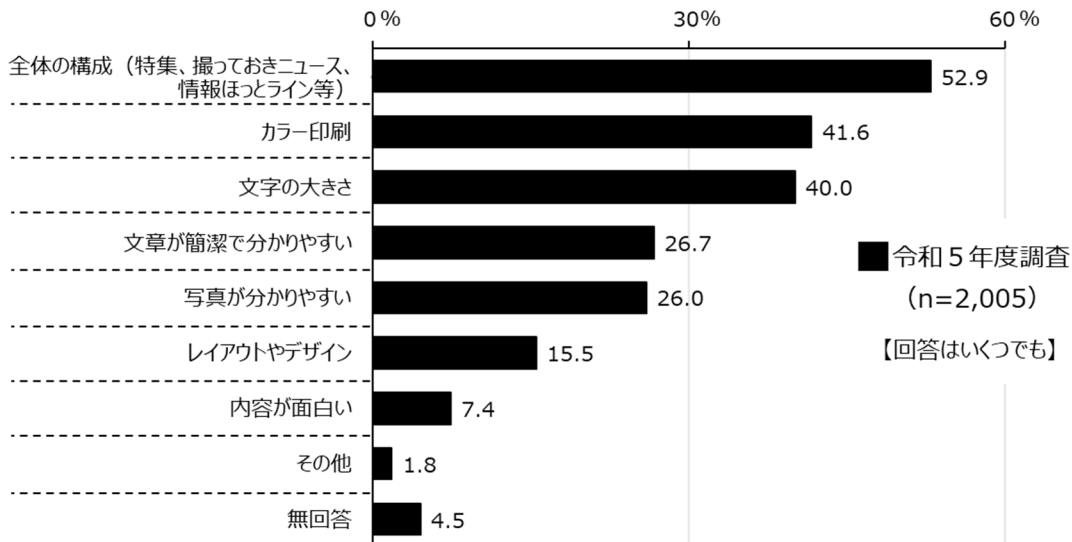
広報久留米の見やすさについて「満足している」は 21.0%、「どちらかという満足している」は 66.3%となり、合計は 87.3%で、9 割弱が満足していると回答している。



（１）「広報久留米」の閲読状況

問 19 付問 2 【問 19 で『 1. 毎号必ず読む』または『 2. ときどき読む』と回答した人に】
 広報久留米の見やすさについて感想をお聞きます。（あてはまる番号いくつでも）

広報久留米の見やすさについて「全体の構成（特集、撮っておきニュース、情報ほっとライン等）」が 52.9%と 5 割を超え、「カラー印刷」「文字の大きさ」は 4 割程度となっている。



【性別】「全体の構成（特集、撮っておきニュース、情報ほっとライン等）」と回答した割合は「女性」が 54.4%、「男性」が 51.0% となり、ともに 5 割台となっている。

【年齢別】高い年齢層で「全体の構成（特集、撮っておきニュース、情報ほっとライン等）」の割合が高い傾向にあり、「70～74 歳」が 64.8%で最も高い。一方で、「内容が面白い」の割合は『18～29 歳』が 11.5%と最も高い結果となっている。

【ブロック別】「東部 B（田主丸）」は「全体の構成（特集、撮っておきニュース、情報ほっとライン等）」の割合が 61.7%、「レイアウトやデザイン」の割合が 20.9%となっており、ブロックの中で最も高い割合となっている。

（１）「広報久留米」の閲読状況

（％）

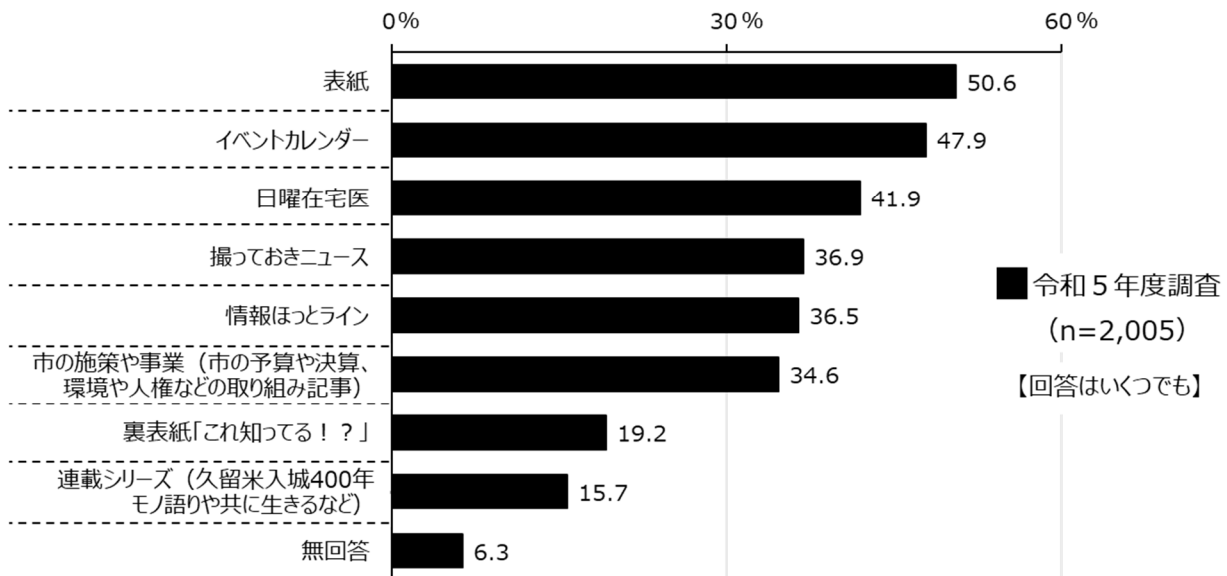
		回答者数	読みやすいと感じる部分								
			文字の大きさ	（特集、情報ほっとライン等）全体の構成	カラー印刷	内容が面白い	レイアウトやデザイン	分文章が簡潔で読みやすい	写真が分かりやすい	その他	無回答
全体		2,005 100.0	803 40.0	1,061 52.9	835 41.6	148 7.4	311 15.5	535 26.7	521 26.0	36 1.8	91 4.5
性別	男性	830	38.3	51.0	38.9	7.7	17.1	24.8	24.8	2.3	4.9
	女性	1,170	41.4	54.4	43.6	7.2	14.4	28.1	26.8	1.5	4.2
	（ ）	3	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3	-	-
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
年齢別	18～29歳	156	28.2	40.4	50.0	11.5	20.5	15.4	28.2	1.3	1.9
	30歳代	223	30.9	46.6	53.8	9.0	22.9	24.2	27.4	0.9	4.0
	40歳代	422	30.1	47.6	50.0	5.2	15.2	21.6	28.4	1.9	3.3
	50歳代	365	40.5	51.0	43.3	9.6	15.6	24.7	25.8	2.5	5.8
	60～64歳	175	47.4	56.0	34.9	3.4	13.7	22.9	23.4	2.3	5.1
	65～69歳	216	51.9	58.8	34.7	7.9	15.7	29.6	25.5	0.9	6.0
	70～74歳	287	49.8	64.8	28.6	6.3	12.9	37.6	22.0	2.4	5.2
	75歳以上	159	47.8	59.7	30.2	7.5	6.9	39.0	26.4	1.3	4.4
	無回答	2	50.0	50.0	100.0	-	50.0	100.0	50.0	-	-
ブロック別	東部A	138	39.1	58.7	46.4	6.5	16.7	25.4	23.9	2.9	2.2
	東部B（田主丸）	115	38.3	61.7	43.5	6.1	20.9	27.0	36.5	-	4.3
	北部A	185	38.9	50.3	34.6	5.4	14.6	28.1	25.9	1.6	2.7
	北部B（北野）	112	42.0	56.3	44.6	2.7	15.2	25.9	29.5	0.9	5.4
	中央東部	252	35.7	54.4	43.3	10.3	14.7	27.0	23.8	1.6	6.0
	南東部	186	43.0	50.0	40.9	8.1	18.3	30.1	30.6	1.1	5.9
	中央部	261	41.0	46.7	45.6	10.7	15.7	28.0	24.9	3.8	5.7
	中央南部	358	38.8	52.0	40.2	7.8	16.2	25.1	22.6	1.7	4.2
	南西部	200	44.5	54.0	38.5	5.5	12.0	26.5	21.0	1.0	5.5
	西部A（城島）	69	39.1	53.6	42.0	7.2	18.8	23.2	20.3	2.9	2.9
	西部B（三潴）	111	42.3	54.1	44.1	3.6	9.9	23.4	37.8	1.8	2.7
	わからない・無回答	18	38.9	55.6	22.2	11.1	11.1	33.3	22.2	-	-

（１）「広報久留米」の閲読状況

問 19 付問 3 【問 19 で『 1. 毎号必ず読む』または『 2. ときどき読む』と回答した人に】

広報久留米で必ず目を通す紙面は何ですか。（あてはまる番号いくつでも）

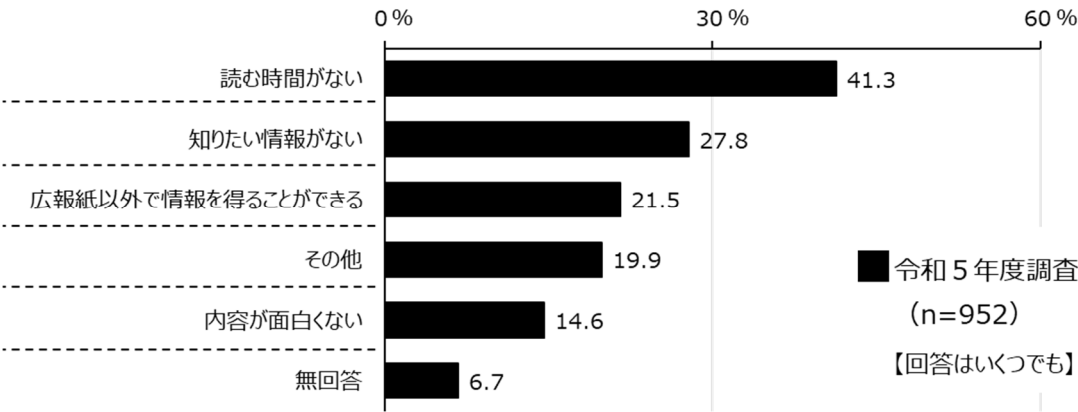
必ず目を通す紙面について、「表紙」の 50.6%が最も高く、次いで「イベントカレンダー」が 47.9%、「日曜在宅医」が 41.9%となっている。「撮っておきニュース」は 36.9%、「情報ほっとライン」は 36.5%となり大差がなく、「市の施策や事業（市の予算や決算、環境や人権などの取り組み記事）」は 34.6%で第 6 位となっている。



（１）「広報久留米」の閲読状況

問 19 付問 4 【問 19 で『 3．あまり読まない』または『 4．まったく読まない』と回答した人に】
読まない理由を教えてください。（あてはまる番号いくつでも）

読まない理由について、もっとも高い割合となっているのは「読む時間がない」の 41.3%である。第 2 位の「知りたい情報がない」は 27.8%、第 3 位の「広報紙以外で情報を得ることができる」は 21.5%で、ともに 2 割台となっている。



【性年齢別】「内容が面白くない」の割合は、女性では「女性：50 歳代」が 22.0%で最も高く、男性では「男性：60～64 歳」が 20.5%と最も高い。「知りたい情報がない」の割合は男女とも 30 歳代が最も高い結果となっている。

		回 答 者 数	読まない理由						(%)
			内 容 が 面 白 く な い	る 広 報 紙 以 外 で 情 報 を 得 る	知 り た い 情 報 が な い	読 む 時 間 が な い	そ の 他	無 回 答	
全体		952 100.0	139 14.6	205 21.5	265 27.8	393 41.3	189 19.9	64 6.7	
性別 × 年 齢 別	男性：18～29歳	140	12.1	15.0	27.1	47.1	19.3	5.0	
	男性：30歳代	74	20.3	24.3	37.8	43.2	13.5	5.4	
	男性：40歳代	75	14.7	26.7	25.3	41.3	25.3	-	
	男性：50歳代	76	10.5	23.7	23.7	47.4	18.4	5.3	
	男性：60～64歳	39	20.5	30.8	35.9	41.0	12.8	7.7	
	男性：65～69歳	31	12.9	29.0	19.4	32.3	16.1	6.5	
	男性：70～74歳	20	15.0	15.0	15.0	25.0	20.0	25.0	
	男性：75歳以上	17	17.6	29.4	23.5	29.4	23.5	5.9	
	女性：18～29歳	164	8.5	14.0	28.0	51.2	18.9	4.9	
	女性：30歳代	91	16.5	23.1	37.4	36.3	20.9	5.5	
	女性：40歳代	74	20.3	23.0	31.1	44.6	21.6	5.4	
	女性：50歳代	59	22.0	27.1	20.3	30.5	22.0	6.8	
	女性：60～64歳	33	18.2	24.2	15.2	33.3	21.2	21.2	
	女性：65～69歳	19	5.3	21.1	31.6	21.1	21.1	15.8	
	女性：70～74歳	17	17.6	23.5	29.4	23.5	23.5	17.6	
	女性：75歳以上	16	6.3	25.0	12.5	18.8	43.8	18.8	
	()・無回答		7	28.6	28.6	28.6	28.6	-	14.3

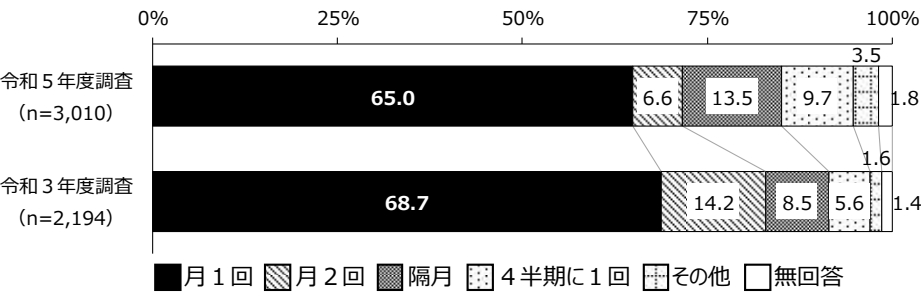
（２）「広報久留米」の発行頻度

問 20 「広報久留米」は、どの頻度で発行したら良いと思いますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

「広報久留米」の発行頻度について、「月 1 回」が最も多く 65.0%、次いで「隔月」が 13.5%となっている。

【経年比較】

令和 3 年度調査と比較して、「月 1 回」は 3.7 ポイント減少している。「月 2 回」は 7.6 ポイント減少し、「隔月」は 5.0 ポイント、「4 半期に 1 回」は 4.1 ポイント増加している。



【性別】「月 1 回」の割合は「女性」が 66.7%、「男性」が 62.9%となり、「女性」が 3.8 ポイント高い。「月 2 回」、「隔月」の割合は男女に大差ない結果となっている。

【年齢別】高い年齢層において「月 1 回」の割合が高い傾向にあり、「75 歳以上」が最も高い 78.3%である。

【ブロック別】「月 1 回」の割合はどのブロックも 6 割を超えており、選択肢の中で最も高い割合となっている。中でも、「西部 A（城島）」は 71.8%と 7 割を超えている。

		「広報久留米」の発行頻度									「広報久留米」の発行頻度						
		回答者数	月 1 回	月 2 回	隔月	4 半期に 1 回	その他	無回答			回答者数	月 1 回	月 2 回	隔月	4 半期に 1 回	その他	無回答
全体		3,010	100.0	1,955	65.0	199	6.6	405	13.5	293	9.7	104	3.5	54	1.8		
性別	男性	1,330		62.9	6.9	13.1	11.1	4.1	1.9								
	女性	1,668		66.7	6.4	13.8	8.5	3.0	1.7								
	()	6		50.0	-	-	50.0	-	-								
	無回答	6		50.0	-	16.7	16.7	-	16.7								
年齢別	18～29歳	478		57.5	5.6	12.6	14.6	5.9	3.8								
	30歳代	397		54.7	5.3	18.9	15.1	4.0	2.0								
	40歳代	576		62.5	5.7	15.1	11.1	5.2	0.3								
	50歳代	507		68.0	4.7	14.8	8.7	2.4	1.4								
	60～64歳	252		67.9	6.7	13.5	7.9	3.2	0.8								
	65～69歳	268		68.7	11.6	9.7	7.1	1.1	1.9								
	70～74歳	329		74.5	9.4	10.3	2.7	0.9	2.1								
	75歳以上	198		78.3	7.6	7.1	3.0	2.0	2.0								
	無回答	5		60.0	-	-	20.0	-	20.0								
ブロック別	東部A	192		67.7	7.8	12.5	8.9	2.6	0.5								
	東部B（田主丸）	185		64.9	5.4	17.3	5.9	4.3	2.2								
	北部A	281		61.6	8.5	14.9	8.2	4.6	2.1								
	北部B（北野）	175		65.7	4.0	13.7	10.3	4.6	1.7								
	中央東部	399		62.7	8.5	14.3	8.8	4.0	1.8								
	南東部	285		62.1	4.9	13.7	12.6	2.5	4.2								
	中央部	384		64.8	6.0	14.6	10.7	3.1	0.8								
	中央南部	507		68.2	6.1	12.2	10.1	2.4	1.0								
	南西部	282		65.6	7.4	9.9	11.7	2.8	2.5								
	西部A（城島）	103		71.8	6.8	12.6	5.8	1.0	1.9								
	西部B（三瀬）	171		65.5	6.4	11.1	9.4	5.8	1.8								
	わからない・無回答	46		52.2	4.3	19.6	13.0	8.7	2.2								

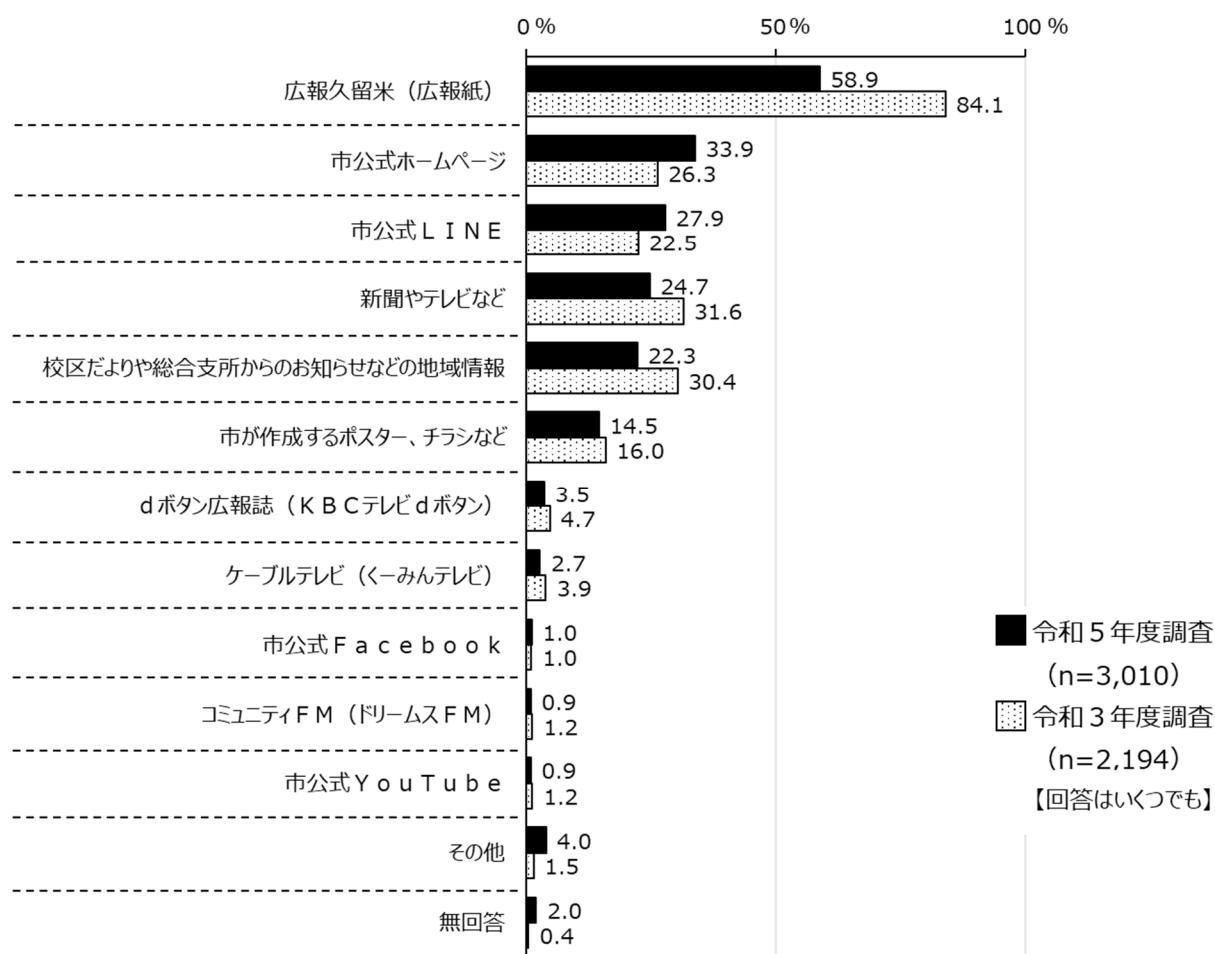
（３）市の情報源

問 21 市の情報はどこから入手しますか？（あてはまる番号いくつでも）

市の情報の入手経路について、「広報久留米（広報紙）」が 58.9%と最も高く、次いで「市公式ホームページ」が 33.9%である。「市公式 L I N E」は 27.9%、「新聞やテレビ」は 24.7%、「校区だよりや総合支所からのお知らせなどの地域情報」は 22.3%となっている。

【経年比較】

令和 3 年度調査と比較して令和 5 年度調査では「広報久留米（広報紙）」は 25.2 ポイント減少している。一方で「市公式ホームページ」、「市公式 L I N E」は増加傾向にある。



【性別】「広報久留米（広報紙）」の割合は「女性」が 61.8%、「男性」が 55.3%となり、「女性」6.5 ポイント高い。また、「市公式 L I N E」の割合は「女性」が 32.4%、「男性」が 22.4%で「女性」が 10.0 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】「広報久留米」の割合は年齢が上がる程高くなる傾向にあり、「市公式ホームページ」、「市公式 L I N E」は「30 歳代」、「40 歳代」の割合が高い。

【ブロック別】「中央部」は「市公式ホームページ」の割合が 40.9%と最も高く、4 割を超えている。

（３）市の情報源

(%)

		回答者数	市の情報源												
			広報久留米 （広報紙）	市公式ホームページ	市公式LINE	市公式Facebook	市公式YouTube	市公式dボタン （KBCテレビdボタン）	市が作成するポスター、チラシなど	校区だよりや総合支所からのお知らせなどの地域情報	新聞やテレビなど	ケーブルテレビ（くみんテレビ）	コミュニティFM（ドリームスFM）	その他	無回答
全体		3,010 100.0	1,773 58.9	1,020 33.9	840 27.9	31 1.0	27 0.9	106 3.5	437 14.5	672 22.3	744 24.7	82 2.7	28 0.9	119 4.0	59 2.0
性別	男性	1,330	55.3	36.0	22.4	1.4	1.2	3.8	12.8	21.4	26.2	2.6	0.9	4.4	2.3
	女性	1,668	61.8	32.3	32.4	0.8	0.7	3.4	15.9	23.2	23.4	2.8	1.0	3.6	1.7
	（ ）	6	33.3	16.7	16.7	-	-	-	16.7	-	66.7	-	-	-	-
	無回答	6	66.7	33.3	-	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-
年齢別	18～29歳	478	25.5	36.0	26.4	0.8	1.0	2.3	13.2	10.3	29.9	2.7	0.2	9.2	4.4
	30歳代	397	47.1	41.1	39.0	1.8	1.5	2.3	15.6	18.1	17.4	2.5	0.8	4.5	2.0
	40歳代	576	59.7	44.3	37.7	1.7	0.5	3.5	15.3	22.2	18.4	2.3	0.7	4.2	0.5
	50歳代	507	63.3	38.3	31.6	1.2	1.0	2.8	12.6	17.8	19.9	2.2	1.4	2.8	1.8
	60～64歳	252	65.5	32.1	26.2	0.8	1.2	4.0	12.7	20.6	26.2	1.6	0.4	1.6	1.6
	65～69歳	268	77.2	29.1	19.4	-	0.7	3.0	14.6	32.5	27.2	5.2	2.2	2.2	1.1
	70～74歳	329	83.0	17.3	14.3	0.6	0.6	6.4	16.4	36.2	32.8	3.6	1.2	1.5	1.8
	75歳以上	198	76.8	10.1	8.6	-	-	6.6	17.7	37.9	38.4	2.5	1.0	2.0	2.0
	無回答	5	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-	-	-	20.0
ブロック別	東部A	192	69.8	34.9	28.6	1.0	1.6	5.7	16.7	30.7	30.2	0.5	1.0	3.1	0.5
	東部B（田主丸）	185	56.8	23.2	25.9	-	-	2.2	10.3	38.4	31.4	-	1.6	5.4	1.6
	北部A	281	56.2	30.6	34.2	1.1	1.4	2.1	14.9	18.9	31.0	2.8	0.7	3.2	1.8
	北部B（北野）	175	60.6	31.4	28.0	1.1	-	2.3	13.7	24.0	25.7	2.3	1.7	4.6	2.3
	中央東部	399	55.9	36.1	31.6	1.3	1.3	3.0	16.0	17.5	20.8	3.8	1.3	4.3	2.3
	南東部	285	57.2	31.6	21.1	0.4	0.4	4.6	12.3	22.8	23.5	1.4	1.8	3.5	4.2
	中央部	384	55.7	40.9	32.6	1.0	0.3	2.9	15.1	18.2	19.5	4.7	-	4.4	1.3
	中央南部	507	60.7	36.1	31.0	1.6	1.2	4.7	16.0	17.4	21.3	3.7	1.0	3.6	1.4
	南西部	282	63.1	37.2	23.8	1.4	0.7	2.8	14.5	29.8	25.9	2.1	0.4	3.5	1.8
	西部A（城島）	103	63.1	30.1	19.4	-	1.0	5.8	14.6	23.3	31.1	3.9	-	3.9	2.9
	西部B（三瀬）	171	59.6	27.5	21.1	1.2	2.3	3.5	11.7	22.2	26.9	1.2	0.6	4.1	1.8
	わからない・無回答	46	37.0	26.1	2.2	-	-	2.2	13.0	17.4	26.1	2.2	2.2	6.5	4.3

４．在宅医療・介護に関する意識について

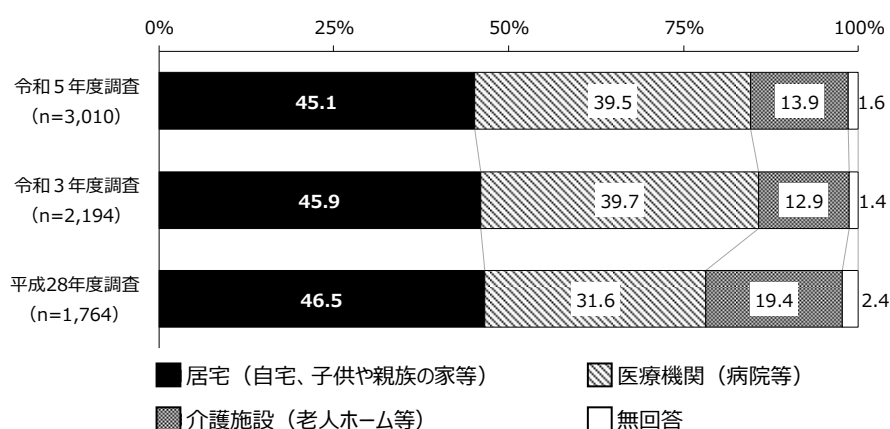
（１）療養生活と最期を迎えたい場所

問 22 あなたが、病気などで治る見込みがない状態になった場合、どこで療養生活を送り最期を迎えたいですか。
（あてはまる番号 1 つだけ）

「居宅（自宅、子供や親族の家等）」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「医療機関（病院等）」の割合が 39.5%、「介護施設（老人ホーム等）」の割合が 13.9%となっている。

【経年比較】

「居宅（自宅、子供や親族の家等）」の割合が平成 28 年度調査、令和 3 年度調査と比べ減少している。



【性別】「居宅（自宅、子供や親族の家等）」の割合は「男性」が 49.8%、「女性」が 41.4%となり、男性が 8.4 ポイント高い。一方で、「医療機関（病院等）」の割合は「女性」が 43.0%、「男性」が 35.0%で「女性」が 8.0 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】「医療機関（病院等）」の割合は女性では「女性：65～69 歳」が 49.3%で最も高く、男性では「男性：65～69 歳」が 47.5%と最も高い割合となっている。

【ブロック別】「居宅（自宅、子供や親族の家等）」の割合は「西部 A（城島）」が 54.4%と最も高く、5 割を超えており、その他のブロックは 4 割台となっている。

【家族構成別】「居宅（自宅、子供や親族の家等）」の割合は「親・子・孫（3 世代）」が 50.9%と最も高く、「単身」が 39.3%で最も低い。一方で、「医療機関（病院等）」の割合は「単身」が 43.5%と最も高い割合となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（４．在宅医療・介護に関する意識について）

（１）療養生活と最期を迎えたい場所

			(%)								(%)				
			回 答 者 数	療養生活と最期を迎えたい場所					回 答 者 数	療養生活と最期を迎えたい場所					
				家（自 宅、 子 供 や 親 族 の 等）	居 宅 医 療 機 関 （ 病 院 等 ）	（老 人 ホ ー ム 等 ）	介 護 施 設 無 回 答	家（自 宅、 子 供 や 親 族 の 等）		居 宅 医 療 機 関 （ 病 院 等 ）	（老 人 ホ ー ム 等 ）	介 護 施 設 無 回 答			
全体			3,010 100.0	1,357 45.1	1,189 39.5	417 13.9	47 1.6	全体			3,010 100.0	1,357 45.1	1,189 39.5	417 13.9	47 1.6
性別	男性		1,330	49.8	35.0	13.5	1.7	ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	43.2	35.9	18.8	2.1	
	女性		1,668	41.4	43.0	14.1	1.4		東部B（田主丸）	185	45.9	37.3	16.2	0.5	
	（　）		6	16.7	50.0	33.3	-		北部A	281	48.4	39.1	11.0	1.4	
	無回答		6	50.0	33.3	-	16.7		北部B（北野）	175	44.6	41.1	12.6	1.7	
性別×年齢別	男性：18～29歳		200	58.5	30.0	6.0	5.5		中央東部	399	45.4	38.8	14.3	1.5	
	男性：30歳代		163	55.2	36.2	6.7	1.8		南東部	285	43.5	42.1	10.9	3.5	
	男性：40歳代		251	54.6	33.1	12.0	0.4		中央部	384	42.2	39.6	17.2	1.0	
	男性：50歳代		243	45.3	32.5	20.6	1.6		中央南部	507	44.8	42.6	11.6	1.0	
	男性：60～64歳		115	47.0	33.0	20.0	-		南西部	282	44.7	38.7	14.5	2.1	
	男性：65～69歳		118	40.7	47.5	11.0	0.8		西部A（城島）	103	54.4	31.1	13.6	1.0	
	男性：70～74歳		150	44.7	34.7	19.3	1.3		西部B（三瀬）	171	45.6	39.2	14.0	1.2	
	男性：75歳以上		87	43.7	42.5	13.8	-		わからない・無回答	46	45.7	39.1	13.0	2.2	
	女性：18～29歳		275	57.1	34.9	5.8	2.2	家 族 構 成 別	単身	407	39.3	43.5	16.7	0.5	
	女性：30歳代		232	52.2	36.6	9.1	2.2		夫婦のみ	618	41.9	39.6	18.1	0.3	
	女性：40歳代		324	39.5	45.1	14.8	0.6		親・子（2世代）	1,616	47.0	39.0	11.8	2.2	
	女性：50歳代		263	38.8	46.4	14.4	0.4		親・子・孫（3世代）	269	50.9	35.3	12.3	1.5	
	女性：60～64歳		136	33.8	44.1	20.6	1.5		その他	89	41.6	42.7	12.4	3.4	
	女性：65～69歳		150	32.0	49.3	18.0	0.7		無回答	11	36.4	36.4	18.2	9.1	
	女性：70～74歳		179	30.7	48.6	18.4	2.2								
	女性：75歳以上		108	31.5	43.5	22.2	2.8								
	（　）・無回答			16	31.3	50.0	12.5	6.3							

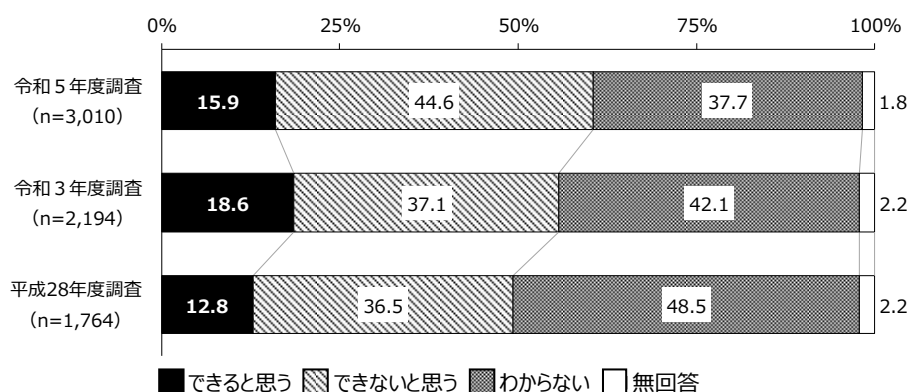
（２）安心して居宅で療養し、最期を迎えることができる

問 23 あなた自身や同居の人が人生の最終段階を迎えた場合に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができると
 思いますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

「できないと思う」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 37.7%、「できると思う」の割合が 15.9%となっている。

【経年比較】

「できないと思う」の割合が増加し、「わからない」の割合が減少している。



【性別】「できると思う」の割合は「男性」が 20.5%、「女性」が 12.2%となり、「男性」が 8.3 ポイント高くなっている。

【性別・年齢別】「できると思う」の割合は『男性：18～29 歳』が 28.5%で最も高く、次いで『女性：18～29 歳』が 25.5%となっている。一方で、「できないと思う」の割合は「女性：60～64 歳」が 57.4%と最も高い。

【ブロック別】「できると思う」の割合は「西部 B（三潁）」が 19.3%と最も高く、次いで「中央部」が 19.0%となっている。一方で「東部 A」は 14.1%で最も低い結果となっている。

【家族構成別】「できると思う」の割合は「親・子・孫（3 世代）」が 16.7%で最も高く、次いで「単身」が 16.2%となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（４．在宅医療・介護に関する意識について）

（２）安心して居宅で療養し、最期を迎えることができる

		回 答 者 数	安心して居宅で療養し、 最期を迎えることができる				(%)
			で き る と 思 う	で き な い と 思 う	わ か ら な い	無 回 答	
全体		3,010 100.0	479 15.9	1,342 44.6	1,134 37.7	55 1.8	
性 別	男性	1,330	20.5	42.0	35.9	1.7	
	女性	1,668	12.2	46.6	39.3	1.9	
	()	6	-	83.3	16.7	-	
	無回答	6	50.0	33.3	16.7	-	
性 別 × 年 齢 別	男性：18～29歳	200	28.5	30.0	36.5	5.0	
	男性：30歳代	163	16.6	42.9	38.7	1.8	
	男性：40歳代	251	20.3	45.0	33.9	0.8	
	男性：50歳代	243	16.9	42.8	39.1	1.2	
	男性：60～64歳	115	20.0	46.1	33.9	-	
	男性：65～69歳	118	24.6	41.5	33.1	0.8	
	男性：70～74歳	150	18.7	46.0	34.0	1.3	
	男性：75歳以上	87	17.2	43.7	36.8	2.3	
	女性：18～29歳	275	25.5	31.3	40.7	2.5	
	女性：30歳代	232	9.5	45.7	42.7	2.2	
	女性：40歳代	324	9.0	52.2	37.3	1.5	
	女性：50歳代	263	9.5	51.3	38.8	0.4	
	女性：60～64歳	136	8.1	57.4	32.4	2.2	
	女性：65～69歳	150	8.0	48.0	42.7	1.3	
	女性：70～74歳	179	11.2	48.6	38.5	1.7	
	女性：75歳以上	108	13.9	40.7	39.8	5.6	
	()・無回答	16	25.0	56.3	18.8	-	

(%)

		回答者数	安心して居宅で療養し、 最期を迎えることができる			
			でき る と 思 う	で き な い と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
全体		3,010 100.0	479 15.9	1,342 44.6	1,134 37.7	55 1.8
ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	14.1	44.8	40.1	1.0
	東部B（田主丸）	185	14.6	44.3	40.0	1.1
	北部A	281	17.4	44.5	35.6	2.5
	北部B（北野）	175	14.9	44.6	38.9	1.7
	中央東部	399	17.0	42.1	39.6	1.3
	南東部	285	14.4	40.7	40.4	4.6
	中央部	384	19.0	46.9	32.6	1.6
	中央南部	507	14.6	47.1	37.3	1.0
	南西部	282	14.5	47.5	35.1	2.8
	西部A（城島）	103	14.6	42.7	40.8	1.9
	西部B（三瀬）	171	19.3	41.5	38.0	1.2
	わからない・無回答	46	10.9	41.3	47.8	-
	家 族 構 成 別	単身	407	16.2	45.0	37.6
夫婦のみ		618	15.2	47.4	36.1	1.3
親・子（2世代）		1,616	16.0	44.2	37.7	2.1
親・子・孫（3世代）		269	16.7	43.1	38.3	1.9
その他		89	13.5	36.0	47.2	3.4
無回答		11	27.3	36.4	36.4	-

(%)

（２）安心して居宅で療養し、最期を迎えることができる

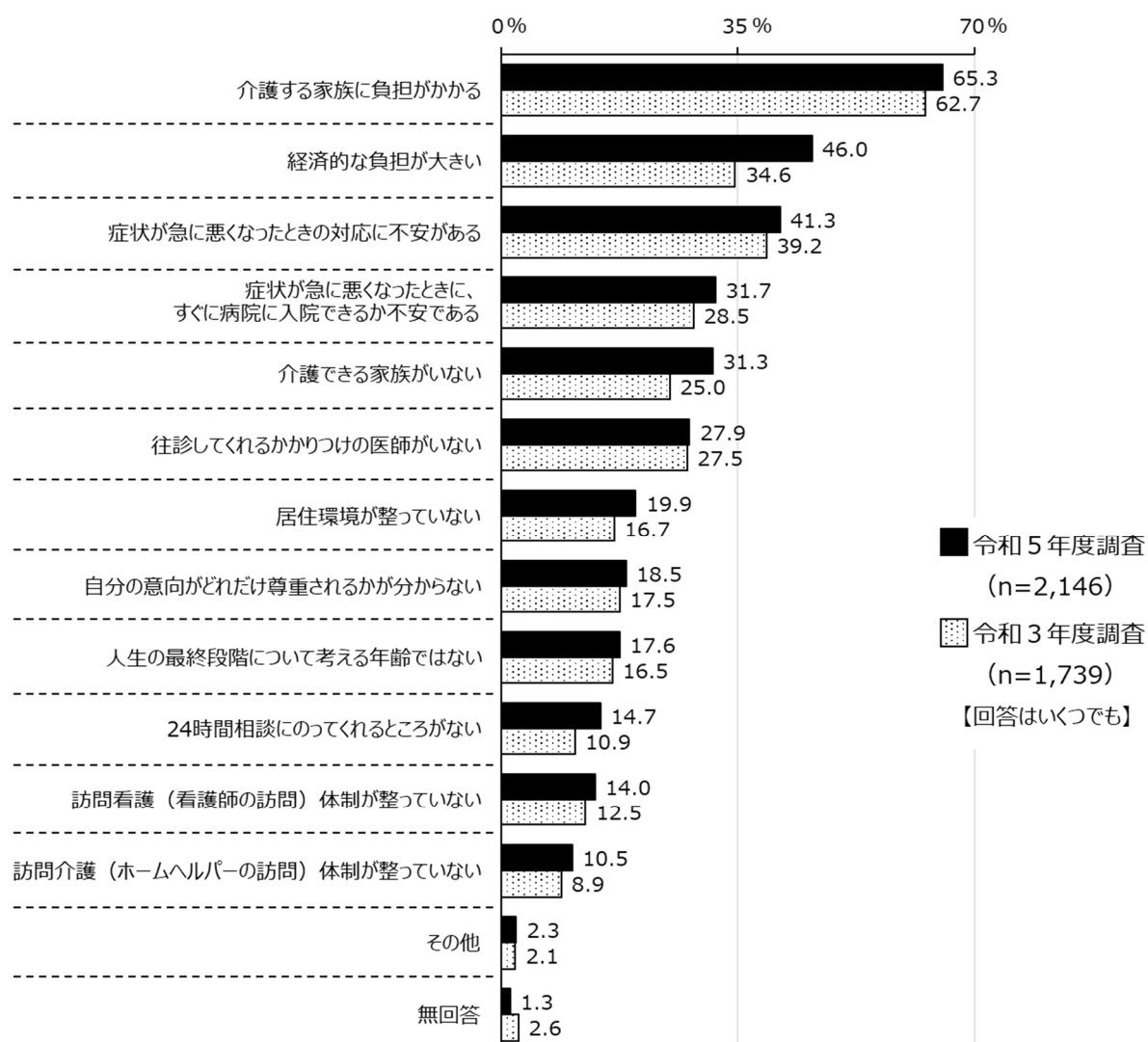
問 23 付問 1 【問 23 で『 2．できないと思う』または『 3．わからない』と回答した人に】

安心して居宅で療養し、最期を迎えることができないと思う・わからない理由は何ですか。（あてはまる番号いくつでも）

「介護する家族に負担がかかる」が 65.3% と最も高くなっている。次いで「経済的な負担が大きい」が 46.0%、「症状が急に悪くなったときの対応に不安がある」が 41.3%と 4 割を超えている。

【経年比較】

「経済的な負担が大きい」の割合は 46.0%となり、令和 3 年度調査より 11.4 ポイント増加している。



（２）安心して居宅で療養し、最期を迎えることができる

【性別】「居住環境が整っていない」の割合は「女性」が 23.5%、「男性」が 15.0%となり、8.5 ポイントと割合の差が最も大きくなっている。「訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない」は「男性」が 14.2%、「女性」が 13.8%となり、男性がやや高い。

【性別・年齢別】「往診してくれるかかりつけの医師がいない」の割合は「男性：70～74 歳」が 40.0%で最も高く、次いで「女性：40 歳代」が 35.9%となっている。「訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない」の割合は「男性：60～64 歳」が 25.0%と最も高く、唯一 2 割を超えている。一方で、『女性：18～29 歳』は 7.1%と最も低く、1 割未満にとどまっている。「症状が急に悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である」の割合は「女性：65～69 歳」が 44.9%、「女性：75 歳以上」が 41.4%と 4 割を超えている。

【ブロック別】「西部 A（城島）」は「往診してくれるかかりつけの医師がいない」、「訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない」、「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていない」、「24 時間相談にのってくれるところがない」、「介護できる家族がいない」の割合が最も高い。「北部 A」は「居住環境が整っていない」の割合が 25.8%で最も高く、「経済的な負担が大きい」の割合は 50.7%で最も高い結果となっている。「症状が急に悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である」の割合は「東部 A」が 39.3%と最も高い。一方で、「西部 B（三瀬）」と「中央部」はともに 27.2%と最も低い割合となっている。

【家族構成別】「夫婦のみ」は「往診してくれるかかりつけの医師がいない」、「訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない」、「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていない」、「24 時間相談にのってくれるところがない」、「自分の意向がどれだけ尊重されるかが分からない」において最も高い割合となっている。「介護する家族に負担がかかる」の割合は、「親・子・孫（3 世代）」が 74.0%と最も高く、次いで「親・子（2 世代）」が 69.5%となっている。「症状が急に悪くなったときの対応に不安がある」の割合は、「親・子・孫（3 世代）」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 44.6%となっている。「単身」は 34.8%で最も低い結果となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（４．在宅医療・介護に関する意識について）

（２）安心して居宅で療養し、最期を迎えることができる

(%)

		回答者数	できないと思う・わからない理由													
			医師がいない	往診してくれるかかりつけの	訪問看護（看護師の訪問） 体制が整っていない	訪問介護（ホームヘルパーの訪問） 体制が整っていない	24時間相談にのってくれるところがない	介護できる家族がいない	介護する家族に負担がかかる	症状が急に悪くなったときの対応に不安がある	症状が急に悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である	居住環境が整っていない	経済的な負担が大きい	自分の意向がどれだけ尊重されるかわからない	人生の最終段階について考える年齢ではない	その他
全体		2,476 100.0	690 27.9	346 14.0	261 10.5	365 14.7	774 31.3	1,616 65.3	1,023 41.3	786 31.7	493 19.9	1,139 46.0	457 18.5	435 17.6	56 2.3	33 1.3
性別	男性	1,035	25.9	14.2	10.0	13.3	30.2	61.4	36.9	28.3	15.0	44.4	17.7	17.5	2.7	1.2
	女性	1,432	29.4	13.8	10.9	15.9	32.1	68.2	44.3	34.2	23.5	47.0	19.0	17.7	2.0	1.5
	（ ）	6	-	16.7	16.7	-	16.7	66.7	50.0	33.3	16.7	66.7	16.7	16.7	-	-
	無回答	3	33.3	-	-	-	33.3	-	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-
性別 × 年齢別	男性：18～29歳	133	15.8	10.5	7.5	9.0	20.3	45.9	33.8	21.1	18.8	41.4	17.3	48.1	3.0	0.8
	男性：30歳代	133	18.0	10.5	8.3	12.0	27.1	63.9	25.6	22.6	11.3	51.1	18.0	30.1	5.3	1.5
	男性：40歳代	198	28.3	17.2	14.6	13.6	29.3	66.2	34.3	25.3	15.2	46.5	18.2	19.7	4.5	0.5
	男性：50歳代	199	24.1	12.6	9.5	11.1	36.2	64.8	37.2	28.1	16.1	46.2	18.6	7.5	3.0	0.5
	男性：60～64歳	92	26.1	25.0	10.9	15.2	31.5	58.7	37.0	28.3	18.5	48.9	17.4	8.7	-	1.1
	男性：65～69歳	88	27.3	17.0	9.1	13.6	30.7	65.9	46.6	37.5	14.8	33.0	13.6	5.7	-	1.1
	男性：70～74歳	120	40.0	10.0	8.3	17.5	30.8	60.8	41.7	36.7	11.7	40.8	18.3	7.5	0.8	2.5
	男性：75歳以上	70	31.4	14.3	10.0	20.0	38.6	62.9	48.6	35.7	12.9	42.9	18.6	1.4	1.4	2.9
	女性：18～29歳	198	16.7	7.1	4.5	13.6	18.2	50.0	36.4	26.8	25.8	52.0	8.6	43.9	1.5	1.0
	女性：30歳代	205	23.9	13.2	11.2	13.2	29.8	71.7	46.8	28.8	24.4	55.6	17.6	35.6	2.4	0.5
	女性：40歳代	290	35.9	15.9	11.7	16.2	36.6	74.8	49.0	33.8	30.7	51.0	18.3	18.6	1.4	0.3
	女性：50歳代	237	34.6	16.9	15.6	19.4	37.6	69.2	41.8	39.2	27.0	51.1	25.7	9.7	3.4	-
	女性：60～64歳	122	29.5	11.5	9.8	17.2	30.3	77.0	45.9	33.6	22.1	42.6	18.9	1.6	1.6	2.5
	女性：65～69歳	136	35.3	13.2	8.1	21.3	28.7	72.1	47.8	44.9	18.4	40.4	23.5	4.4	-	4.4
	女性：70～74歳	156	32.1	14.1	11.5	13.5	37.8	67.9	45.5	31.4	12.8	32.1	18.6	5.1	1.3	1.9
	女性：75歳以上	87	21.8	19.5	13.8	10.3	36.8	58.6	39.1	41.4	11.5	34.5	24.1	-	4.6	4.6
	（ ）・無回答	12	16.7	8.3	8.3	-	16.7	41.7	66.7	33.3	16.7	50.0	16.7	8.3	-	8.3
	ブロック別	東部A	163	28.2	14.7	9.8	14.1	30.7	66.3	48.5	39.3	22.7	38.0	17.8	18.4	0.6
東部B（田主丸）		156	28.2	9.6	8.3	11.5	33.3	68.6	44.2	33.3	20.5	46.8	23.1	15.4	1.9	1.3
北部A		225	26.2	14.7	9.3	17.8	28.0	63.1	45.3	32.0	25.8	50.7	16.0	19.1	1.8	2.2
北部B（北野）		146	24.7	6.2	6.2	14.4	27.4	71.9	43.8	33.6	23.3	47.9	21.9	13.7	1.4	2.7
中央東部		326	27.9	14.4	12.0	14.7	30.4	67.8	37.4	31.0	20.6	45.1	19.9	20.9	2.8	0.9
南東部		231	30.7	14.3	9.5	12.6	29.9	66.2	37.7	34.2	16.0	45.5	13.0	17.3	1.3	0.4
中央部		305	25.6	14.4	11.5	13.8	39.7	62.6	39.3	27.2	20.7	45.6	19.3	19.3	3.6	0.7
中央南部		428	28.5	16.4	11.2	17.3	28.0	65.0	42.5	33.4	20.8	46.3	17.5	18.7	1.9	1.2
南西部		233	29.6	14.2	11.6	12.4	27.0	67.0	39.9	31.3	16.3	49.8	21.0	14.6	2.1	0.4
西部A（城島）		86	32.6	20.9	14.0	20.9	44.2	67.4	38.4	29.1	16.3	44.2	17.4	12.8	2.3	3.5
西部B（三瀬）		136	25.7	13.2	9.6	14.0	33.1	61.8	43.4	27.2	14.7	42.6	17.6	16.9	3.7	-
わからない・無回答		41	26.8	4.9	14.6	9.8	34.1	31.7	31.7	19.5	9.8	46.3	17.1	7.3	7.3	14.6
家族構成別	単身	336	28.3	11.6	9.5	15.5	53.0	43.5	34.8	26.2	15.2	42.9	19.6	14.6	3.3	2.1
	夫婦のみ	516	31.8	17.2	12.0	17.6	29.8	68.0	44.6	37.0	17.6	40.1	20.2	10.7	1.9	1.7
	親・子（2世代）	1,323	26.4	13.9	10.6	13.5	28.0	69.5	39.8	30.4	22.1	48.8	17.7	20.9	2.3	0.9
	親・子・孫（3世代）	219	27.9	11.9	9.6	14.6	23.3	74.0	52.1	33.3	21.5	49.3	18.3	16.9	0.9	0.5
	その他	74	27.0	10.8	8.1	14.9	24.3	43.2	41.9	37.8	16.2	39.2	16.2	21.6	2.7	5.4
	無回答	8	12.5	-	-	-	25.0	62.5	62.5	50.0	-	62.5	12.5	12.5	-	-

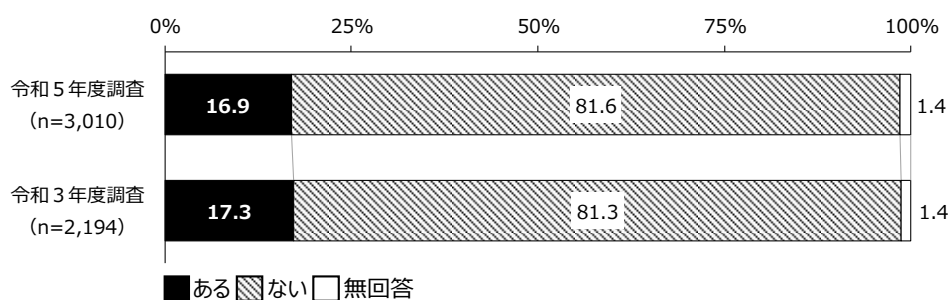
（３）家族等の身近な人を居宅で看取った経験

問 24 あなたは、今までに家族等の身近な人を居宅で看取った経験がありますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

「ある」の割合が 16.9%、「ない」の割合が 81.6%となっている。

【経年比較】

令和 5 年度調査は、令和 3 年度調査と比較して大差はないが、「ある」の割合は 0.4 ポイント低下し 16.9%となっている。



【性別】男女に大差はないが、「ある」の割合は「女性」が 17.1%、「男性」が 16.8%となり「女性」が 0.3 ポイント高くなっている。

【性別・年齢別】「ある」の割合は女性では「女性：75 歳以上」が 38.0%、男性では「男性：60～64 歳」が 29.6%で最も高い。

【ブロック別】「ある」の割合は「西部 A（城島）」が 25.2%と最も高く、次いで、「東部 A」が 21.9%と、ともに 2 割を超えている。一方で、「北部 A」は 8.9%と最も低く、1 割未満にとどまっている。

【家族構成別】「ある」の割合は「単身」が 22.1%と最も高く、次いで「親・子・孫（3 世代）」が 20.1%となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（４．在宅医療・介護に関する意識について）

（３）家族等の身近な人を居宅で看取った経験

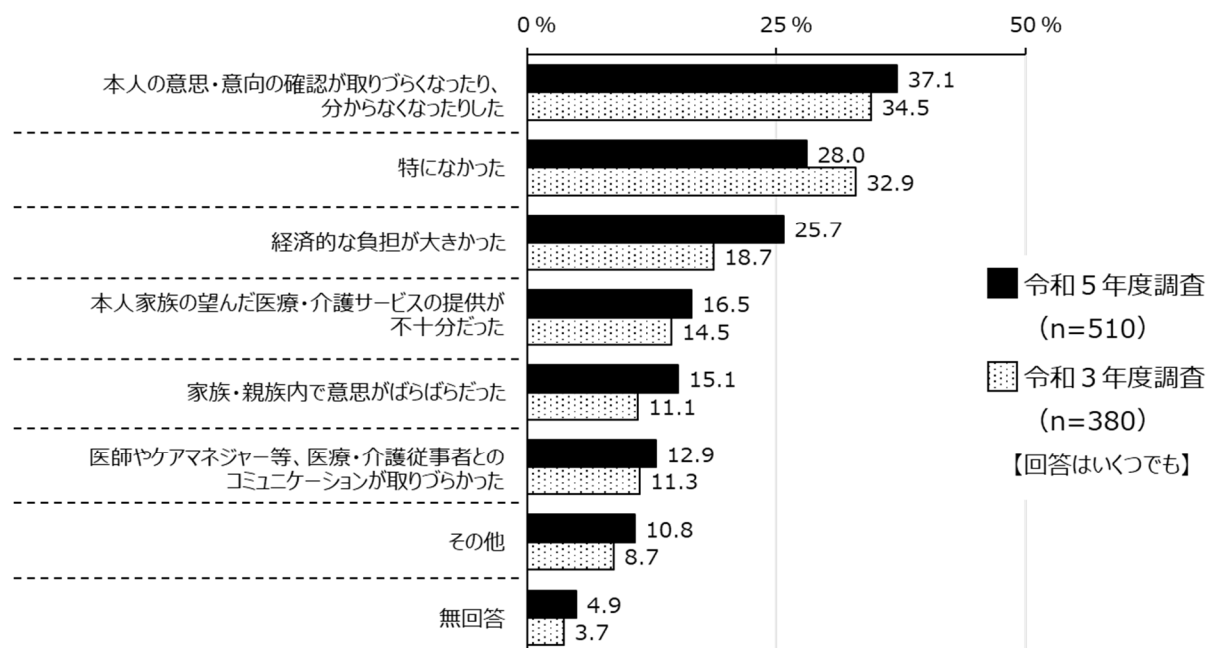
		(%)						(%)			
		回 答 者 数	家族等の身近な人を 居宅で看取った経験			回 答 者 数	家族等の身近な人を 居宅で看取った経験				
			あ る	な い	無 回 答		あ る	な い	無 回 答		
全体		3,010 100.0	510 16.9	2,457 81.6	43 1.4	全体	3,010 100.0	510 16.9	2,457 81.6	43 1.4	
性 別	男性	1,330	16.8	81.7	1.4	ブ ロ ッ ク 別	東部A	192	21.9	78.1	-
	女性	1,668	17.1	81.5	1.4		東部B（田主丸）	185	15.7	83.2	1.1
	（　）	6	-	100.0	-		北部A	281	8.9	89.3	1.8
	無回答	6	16.7	83.3	-		北部B（北野）	175	13.1	85.7	1.1
性 別 × 年 齢 別	男性：18～29歳	200	5.0	90.0	5.0		中央東部	399	18.3	80.5	1.3
	男性：30歳代	163	14.1	84.0	1.8		南東部	285	15.1	80.7	4.2
	男性：40歳代	251	11.2	88.4	0.4		中央部	384	19.8	79.4	0.8
	男性：50歳代	243	18.5	80.7	0.8		中央南部	507	16.0	83.4	0.6
	男性：60～64歳	115	29.6	70.4	-		南西部	282	19.5	78.0	2.5
	男性：65～69歳	118	16.1	83.1	0.8		西部A（城島）	103	25.2	73.8	1.0
	男性：70～74歳	150	26.7	72.7	0.7		西部B（三瀧）	171	17.0	81.9	1.2
	男性：75歳以上	87	28.7	70.1	1.1		わからない・無回答	46	17.4	80.4	2.2
	女性：18～29歳	275	8.7	89.1	2.2	家 族 構 成 別	単身	407	22.1	77.1	0.7
	女性：30歳代	232	10.8	87.1	2.2		夫婦のみ	618	17.6	81.9	0.5
	女性：40歳代	324	13.6	85.2	1.2		親・子（2世代）	1,616	14.7	83.4	1.9
	女性：50歳代	263	19.0	80.6	0.4		親・子・孫（3世代）	269	20.1	78.4	1.5
	女性：60～64歳	136	19.9	79.4	0.7		その他	89	19.1	78.7	2.2
	女性：65～69歳	150	20.7	77.3	2.0		無回答	11	27.3	72.7	-
	女性：70～74歳	179	24.0	74.3	1.7						
	女性：75歳以上	108	38.0	61.1	0.9						
	（　）・無回答		16	6.3	93.8	-					

（３）家族等の身近な人を居宅で看取った経験

問 24 付問 1 【問 24 で『１．ある』と回答した人に】

身近な人を看取った経験の中で、どのようなことが大変でしたか。（あてはまる番号いくつかでも）

「本人の意思・意向の確認が取りづらくなったり、分からなくなったりした」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「特になかった」の割合が 28.0%、「経済的な負担が大きかった」の割合が 25.7%となっている。



【性別】「本人の意思・意向の確認が取りづらくなったり、分からなくなったりした」の割合は男女ともに最も高い。「経済的な負担が大きかった」の割合は「男性」が 29.0%、「女性」が 23.2%と「男性」が 5.8 ポイント高くなっている。

【性別・年齢別】「本人の意思・意向の確認が取りづらくなったり、分からなくなったりした」の割合は「女性：65～69 歳」が 48.4%で最も高く、次いで「女性：50 歳代」、「女性：30 歳代」がともに 48.0%となっている。「経済的な負担が大きかった」の割合は「男性：40 歳代」が 46.4%で最も高い。

【ブロック別】「北部 A」は「本人の意思・意向の確認が取りづらくなったり、分からなくなったりした」、「家族・親族内で意思がばらばらだった」、「経済的な負担が大きかった」の割合が最も高くなっている。「本人家族の望んだ医療・介護サービスの提供が不十分だった」の割合は「中央南部」が 23.5%で最も高く、次いで「南東部」が 23.3%となっている。

【家族構成別】他に比べ、「単身」はほとんどの項目について、高い割合となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（４．在宅医療・介護に関する意識について）

（３）家族等の身近な人を居宅で看取った経験

(%)

		回答者数	居宅で看取った際に大変だったこと							
			本人の意思・意向の確認が取りづらかったり、分からなくなったりした	医師やケアマネジャー等、医療・介護従事者とのコミュニケーションが取りづらかった	家族・親族内で意思がばらばらだった	本人家族の望んだ医療・介護サービスの提供が不十分だった	経済的な負担が大きかった	特になかった	その他	無回答
全体		510 100.0	189 37.1	66 12.9	77 15.1	84 16.5	131 25.7	143 28.0	55 10.8	25 4.9
性別	男性	224	36.2	13.8	13.8	17.0	29.0	30.4	6.7	4.0
	女性	285	37.5	11.9	16.1	16.1	23.2	26.3	14.0	5.6
	()	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
性別×年齢別	男性：18～29歳	10	20.0	10.0	30.0	30.0	20.0	30.0	10.0	-
	男性：30歳代	23	43.5	-	4.3	8.7	26.1	39.1	4.3	-
	男性：40歳代	28	46.4	21.4	25.0	14.3	46.4	14.3	17.9	-
	男性：50歳代	45	31.1	15.6	8.9	17.8	35.6	28.9	8.9	4.4
	男性：60～64歳	34	47.1	11.8	2.9	8.8	17.6	35.3	2.9	2.9
	男性：65～69歳	19	31.6	10.5	10.5	10.5	15.8	47.4	10.5	-
	男性：70～74歳	40	27.5	20.0	15.0	27.5	25.0	27.5	2.5	10.0
	男性：75歳以上	25	36.0	12.0	28.0	20.0	36.0	28.0	-	8.0
	女性：18～29歳	24	25.0	8.3	20.8	4.2	25.0	45.8	12.5	-
	女性：30歳代	25	48.0	8.0	24.0	12.0	28.0	24.0	20.0	-
	女性：40歳代	44	34.1	20.5	15.9	11.4	20.5	18.2	20.5	4.5
	女性：50歳代	50	48.0	12.0	18.0	24.0	22.0	18.0	12.0	8.0
	女性：60～64歳	27	40.7	-	14.8	18.5	18.5	29.6	7.4	11.1
	女性：65～69歳	31	48.4	16.1	19.4	29.0	29.0	16.1	12.9	-
	女性：70～74歳	43	30.2	11.6	16.3	18.6	16.3	34.9	11.6	11.6
	女性：75歳以上	41	26.8	12.2	4.9	7.3	29.3	31.7	14.6	4.9
	()・無回答	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
ブロック別	東部A	42	45.2	16.7	14.3	19.0	23.8	23.8	11.9	4.8
	東部B（田主丸）	29	34.5	17.2	10.3	17.2	34.5	27.6	13.8	6.9
	北部A	25	60.0	16.0	28.0	12.0	36.0	24.0	-	4.0
	北部B（北野）	23	43.5	4.3	17.4	17.4	26.1	17.4	8.7	4.3
	中央東部	73	34.2	16.4	16.4	15.1	30.1	35.6	9.6	1.4
	南東部	43	20.9	11.6	14.0	23.3	20.9	34.9	9.3	4.7
	中央部	76	30.3	15.8	14.5	15.8	18.4	23.7	14.5	7.9
	中央南部	81	37.0	11.1	17.3	23.5	25.9	22.2	11.1	3.7
	南西部	55	45.5	12.7	16.4	10.9	25.5	30.9	9.1	5.5
	西部A（城島）	26	46.2	7.7	11.5	11.5	26.9	23.1	19.2	3.8
	西部B（三瀬）	29	27.6	3.4	6.9	10.3	27.6	37.9	10.3	6.9
	わからない・無回答	8	37.5	12.5	-	-	12.5	50.0	-	12.5
家族構成別	単身	90	37.8	17.8	20.0	25.6	27.8	24.4	12.2	3.3
	夫婦のみ	109	37.6	14.7	19.3	20.2	23.9	30.3	8.3	8.3
	親・子（2世代）	237	37.1	9.7	11.4	12.2	26.2	27.8	11.8	4.6
	親・子・孫（3世代）	54	35.2	13.0	16.7	11.1	25.9	27.8	11.1	1.9
	その他	17	29.4	11.8	11.8	23.5	23.5	41.2	-	5.9
	無回答	3	66.7	66.7	-	-	-	-	33.3	-

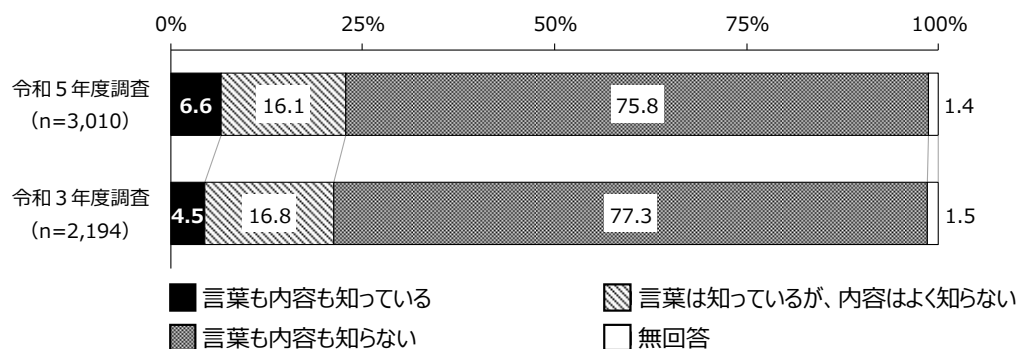
（４）人生会議（ＡＣＰ）の認知度

問 25 あなたは人生会議（ＡＣＰ：アドバンス・ケア・プランニング）について知っていますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

「言葉も内容も知っている」の割合が 6.6%、「言葉は知っているが、内容は知らない」の割合が 16.1%となっている。

【経年比較】

「言葉も内容も知っている」は令和 3 年度調査と比較して 2.1 ポイント増加している。一方で、「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は 0.7 ポイント、「言葉も内容も知らない」は 1.5 ポイント低下した。



【性別】「言葉も内容も知っている」の割合は「女性」が 8.2%、「男性」が 4.7%となり、「女性」が 3.5 ポイント高い。

【性別・年齢別】「言葉も内容も知っている」の割合は『女性：18～29 歳』が 11.3%で最も高く、次いで「女性：60～64 歳」が 10.3%となっている。一方で、「言葉も内容も知らない」の割合は「男性：30 歳代」が 81.6%と最も高く、次いで「男性：60～64 歳」が 80.9%となっている。

【ブロック別】「言葉も内容も知っている」の割合は「中央部」が 9.4%と最も高い。「言葉は知っているが、内容はよく知らない」の割合は「北部 A」が 19.9%で最も高くなっている。

【家族構成別】「言葉も内容も知っている」の割合は「親・子（2 世代）」が 7.2%と最も高く、「言葉も内容も知らない」の割合は「夫婦のみ」が 77.7%で最も高くなっている。

Ⅱ 調査結果の分析（４．在宅医療・介護に関する意識について）

（４）人生会議（ＡＣＰ）の認知度

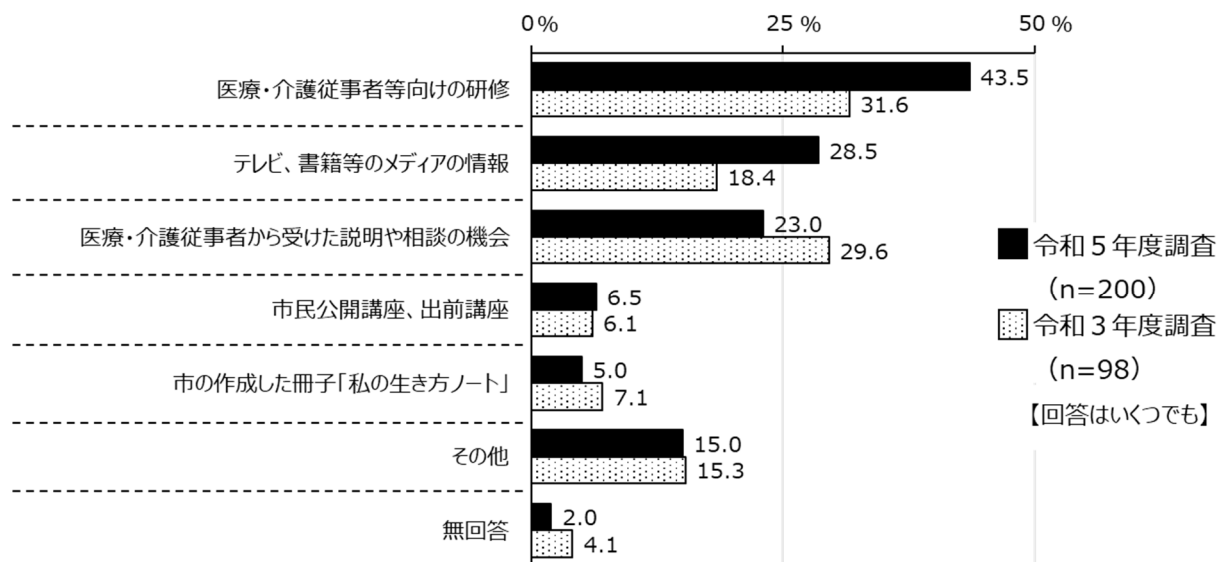
			(%)							(%)				
			回答者数	人生会議（ＡＣＰ）の認知度				回答者数	人生会議（ＡＣＰ）の認知度					
				言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容はよく知らない	言葉も内容も知らない	無回答		言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容はよく知らない	言葉も内容も知らない	無回答		
全体			3,010 100.0	200 6.6	486 16.1	2,283 75.8	41 1.4	全体	3,010 100.0	200 6.6	486 16.1	2,283 75.8	41 1.4	
性別	男性		1,330	4.7	14.9	79.1	1.4	ブロック別	東部A	192	6.8	18.2	74.5	0.5
	女性		1,668	8.2	17.1	73.4	1.4		東部B（田主丸）	185	6.5	19.5	73.5	0.5
	（　）		6	16.7	16.7	66.7	-		北部A	281	6.4	19.9	71.9	1.8
	無回答		6	16.7	33.3	50.0	-		北部B（北野）	175	5.1	12.0	81.7	1.1
性別×年齢別	男性：18～29歳		200	7.5	10.0	77.5	5.0		中央東部	399	8.0	16.5	74.2	1.3
	男性：30歳代		163	4.3	12.3	81.6	1.8		南東部	285	5.3	15.8	75.1	3.9
	男性：40歳代		251	7.6	13.5	78.5	0.4		中央部	384	9.4	16.7	73.2	0.8
	男性：50歳代		243	3.3	15.2	80.7	0.8		中央南部	507	5.3	15.2	78.9	0.6
	男性：60～64歳		115	3.5	15.7	80.9	-		南西部	282	4.3	14.5	79.1	2.1
	男性：65～69歳		118	4.2	16.9	78.0	0.8		西部A（城島）	103	8.7	13.6	76.7	1.0
	男性：70～74歳		150	2.0	20.7	76.7	0.7		西部B（三瀬）	171	8.8	14.6	75.4	1.2
	男性：75歳以上		87	1.1	20.7	78.2	-		わからない・無回答	46	4.3	13.0	80.4	2.2
	女性：18～29歳		275	11.3	15.3	71.3	2.2	家族構成別	単身	407	6.4	16.5	76.7	0.5
	女性：30歳代		232	9.9	15.1	72.8	2.2		夫婦のみ	618	6.0	15.7	77.7	0.6
	女性：40歳代		324	8.6	11.7	79.0	0.6		親・子（2世代）	1,616	7.2	15.8	75.1	1.8
	女性：50歳代		263	7.2	12.9	79.5	0.4		親・子・孫（3世代）	269	5.6	17.5	75.5	1.5
	女性：60～64歳		136	10.3	16.2	72.1	1.5		その他	89	4.5	19.1	74.2	2.2
	女性：65～69歳		150	4.0	21.3	72.7	2.0		無回答	11	9.1	18.2	72.7	-
	女性：70～74歳		179	6.1	27.9	64.8	1.1							
	女性：75歳以上		108	3.7	29.6	64.8	1.9							
	（　）・無回答			16	12.5	18.8	68.8	-						

（４）人生会議（ＡＣＰ）を知ったきっかけ

問 25 付問 1 【問 25 で『 1．言葉も内容も知っている』と回答した人に】

あなたが人生会議について知ったきっかけを教えてください。（あてはまる番号いくつでも）

「医療・介護従事者等向けの研修」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「テレビ、書籍等のメディアの情報」の割合が 28.5%、「医療・介護従事者から受けた説明や相談の機会」の割合が 23.0%となっている。



【性別】「医療・介護従事者等向けの研修」の割合は「女性」が 47.1%、「男性」が 35.5%となり、「女性」が 11.6 ポイント高い。一方で、「市民公開講座、出前講座」の割合は「男性」が 12.9%、「女性」が 2.9%と、「男性」が 10.0 ポイント高くなっている。

【性別・年齢別】「医療・介護従事者等向けの研修」の割合は「女性：30 歳代」が 69.6%と最も高く、次いで「女性：40 歳代」が 64.3%、「男性：30 歳代」が 57.1%となっている。

【ブロック別】「医療・介護従事者等向けの研修」の割合は「西部 A（城島）」が 66.7%と最も高く、「北部 B（北野）」が 22.2%で最も低い。一方で、「テレビ、書籍等のメディアの情報」の割合は「北部 B（北野）」が 55.6%と最も高い。

【家族構成別】「市民公開講座、出前講座」、「市の作成した冊子「私の生き方ノート」」、「テレビ、書籍等のメディアの情報」の割合は「夫婦のみ」が最も高い。

Ⅱ 調査結果の分析（４．在宅医療・介護に関する意識について）

（４）人生会議（ＡＣＰ）を知ったきっかけ

(%)

		回 答 者 数	人生会議（ＡＣＰ）を知ったきっかけ						
			出前講座、市民公開講座、	市の作成した冊子「私の生き方ノート」	テレビ、メディアの書籍等の情報	医療・介護従事者からの説明や相談の機会	医療・介護従事者の研修	その他	無回答
全体		200 100.0	13 6.5	10 5.0	57 28.5	46 23.0	87 43.5	30 15.0	4 2.0
性別	男性	62	12.9	9.7	33.9	24.2	35.5	12.9	4.8
	女性	136	2.9	2.9	26.5	22.8	47.1	16.2	0.7
	（ ）	1	-	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
性別 × 年 齢 別	男性：18～29歳	15	6.7	6.7	26.7	13.3	26.7	33.3	-
	男性：30歳代	7	-	-	57.1	14.3	57.1	-	-
	男性：40歳代	19	21.1	10.5	26.3	26.3	42.1	5.3	10.5
	男性：50歳代	8	12.5	12.5	37.5	37.5	12.5	12.5	-
	男性：60～64歳	4	-	-	-	50.0	50.0	25.0	25.0
	男性：65～69歳	5	-	20.0	40.0	20.0	40.0	-	-
	男性：70～74歳	3	66.7	-	66.7	-	33.3	-	-
	男性：75歳以上	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	女性：18～29歳	31	-	-	6.5	12.9	45.2	48.4	-
	女性：30歳代	23	-	4.3	17.4	13.0	69.6	4.3	-
	女性：40歳代	28	3.6	3.6	21.4	21.4	64.3	17.9	-
	女性：50歳代	19	5.3	-	36.8	31.6	52.6	-	-
	女性：60～64歳	14	7.1	7.1	57.1	21.4	21.4	-	-
	女性：65～69歳	6	-	-	50.0	33.3	-	16.7	-
	女性：70～74歳	11	9.1	9.1	36.4	54.5	27.3	-	-
	女性：75歳以上	4	-	-	50.0	25.0	-	-	25.0
	（ ）・無回答	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-

(%)

		回答者数	人生会議（ＡＣＰ）を知ったきっかけ						
			出前講座、市民公開講座、	市の作成した冊子「私の生き方ノート」	テレビ、メディアの情報	医療・介護従事者からの説明や相談の機会	医療・介護従事者の研修	その他	無回答
全体		200 100.0	13 6.5	10 5.0	57 28.5	46 23.0	87 43.5	30 15.0	4 2.0
ブロック別	東部A	13	7.7	-	53.8	15.4	23.1	7.7	-
	東部B（田主丸）	12	-	-	33.3	50.0	58.3	8.3	-
	北部A	18	11.1	5.6	16.7	27.8	38.9	27.8	5.6
	北部B（北野）	9	-	-	55.6	22.2	22.2	11.1	-
	中央東部	32	3.1	6.3	28.1	18.8	43.8	18.8	-
	南東部	15	20.0	13.3	20.0	13.3	40.0	26.7	6.7
	中央部	36	5.6	8.3	33.3	25.0	52.8	8.3	2.8
	中央南部	27	7.4	3.7	33.3	18.5	37.0	14.8	3.7
	南西部	12	8.3	8.3	16.7	25.0	41.7	8.3	-
	西部A（城島）	9	-	-	-	22.2	66.7	11.1	-
	西部B（三瀬）	15	6.7	-	20.0	20.0	46.7	20.0	-
わからない・無回答		2	-	-	-	50.0	50.0	-	-
家族構成別	単身	26	7.7	7.7	23.1	19.2	50.0	11.5	-
	夫婦のみ	37	13.5	13.5	32.4	27.0	43.2	-	-
	親・子（2世代）	117	3.4	2.6	30.8	21.4	41.9	21.4	3.4
	親・子・孫（3世代）	15	6.7	-	20.0	33.3	40.0	13.3	-
	その他	4	-	-	-	25.0	75.0	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-

５．こころの健康について

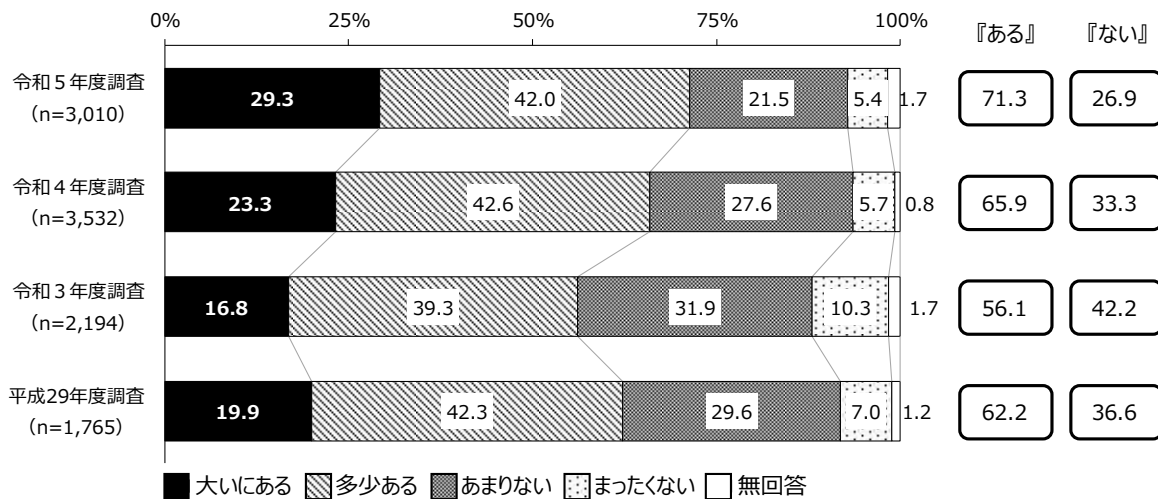
（１）不安や悩み、ストレスの状況

問 26 あなたは、ここ 1 か月くらいの間に、不安や悩み、ストレスをかかえたことがありますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

ここ 1 か月くらいの間に、不安や悩み、ストレスをかかえたことが「大いにある」が 29.3%、「多少ある」が 42.0%とこれらをあわせた『ある』は 71.3%となっている。一方で、「まったくない」は 5.4%、「あまりない」は 21.5%でこれらをあわせた『ない』は 26.9%である。

【経年比較】

令和 4 年度調査から『ある』が年々上昇傾向にあり、令和 5 年度調査では『ある』の割合が最も高くなり、『ない』の割合が最も低くなった。



【性別】『ある』の割合は「女性」が 74.1%、「男性」が 67.9%となっており、「女性」が 6.2 ポイント高い。

【性別・年齢別】『ある』の割合は女性では「女性：30 歳代」が 83.2%と最も高く、男性では「男性：40 歳代」が 78.8%で最も高くなっている。

【ブロック別】『ある』の割合は「東部 B（田主丸）」と「中央南部」がともに 75.7%で最も高く、続いて「東部 A」が 73.5%、「南西部」が 72.7%となっている。

【同居家族別】『ある』の割合は「小学生がいる」世帯が 78.2%で最も高い。「65 歳以上の人がいる」世帯は 66.6%で最も低く、その他の世帯では 7 割を超えている。

【家族構成別】『ある』の割合は「親・子（2 世代）」が 74.7%と最も高く、続いて「単身」が 71.7%、「親・子・孫（3 世代）」が 71.3%とそれぞれ 7 割を超えている。

【職業別】『ある』の割合は「給与所得者（常勤）」が 76.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（学生は除く）」と「学生」がともに 74.2%となっている。

Ⅱ 調査結果の分析（５．こころの健康について）

（１）不安や悩み、ストレスの状況

(%)

		回答者数	不安や悩み、ストレスの状況						
			大いにある	多少ある	あまりない	まったくない	無回答	『ある』	『ない』
全体		3,010 100.0	881 29.3	1,265 42.0	648 21.5	164 5.4	52 1.7	2,146 71.3	812 26.9
性別	男性	1,330	28.4	39.5	23.3	7.1	1.7	67.9	30.4
	女性	1,668	30.0	44.1	20.1	4.1	1.7	74.1	24.2
	()	6	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3
	無回答	6	16.7	33.3	-	33.3	16.7	50.0	33.3
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	33.0	36.0	19.5	6.0	5.5	69.0	25.5
	男性：30歳代	163	34.4	40.5	20.2	3.1	1.8	74.9	23.3
	男性：40歳代	251	37.8	41.0	16.3	4.4	0.4	78.8	20.7
	男性：50歳代	243	32.5	39.9	19.8	6.6	1.2	72.4	26.4
	男性：60～64歳	115	22.6	44.3	29.6	3.5	-	66.9	33.1
	男性：65～69歳	118	13.6	37.3	36.4	11.9	0.8	50.9	48.3
	男性：70～74歳	150	15.3	38.0	30.7	14.0	2.0	53.3	44.7
	男性：75歳以上	87	17.2	41.4	29.9	11.5	-	58.6	41.4
	女性：18～29歳	275	32.7	45.1	12.4	7.3	2.5	77.8	19.7
	女性：30歳代	232	39.7	43.5	11.2	3.4	2.2	83.2	14.6
	女性：40歳代	324	37.3	45.4	15.1	1.2	0.9	82.7	16.3
	女性：50歳代	263	35.0	46.4	15.6	2.7	0.4	81.4	18.3
	女性：60～64歳	136	22.1	39.0	32.4	5.9	0.7	61.1	38.3
	女性：65～69歳	150	16.7	46.7	31.3	3.3	2.0	63.4	34.6
	女性：70～74歳	179	20.1	40.2	33.5	4.5	1.7	60.3	38.0
	女性：75歳以上	108	13.0	42.6	32.4	7.4	4.6	55.6	39.8
	()・無回答	16	31.3	25.0	12.5	18.8	12.5	56.3	31.3
ブロック別	東部A	192	29.7	43.8	19.8	6.3	0.5	73.5	26.1
	東部B（田主丸）	185	31.4	44.3	20.0	3.2	1.1	75.7	23.2
	北部A	281	24.6	43.1	24.9	5.3	2.1	67.7	30.2
	北部B（北野）	175	29.1	41.1	20.0	6.3	3.4	70.2	26.3
	中央東部	399	27.8	43.4	21.1	6.0	1.8	71.2	27.1
	南東部	285	28.4	40.0	23.5	3.9	4.2	68.4	27.4
	中央部	384	29.9	41.7	20.3	7.0	1.0	71.6	27.3
	中央南部	507	34.7	41.0	19.5	4.1	0.6	75.7	23.6
	南西部	282	24.1	48.6	20.6	4.6	2.1	72.7	25.2
	西部A（城島）	103	27.2	33.0	32.0	6.8	1.0	60.2	38.8
	西部B（三瀬）	171	32.2	35.7	25.1	5.3	1.8	67.9	30.4
	わからない・無回答	46	26.1	41.3	13.0	17.4	2.2	67.4	30.4

（１）不安や悩み、ストレスの状況

(%)

		回答者数	不安や悩み、ストレスの状況						
			大いにある	多少ある	あまりない	まったくない	無回答	『ある』	『ない』
全体		3,010 100.0	881 29.3	1,265 42.0	648 21.5	164 5.4	52 1.7	2,146 71.3	812 26.9
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	31.7	44.7	16.2	4.1	3.3	76.4	20.3
	小学生がいる	422	31.5	46.7	17.5	3.3	0.9	78.2	20.8
	中学生がいる	260	35.0	42.3	16.5	5.4	0.8	77.3	21.9
	上記以外の１８歳未満の子どもがいる	263	33.5	42.6	20.2	3.0	0.8	76.1	23.2
	６５歳以上の人がいる	991	25.8	40.8	25.1	7.1	1.2	66.6	32.2
	障害者手帳を持っている人がある	335	34.3	38.5	18.5	6.3	2.4	72.8	24.8
	上記にあてはまる人はいない	1,060	30.3	41.6	21.0	5.6	1.5	71.9	26.6
	無回答	38	15.8	52.6	15.8	2.6	13.2	68.4	18.4
職業別	農林漁業	68	27.9	39.7	20.6	8.8	2.9	67.6	29.4
	自営業	209	28.7	40.7	22.5	7.7	0.5	69.4	30.2
	給与所得者（常勤）	1,256	32.3	43.9	18.3	4.0	1.5	76.2	22.3
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	29.7	44.5	21.4	3.1	1.2	74.2	24.5
	学生	170	32.4	41.8	13.5	8.8	3.5	74.2	22.3
	家事に専念	309	23.3	42.7	27.5	4.5	1.9	66.0	32.0
	無職	483	23.0	37.3	28.4	9.3	2.1	60.3	37.7
	その他	20	50.0	15.0	20.0	10.0	5.0	65.0	30.0
	無回答	10	40.0	-	40.0	10.0	10.0	40.0	50.0
家族構成別	単身	407	31.7	40.0	21.6	5.4	1.2	71.7	27.0
	夫婦のみ	618	19.1	43.7	28.5	7.8	1.0	62.8	36.3
	親・子（２世代）	1,616	32.4	42.3	18.8	4.4	2.0	74.7	23.2
	親・子・孫（３世代）	269	31.2	40.1	21.2	6.3	1.1	71.3	27.5
	その他	89	29.2	39.3	22.5	4.5	4.5	68.5	27.0
	無回答	11	-	45.5	27.3	18.2	9.1	45.5	45.5

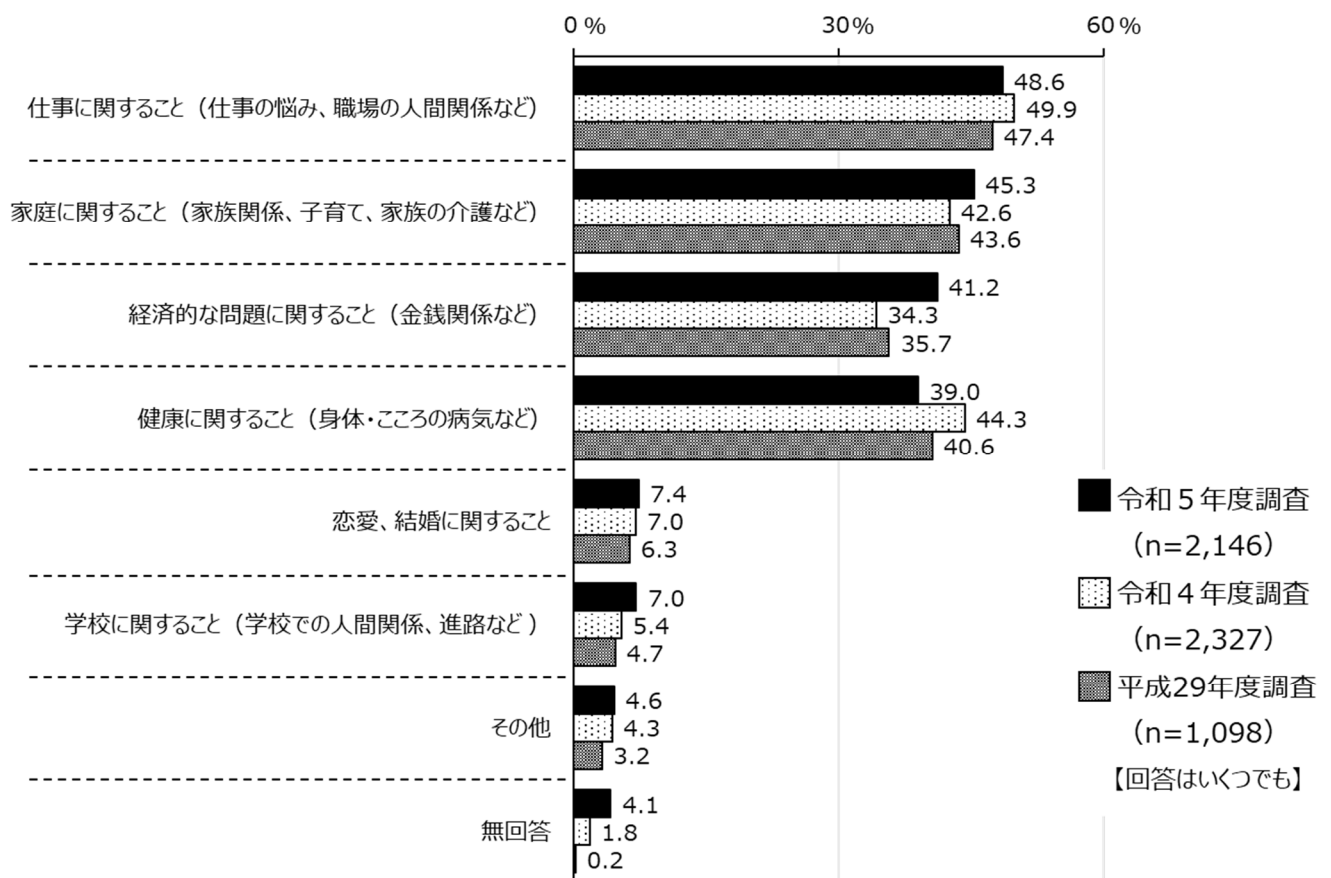
（１）不安や悩み、ストレスの状況

問 26 付問 1 【問 26 で『 1．大いにある』または『 2．多少ある』と回答した人に】
それはどのようなことが原因ですか。（あてはまる番号いくつでも）

不安や悩み、ストレスの原因は「仕事に関すること（仕事の悩み、職場の人間関係など）」が 48.6%と最も高く、次いで「家庭に関すること（家族関係、子育て、家族の介護など）」が 45.3%、「経済的な問題に関すること（金銭関係など）」が 41.2%、「健康に関すること（身体・こころの病気など）」が 39.0%となっている。

【経年比較】

令和 4 年度調査では「仕事に関すること（仕事の悩み、職場の人間関係など）」が 49.9%で最も高く、令和 5 年度調査でも 1.3 ポイント減で変わらず 1 位となっている。



（１）不安や悩み、ストレスの状況

【性別】「家庭に関すること（家族関係、子育て、家族の介護など）」の割合は「女性」が 51.7%、「男性」が 36.7%となり「女性」が 15.0 ポイント高い。一方で、「仕事に関すること（仕事の悩み、職場の人間関係など）」の割合は「男性」が 54.6%、「女性」が 44.0%と、「男性」が 10.6 ポイント高くなっている。

【性別・年齢別】「家庭に関すること（家族関係、子育て、家族の介護など）」は「女性：30 歳代」が最も高く、「健康に関すること（身体・こころの病気など）」の割合は男女とも「75 歳以上」が最も高い。一方で、「経済的な問題に関すること（金銭関係など）」の割合は女性では「女性：30 歳代」が 47.7%と最も高く、男性では「男性：70～74 歳」が 47.5%で最も高い。

【ブロック別】「家庭に関すること（家族関係、子育て、家族の介護など）」、「健康に関すること（身体・こころの病気など）」の割合はともに「東部 A」が最も高い。「経済的な問題に関すること（金銭関係など）」の割合は「北部 A」が 46.8%と最も高い。

(%)										
		回答者数	不安や悩み、ストレスの原因							
			（家庭に関すること （家族関係、子育て、 家族の介護など）	（健康に関すること （身体・こころの病気など）	経済的な問題に関すること （金銭関係など）	仕事に関すること （仕事の悩み、職場の人間関係など）	恋愛、結婚に関すること	学校に関すること （学校での人間関係、進路など）	その他	無回答
全体		2,146 100.0	973 45.3	836 39.0	884 41.2	1,042 48.6	158 7.4	151 7.0	98 4.6	89 4.1
性別	男性	904	36.7	40.4	43.0	54.6	7.5	6.2	4.4	4.8
	女性	1,235	51.7	38.0	40.1	44.0	7.2	7.7	4.6	3.7
	（ ）	4	-	25.0	-	100.0	25.0	-	25.0	-
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
性別×年齢別	男性：18～29歳	138	17.4	21.0	42.0	56.5	21.7	31.9	7.2	3.6
	男性：30歳代	122	45.9	23.0	41.8	73.8	14.8	2.5	3.3	6.6
	男性：40歳代	198	45.5	38.4	44.9	68.7	7.6	2.5	2.5	2.5
	男性：50歳代	176	36.4	35.8	45.5	67.0	2.3	1.1	3.4	3.4
	男性：60～64歳	77	39.0	45.5	40.3	51.9	-	1.3	5.2	7.8
	男性：65～69歳	60	31.7	65.0	36.7	30.0	-	-	3.3	5.0
	男性：70～74歳	80	32.5	66.3	47.5	15.0	1.3	1.3	8.8	8.8
	男性：75歳以上	51	43.1	80.4	39.2	2.0	-	-	3.9	5.9
	女性：18～29歳	214	27.1	20.6	37.9	51.9	20.1	26.6	5.1	2.3
	女性：30歳代	193	66.8	30.6	47.7	53.9	13.0	7.3	5.2	2.6
	女性：40歳代	268	60.1	29.9	45.1	58.6	5.6	6.0	4.1	4.1
	女性：50歳代	214	54.2	43.9	37.9	52.3	2.3	3.3	2.8	3.3
	女性：60～64歳	83	66.3	41.0	34.9	30.1	-	-	3.6	3.6
	女性：65～69歳	95	48.4	55.8	36.8	23.2	-	-	7.4	4.2
	女性：70～74歳	108	42.6	59.3	34.3	8.3	0.9	0.9	4.6	7.4
	女性：75歳以上	60	46.7	68.3	31.7	6.7	-	-	6.7	5.0
	（ ）・無回答	9	33.3	33.3	-	55.6	11.1	-	11.1	-
ブロック別	東部A	141	49.6	44.7	42.6	41.1	5.0	7.8	2.8	5.0
	東部B（田主丸）	140	47.1	32.9	41.4	44.3	15.7	5.7	10.0	5.0
	北部A	190	43.7	40.0	46.8	53.2	7.9	5.3	2.6	3.7
	北部B（北野）	123	47.2	37.4	41.5	43.1	6.5	8.1	7.3	3.3
	中央東部	284	46.8	37.7	38.0	52.1	7.0	5.3	4.6	5.6
	南東部	195	45.6	39.0	43.1	48.7	11.8	9.2	6.7	1.0
	中央部	275	43.3	36.4	40.0	54.9	5.1	6.9	4.0	3.6
	中央南部	384	46.9	41.9	40.6	49.0	8.1	8.6	3.4	4.7
	南西部	205	44.4	38.5	42.0	43.4	4.9	5.4	3.4	3.4
	西部A（城島）	62	37.1	41.9	43.5	43.5	4.8	8.1	4.8	6.5
	西部B（三瀬）	116	44.0	36.2	35.3	49.1	2.6	6.9	4.3	2.6
	わからない・無回答	31	32.3	45.2	45.2	41.9	6.5	9.7	3.2	12.9

（１）不安や悩み、ストレスの状況

【同居家族別】「家庭に関すること（家族関係、子育て、家族の介護など）」の割合は「就学前の子どもがいる」世帯が 67.4%で最も高く、次いで「小学生がいる」世帯が 62.7%、「中学生がいる」世帯が 62.2%と 6 割を超えている。一方で、「健康に関すること（身体・こころの病気など）」の割合は「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が 52.0%と最も高く、唯一 5 割を超えている。

【職業別】「家庭に関すること（家族関係、子育て、家族の介護など）」の割合は「家事に専念」が 61.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（学生は除く）」が 56.1%となっている。「仕事に関すること（仕事の悩み、職場の人間関係など）」の割合は「給与所得者（常勤）」が 71.1%と最も高く 7 割を超えている。

【家族構成別】「健康に関すること（身体・こころの病気など）」、「経済的な問題に関すること（金銭関係など）」の割合はともに「単身」が高い。「仕事に関すること（仕事の悩み、職場の人間関係など）」は「親・子（２世代）」が 54.1%と最も高い割合となっている。

(%)

		回答者数	不安や悩み、ストレスの原因							
			家庭に関すること （家族関係、子育て、 家族の介護など）	健康に関すること （身体、こころの病気など）	経済的な問題に関する こと （金銭関係など）	仕事に関する こと （仕事の悩み、職場の 人間関係など）	恋愛、結婚に関する こと	学校に関する こと （学校での人間関係、 進路など）	その他	無回答
全体		2,146 100.0	973 45.3	836 39.0	884 41.2	1,042 48.6	158 7.4	151 7.0	98 4.6	89 4.1
同居家族別	就学前の子どもがいる	301	67.4	25.9	42.2	52.2	3.7	7.0	3.3	4.0
	小学生がいる	330	62.7	31.5	43.6	54.2	2.7	10.9	2.4	2.7
	中学生がいる	201	62.2	30.3	43.8	49.8	4.0	18.9	3.0	2.5
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	200	55.0	32.5	44.0	55.0	5.0	14.0	5.5	2.5
	65歳以上の人がいる	660	49.4	43.2	37.3	37.4	7.3	5.0	5.0	5.5
	障害者手帳を持っている人がいる	244	53.3	52.0	45.5	37.7	10.7	4.5	4.9	4.9
	上記にあてはまる人はいない	762	31.4	39.9	42.5	54.7	10.5	6.4	4.7	3.7
	無回答	26	19.2	69.2	38.5	38.5	7.7	-	3.8	3.8
職業別	農林漁業	46	54.3	23.9	54.3	37.0	2.2	-	13.0	6.5
	自営業	145	47.6	46.9	45.5	53.1	4.8	3.4	6.2	3.4
	給与所得者（常勤）	957	43.5	29.7	38.7	71.1	9.3	2.5	2.4	4.7
	パート・アルバイト（学生は除く）	360	56.1	36.7	46.7	48.9	5.6	2.2	4.4	3.3
	学生	126	15.9	17.5	30.2	15.9	19.8	79.4	7.9	1.6
	家事に専念	204	61.8	50.5	31.4	9.3	1.5	5.4	6.9	5.4
	無職	291	37.5	69.4	49.5	15.1	3.4	1.0	6.2	3.8
	その他	13	38.5	76.9	53.8	61.5	23.1	-	15.4	-
	無回答	4	25.0	100.0	50.0	25.0	-	-	-	-
家族構成別	単身	292	24.0	49.0	44.9	47.3	14.7	3.1	6.5	2.7
	夫婦のみ	388	42.0	44.6	37.4	38.9	1.3	0.5	4.9	6.2
	親・子（2世代）	1,208	49.6	35.4	41.8	54.1	7.3	9.3	3.9	3.3
	親・子・孫（3世代）	192	60.4	33.3	41.7	40.1	8.9	13.0	4.2	5.2
	その他	61	36.1	41.0	36.1	34.4	8.2	4.9	8.2	11.5
	無回答	5	60.0	60.0	20.0	40.0	-	-	-	-

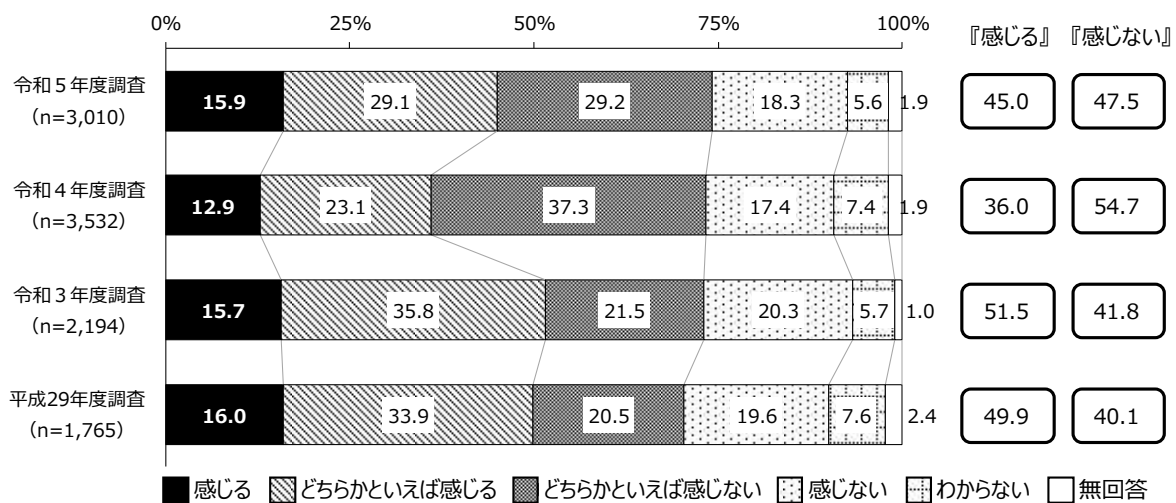
（２）相談や助けを求めることのためらい

問 27 あなたが、不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰かに相談したり助けを求めたりすることに、ためらいを感じますか。
（あてはまる番号 1 つだけ）

不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰かに相談したり助けを求めたりすることにためらいを「どちらかといえば感じない」が 29.2%と最も高く、「感じない」は 18.3%で、これらをあわせた『感じない』は 47.5%である。一方で、「感じる」（15.9%）と「どちらかといえば感じる」（29.1%）をあわせた『感じる』は 45.0%である。

【経年比較】

令和 3 年度調査までは『感じる』の割合が多い傾向であったが、令和 4 年度調査より『感じない』の割合が『感じる』の割合を上回っている。令和 5 年度調査では『感じる』が 45.0%、『感じない』が 47.5%で、差が 2.5 ポイントと小さくなっている。



【性別】『感じる』の割合は「男性」が 46.3%、「女性」が 44.1%となり、「男性」が 2.2 ポイント高い。

【性別・年齢別】『感じる』の割合は、男性では「男性：40 歳代」が 55.0%で最も高く、女性では「女性：50 歳代」が 51.3%で最も高い。

【ブロック別】『感じる』の割合は全ブロックで 4 割を超えており、「西部 B（三潞）」が 47.4%と最も高い。次いで、「中央東部」が 47.3%となっている。一方で、「東部 B（田主丸）」と「北部 A」はともに 42.7%と最も低い結果となっている。

【同居家族別】『感じる』の割合は、「中学生がいる」世帯が 48.8%と最も高く、次いで「障害者手帳を持っている人がある」世帯が 48.4%となっている。一方で、「就学前の子どもがいる」世帯は 39.6%と最も低く、唯一 3 割台にとどまっている。

【職業別】『感じる』の割合は「その他」が 55.0%と最も高く、次いで「自営業」が 50.7%となっている。一方で、「学生」は 38.8%と最も低い。

【家族構成別】全家族構成において『感じる』の割合は 4 割台となっている。「単身」が 48.9%と最も高い。一方で、「夫婦のみ」は 41.7%と最も低い。

（２）相談や助けを求めることのためらい

(%)

		回答者数	相談や助けを求めることのためらい							
			感じる	感じど ちらか といえ ば	感じど ちらか といえ ば	感じ ない	わ か ら な い	無 回 答	『感 じ る』	『感 じ な い』
全体		3,010 100.0	480 15.9	875 29.1	878 29.2	551 18.3	170 5.6	56 1.9	1,355 45.0	1,429 47.5
性別	男性	1,330	15.2	31.1	28.0	16.0	7.8	1.9	46.3	44.0
	女性	1,668	16.5	27.6	30.0	20.2	3.9	1.8	44.1	50.2
	()	6	16.7	16.7	50.0	16.7	-	-	33.4	66.7
	無回答	6	16.7	16.7	33.3	-	16.7	16.7	33.4	33.3
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	14.5	26.5	24.5	21.0	7.5	6.0	41.0	45.5
	男性：30歳代	163	16.0	29.4	30.7	14.7	7.4	1.8	45.4	45.4
	男性：40歳代	251	19.9	35.1	23.1	14.7	6.8	0.4	55.0	37.8
	男性：50歳代	243	14.4	38.3	24.7	14.8	7.0	0.8	52.7	39.5
	男性：60～64歳	115	18.3	28.7	30.4	13.9	7.8	0.9	47.0	44.3
	男性：65～69歳	118	8.5	26.3	37.3	18.6	7.6	1.7	34.8	55.9
	男性：70～74歳	150	12.0	26.7	34.7	12.0	12.7	2.0	38.7	46.7
	男性：75歳以上	87	14.9	29.9	28.7	18.4	6.9	1.1	44.8	47.1
	女性：18～29歳	275	20.7	21.5	22.9	29.1	2.9	2.9	42.2	52.0
	女性：30歳代	232	15.9	33.2	23.3	21.6	3.4	2.6	49.1	44.9
	女性：40歳代	324	15.4	29.6	31.5	20.4	2.5	0.6	45.0	51.9
	女性：50歳代	263	19.4	31.9	25.9	19.8	2.7	0.4	51.3	45.7
	女性：60～64歳	136	18.4	20.6	39.7	16.2	3.7	1.5	39.0	55.9
	女性：65～69歳	150	10.7	28.0	40.7	12.7	4.7	3.3	38.7	53.4
	女性：70～74歳	179	16.8	25.1	35.2	15.6	6.1	1.1	41.9	50.8
	女性：75歳以上	108	9.3	26.9	32.4	18.5	9.3	3.7	36.2	50.9
	()・無回答	16	12.5	18.8	31.3	18.8	12.5	6.3	31.3	50.1
ブロック別	東部A	192	16.7	29.7	30.2	13.5	8.9	1.0	46.4	43.7
	東部B（田主丸）	185	15.1	27.6	30.3	20.0	6.5	0.5	42.7	50.3
	北部A	281	15.3	27.4	31.0	18.9	5.3	2.1	42.7	49.9
	北部B（北野）	175	20.6	24.6	28.6	18.9	5.7	1.7	45.2	47.5
	中央東部	399	14.5	32.8	28.3	18.5	3.8	2.0	47.3	46.8
	南東部	285	16.1	29.8	30.5	15.8	3.9	3.9	45.9	46.3
	中央部	384	17.4	28.4	29.7	19.0	4.4	1.0	45.8	48.7
	中央南部	507	14.2	29.0	29.6	20.9	5.5	0.8	43.2	50.5
	南西部	282	13.1	30.1	28.0	18.4	7.1	3.2	43.2	46.4
	西部A（城島）	103	16.5	30.1	24.3	18.4	8.7	1.9	46.6	42.7
	西部B（三瀬）	171	19.3	28.1	29.2	14.6	6.4	2.3	47.4	43.8
	わからない・無回答	46	23.9	23.9	19.6	17.4	10.9	4.3	47.8	37.0

（２）相談や助けを求めることのためらい

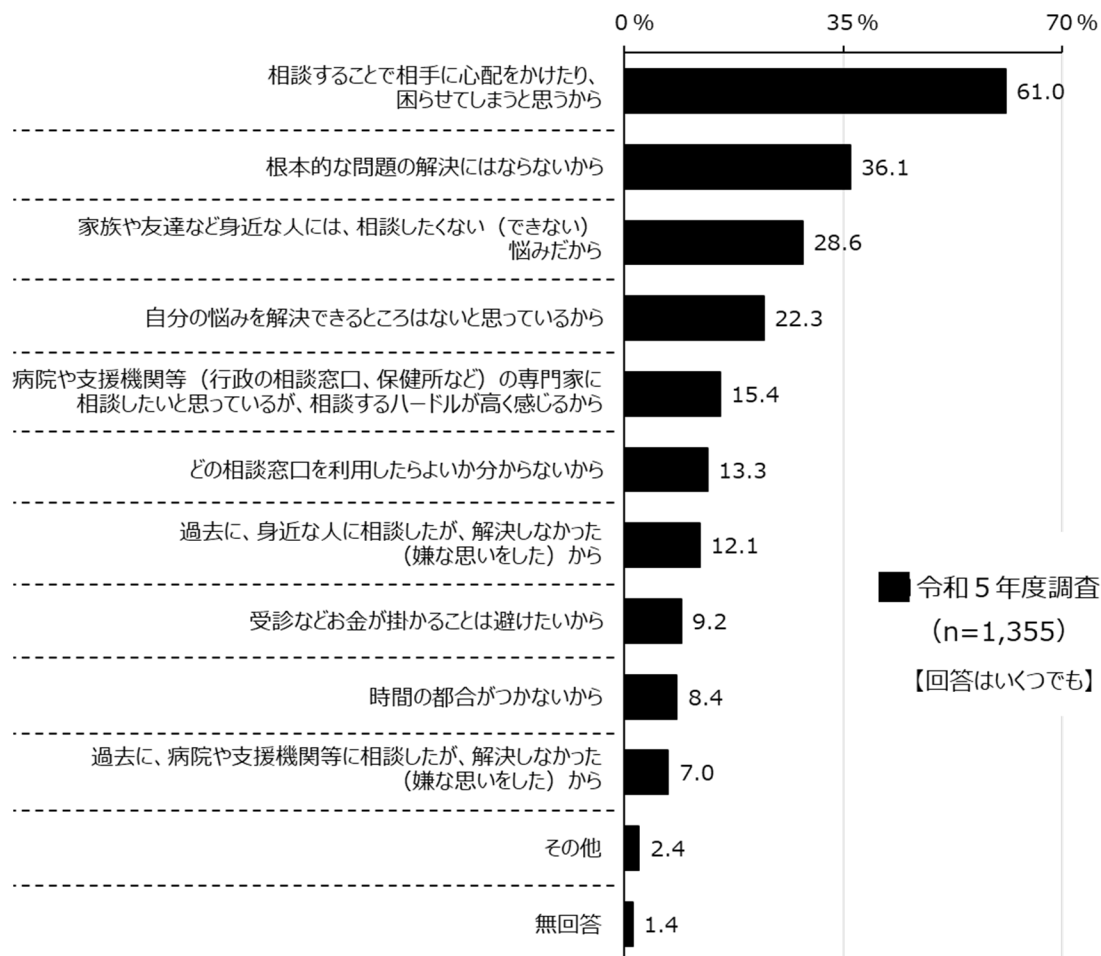
(%)

		回答者数	相談や助けを求めることのためらい							
			感じる	感じどちらかといえ	感じどちらかといえ	感じない	わからない	無回答	『感じる』	『感じない』
全体		3,010 100.0	480 15.9	875 29.1	878 29.2	551 18.3	170 5.6	56 1.9	1,355 45.0	1,429 47.5
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	10.9	28.7	31.0	22.6	3.3	3.6	39.6	53.6
	小学生がいる	422	12.8	32.5	26.3	22.7	4.5	1.2	45.3	49.0
	中学生がいる	260	20.0	28.8	24.6	21.5	4.2	0.8	48.8	46.1
	上記以外の１８歳未満の子どもがいる	263	16.3	26.2	34.2	17.1	4.9	1.1	42.5	51.3
	６５歳以上の人がいる	991	15.4	28.5	32.0	16.5	6.0	1.6	43.9	48.5
	障害者手帳を持っている人がいる	335	20.0	28.4	27.2	15.5	7.8	1.2	48.4	42.7
	上記にあてはまる人はいない	1,060	17.5	30.0	26.4	18.3	5.9	1.9	47.5	44.7
	無回答	38	10.5	36.8	28.9	5.3	5.3	13.2	47.3	34.2
職業別	農林漁業	68	16.2	29.4	23.5	19.1	7.4	4.4	45.6	42.6
	自営業	209	14.8	35.9	26.8	17.7	3.3	1.4	50.7	44.5
	給与所得者（常勤）	1,256	16.0	31.6	27.5	19.0	4.4	1.4	47.6	46.5
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	15.9	25.6	31.1	20.8	4.9	1.6	41.5	51.9
	学生	170	15.9	22.9	25.9	25.3	5.9	4.1	38.8	51.2
	家事に専念	309	13.9	28.5	34.6	15.2	5.8	1.9	42.4	49.8
	無職	483	17.2	25.9	31.3	13.9	9.9	1.9	43.1	45.2
	その他	20	25.0	30.0	15.0	15.0	10.0	5.0	55.0	30.0
	無回答	10	20.0	10.0	40.0	10.0	10.0	10.0	30.0	50.0
家族構成別	単身	407	20.4	28.5	25.6	15.2	9.1	1.2	48.9	40.8
	夫婦のみ	618	12.6	29.1	33.3	18.9	5.0	1.0	41.7	52.2
	親・子（２世代）	1,616	15.9	29.7	28.7	18.9	4.7	2.2	45.6	47.6
	親・子・孫（３世代）	269	17.1	25.3	30.9	19.7	5.2	1.9	42.4	50.6
	その他	89	18.0	28.1	21.3	15.7	12.4	4.5	46.1	37.0
	無回答	11	-	54.5	27.3	-	9.1	9.1	54.5	27.3

（２）相談や助けを求めることのためらい

問 27 付問 1 【問 27 で『 1. 感じる』または『 2. どちらかといえば感じる』と回答した人に】
それはどのようなことが原因ですか（あてはまる番号いくつでも）

不安や悩み、ストレスを相談したりすることにためらいを感じる原因は「相談することで相手に心配をかけたり、困らせてしまうと思うから」が 61.0%と最も高い。次いで「根本的な問題の解決にはならないから」（36.1%）が 3 割台であげられている。「家族や友達など身近な人には、相談したくない（できない） 悩みだから」が 28.6%、「どの相談窓口を利用したらよいか分からないから」は 13.3%である。



【性別】「相談することで相手に心配をかけたり、困らせてしまうと思うから」の割合は「女性」が 64.4%、「男性」が 56.9%となり、「女性」が 7.5 ポイント高くなっている。

【性別・年齢別】男女とも年齢層に関係なく「相談することで相手に心配をかけたり、困らせてしまうと思うから」の割合が高い傾向にある。一方で、男女とも若い年齢層に「根本的な問題の解決にはならないから」の割合が高い傾向にあり、「病院や支援機関等（行政の相談窓口、保健所など）の専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから」「どの相談窓口を利用したらよいか分からないから」は「男性」の年齢の高い層で割合が高い傾向がみられる。

Ⅱ 調査結果の分析（５．こころの健康について）

（２）相談や助けを求めることのためらい

			ためらいを感じる原因												(%)
		回答者数	家族や友達など身近な人には、相談しにくい（できない）悩みだから	相談することで相手に心配をかけたり、困らせてしまうと思うから	相談するハードルが高く感じるから	病院や支援機関等（行政の相談窓口、保健所などの専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから	過去に、身近な人に相談したが、解決しなかった（嫌な思いをした）から	過去に、病院や支援機関等に相談したが、解決しなかった（嫌な思いをした）から	自分の悩みを解決できるのではないと思っているから	根本的な問題の解決にはならないから	受診などお金が掛かることは避けたいから	時間の都合がつかないから	どの相談窓口を利用したらよいかわからないから	その他	無回答
全体			1,355 100.0	387 28.6	826 61.0	208 15.4	164 12.1	95 7.0	302 22.3	489 36.1	124 9.2	114 8.4	180 13.3	32 2.4	19 1.4
性別	男性	615	30.1	56.9	15.6	10.2	5.4	24.2	36.1	8.3	8.3	14.3	2.4	1.5	
	女性	736	27.3	64.4	15.2	13.7	8.4	20.7	36.0	9.8	8.6	12.5	2.3	1.4	
	（ ）	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	
性別×年齢別	男性：18～29歳	82	32.9	61.0	14.6	12.2	2.4	24.4	37.8	4.9	4.9	9.8	3.7	-	
	男性：30歳代	74	32.4	60.8	14.9	13.5	5.4	31.1	41.9	10.8	10.8	9.5	2.7	2.7	
	男性：40歳代	138	31.9	49.3	10.9	10.9	5.8	29.7	36.2	8.7	15.9	13.0	0.7	0.7	
	男性：50歳代	128	25.8	55.5	16.4	11.7	8.6	18.8	39.8	7.8	7.8	12.5	3.1	0.8	
	男性：60～64歳	54	29.6	57.4	13.0	7.4	-	16.7	27.8	1.9	5.6	7.4	5.6	-	
	男性：65～69歳	41	31.7	65.9	9.8	4.9	-	26.8	29.3	7.3	-	12.2	-	4.9	
	男性：70～74歳	58	29.3	62.1	20.7	6.9	8.6	25.9	39.7	10.3	3.4	29.3	-	3.4	
	男性：75歳以上	39	25.6	53.8	33.3	7.7	7.7	15.4	23.1	17.9	5.1	30.8	5.1	2.6	
	女性：18～29歳	116	31.0	71.6	10.3	16.4	9.5	26.7	32.8	12.9	7.8	7.8	6.0	-	
	女性：30歳代	114	39.5	59.6	16.7	12.3	9.6	21.1	43.9	8.8	13.2	8.8	2.6	0.9	
	女性：40歳代	146	23.3	68.5	12.3	15.1	7.5	22.6	41.8	12.3	13.7	12.3	1.4	-	
	女性：50歳代	135	25.2	63.0	16.3	16.3	11.1	17.0	35.6	9.6	8.1	13.3	1.5	1.5	
	女性：60～64歳	53	32.1	60.4	11.3	9.4	-	20.8	37.7	5.7	5.7	17.0	-	1.9	
	女性：65～69歳	58	15.5	62.1	29.3	15.5	12.1	22.4	32.8	3.4	1.7	13.8	1.7	1.7	
	女性：70～74歳	75	28.0	61.3	12.0	10.7	5.3	12.0	32.0	10.7	5.3	17.3	-	2.7	
	女性：75歳以上	39	12.8	61.5	23.1	5.1	7.7	20.5	12.8	7.7	-	17.9	5.1	7.7	
	（ ）・無回答	5	40.0	60.0	20.0	-	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	
ブロック別	東部A	89	33.7	61.8	22.5	10.1	9.0	25.8	37.1	13.5	11.2	15.7	2.2	1.1	
	東部B（田主丸）	79	35.4	63.3	17.7	6.3	6.3	20.3	38.0	5.1	5.1	11.4	3.8	1.3	
	北部A	120	22.5	70.0	13.3	9.2	6.7	20.8	30.0	9.2	7.5	9.2	0.8	2.5	
	北部B（北野）	79	29.1	67.1	12.7	8.9	1.3	12.7	38.0	11.4	8.9	6.3	5.1	-	
	中央東部	189	30.2	61.4	15.9	14.8	6.3	25.4	32.3	7.4	12.7	13.2	2.6	0.5	
	南東部	131	28.2	51.1	11.5	13.0	8.4	23.7	31.3	9.2	9.2	13.7	3.1	2.3	
	中央部	176	26.7	54.0	10.8	14.8	8.0	26.1	48.9	6.8	8.5	11.9	1.7	0.6	
	中央南部	219	28.8	63.9	18.3	12.8	9.6	23.3	38.4	13.2	7.3	16.4	1.4	0.5	
	南西部	122	27.0	64.8	15.6	11.5	3.3	20.5	34.4	7.4	5.7	12.3	1.6	2.5	
	西部A（城島）	48	20.8	56.3	12.5	6.3	6.3	16.7	27.1	10.4	8.3	16.7	4.2	8.3	
	西部B（三瀬）	81	29.6	54.3	14.8	13.6	6.2	19.8	32.1	6.2	6.2	17.3	3.7	-	
	わからない・無回答	22	36.4	72.7	31.8	22.7	13.6	13.6	31.8	9.1	4.5	18.2	-	4.5	

（２）相談や助けを求めることのためらい

【同居家族別】「相談することで相手に心配をかけたり、困らせてしまうと思うから」の割合が全ての世帯別で５割を超えている。「根本的な問題の解決にはならないから」の割合は「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が４１．４％と最も高く、次いで就学前から中学生を除く「１８歳未満の子どもがいる」世帯が４１．１％とそれぞれ４割を超えている。

【職業別】「学生」は「家族や友達など身近な人には、相談したくない（できない）悩みだから」、「過去に、身近な人に相談したが、解決しなかった（嫌な思いをした）から」、「自分の悩みを解決できるところはないと思っているから」、「根本的な問題の解決にはならないから」における割合が最も高い。

【家族構成別】「家族や友達など身近な人には、相談したくない（できない）悩みだから」の割合は「親・子・孫（３世代）」が３６．８％と３割を超えている。その他の家族構成では２割台となっている。

		(%)													
		回答者数	ためらいを感じる原因												
			家族や友達など身近な人には、相談したくない（できない）悩みだから	相談することで相手に心配をかけたり、困らせてしまうと思うから	相談するハードルが高く感じるから	病院や支援機関等（行政の相談窓口、保健所などの専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから	過去に、身近な人に相談したが、解決しなかった（嫌な思いをした）から	過去に、病院や支援機関等に相談したが、解決しなかった（嫌な思いをした）から	自分の悩みを解決できるところはないと思っ ているから	根本的な問題の解決にはならないから	受診などお金が掛かることは避けたいから	時間の都合がつかないから	どの相談窓口を利用したらよいか 分からないから	その他	無回答
全体		1,355 100.0	387 28.6	826 61.0	208 15.4	164 12.1	95 7.0	302 22.3	489 36.1	124 9.2	114 8.4	180 13.3	32 2.4	19 1.4	
同居家族別	就学前の子どもがいる	156	27.6	55.8	16.7	12.2	5.1	21.2	37.2	7.7	18.6	10.3	3.2	1.3	
	小学生がいる	191	26.2	58.6	14.7	8.9	5.2	25.7	35.1	6.3	12.0	12.0	2.1	0.5	
	中学生がいる	127	28.3	57.5	17.3	10.2	4.7	18.9	37.0	8.7	7.1	11.8	2.4	0.8	
	上記以外の１８歳未満の子どもがいる	112	29.5	60.7	11.6	8.9	3.6	18.8	41.1	9.8	7.1	12.5	3.6	-	
	６５歳以上の人がいる	435	30.1	58.6	16.8	14.5	7.8	23.9	35.6	7.8	6.2	15.2	1.8	0.9	
	障害者手帳を持っている人がいる	162	38.3	55.6	18.5	17.9	11.1	27.8	41.4	12.3	7.4	15.4	2.5	3.1	
	上記にあてはまる人はいない	503	25.8	64.6	13.9	11.7	7.0	22.5	33.8	10.1	8.2	12.7	2.8	1.4	
	無回答	18	27.8	77.8	16.7	5.6	5.6	11.1	22.2	5.6	-	11.1	-	5.6	
職業別	農林漁業	31	35.5	61.3	9.7	9.7	9.7	16.1	35.5	3.2	-	9.7	3.2	3.2	
	自営業	106	32.1	59.4	10.4	17.0	8.5	25.5	43.4	5.7	7.5	15.1	2.8	0.9	
	給与所得者（常勤）	598	26.3	59.5	13.7	10.4	5.9	20.6	36.6	7.9	11.5	10.2	1.8	1.0	
	パート・アルバイト（学生は除く）	201	30.3	64.7	12.9	11.4	5.0	24.4	37.3	12.4	9.0	14.4	2.5	1.0	
	学生	66	42.4	62.1	13.6	18.2	7.6	31.8	47.0	12.1	7.6	10.6	6.1	-	
	家事に専念	131	27.5	61.1	20.6	16.0	5.3	19.8	31.3	9.9	5.3	13.7	3.8	2.3	
	無職	208	27.4	60.6	23.1	10.1	11.1	23.1	30.3	11.1	2.9	21.2	1.4	2.9	
	その他	11	27.3	81.8	18.2	36.4	27.3	27.3	27.3	9.1	9.1	9.1	-	-	
	無回答	3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
	家族構成別	単身	199	28.6	63.3	12.6	14.6	9.5	26.6	33.2	12.1	6.5	15.6	2.0	1.5
夫婦のみ		258	24.8	65.1	20.2	8.5	8.5	19.0	31.4	8.9	7.0	15.1	2.7	2.7	
親・子（２世代）		737	28.6	61.2	14.8	12.3	6.5	21.3	38.5	8.5	10.2	12.8	2.2	1.1	
親・子・孫（３世代）		114	36.8	50.0	15.8	16.7	4.4	24.6	34.2	6.1	4.4	11.4	0.9	0.9	
その他		41	26.8	46.3	7.3	4.9	2.4	31.7	43.9	17.1	7.3	2.4	9.8	-	
無回答		6	33.3	83.3	16.7	16.7	-	33.3	16.7	-	-	33.3	-	-	

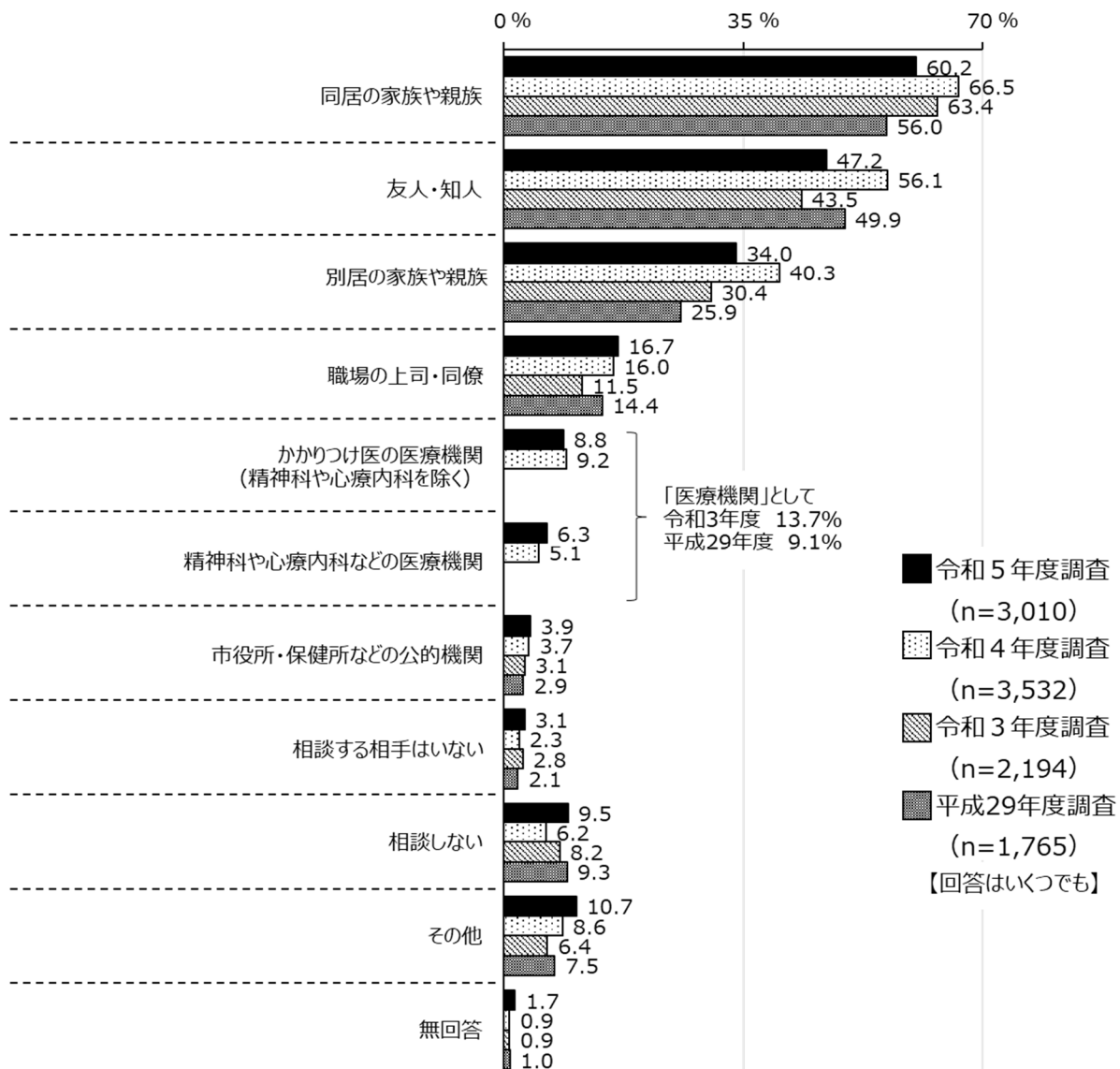
（３）不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先

問 28 あなたが、不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰に（どこに）相談しますか。（あてはまる番号いくつでも）

不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先は「同居の家族や親族」が 60.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が 47.2%、「別居の家族や親族」が 34.0%と身近な人への相談が多い。

【経年比較】

「相談しない」は令和 4 年度調査まで減少傾向にあったが、令和 5 年度調査は 9.5%となり、最も高い割合となっている。また、「職場の上司・同僚」、「精神科や心療内科などの医療機関」、「市役所・保健所などの公的機関」、「相談する相手はいない」についても平成 29 年度からの調査において最も高い割合となっている。



（３）不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先

【性別】「別居の家族や親族」の割合は、「女性」が 43.2%、「男性」が 22.5%と「女性」が 20.7 ポイント高く、「友人・知人」の割合は、「女性」が 55.5%、「男性」が 36.8%となり、「女性」が 18.7 ポイント高い結果となっている。

【性別・年齢別】男女とも、「友人・知人」の割合は低い年齢層で高い傾向がある。一方で、「かかりつけ医の医療機関（精神科や心療内科を除く）」は高い年齢層の割合が高くなっている。

【ブロック別】「同居の家族や親族」の割合は、「北部 B（北野）」が 66.9%と最も高く、次いで「北部 A」が 64.8%となっている。「別居の家族や親族」の割合は、全ブロックで 3 割を超えている。

(%)

		回答者数	不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先																		
			同居の家族や親族	別居の家族や親族	友人・知人	学校の先生	学校のカウンセラー	職場の上司・同僚	職場の健康管理センター	（精神科や心療内科を除く） かかりつけ医の医療機関	精神科や心療内科などの医療機関	薬局	地域包括支援センター・障害者基幹相談支援センター	民間ボランティアの電話相談	SNS相談 （LINEほか）	民生委員・児童委員	公的機関・保健所などの市役所	相談する相手はいない	相談しない	その他	無回答
全体		3,010 100.0	1,812 60.2	1,023 34.0	1,421 47.2	40 1.3	17 0.6	502 16.7	24 0.8	265 8.8	191 6.3	27 0.9	68 2.3	15 0.5	34 1.1	27 0.9	118 3.9	93 3.1	285 9.5	69 2.3	51 1.7
性別	男性	1,330	59.2	22.5	36.8	1.3	0.5	16.2	1.1	10.5	6.0	1.1	1.8	0.4	0.8	0.7	3.9	4.0	12.8	2.6	1.8
	女性	1,668	61.1	43.2	55.5	1.3	0.7	17.0	0.5	7.5	6.5	0.8	2.6	0.6	1.4	1.0	4.0	2.3	6.9	2.0	1.6
	（ ）	6	33.3	33.3	83.3	-	-	50.0	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-
	無回答	6	66.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-
性別×年齢別	男性：18～29歳	200	56.5	11.0	60.0	6.5	1.0	13.0	0.5	1.0	5.5	0.5	0.5	-	1.0	-	0.5	1.5	11.5	1.5	6.0
	男性：30歳代	163	59.5	23.9	40.5	1.2	0.6	30.7	-	5.5	7.4	1.8	1.2	-	1.2	-	1.2	5.5	12.9	1.8	1.8
	男性：40歳代	251	57.4	17.9	33.1	-	0.8	22.7	1.2	4.4	7.2	0.8	0.4	0.4	1.2	-	2.0	4.0	19.1	4.0	0.4
	男性：50歳代	243	53.9	18.1	32.1	-	-	22.2	2.5	7.4	5.3	0.4	1.6	-	1.2	0.4	3.3	3.7	16.9	3.3	1.2
	男性：60～64歳	115	64.3	25.2	35.7	-	-	13.9	0.9	6.1	4.3	-	0.9	0.9	-	0.9	4.3	6.1	7.8	0.9	-
	男性：65～69歳	118	64.4	27.1	32.2	-	-	5.1	0.8	23.7	6.8	1.7	4.2	1.7	-	1.7	8.5	5.1	5.9	5.1	0.8
	男性：70～74歳	150	67.3	34.7	23.3	1.3	0.7	3.3	2.0	26.0	6.0	2.7	1.3	0.7	-	0.7	7.3	2.7	9.3	0.7	2.7
	男性：75歳以上	87	55.2	39.1	29.9	-	-	1.1	-	27.6	3.4	1.1	8.0	-	-	4.6	11.5	5.7	8.0	3.4	-
	女性：18～29歳	275	57.8	30.9	69.8	2.9	0.4	18.9	0.4	1.1	4.7	-	0.4	-	3.3	-	0.7	0.7	8.7	2.5	2.5
	女性：30歳代	232	71.1	42.2	62.1	0.9	0.4	28.0	0.9	5.2	5.6	1.3	0.9	0.9	3.0	0.9	3.9	2.2	2.2	0.9	2.6
	女性：40歳代	324	65.4	42.6	59.9	3.1	1.5	25.6	0.3	1.9	8.6	0.3	1.2	0.6	1.2	-	2.8	2.2	7.4	1.9	0.6
	女性：50歳代	263	60.5	43.0	55.5	0.8	1.1	20.5	1.5	5.3	9.1	1.1	3.0	-	1.1	0.8	3.4	3.8	8.7	1.5	0.8
	女性：60～64歳	136	54.4	53.7	43.4	-	-	13.2	-	10.3	5.9	1.5	4.4	0.7	0.7	-	8.1	2.9	9.6	3.7	1.5
	女性：65～69歳	150	62.7	48.0	51.3	-	-	4.7	0.7	14.7	4.7	0.7	4.7	0.7	-	1.3	2.7	2.0	5.3	2.7	2.0
	女性：70～74歳	179	54.2	49.7	41.3	-	0.6	1.1	-	17.9	7.3	1.7	2.2	1.7	-	2.8	8.4	2.8	6.7	1.1	1.1
	女性：75歳以上	108	54.6	48.1	37.0	-	-	1.9	-	20.4	2.8	-	10.2	0.9	-	5.6	6.5	2.8	5.6	2.8	2.8
	（ ）・無回答	16	56.3	37.5	50.0	6.3	-	25.0	-	12.5	18.8	-	12.5	-	-	6.3	-	6.3	-	6.3	-
ブロック別	東部A	192	55.7	34.4	44.8	2.6	1.0	16.1	1.0	9.9	6.3	2.1	3.6	-	1.0	1.6	3.6	1.6	11.5	2.6	-
	東部B（田主丸）	185	57.8	31.4	50.3	1.1	-	15.7	0.5	5.4	6.5	-	2.2	-	1.1	1.6	4.9	2.2	11.9	3.2	0.5
	北部A	281	64.8	35.9	53.7	1.1	-	21.4	0.4	6.8	5.7	0.4	1.4	0.4	1.4	-	2.8	2.1	6.8	0.7	2.5
	北部B（北野）	175	66.9	30.9	49.1	2.9	0.6	23.4	0.6	8.0	5.1	1.7	1.7	-	1.1	0.6	3.4	4.0	5.7	2.9	1.7
	中央東部	399	59.1	36.3	45.9	1.5	0.5	17.0	1.3	9.5	6.3	0.8	3.0	1.0	0.8	1.3	5.3	4.0	10.3	2.0	2.0
	南東部	285	59.6	34.4	45.3	1.4	0.4	15.8	0.4	9.5	6.3	1.1	2.8	0.7	2.5	1.1	2.8	2.5	9.8	2.1	3.9
	中央部	384	60.2	32.8	53.1	1.6	0.5	17.2	1.0	7.3	7.0	0.8	2.3	0.8	1.6	1.0	3.4	3.1	9.4	3.1	0.8
	中央南部	507	59.6	35.9	48.5	1.4	1.2	17.6	1.0	8.9	5.5	0.8	2.0	0.6	1.2	0.8	3.2	2.4	9.5	2.2	1.2
	南西部	282	61.3	33.3	44.7	0.4	0.7	11.0	1.1	10.6	7.8	1.8	2.1	0.7	-	1.1	4.3	2.5	8.9	2.1	2.1
	西部A（城島）	103	63.1	34.0	43.7	-	-	14.6	-	14.6	9.7	-	1.9	-	-	-	5.8	2.9	6.8	1.0	2.9
西部B（三瀬）	171	62.0	30.4	34.5	0.6	0.6	14.0	0.6	9.4	4.7	0.6	1.2	-	1.2	0.6	5.3	5.8	11.1	3.5	1.2	
わからない・無回答		46	34.8	26.1	28.3	-	-	6.5	-	8.7	8.7	-	2.2	-	-	-	6.5	13.0	17.4	2.2	2.2

（３）不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先

【同居家族別】「同居の家族や親族」の割合は「就学前の子どもがいる」世帯が 75.4%と最も高く 7 割を超えている。また、「精神科や心療内科などの医療機関」の割合は「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が 14.6%と 1 割を超えている。

【職業別】「同居の家族や親族」の割合はすべての職業で高い傾向にあり、「その他」の 45.0%を除いてすべて 5 割以上となっている。

【家族構成別】「同居の家族や親族」の割合は「夫婦のみ」が 73.3%と 7 割を超えて高く、次いで「親・子・孫（３世代）」が 69.5%、「親・子（２世代）」が 67.5%となっている。

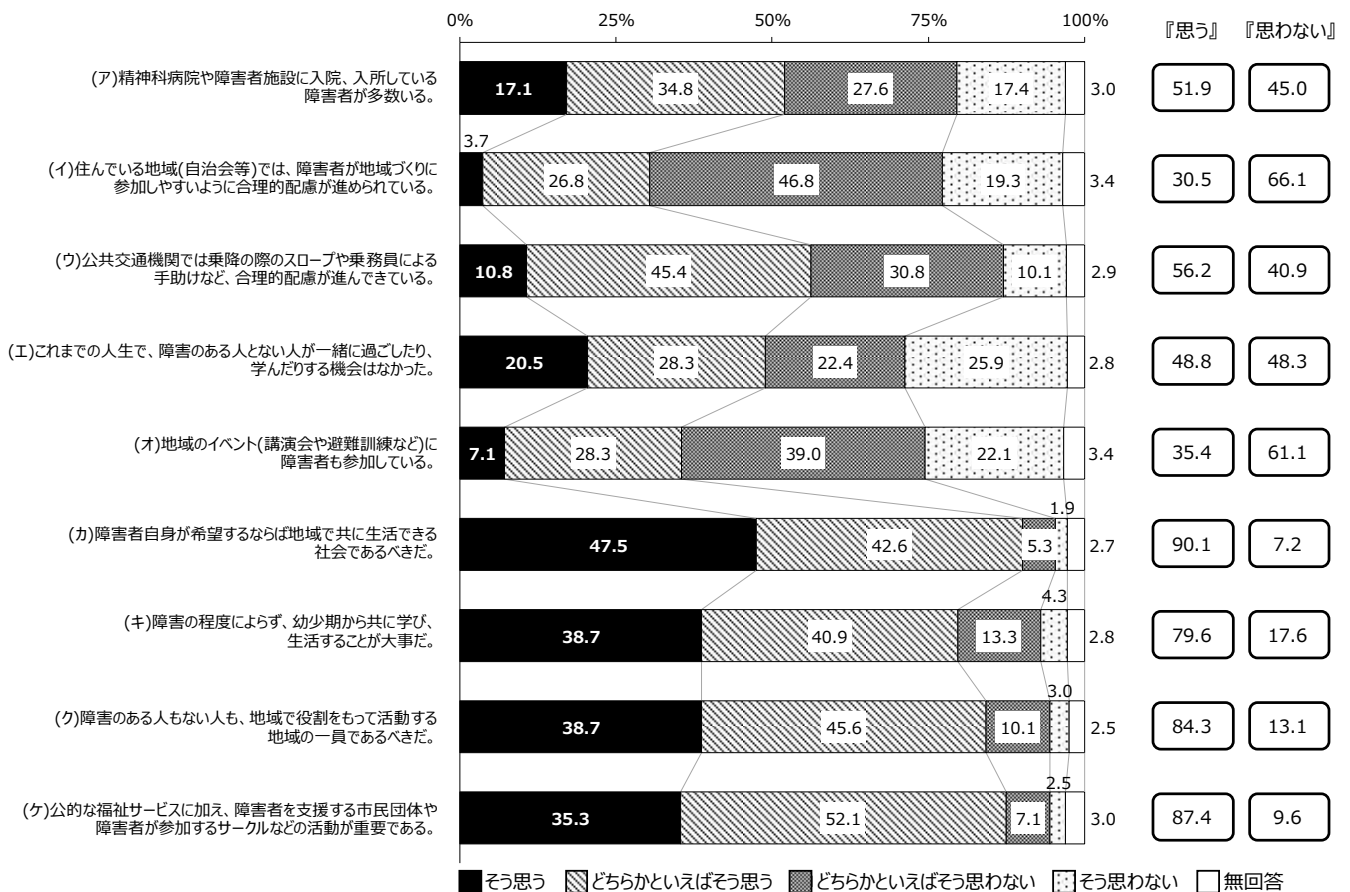
		不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先																				(%)	
		回答者数	同居の家族や親族	別居の家族や親族	友人・知人	学校の先生	学校のカウンセラー	職場の上司・同僚	職場の健康管理センター	（精神科や心療内科を除く） かかりつけ医の医療機関	精神科や心療内科などの医療機関	薬局	地域包括支援センター・障害者基幹相談支援センター	電話相談	民間ボランティアの相談	（LINEほか） SNS相談	民生委員・児童委員	公的機関・保健所などの	市役所・保健所などの	相談する相手はいない	相談しない	その他	無回答
全体		3,010 100.0	1,812 60.2	1,023 34.0	1,421 47.2	40 1.3	17 0.6	502 16.7	24 0.8	265 8.8	191 6.3	27 0.9	68 2.3	15 0.5	34 1.1	27 0.9	118 3.9	93 3.1	285 9.5	69 2.3	51 1.7		
同居家族別	就学前の子どもがいる	394	75.4	36.3	55.6	2.3	0.8	27.9	0.3	3.8	4.3	-	0.3	-	0.8	0.5	3.0	1.0	5.6	0.8	4.1		
	小学生がいる	422	69.7	34.8	53.8	3.3	1.9	23.9	0.9	3.1	4.3	0.9	0.7	0.2	0.9	0.2	3.1	0.9	8.1	1.7	1.2		
	中学生がいる	260	68.5	26.5	53.1	2.3	1.9	21.9	0.4	3.1	6.5	0.4	-	0.4	2.3	-	2.3	1.5	11.2	1.2	0.8		
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	263	66.5	34.2	51.0	1.1	-	20.2	0.8	4.6	4.6	-	0.8	-	1.5	-	3.4	1.9	11.8	0.4	1.1		
	65歳以上の人がある	991	66.6	34.3	43.0	0.8	0.5	11.8	0.8	13.6	6.9	1.5	3.2	0.5	0.6	1.1	6.0	2.9	8.4	2.5	1.2		
	障害者手帳を持っている人がいる	335	53.4	29.0	39.1	1.5	1.2	8.1	2.1	15.5	14.6	3.3	6.6	1.2	1.2	2.7	6.6	5.4	10.1	5.4	1.5		
	上記にあてはまる人はいない	1,060	50.4	32.9	47.5	0.9	0.1	16.5	0.7	7.7	5.8	0.6	1.7	0.5	1.1	0.8	3.0	4.1	11.4	2.4	1.5		
	無回答	38	15.8	42.1	47.4	-	-	5.3	-	15.8	5.3	-	7.9	-	-	-	2.6	2.6	10.5	-	13.2		
職業別	農林漁業	68	54.4	36.8	44.1	-	-	2.9	-	14.7	-	1.5	2.9	-	4.4	4.4	8.8	4.4	4.4	1.5	2.9		
	自営業	209	59.3	30.1	44.0	1.9	1.0	9.6	-	9.6	4.8	1.0	2.4	0.5	0.5	0.5	6.7	4.8	12.9	3.3	1.0		
	給与所得者（常勤）	1,256	60.8	28.9	48.4	0.8	0.4	29.8	1.3	5.0	5.7	0.6	1.0	0.4	1.0	0.1	1.8	2.4	10.1	1.9	1.6		
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	61.2	41.6	55.9	1.0	0.2	19.2	0.8	7.4	6.2	1.4	2.5	0.4	0.8	0.6	4.3	3.3	8.5	1.6	1.4		
	学生	170	57.1	15.9	70.0	9.4	1.8	1.8	-	-	1.8	-	-	-	2.9	-	-	1.2	12.4	1.2	3.5		
	家事に専念	309	68.3	50.5	42.4	0.6	1.0	1.0	0.3	13.6	7.1	1.3	3.6	0.6	0.6	1.6	5.5	2.3	6.5	1.9	1.6		
	無職	483	54.9	36.6	32.9	0.4	0.6	0.8	0.4	18.8	10.6	1.2	5.2	1.0	1.4	2.9	7.9	4.8	9.5	4.1	1.7		
	その他	20	45.0	30.0	35.0	-	-	10.0	5.0	10.0	15.0	-	5.0	-	-	-	-	5.0	-	5.0	5.0		
	無回答	10	80.0	40.0	40.0	10.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-		
家族構成別	単身	407	6.4	44.7	51.6	0.7	-	16.7	1.2	9.6	8.6	1.0	3.4	1.0	0.5	2.5	4.2	8.1	15.0	2.9	1.2		
	夫婦のみ	618	73.3	42.1	39.0	0.2	0.3	10.4	0.8	13.1	6.3	0.8	3.4	0.6	0.5	1.5	4.7	2.6	4.4	1.9	1.0		
	親・子（2世代）	1,616	67.5	29.7	48.8	1.8	0.6	19.7	0.8	6.9	5.8	0.9	1.7	0.4	1.6	0.4	3.5	2.1	10.2	2.1	1.9		
	親・子・孫（3世代）	269	69.5	25.3	51.7	2.2	1.1	16.4	0.4	8.9	5.9	0.7	0.7	-	0.7	0.4	4.5	3.0	10.0	1.9	1.5		
	その他	89	55.1	33.7	41.6	-	1.1	7.9	-	11.2	5.6	2.2	2.2	-	1.1	1.1	2.2	1.1	5.6	6.7	5.6		
	無回答	11	54.5	27.3	45.5	9.1	9.1	9.1	-	-	27.3	-	18.2	-	-	-	9.1	9.1	-	-	-		

６． 障害者福祉について

（１）障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動

問 29 障害のある人もない人も地域で共に生活するにあたって、次の（ア）～（ケ）について、あなたの考えや行動に最も近いものを選んでください。（あてはまる番号それぞれ 1 つずつ）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『思う』が最も高いのは、「(カ)障害者自身が希望するならば地域で共に生活できる社会であるべきだ。」で、90.1%である。次いで「(ケ)公的な福祉サービスに加え、障害者を支援する市民団体や障害者が参加するサークルなどの活動が重要である。」と『思う』人が 87.4%、「(ク)障害のある人もない人も、地域で役割をもって活動する地域の一員であるべきだ。」と『思う』人は 84.3%、「(キ)障害の程度によらず、幼少期から共に学び、生活することが大事だ。」と『思う』人が 79.6%いる。



（１）障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動

◆属性別特徴

【性別】「(ア)精神科病院や障害者施設に入院、入所している障害者が多数いる。」は『思う』の割合が男女で最も差が大きく、「女性」が「男性」より 4.8 ポイント高くなっている。一方で、「(オ)地域のイベント（講演会や避難訓練など）に障害者も参加している。」の『思う』の割合は男女で差が最も小さく、「男性」が 35.6%、「女性」が 35.4%となっている。

【年齢別】「(ア)精神科病院や障害者施設に入院、入所している障害者が多数いる。」、「(イ)住んでいる地域（自治会等）では、障害者が地域づくりに参加しやすいように合理的配慮が進められている。」、「(ウ)公共交通機関では乗降の際のスロープや乗務員による手助けなど、合理的配慮が進んできている。」は低い年齢層で『思う』の割合が比較的高い傾向にある。「(カ)障害者自身が希望するならば地域で共に生活できる社会であるべきだ。」の割合はすべての年齢層で高く、「50 歳代」が 92.3%と最も高く 9 割を超え、最も低い「30 歳代」でも 8 割後半となっている。

【家族の状況別】「(ア)精神科病院や障害者施設に入院、入所している障害者が多数いる。」、「(カ)障害者自身が希望するならば地域で共に生活できる社会であるべきだ。」、「(キ)障害の程度によらず、幼少期から共に学び、生活することが大事だ。」について『思う』の割合は「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が「障害者手帳を持っている人がいない」世帯をやや上回っている。一方で、その他の項目における『思う』の割合は「障害者手帳を持っている人がいない」世帯が「障害者手帳を持っている人がいる」世帯を上回っている。

【職業別】「(カ)障害者自身が希望するならば地域で共に生活できる社会であるべきだ。」、「(ケ)公的な福祉サービスに加え、障害者を支援する市民団体や障害者が参加するサークルなどの活動が重要である。」の『思う』の割合はすべての職業で高く、8 割後半以上となっている。「(イ)住んでいる地域（自治会等）では、障害者が地域づくりに参加しやすいように合理的配慮が進められている。」の『思う』の割合は「学生」が 50.0%と最も高くなっている。一方で、「家事に専念」は 23.6%と最も低く 2 割前半にとどまっている。

（１）障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動

(%)

		回答者数	(ア) 精神科病院や障害者施設に入院、入所している障害者が多数いる。							(イ) 住んでいる地域（自治会等）では、障害者が地域づくりに参加しやすいように合理的配慮が進められている。						
			そう思う	思どちらかといえそう	思どちらかといえそう	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』	そう思う	思どちらかといえそう	思どちらかといえそう	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	515 17.1	1,048 34.8	832 27.6	524 17.4	91 3.0	1,563 51.9	1,356 45.0	110 3.7	807 26.8	1,410 46.8	580 19.3	103 3.4	917 30.5	1,990 66.1
性別	男性	1,330	15.4	33.8	30.4	17.5	2.9	49.2	47.9	4.0	27.1	47.5	18.6	2.8	31.1	66.1
	女性	1,668	18.4	35.6	25.5	17.4	3.2	54.0	42.9	3.4	26.5	46.5	19.7	4.0	29.9	66.2
	()	6	16.7	66.7	-	16.7	-	83.4	16.7	-	33.3	16.7	50.0	-	33.3	66.7
	無回答	6	33.3	16.7	50.0	-	-	50.0	50.0	16.7	50.0	33.3	-	-	66.7	33.3
年齢別	18～29歳	478	21.5	38.3	23.4	12.6	4.2	59.8	36.0	5.4	40.4	35.4	14.4	4.4	45.8	49.8
	30歳代	397	19.9	36.3	25.2	15.1	3.5	56.2	40.3	3.5	28.2	43.8	20.4	4.0	31.7	64.2
	40歳代	576	22.0	32.8	27.4	16.3	1.4	54.8	43.7	3.5	25.7	49.0	20.7	1.2	29.2	69.7
	50歳代	507	16.8	38.3	29.4	14.8	0.8	55.1	44.2	3.2	24.1	54.4	17.0	1.4	27.3	71.4
	60～64歳	252	12.7	34.5	31.3	19.0	2.4	47.2	50.3	2.0	24.2	52.4	18.7	2.8	26.2	71.1
	65～69歳	268	10.4	32.1	31.3	22.8	3.4	42.5	54.1	3.0	25.0	48.5	19.4	4.1	28.0	67.9
	70～74歳	329	10.6	31.3	30.4	23.1	4.6	41.9	53.5	3.0	19.1	50.2	22.8	4.9	22.1	73.0
	75歳以上	198	12.1	31.3	24.7	24.7	7.1	43.4	49.4	5.6	19.7	40.9	25.3	8.6	25.3	66.2
	無回答	5	40.0	-	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる（本人を含む）	335	20.6	34.0	26.0	17.0	2.4	54.6	43.0	3.6	20.0	48.4	25.1	3.0	23.6	73.5
	障害者手帳所持者：いない	2,637	16.8	35.1	27.8	17.5	2.8	51.9	45.3	3.7	27.6	46.8	18.7	3.2	31.3	65.5
	無回答	38	10.5	23.7	28.9	15.8	21.1	34.2	44.7	2.6	28.9	34.2	10.5	23.7	31.5	44.7
職業別	農林漁業	68	11.8	29.4	23.5	27.9	7.4	41.2	51.4	2.9	25.0	42.6	22.1	7.4	27.9	64.7
	自営業	209	16.3	35.4	29.2	17.2	1.9	51.7	46.4	2.4	23.0	48.8	23.0	2.9	25.4	71.8
	給与所得者（常勤）	1,256	18.5	37.1	26.8	15.3	2.3	55.6	42.1	3.1	28.4	49.3	16.9	2.3	31.5	66.2
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	15.1	36.5	27.6	18.4	2.5	51.6	46.0	3.7	26.8	47.4	19.4	2.7	30.5	66.8
	学生	170	21.8	36.5	27.6	10.6	3.5	58.3	38.2	7.1	42.9	31.8	14.1	4.1	50.0	45.9
	家事に専念	309	14.2	28.8	29.1	23.6	4.2	43.0	52.7	3.2	20.4	43.4	27.2	5.8	23.6	70.6
	無職	483	16.1	31.3	29.0	19.0	4.6	47.4	48.0	4.3	22.6	48.2	19.9	5.0	26.9	68.1
	その他	20	30.0	40.0	25.0	5.0	-	70.0	30.0	-	40.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0
	無回答	10	30.0	10.0	20.0	40.0	-	40.0	60.0	30.0	20.0	10.0	30.0	10.0	50.0	40.0
	就労あり	2,018	17.2	36.5	27.2	16.7	2.5	53.7	43.9	3.2	27.4	48.6	18.3	2.6	30.6	66.9
	就労なし	962	16.5	31.4	28.8	19.0	4.3	47.9	47.8	4.5	25.5	43.8	21.2	5.1	30.0	65.0
	その他・無回答	30	30.0	30.0	23.3	16.7	-	60.0	40.0	10.0	33.3	30.0	23.3	3.3	43.3	53.3

（１）障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動

(%)

		回答者数	(ウ) 公共交通機関では乗降の際のスロープや乗務員による手助けなど、合理的配慮が進んできている。							(エ) これまでの人生で、障害のある人となない人が一緒に過ごしたり、学んだりする機会はなかった。						
			そう思う	思 ど う ち ら か と い え ば そ う	思 ど わ な い か と い え ば そ う	そう 思 わ な い	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』	そう 思 う	思 ど う ち ら か と い え ば そ う	思 ど わ な い か と い え ば そ う	そう 思 わ な い	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』
全体		3,010 100.0	324 10.8	1,368 45.4	926 30.8	304 10.1	88 2.9	1,692 56.2	1,230 40.9	618 20.5	853 28.3	675 22.4	780 25.9	84 2.8	1,471 48.8	1,455 48.3
性別	男性	1,330	11.3	45.9	30.2	9.8	2.7	57.2	40.0	21.0	29.8	22.1	24.5	2.6	50.8	46.6
	女性	1,668	10.3	45.0	31.2	10.4	3.1	55.3	41.6	20.2	27.0	22.8	27.0	3.0	47.2	49.8
	()	6	16.7	66.7	16.7	-	-	83.4	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	-	50.0	50.0
	無回答	6	16.7	50.0	33.3	-	-	66.7	33.3	16.7	66.7	-	16.7	-	83.4	16.7
年 齢 別	18～29歳	478	21.5	48.7	18.8	6.7	4.2	70.2	25.5	11.3	22.6	24.5	37.7	4.0	33.9	62.2
	30歳代	397	10.3	48.4	27.0	11.1	3.3	58.7	38.1	14.9	24.9	22.4	34.5	3.3	39.8	56.9
	40歳代	576	9.4	48.4	31.6	9.7	0.9	57.8	41.3	16.7	26.4	26.0	30.0	0.9	43.1	56.0
	50歳代	507	9.1	45.6	35.1	9.5	0.8	54.7	44.6	17.6	31.8	28.6	21.3	0.8	49.4	49.9
	60～64歳	252	3.6	44.4	39.3	10.7	2.0	48.0	50.0	28.2	34.9	17.5	17.1	2.4	63.1	34.6
	65～69歳	268	7.1	42.5	33.2	13.4	3.7	49.6	46.6	28.0	28.7	21.3	19.0	3.0	56.7	40.3
	70～74歳	329	10.3	39.5	34.7	10.9	4.6	49.8	45.6	35.6	30.7	14.6	15.2	4.0	66.3	29.8
	75歳以上	198	8.6	37.4	33.8	12.6	7.6	46.0	46.4	28.8	32.8	12.6	18.2	7.6	61.6	30.8
	無回答	5	20.0	60.0	-	-	20.0	80.0	-	-	40.0	-	40.0	20.0	40.0	40.0
家 族 の 状 況 別	障害者手帳所持者：いる (本人を含む)	335	12.5	38.8	30.7	15.5	2.4	51.3	46.2	15.5	26.6	20.0	35.8	2.1	42.1	55.8
	障害者手帳所持者：いない	2,637	10.7	46.2	31.0	9.4	2.7	56.9	40.4	21.3	28.4	22.9	24.8	2.6	49.7	47.7
	無回答	38	2.6	52.6	15.8	7.9	21.1	55.2	23.7	10.5	39.5	10.5	18.4	21.1	50.0	28.9
職 業 別	農林漁業	68	8.8	45.6	25.0	13.2	7.4	54.4	38.2	26.5	30.9	19.1	16.2	7.4	57.4	35.3
	自営業	209	12.4	42.1	35.4	8.1	1.9	54.5	43.5	26.3	26.8	22.5	23.0	1.4	53.1	45.5
	給与所得者（常勤）	1,256	10.6	48.8	30.3	8.4	1.9	59.4	38.7	16.0	28.1	25.0	29.0	1.9	44.1	54.0
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	7.4	45.2	33.4	11.8	2.3	52.6	45.2	23.5	28.9	21.4	24.1	2.1	52.4	45.5
	学生	170	28.8	45.3	16.5	5.3	4.1	74.1	21.8	11.8	21.8	25.3	37.6	3.5	33.6	62.9
	家事に専念	309	8.1	40.8	32.7	13.9	4.5	48.9	46.6	23.0	32.7	17.8	21.4	5.2	55.7	39.2
	無職	483	9.3	40.8	32.5	12.6	4.8	50.1	45.1	26.9	27.7	19.3	21.9	4.1	54.6	41.2
	その他	20	10.0	55.0	25.0	10.0	-	65.0	35.0	15.0	35.0	30.0	20.0	-	50.0	50.0
	無回答	10	20.0	60.0	10.0	10.0	-	80.0	20.0	60.0	40.0	-	-	-	100.0	-
	就労あり	2,018	10.0	47.1	31.4	9.3	2.2	57.1	40.7	19.2	28.2	23.7	26.8	2.1	47.4	50.5
	就労なし	962	12.4	41.6	29.7	11.7	4.6	54.0	41.4	23.0	28.3	19.9	24.5	4.4	51.3	44.4
	その他・無回答	30	13.3	56.7	20.0	10.0	-	70.0	30.0	30.0	36.7	20.0	13.3	-	66.7	33.3

Ⅱ 調査結果の分析（６．障害者福祉について）

（１）障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動

(%)

		回答者数	(オ) 地域のイベント（講演会や避難訓練など）に障害者も参加している。							(カ) 障害者自身が希望するならば地域で共に生活できる社会であるべきだ。						
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	215 7.1	853 28.3	1,175 39.0	666 22.1	101 3.4	1,068 35.4	1,841 61.1	1,430 47.5	1,282 42.6	159 5.3	58 1.9	81 2.7	2,712 90.1	217 7.2
性別	男性	1,330	6.8	28.8	40.0	21.1	3.2	35.6	61.1	47.1	42.1	5.4	2.9	2.4	89.2	8.3
	女性	1,668	7.3	28.1	38.4	22.8	3.5	35.4	61.2	48.0	42.7	5.2	1.1	2.9	90.7	6.3
	()	6	16.7	16.7	33.3	33.3	-	33.4	66.6	-	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7
	無回答	6	33.3	16.7	16.7	33.3	-	50.0	50.0	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年齢別	18～29歳	478	10.5	34.5	33.3	17.6	4.2	45.0	50.9	54.2	34.3	4.8	2.7	4.0	88.5	7.5
	30歳代	397	7.8	27.7	36.8	23.2	4.5	35.5	60.0	45.1	42.6	7.3	2.3	2.8	87.7	9.6
	40歳代	576	6.8	31.8	39.2	21.5	0.7	38.6	60.7	47.9	43.1	5.7	2.6	0.7	91.0	8.3
	50歳代	507	5.7	25.0	49.3	18.7	1.2	30.7	68.0	44.0	48.3	5.5	1.2	1.0	92.3	6.7
	60～64歳	252	5.6	24.2	42.9	23.8	3.6	29.8	66.7	44.4	45.6	6.0	1.6	2.4	90.0	7.6
	65～69歳	268	6.0	29.9	39.2	20.9	4.1	35.9	60.1	44.8	45.9	4.5	1.9	3.0	90.7	6.4
	70～74歳	329	5.8	25.2	35.9	28.9	4.3	31.0	64.8	50.5	40.4	4.6	0.9	3.6	90.9	5.5
	75歳以上	198	7.6	21.2	31.8	30.3	9.1	28.8	62.1	46.5	42.4	2.0	1.5	7.6	88.9	3.5
	無回答	5	40.0	40.0	-	-	20.0	80.0	-	60.0	20.0	-	-	20.0	80.0	-
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる（本人を含む）	335	9.6	24.2	40.9	23.0	2.4	33.8	63.9	51.3	40.3	4.5	2.1	1.8	91.6	6.6
	障害者手帳所持者：いない	2,637	6.8	28.9	39.0	22.1	3.2	35.7	61.1	47.1	43.0	5.4	1.9	2.5	90.1	7.3
	無回答	38	13.2	26.3	23.7	15.8	21.1	39.5	39.5	39.5	36.8	2.6	-	21.1	76.3	2.6
職業別	農林漁業	68	10.3	23.5	36.8	22.1	7.4	33.8	58.9	38.2	47.1	8.8	-	5.9	85.3	8.8
	自営業	209	8.1	22.5	39.2	27.3	2.9	30.6	66.5	50.7	42.6	4.3	0.5	1.9	93.3	4.8
	給与所得者（常勤）	1,256	6.5	29.8	41.8	19.6	2.3	36.3	61.4	46.7	43.3	6.1	2.2	1.7	90.0	8.3
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	7.8	26.6	41.0	21.9	2.7	34.4	62.9	46.6	43.7	5.8	1.4	2.5	90.3	7.2
	学生	170	13.5	35.3	32.9	14.1	4.1	48.8	47.0	60.6	29.4	4.1	2.4	3.5	90.0	6.5
	家事に専念	309	4.5	27.8	35.0	27.2	5.5	32.3	62.2	46.0	46.3	2.6	1.3	3.9	92.3	3.9
	無職	483	6.2	27.1	35.6	26.1	5.0	33.3	61.7	46.6	41.4	4.8	2.7	4.6	88.0	7.5
	その他	20	10.0	40.0	30.0	20.0	-	50.0	50.0	55.0	35.0	5.0	5.0	-	90.0	10.0
	無回答	10	20.0	20.0	20.0	40.0	-	40.0	60.0	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
	就労あり	2,018	7.1	28.0	41.2	21.0	2.6	35.1	62.2	46.8	43.5	5.9	1.8	2.0	90.3	7.7
	就労なし	962	7.0	28.8	34.9	24.3	5.0	35.8	59.2	48.9	40.9	4.0	2.2	4.2	89.8	6.2
	その他・無回答	30	13.3	33.3	26.7	26.7	-	46.6	53.4	53.3	40.0	3.3	3.3	-	93.3	6.6

Ⅱ 調査結果の分析（６．障害者福祉について）

（１）障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動

(%)

		回答者数	(キ) 障害の程度によらず、幼少期から共に学び、生活することが大事だ。							(ク) 障害のある人もない人も、地域で役割をもって活動する地域の一員であるべきだ。						
			そう思う	思どうかといえそう	思どうかといえそう	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』	そう思う	思どうかといえそう	思どうかといえそう	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	1,166 38.7	1,232 40.9	401 13.3	128 4.3	83 2.8	2,398 79.6	529 17.6	1,166 38.7	1,372 45.6	305 10.1	91 3.0	76 2.5	2,538 84.3	396 13.1
性別	男性	1,330	38.6	40.5	12.5	5.7	2.7	79.1	18.2	39.0	44.7	10.1	3.8	2.4	83.7	13.9
	女性	1,668	39.0	41.0	14.1	3.1	2.8	80.0	17.2	38.5	46.2	10.2	2.5	2.6	84.7	12.7
	()	6	16.7	83.3	-	-	-	100.0	-	16.7	66.7	16.7	-	-	83.4	16.7
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
年齢別	18～29歳	478	43.5	37.4	10.5	4.6	4.0	80.9	15.1	45.4	39.7	7.7	3.1	4.0	85.1	10.8
	30歳代	397	34.3	37.3	19.9	5.8	2.8	71.6	25.7	38.5	40.6	14.1	4.0	2.8	79.1	18.1
	40歳代	576	37.7	40.6	16.0	4.9	0.9	78.3	20.9	38.2	47.6	10.4	3.1	0.7	85.8	13.5
	50歳代	507	33.1	45.6	15.6	4.5	1.2	78.7	20.1	32.0	52.3	12.0	2.8	1.0	84.3	14.8
	60～64歳	252	34.5	45.6	12.3	6.0	1.6	80.1	18.3	34.5	49.6	9.1	5.2	1.6	84.1	14.3
	65～69歳	268	39.2	45.5	10.4	1.5	3.4	84.7	11.9	38.1	47.4	9.0	2.6	3.0	85.5	11.6
	70～74歳	329	47.7	37.4	8.5	2.4	4.0	85.1	10.9	42.9	43.8	8.5	1.5	3.3	86.7	10.0
	75歳以上	198	43.9	39.4	6.6	2.5	7.6	83.3	9.1	40.9	42.9	8.1	1.5	6.6	83.8	9.6
	無回答	5	20.0	40.0	20.0	-	20.0	60.0	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0	80.0	-
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる (本人を含む)	335	44.5	36.7	12.2	4.5	2.1	81.2	16.7	40.3	43.0	10.1	4.8	1.8	83.3	14.9
	障害者手帳所持者：いない	2,637	38.1	41.5	13.5	4.3	2.6	79.6	17.8	38.6	46.0	10.1	2.8	2.4	84.6	12.9
	無回答	38	28.9	39.5	10.5	-	21.1	68.4	10.5	31.6	36.8	10.5	-	21.1	68.4	10.5
職業別	農林漁業	68	35.3	41.2	16.2	1.5	5.9	76.5	17.7	30.9	47.1	13.2	2.9	5.9	78.0	16.1
	自営業	209	42.6	39.7	10.5	5.7	1.4	82.3	16.2	43.5	42.6	8.1	4.3	1.4	86.1	12.4
	給与所得者（常勤）	1,256	36.5	42.4	14.4	4.9	1.8	78.9	19.3	38.5	46.8	10.1	3.0	1.6	85.3	13.1
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	35.5	41.6	16.3	3.9	2.7	77.1	20.2	33.0	48.0	12.6	3.9	2.5	81.0	16.5
	学生	170	51.8	33.5	7.6	3.5	3.5	85.3	11.1	54.7	32.9	6.5	2.4	3.5	87.6	8.9
	家事に専念	309	35.9	44.7	13.3	2.3	3.9	80.6	15.6	35.6	47.9	11.3	1.6	3.6	83.5	12.9
	無職	483	42.2	37.5	11.0	4.6	4.8	79.7	15.6	39.8	44.3	8.9	2.9	4.1	84.1	11.8
	その他	20	65.0	30.0	5.0	-	-	95.0	5.0	45.0	45.0	10.0	-	-	90.0	10.0
	無回答	10	60.0	40.0	-	-	-	100.0	-	70.0	30.0	-	-	-	100.0	-
	就労あり	2,018	36.9	41.9	14.5	4.6	2.1	78.8	19.1	37.4	46.7	10.6	3.4	1.9	84.1	14.0
	就労なし	962	41.9	39.1	11.1	3.6	4.3	81.0	14.7	41.1	43.5	9.3	2.4	3.8	84.6	11.7
	その他・無回答	30	63.3	33.3	3.3	-	-	96.6	3.3	53.3	40.0	6.7	-	-	93.3	6.7

（１）障害の有無に関わらず、地域で共生するための、自身の考えや行動

(%)

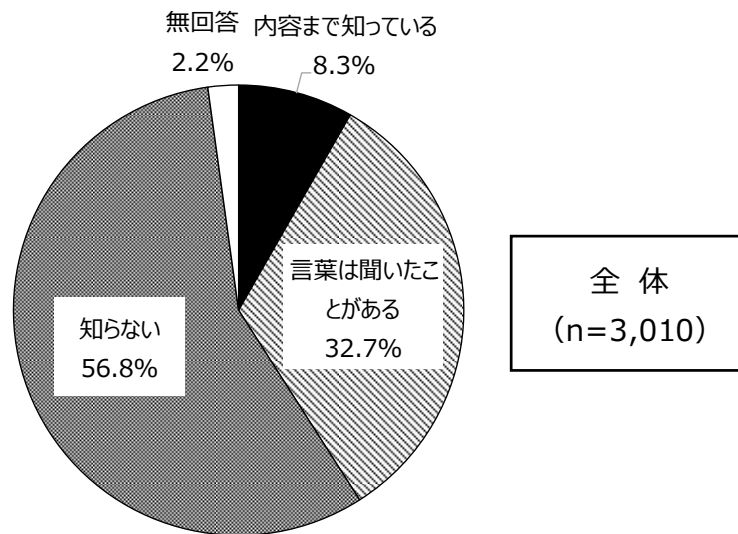
		回答者数	(ケ) 公的な福祉サービスに加え、障害者を支援する市民団体や障害者が参加するサークルなどの活動が重要である。						
			そう思う	思どちらかといえそう	思どちらかといえそう	そう思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体		3,010 100.0	1,063 35.3	1,568 52.1	214 7.1	74 2.5	91 3.0	2,631 87.4	288 9.6
性別	男性	1,330	34.5	51.9	7.8	3.0	2.8	86.4	10.8
	女性	1,668	36.0	52.2	6.6	2.0	3.2	88.2	8.6
	()	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年齢別	18～29歳	478	34.9	49.8	7.1	4.0	4.2	84.7	11.1
	30歳代	397	31.2	52.4	10.6	2.3	3.5	83.6	12.9
	40歳代	576	34.0	53.0	8.3	3.8	0.9	87.0	12.1
	50歳代	507	32.3	57.2	7.3	2.0	1.2	89.5	9.3
	60～64歳	252	35.3	55.2	6.0	2.0	1.6	90.5	8.0
	65～69歳	268	42.9	47.4	5.6	0.7	3.4	90.3	6.3
	70～74歳	329	41.0	48.9	4.3	1.8	4.0	89.9	6.1
	75歳以上	198	36.9	48.5	4.5	0.5	9.6	85.4	5.0
	無回答	5	-	80.0	-	-	20.0	80.0	-
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる (本人を含む)	335	40.0	46.3	6.0	5.1	2.7	86.3	11.1
	障害者手帳所持者：いない	2,637	34.8	53.0	7.3	2.1	2.8	87.8	9.4
	無回答	38	31.6	42.1	2.6	2.6	21.1	73.7	5.2
職業別	農林漁業	68	27.9	57.4	8.8	-	5.9	85.3	8.8
	自営業	209	37.8	51.7	7.2	1.0	2.4	89.5	8.2
	給与所得者（常勤）	1,256	32.7	54.5	8.2	2.8	1.8	87.2	11.0
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	35.3	51.5	8.2	2.3	2.7	86.8	10.5
	学生	170	40.6	46.5	4.7	4.1	4.1	87.1	8.8
	家事に専念	309	37.2	51.5	5.5	1.6	4.2	88.7	7.1
	無職	483	38.3	48.2	5.2	2.9	5.4	86.5	8.1
	その他	20	45.0	55.0	-	-	-	100.0	-
	無回答	10	50.0	40.0	-	-	10.0	90.0	-
	就労あり	2,018	33.7	53.6	8.1	2.4	2.2	87.3	10.5
	就労なし	962	38.4	49.0	5.2	2.7	4.8	87.4	7.9
	その他・無回答	30	46.7	50.0	-	-	3.3	96.7	-

（２）障害者差別解消法及び、障害者虐待防止法の認知度

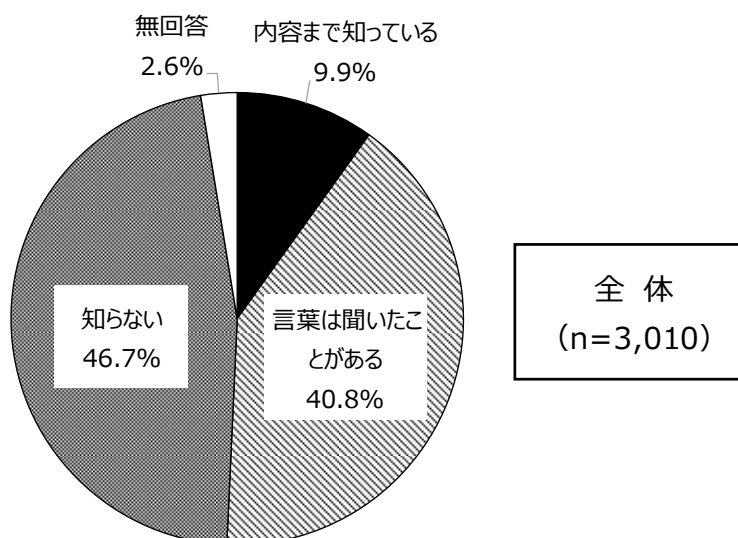
問 30 あなたは、障害者差別解消法（不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供など）及び、障害者虐待防止法（虐待の禁止や発見時の通報義務など）について知っていますか。（あてはまる番号それぞれ 1 つずつ）

「(ア)障害者差別解消法」の認知度は 41.0%、そのうち「内容まで知っている」は 8.3%である。また、「(イ)障害者虐待防止法」の認知度は 50.7%、そのうち「内容まで知っている」は 9.9%である。

(ア)障害者差別解消法



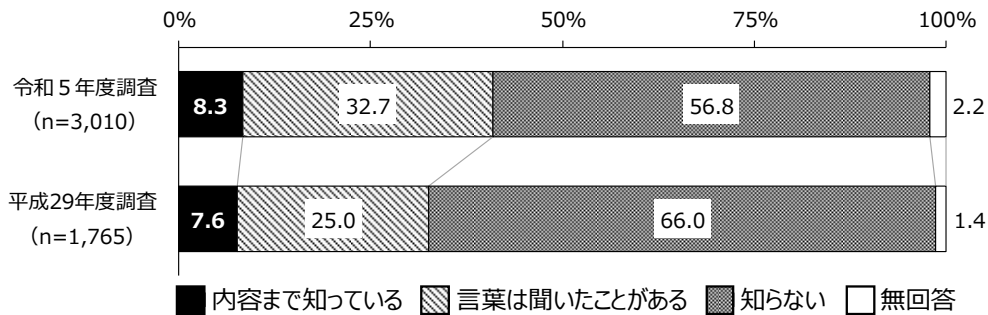
(イ)障害者虐待防止法



（ア）障害者差別解消法

【経年比較】

障害者差別解消法の認知度は平成 29 年度調査と比較して上昇傾向にある。「言葉は聞いたことがある」の割合は 7.7 ポイント増加した。



【性別】男女の認知度は大差はない。「内容まで知っている」は「女性」が 8.6%、「男性」が 7.7%となり「女性」が 0.9 ポイント高い結果となっている。

【年齢別】「内容まで知っている」の割合は『18～29 歳』が 11.5%と最も高く、次いで『50 歳代』が 10.7%とそれぞれ 1 割を超えている。認知度全体では『70～74 歳』が「内容まで知っている」の 5.8%と、「言葉は聞いたことがある」の 41.9%をあわせて 47.7%となり、最も高い。

【家族の状況別】「内容まで知っている」の割合は「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が 9.9%、「障害者手帳を持っている人がいない」世帯が 8.2%となり、「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が 1.7 ポイント高い結果となっている。

【職業別】「内容まで知っている」の割合は「その他」が 20.0%と最も高く、次いで「学生」が 12.4%となっている。一方で、「言葉は聞いたことがある」の割合は「農林漁業」が 41.2%と最も高くなっている。

(ア)障害者差別解消法

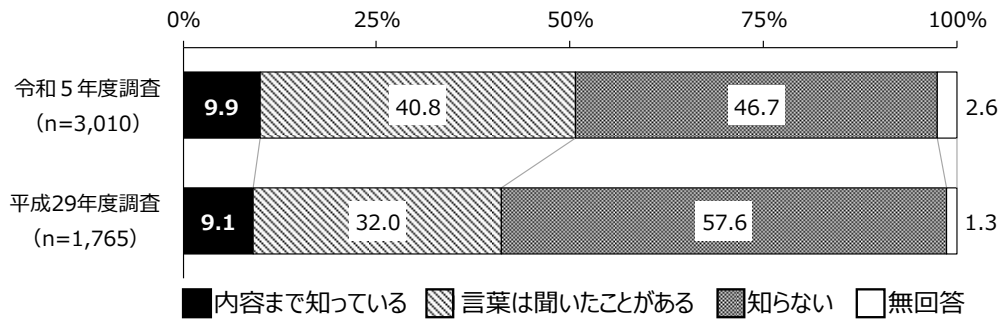
(%)

		回答者数	(ア) 障害者差別解消法			
			内容まで知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		3,010 100.0	249 8.3	984 32.7	1,711 56.8	66 2.2
性別	男性	1,330	7.7	33.0	57.0	2.3
	女性	1,668	8.6	32.4	56.8	2.1
	()	6	16.7	50.0	33.3	-
	無回答	6	33.3	16.7	50.0	-
年齢別	18～29歳	478	11.5	29.1	55.4	4.0
	30歳代	397	7.6	28.0	61.7	2.8
	40歳代	576	8.3	31.9	59.2	0.5
	50歳代	507	10.7	28.4	60.2	0.8
	60～64歳	252	9.1	36.1	54.4	0.4
	65～69歳	268	4.5	35.1	58.6	1.9
	70～74歳	329	5.8	41.9	49.2	3.0
	75歳以上	198	4.0	40.9	49.0	6.1
	無回答	5	-	40.0	40.0	20.0
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる（本人を含む）	335	9.9	32.8	55.2	2.1
	障害者手帳所持者：いない	2,637	8.2	32.7	57.1	2.0
	無回答	38	2.6	31.6	50.0	15.8
職業別	農林漁業	68	1.5	41.2	51.5	5.9
	自営業	209	5.7	32.1	60.8	1.4
	給与所得者（常勤）	1,256	11.5	32.3	54.5	1.7
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	6.2	29.3	62.9	1.6
	学生	170	12.4	32.4	51.8	3.5
	家事に専念	309	3.9	38.2	56.0	1.9
	無職	483	4.8	32.3	59.2	3.7
	その他	20	20.0	35.0	45.0	-
	無回答	10	10.0	50.0	40.0	-
	就労あり	2,018	9.3	31.9	57.0	1.8
	就労なし	962	5.8	34.2	56.9	3.1
	その他・無回答	30	16.7	40.0	43.3	-

（イ）障害者虐待防止法

【経年比較】

障害者虐待防止法の認知度は平成 29 年度と比較して上昇傾向にある。「言葉は聞いたことがある」の割合は 8.8 ポイント増加した。



【性別】「内容まで知っている」の割合は「女性」が 11.8%、「男性」が 7.4%となり、「女性」が 4.4 ポイント高くなっている。

【年齢別】「内容まで知っている」の割合は『18～29 歳』が 14.0%と最も高く、次いで『50 歳代』が 12.6%である。「65～69 歳」は 4.9%と最も低い。一方で、「知らない」の割合は「30 歳代」が 53.4%で最も高い結果となっている。

【家族の状況別】「障害者手帳を持っている人がいる」世帯の認知度について、「内容まで知っている」は 12.5%、「言葉は聞いたことがある」は 40.3%となっている。

【職業】「内容まで知っている」の割合は「その他」の 20.0%が最も高く、次いで「学生」が 15.9%となっている。「言葉は聞いたことがある」の割合は「農林漁業」が 54.4%で最も高い。一方で、「知らない」の割合は「自営業」の 52.2%が最も高い結果となっている。

(イ)障害者虐待防止法

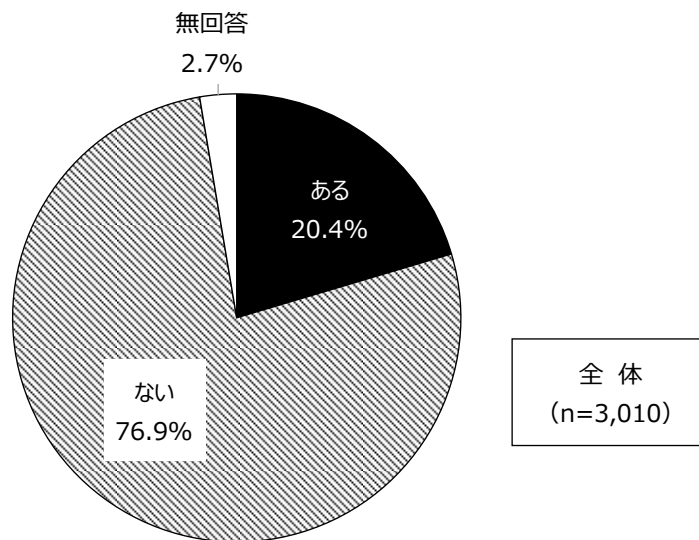
(%)

		回答者数	(イ) 障害者虐待防止法			
			内容まで知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		3,010 100.0	298 9.9	1,229 40.8	1,405 46.7	78 2.6
性別	男性	1,330	7.4	40.2	49.8	2.6
	女性	1,668	11.8	41.4	44.2	2.6
	()	6	16.7	50.0	33.3	-
	無回答	6	33.3	16.7	50.0	-
年齢別	18～29歳	478	14.0	33.9	47.9	4.2
	30歳代	397	9.8	33.8	53.4	3.0
	40歳代	576	9.2	41.1	49.1	0.5
	50歳代	507	12.6	39.6	46.4	1.4
	60～64歳	252	9.9	46.0	42.5	1.6
	65～69歳	268	4.9	47.4	45.9	1.9
	70～74歳	329	6.4	49.8	40.1	3.6
	75歳以上	198	8.1	43.4	41.4	7.1
	無回答	5	-	40.0	40.0	20.0
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる（本人を含む）	335	12.5	40.3	44.8	2.4
	障害者手帳所持者：いない	2,637	9.6	41.1	47.0	2.4
	無回答	38	10.5	28.9	42.1	18.4
職業別	農林漁業	68	2.9	54.4	36.8	5.9
	自営業	209	6.2	39.7	52.2	1.9
	給与所得者（常勤）	1,256	12.0	40.2	45.6	2.1
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	8.7	40.0	49.5	1.9
	学生	170	15.9	38.2	42.4	3.5
	家事に専念	309	7.8	47.9	41.7	2.6
	無職	483	7.0	37.9	50.9	4.1
	その他	20	20.0	45.0	35.0	-
	無回答	10	10.0	50.0	40.0	-
	就労あり	2,018	10.3	40.6	46.9	2.2
	就労なし	962	8.8	41.2	46.5	3.5
	その他・無回答	30	16.7	46.7	36.7	-

（3）障害者への差別や偏見

問 31 あなたは過去 1 年間に、あなたの身の回り（学校、職場、地域など）で、障害のある人への差別や偏見を見たり、聞いたり、感じたりしたことはありますか。（あてはまる番号 1 つだけ）

障害者への差別や偏見について見たり、聞いたり、感じたりしたことが「ある」は 20.4%、「ない」は 76.9%である。



【性別】「ある」の割合は「女性」が 21.0%、「男性」が 19.5%となり、「女性」が 1.5 ポイント高くなっている。

【年齢別】低い年齢層で「ある」の割合が高い傾向にある。18 歳～40 歳代までは「ある」の割合がほぼ同様の結果となっている。

【家族の状況別】「ある」の割合は「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が 30.4%、「障害者手帳を持っている人がいない」世帯が 19.3%となり、「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が 11.1 ポイント高い結果となっている。

【職業別】「ある」の割合は「その他」の 35.0%が最も高く、次いで「農林漁業」が 26.5%となっている。一方で、「家事に専念」は 14.2%と最も低くなっている。

（３）障害者への差別や偏見

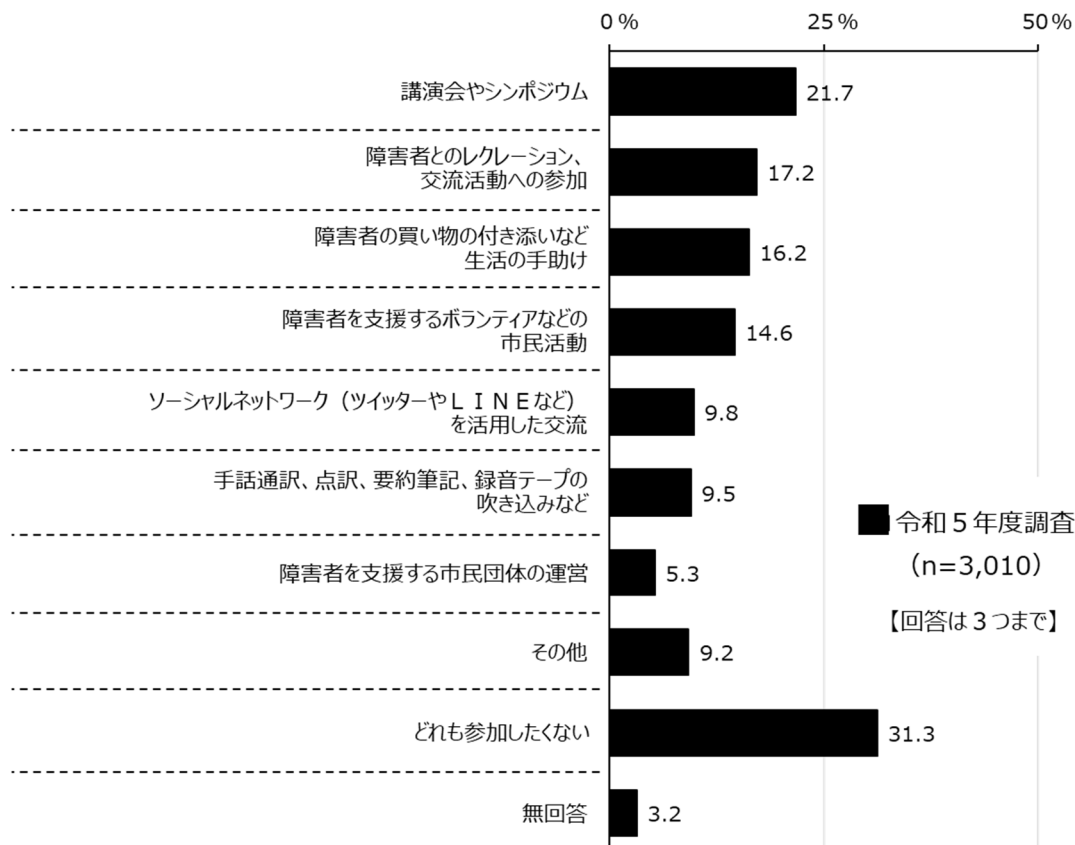
(%)

		回答者数	障害者への差別や偏見		
			ある	ない	無回答
全体		3,010 100.0	614 20.4	2,316 76.9	80 2.7
性別	男性	1,330	19.5	77.4	3.1
	女性	1,668	21.0	76.7	2.3
	()	6	33.3	66.7	-
	無回答	6	16.7	66.7	16.7
年齢別	18～29歳	478	23.6	72.2	4.2
	30歳代	397	23.7	73.0	3.3
	40歳代	576	23.4	75.7	0.9
	50歳代	507	20.3	78.3	1.4
	60～64歳	252	19.4	78.6	2.0
	65～69歳	268	17.5	79.9	2.6
	70～74歳	329	14.0	83.0	3.0
	75歳以上	198	13.6	80.3	6.1
	無回答	5	-	80.0	20.0
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる (本人を含む)	335	30.4	66.9	2.7
	障害者手帳所持者：いない	2,637	19.3	78.2	2.5
	無回答	38	10.5	76.3	13.2
職業別	農林漁業	68	26.5	70.6	2.9
	自営業	209	18.2	79.9	1.9
	給与所得者（常勤）	1,256	22.9	74.4	2.7
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	23.3	75.1	1.6
	学生	170	18.8	77.6	3.5
	家事に専念	309	14.2	83.8	1.9
	無職	483	15.1	80.7	4.1
	その他	20	35.0	65.0	-
	無回答	10	10.0	90.0	-
	就労あり	2,018	22.6	75.0	2.4
	就労なし	962	15.5	81.2	3.3
	その他・無回答	30	26.7	73.3	-

（４）障害者支援活動の参加意向

問 32 あなたは、障害のある人を支援する次のような活動に参加したいと思いますか。（あてはまる番号 3 つまで）

障害のある人を支援する活動について最も参加したい割合が高いのは「講演会やシンポジウム」で 21.7%である。次いで「障害者とのレクレーション・交流活動への参加」が 17.2%となっている。最も低い割合となっているのは「障害者を支援する市民団体の運営」で 5.3%である。



【性別】「手話通訳、点訳、要約筆記、録音テープの吹き込みなど」の割合は「女性」が 12.7%、「男性」が 5.5%となり、「女性」が 7.2 ポイント高い。一方で「どれも参加したくない」の割合は「男性」が 35.6%、「女性」が 27.9%となり、「男性」が 7.7 ポイント高くなっている。

【年齢別】「講演会やシンポジウム」、「障害者を支援する市民団体の運営」は年齢の高い層で割合が比較的高い傾向にある。一方で、「手話通訳、点訳、要約筆記、録音テープの吹き込みなど」、「ソーシャルネットワーク（ツイッターやLINEなど）を活用した交流」の割合は年齢の低い層が高い傾向になっている。

【家族の状況別】「手話通訳、点訳、要約筆記、録音テープの吹き込みなど」を除くすべての活動内容において「障害者手帳を持っている人がいる」世帯の割合が「障害者手帳を持っていない人がいない」世帯より高い。「障害者の買い物の付き添いなど生活の手助け」の割合は「障害者手帳を持っている人がいる」世帯が 6.1 ポイント高く、差が最も大きい。

【職業別】「講演会やシンポジウム」の割合は「農林漁業」が 27.9%で最も高い結果となっている。

（４）障害者支援活動の参加意向

(%)

		回答者数	障害者支援活動の参加意向									
			講演会やシンポジウム	障害者との交流活動への参加	障害者の生活の買い物付き添いなど	手話通訳、点訳、要約筆記、録音テープの吹き込みなど	障害者を支援するボランティアなどの市民活動	ソーシャルネットワーク（ツイッターやLINEなど）を活用した交流	障害者を支援する市民団体の運営	どれも参加したくない	その他	無回答
全体		3,010 100.0	654 21.7	518 17.2	489 16.2	286 9.5	439 14.6	296 9.8	160 5.3	942 31.3	278 9.2	96 3.2
性別	男性	1,330	22.8	16.9	14.0	5.5	14.3	10.8	6.2	35.6	8.0	3.2
	女性	1,668	20.9	17.4	18.0	12.7	14.9	9.2	4.7	27.9	10.3	3.2
	（ ）	6	-	33.3	33.3	16.7	-	-	-	33.3	-	-
	無回答	6	50.0	-	16.7	-	-	-	-	33.3	16.7	-
年齢別	18～29歳	478	12.6	20.1	18.4	14.2	16.5	15.7	3.1	28.9	5.4	5.0
	30歳代	397	13.4	12.8	13.9	11.8	9.8	13.4	5.0	39.3	6.5	3.8
	40歳代	576	20.0	17.2	14.4	10.1	13.9	12.2	5.9	34.4	9.4	1.2
	50歳代	507	25.0	16.8	15.8	9.9	14.4	10.5	5.1	29.6	10.7	1.0
	60～64歳	252	31.3	13.9	15.1	7.5	15.9	6.0	6.0	29.4	9.5	2.0
	65～69歳	268	31.7	17.2	19.8	6.7	20.1	6.7	8.2	26.9	7.5	2.2
	70～74歳	329	25.8	19.5	17.9	6.1	14.6	2.1	4.6	28.6	13.7	6.1
	75歳以上	198	25.3	21.2	16.2	3.0	13.1	2.5	6.6	28.8	14.1	7.1
	無回答	5	-	-	20.0	-	-	-	-	60.0	20.0	-
家族の状況別	障害者手帳所持者：いる（本人を含む）	335	23.9	20.0	21.5	8.4	16.4	10.7	10.1	26.3	11.0	3.0
	障害者手帳所持者：いない	2,637	21.5	16.9	15.4	9.7	14.4	9.8	4.7	32.0	9.1	3.0
	無回答	38	18.4	15.8	26.3	7.9	13.2	2.6	7.9	26.3	5.3	18.4
職業別	農林漁業	68	27.9	13.2	7.4	1.5	10.3	5.9	8.8	36.8	4.4	8.8
	自営業	209	18.7	17.2	15.3	10.5	14.8	12.4	4.3	27.8	14.4	2.4
	給与所得者（常勤）	1,256	22.2	16.6	14.0	9.1	15.0	11.0	4.8	33.0	8.2	2.5
	パート・アルバイト（学生は除く）	485	20.2	16.9	18.4	12.8	12.2	9.1	4.9	30.1	8.5	2.5
	学生	170	12.9	27.6	21.8	18.2	20.0	12.9	4.1	26.5	2.9	4.1
	家事に専念	309	22.0	13.3	18.8	8.7	13.9	5.8	5.2	26.9	18.8	4.2
	無職	483	25.7	18.0	17.0	5.2	15.5	7.7	7.0	34.2	7.5	4.3
	その他	20	10.0	25.0	20.0	15.0	5.0	30.0	20.0	25.0	5.0	5.0
	無回答	10	30.0	20.0	60.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	10.0	-
	就労あり	2,018	21.6	16.7	15.0	9.9	14.1	10.5	4.9	31.9	8.8	2.7
	就労なし	962	22.2	18.2	18.4	8.6	15.8	8.0	5.9	30.5	10.3	4.3
	その他・無回答	30	16.7	23.3	33.3	13.3	6.7	23.3	13.3	20.0	6.7	3.3

ご協力のお願い 市の施策・事業を検討する貴重な資料です

令和5年度 久留米市民意識調査

お願い

◇この調査票は、封筒のあて名の方が調査の対象者です。
調査の対象の方が必ず最後まで通して回答してください。

◇この調査は、**令和5年8月31日(木)[郵送の場合:当日消印有効]**までに回答してください。

◇回答は、「郵送」または「インターネット」のいずれかでお願いします。

【郵送で回答する場合】

○郵送による回答をされる方は、同封の回答票(若草色の紙)に該当項目の番号を記入し、
回答票のみを返信用の封筒で送付してください。

○回答の記入は、鉛筆または黒・青のボールペンなどをお願いいたします。

○各問で、「その他(具体的に:)」の番号を選択した方は、その内容を具体的に記入してください。

【インターネットで回答する場合】

○同封している回答票(若草色の紙)の表面に記載の URL にアクセスいただくか、QR コードを読み取り、
ランダムに生成された「ID」と「パスワード」をログイン画面で入力して回答を開始してください。
(個人を特定するものではありません)

【お問い合わせ先】

◇この調査は、エイジス九州株式会社に委託して実施しております。

◇ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

〒830-8520 久留米市城南町 15-3

久留米市 協働推進部 広聴・相談課 (TEL 0942-30-9015)
(FAX 0942-30-9711)

《調査受託機関》

〒816-0932 福岡県大野城市瓦田 4-14-39-2F

エイジス九州株式会社 RC 事業部 (TEL 092-558-2258)
(FAX 092-558-2259)



久留米市イメージキャラクター

くるっぴ

令和5年7月
久留米市

以下の質問は、調査結果を統計的に整理するために必要なものです。
ご記入への協力をお願い致します。

※調査により、回答した個人が特定されることはありません。

記入漏れがあると、回答すべてが無効になる場合がありますのですべてご回答ください。

F1 あなたのお住まいの校区をお教えてください。

- | | | | | |
|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 西国分 7.0% | 2. 荘島 1.7% | 3. 日吉 2.3% | 4. 篠山 2.3% | 5. 京町 1.5% |
| 6. 南薫 3.7% | 7. 鳥飼 2.1% | 8. 長門石 1.3% | 9. 小森野 1.5% | 10. 金丸 4.6% |
| 11. 東国分 3.3% | 12. 御井 2.9% | 13. 南 4.9% | 14. 合川 4.9% | 15. 山川 1.8% |
| 16. 上津 5.2% | 17. 高良内 3.4% | 18. 宮ノ陣 2.9% | 19. 山本 1.0% | 20. 草野 0.6% |
| 21. 安武 2.0% | 22. 荒木 4.5% | 23. 大善寺 2.9% | 24. 善導寺 2.5% | 25. 大橋 0.6% |
| 26. 青峰 0.9% | 27. 津福 5.3% | 28. 船越 0.4% | 29. 水縄 0.4% | 30. 田主丸 3.3% |
| 31. 水分 0.4% | 32. 竹野 0.5% | 33. 川会 0.6% | 34. 柴刈 0.4% | 35. 弓削 0.6% |
| 36. 北野 3.5% | 37. 大城 1.1% | 38. 金島 0.6% | 39. 城島 2.1% | 40. 下田 0.3% |
| 41. 江上 0.7% | 42. 青木 0.4% | 43. 浮島 0.0% | 44. 西牟田 1.2% | 45. 犬塚 1.2% |
| 46. 三潕 3.3% | 47. わからない 1.0% | 無回答 0.5% | | |

(お住まいの町名をご記入ください 町・丁目)

F2 あなたの満年齢は。

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------------------|
| 1. 18・19 歳 2.9% | 2. 20 歳代 13.0% | 3. 30 歳代 13.2% |
| 4. 40 歳代 19.1% | 5. 50 歳代 16.8% | 6. 60～64 歳 8.4% |
| 7. 65～69 歳 8.9% | 8. 70～74 歳 10.9% | 9. 75 歳以上 6.6% 無回答 0.2% |

F3 あなたの職業は。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 農林漁業 2.3% | 2. 自営業 6.9% |
| 3. 給与所得者(常勤) 41.7% | 4. パート・アルバイト(学生は除く) 16.1% |
| 5. 学生 5.6% | 6. 家事に専念 10.3% |
| 7. 無職 16.0% | 8. その他(具体的に:) 0.7% |
| | 無回答 0.3% |

F4 あなたの性別は。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 男性 44.2% | 2. 女性 55.4% | 3. () 0.2% |
| | | 無回答 0.2% |

F5 あなたの家(現在同居している方のみ)の家族構成は。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 単身 13.5% | 2. 夫婦のみ 20.5% |
| 3. 親・子(2世代) 53.7% | 4. 親・子・孫(3世代) 8.9% |
| 5. その他(具体的に:) 3.0% | 無回答 0.4% |

F6 あなたが現在同居している家族について、次のうちあてはまるものすべて記入してください。

1. 世帯の中に就学前の子どもがいる **13.1%**
2. 世帯の中に小学生がいる **14.0%**
3. 世帯の中に中学生がいる **8.6%**
4. 世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる **8.7%**
5. 世帯の中に65歳以上の人がいる **32.9%**
6. 世帯の中に障害者手帳を持っている人がある(本人を含みます) **11.1%**
7. 世帯に上記1～6にあてはまる人はいない **35.2%** **無回答 1.3%**

F7 あなたのお住まいの形態は。

1. 持ち家(一戸建て) **59.6%**
2. 持ち家(集合住宅・分譲マンション) **11.2%**
3. 賃貸住宅(一戸建て) **3.6%**
4. 賃貸住宅(アパート・マンション) **21.8%**
5. 勤務先給与住宅(公務員住宅・社宅・寮など) **2.3%**
6. 間借り、その他(具体的に:) **1.0%** **無回答 0.5%**

F8 あなたが久留米市にお住まいになって、何年くらいになりますか。合併前を含め、現在の久留米市にこれまで住んでいた合計期間をお答えください。

1. 5年未満 **9.8%** 2. 5～10年未満 **6.9%** 3. 10～20年未満 **15.9%**
4. 20～30年未満 **18.1%** 5. 30～40年未満 **14.5%** 6. 40年以上 **34.6%**
- 無回答 0.3%**

F9 あなたは、久留米市に住む以前は、どこに住んでいましたか？

1. ずっと久留米市在住 **38.7%** 2. 東京圏(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県) **5.1%**
3. 名古屋圏(岐阜県・愛知県・三重県) **1.2%** 4. 大阪圏(京都府・大阪府・兵庫県・奈良県) **3.6%**
5. 福岡市及び近隣市町 **25.3%** 6. 佐賀県内 **5.3%**
7. その他(具体的に:) **20.0%** **無回答 0.9%**

F10 あなたの世帯は、自治会(町内会)に加入していますか。

1. 加入している **75.7%** 2. 加入していない **14.5%** 3. わからない **9.3%**
- 無回答 0.6%**

F11 日常生活でよく利用する移動手段は何ですか。あてはまるものすべて記入してください。

1. 徒歩 **32.0%** 2. 自転車 **22.0%**
3. バイク(原動機付自転車を含む) **3.8%** 4. 自動車 **82.9%**
5. バス **16.6%** 6. 鉄道 **18.1%**
7. その他(具体的に:) **1.2%** **無回答 0.3%**

久留米市の住みやすさや愛着度についておたずねします

問1 あなたは、久留米市は住みやすいと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

1. 住みやすい **47.5%** 2. どちらかといえば住みやすい **43.8%**
 3. どちらかといえば住みにくい **6.0%** 4. 住みにくい **1.8%** **無回答 0.9%**

問2 あなたは、久留米市に愛着がありますか。(あてはまる番号1つだけ)

1. 愛着がある **43.9%** 2. どちらかといえば愛着がある **44.1%**
 3. どちらかといえば愛着がない **7.8%** 4. 愛着がない **3.2%** **無回答 1.0%**

問3 久留米市の状況として、次の(ア)～(シ)の事柄について、あなたはどのように思いますか。
(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	無 回 答
(ア)季節感あふれるまち(例:花や緑が多い など)	35.8%	49.2%	10.5%	3.6%	0.9%
(イ)都市環境が充実しているまち (例:公共交通機関の充実、道路が整備されている など)	17.3%	47.7%	24.6%	9.5%	0.9%
(ウ)外で活動しやすいまち (例:公園や広場が多い、歩道や自転車道が整備されている など)	14.3%	45.5%	30.4%	8.8%	0.9%
(エ)人権が尊重されているまち (例:人権教育の機会充実、女性が活躍しやすい環境 など)	8.9%	55.5%	27.2%	7.2%	1.2%
(オ)安全で安心して暮らせるまち (例:防災対策が充実している、治安がよい など)	15.6%	52.3%	23.1%	8.1%	0.9%
(カ)心豊かに暮らせるまち (例:文化・芸術が盛ん、スポーツを楽しむ機会が多い など)	16.4%	54.5%	22.9%	5.1%	1.2%
(キ)子育てしやすいまち	15.0%	57.2%	19.3%	6.8%	1.7%
(ク)地域で支えあいや助け合いが充実しているまち	9.2%	50.9%	31.3%	7.4%	1.2%
(ケ)働きやすいまち (例:就職の機会が豊富、働きやすい環境 など)	9.0%	47.0%	33.4%	9.2%	1.3%
(コ)国際性豊かなまち (例:外国人と接する機会が多い、海外との交流が活発 など)	4.2%	22.5%	48.5%	23.6%	1.3%
(サ)にぎわいのあるまち (例:中心市街地や観光地が多くの人でにぎわっている など)	7.2%	29.5%	42.5%	19.7%	1.0%
(シ)県南の中核都市である(例:地域の発展をリードしている など)	18.3%	40.7%	27.3%	12.5%	1.2%

問4 あなたは、事情が許せば今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。
(あてはまる番号1つだけ)

1. 住み続けたい **43.4%** 2. どちらかといえば住み続けたい **32.4%**
 3. どちらかといえば移りたい **8.9%** 4. 移りたい **3.2%**
 5. わからない **8.6%** **無回答 3.5%**

問5 この問は、令和8年度からはじまる次期総合計画策定に向けた調査です。

久留米市では、市民ニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。

そこで、次の(ア)～(ム)の市の取り組みについて、お尋ねします。

(A)あなたは、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

(B)あなたは、この取り組みにどの程度満足していますか。(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

	(A)重要度					(B)満足度					
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない	
(ア)水と緑の空間の創出 花や緑、水辺等の魅力を身近に感じることがで きる	38.0 %	43.5 %	10.4 %	2.8 %	4.4 %	16.1 %	50.5 %	17.3 %	4.1 %	10.6 %	3.9 %
			無回答 0.9%					無回答 1.4%			
(イ)歴史資源の活用 郷土の歴史や文化に触れ、体感することがで きる	24.5 %	43.5 %	19.3 %	4.1 %	7.6 %	8.6 %	40.7 %	21.5 %	5.1 %	22.9 %	1.4 %
			無回答 0.9%					無回答 1.3%			
(ウ)幹線道路の整備 国道・県道・バイパスなど広域ネットワークが 整備され渋滞緩和に繋がっている	67.0 %	25.0 %	3.4 %	0.9 %	2.6 %	10.2 %	35.7 %	31.8 %	16.1 %	4.8 %	16.6 %
			無回答 1.0%					無回答 1.4%			
(エ)公共交通網の充実 バス、鉄道、タクシーなどの公共交通やよりみ ちバスなどの生活支援交通が充実している	64.8 %	27.5 %	3.7 %	0.7 %	2.3 %	13.4 %	33.9 %	29.2 %	16.5 %	5.6 %	17.0 %
			無回答 1.0%					無回答 1.5%			
(オ)生活排水処理の整備 下水道や浄化槽などの生活排水処理施設が整 備され快適な都市環境が整っている	69.8 %	22.8 %	2.9 %	0.6 %	2.9 %	24.4 %	44.2 %	13.6 %	8.0 %	8.5 %	7.0 %
			無回答 1.0%					無回答 1.3%			
(カ)公園や広場の整備・充実 公園や広場の整備が充実し、市民の憩いの場と なっている	48.2 %	38.9 %	7.5 %	1.3 %	3.1 %	15.4 %	42.9 %	24.6 %	8.6 %	7.2 %	5.0 %
			無回答 1.0%					無回答 1.4%			
(キ)快適な都市環境の整備 生活道路や側溝、歩行や自転車空間の整備によ り安心して快適に生活できる	67.3 %	26.9 %	2.4 %	0.6 %	1.9 %	9.3 %	28.7 %	36.7 %	19.9 %	4.0 %	14.9 %
			無回答 0.9%					無回答 1.4%			

	(A)重要度					(B)満足度					問 6
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない	
(ク)ごみ処理対策の推進 ごみのリデュース(排出抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)などの取り組みが進んでいる	59.2 %	31.4 %	4.0 %	0.7 %	3.8 %	17.4 %	48.5 %	15.1 %	4.6 %	13.0 %	5.6 %
			無回答 1.0%					無回答 1.4%			
(ケ)地球環境への配慮 CO2 排出量削減や自然環境を守る取り組みを通じて地球温暖化対策に繋がっている	57.7 %	27.9 %	5.4 %	1.6 %	6.3 %	7.7 %	33.2 %	24.3 %	5.6 %	27.8 %	6.5 %
			無回答 1.0%					無回答 1.5%			
(コ)人権意識の向上 人権問題を自分の問題として考え、解決に向け主体的に行動する人権意識が育まれている	44.3 %	34.2 %	8.5 %	2.0 %	10.1 %	7.5 %	33.4 %	19.2 %	6.0 %	32.2 %	1.7 %
			無回答 1.0%					無回答 1.6%			
(サ)男女共同参画の推進 男女がお互いを尊重し、あらゆる分野で、性別にかかわらず個性と能力を発揮できている	49.1 %	31.8 %	7.5 %	2.0 %	8.5 %	6.9 %	31.4 %	21.8 %	9.5 %	28.9 %	2.7 %
			無回答 1.1%					無回答 1.4%			
(シ)防災対策の充実 浸水対策や土砂災害対策、避難所機能の充実など安心して生活できる環境が整っている	81.7 %	13.1 %	1.1 %	0.4 %	2.8 %	7.4 %	22.9 %	31.2 %	28.6 %	8.5 %	36.7 %
			無回答 1.0%					無回答 1.5%			
(ス)暮らしの安全対策の推進 地域の見守り強化や防犯灯・防犯カメラの設置など防犯対策が進んでいる	68.9 %	23.8 %	2.4 %	0.7 %	3.2 %	6.9 %	27.8 %	31.5 %	15.6 %	16.6 %	11.6 %
			無回答 1.0%					無回答 1.5%			
(セ)文化芸術活動の推進 文化芸術に触れる機会が充実し、市民の文化芸術活動が盛んに行われている	28.4 %	40.5 %	17.9 %	3.1 %	9.0 %	9.6 %	37.6 %	17.8 %	4.8 %	28.8 %	1.7 %
			無回答 1.0%					無回答 1.5%			
(ソ)生涯学習・スポーツの振興 生涯にわたって主体的に学び、活動し、スポーツを楽しむことができる環境や機会が整っている	36.6 %	43.1 %	10.6 %	2.0 %	6.6 %	10.6 %	41.3 %	20.1 %	4.9 %	21.7 %	3.2 %
			無回答 1.1%					無回答 1.5%			
(タ)市民活動の活性化 校区コミュニティ組織・自治会が行うまちづくり活動や、市民活動団体・NPOなどが行うボランティア活動が盛んに行われている	30.2 %	42.3 %	13.9 %	3.1 %	9.4 %	10.0 %	37.1 %	16.4 %	4.7 %	30.4 %	0.8 %
			無回答 1.1%					無回答 1.5%			
(チ)子育て支援体制の充実 子どもや子育てが地域全体で支えられ、安心して産み、育てられる環境が整っている	67.8 %	20.5 %	2.1 %	0.5 %	8.0 %	8.2 %	30.2 %	22.2 %	10.9 %	26.9 %	24.6 %
			無回答 1.1%					無回答 1.6%			

	(A)重要度					(B)満足度					問 6
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない	
(ツ)教育環境の充実 質の高い授業づくりやICTの活用など教育内容が充実し、安心して学べる教育環境が整っている	60.4 %	24.3 %	2.9 %	0.5 %	10.9 %	6.9 %	26.1 %	20.4 %	8.1 %	36.8 %	10.3 %
			無回答 1.0%					無回答 1.7%			
(テ)健康づくりの推進 各種健診や生活習慣病予防など、こころと体の健康づくりが充実している	57.4 %	32.3 %	3.7 %	1.0 %	4.7 %	14.0 %	44.1 %	16.5 %	4.9 %	18.9 %	4.9 %
			無回答 1.0%					無回答 1.6%			
(ト)地域医療体制の充実 かかりつけ医や高度な医療が必要な時に受診できる病院があるなど医療体制・救急体制が充実している	78.2 %	16.8 %	1.4 %	0.4 %	2.1 %	34.9 %	40.8 %	11.4 %	4.4 %	7.0 %	10.1 %
			無回答 1.1%					無回答 1.5%			
(ナ)支え合う地域づくりの推進 世代や立場を超えて、住民同士で支え合う地域づくりが進んでいる	39.2 %	39.1 %	10.5 %	2.2 %	7.9 %	8.1 %	33.2 %	21.8 %	6.6 %	28.8 %	2.8 %
			無回答 1.0%					無回答 1.6%			
(二)高齢者福祉の充実 施策やサービスなどが充実し、高齢者が自分らしく安心していきいきと暮らし続けることができる	57.9 %	29.0 %	4.9 %	1.6 %	5.5 %	8.9 %	28.7 %	20.9 %	8.9 %	31.2 %	18.4 %
			無回答 1.1%					無回答 1.5%			
(ヌ)障害者福祉の充実 施策やサービスなどが充実し、障害のある人が自らの望む生活を営むことができる	55.5 %	31.4 %	3.4 %	0.7 %	8.1 %	7.3 %	24.9 %	17.6 %	6.2 %	42.4 %	5.7 %
			無回答 1.0%					無回答 1.5%			
(ネ)生活困窮者等への支援 生活困窮者やひとり親家庭など、支援を必要とする人の相談支援体制が整い、安心して生活することができる	49.6 %	33.1 %	5.9 %	2.1 %	8.3 %	6.7 %	22.6 %	17.6 %	8.1 %	43.6 %	7.4 %
			無回答 1.1%					無回答 1.4%			
(ノ)地域産業の創出と振興 地域の企業や商店街が活性化し、新たな産業の創出や企業の進出、雇用の充実など活力が生まれている	55.1 %	30.6 %	3.8 %	0.9 %	8.5 %	4.8 %	22.2 %	26.8 %	16.3 %	28.4 %	7.5 %
			無回答 1.1%					無回答 1.4%			
(ハ)農業の振興 農業の経営基盤が安定し、豊富な農産物の生産やブランド化など魅力ある農業都市として活性化している	54.5 %	30.7 %	4.5 %	0.8 %	8.4 %	8.5 %	30.7 %	21.0 %	6.6 %	31.6 %	7.1 %
			無回答 1.1%					無回答 1.5%			
(ヒ)労働環境の整備 家庭と仕事の両立支援や、多様な働き方など働きやすい労働環境が整っている	63.5 %	26.2 %	2.3 %	0.4 %	6.6 %	5.7 %	23.2 %	27.9 %	14.9 %	26.8 %	13.7 %
			無回答 1.1%					無回答 1.5%			

	(A)重要度					(B)満足度					問 6
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない	
(フ)多文化共生社会の実現 地域に暮らす外国人への支援や環境整備により、地域の人も含め、外国人がより暮らしやすいまちになっている	26.5 %	35.7 %	15.0 %	4.7 %	15.2 %	5.2 %	22.0 %	14.3 %	4.3 %	51.0 %	2.0 %
			無回答 2.8%					無回答 3.2%			
(ハ)魅力ある観光やイベントの振興 観光地の魅力づくりや四季のイベントの実施を通して、にぎわいのあるまちづくりが進んでいる	38.2 %	40.1 %	10.2 %	2.0 %	7.9 %	9.2 %	34.7 %	21.7 %	8.5 %	24.4 %	8.0 %
			無回答 1.5%					無回答 1.6%			
(ホ)市民との協働の推進 まちづくりの課題や目的を共有し、市民と行政が協働していくまちづくりが進んでいる	38.1 %	38.7 %	7.8 %	1.3 %	12.6 %	5.3 %	25.0 %	20.9 %	10.0 %	37.2 %	2.7 %
			無回答 1.5%					無回答 1.5%			
(マ)デジタル化の推進 スマホやパソコン・タブレットなどを使用して、効率的で質の高い市民サービスを受けたり、市民活動を行ったりできる利便性の高いまちになっている	40.6 %	35.4 %	9.5 %	2.3 %	10.8 %	5.6 %	25.2 %	25.9 %	11.4 %	30.3 %	8.2 %
			無回答 1.4%					無回答 1.6%			
(ミ)行財政改革の推進 まちづくりを進めるために歳出抑制・歳入確保や事務の効率化、事業の見直しなどに取り組んでいる	49.8 %	27.4 %	3.8 %	0.9 %	16.7 %	4.2 %	17.9 %	20.2 %	11.9 %	44.2 %	6.9 %
			無回答 1.4%					無回答 1.6%			
(ム)中核都市としての機能強化 近隣市町と連携しながら、地域全体をけん引し、市外の人からも高く評価される都市になっている	40.8 %	33.2 %	8.9 %	1.8 %	13.6 %	6.3 %	24.6 %	20.6 %	9.4 %	37.4 %	7.1 %
			無回答 1.7%					無回答 1.7%			

問6 問5で聞いた(ア)～(ム)の取り組みの中で、「特に力を入れて欲しいもの」を3つまで選び、その項目の力ナを記入してください。

() () () 無回答 4.2%

問7 その他、10年後の久留米市に必要だと思う取り組みがあれば記入してください。

[]

あなたのふだんの生活についておたずねします

問8 あなたは、ふだんの生活の中で、環境に配慮した取り組み※をしていますか。
(あてはまる番号1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 少し不便を感じるがあっても積極的に取り組んでいる | 14.1% |
| 2. 生活に不便のない範囲で取り組んでいる | 68.1% |
| 3. 必要性は感じるが、取り組んでいない | 14.6% |
| 4. 取り組む必要性を感じていない | 1.8% |
| 無回答 | 1.4% |

※「環境に配慮した取り組み」とは…

環境への負荷を少なくする、環境を守るために行う行動のことで、次のようなものがあります。

- ◎使い捨てプラスチック製品の利用を控える
- ◎生物多様性の現状と大切さを学ぶ
- ◎ごみのぼい捨てをせず、地域での清掃活動に参加
- ◎環境学習会や環境イベント等へ積極的に参加

問9 あなたは、あなた自身の健康についてどう感じますか。(あてはまる番号1つだけ)

- | | | | |
|------------------|-------|------------------|-------------|
| 1. 健康である | 21.1% | 2. どちらかといえば健康である | 57.8% |
| 3. どちらかといえば健康でない | 15.1% | 4. 健康でない | 4.9% |
| | | 無回答 | 1.1% |

問10 あなたは、どれくらいの頻度で、健康づくりのために体を動かしたり、運動をしたりしていますか。(1日30分以上)。(あてはまる番号1つだけ)

- | | | | |
|-------------|-------|---------------|-------------|
| 1. 週に2日以上 | 34.3% | 2. 週に1日程度 | 19.5% |
| 3. 月に1～3日程度 | 11.5% | 4. 3か月に1～2日程度 | 4.0% |
| 5. 年に1～3日程度 | 3.1% | 6. まったく行っていない | 26.4% |
| | | 無回答 | 1.2% |

問11 あなたやあなたの周囲の人は、仕事と生活(子育てや地域活動、趣味の時間など)が両立できるワークライフバランスがとれていますか。(あてはまる番号1つだけ)

- | | | | |
|-------------------|-------|------------------|-------------|
| 1. とれている | 10.7% | 2. どちらかといえばとれている | 48.2% |
| 3. どちらかといえばとれていない | 28.2% | 4. とれていない | 11.1% |
| | | 無回答 | 1.7% |

問12 あなたは、「安心安全のまちづくり」を、市と地域の皆さんがともに協力しあって進めていくことが必要だと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

- | | | | |
|-------------------|-------|-----------------|-------------|
| 1. そう思う | 52.2% | 2. どちらかといえばそう思う | 42.1% |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 3.2% | 4. そう思わない | 1.2% |
| | | 無回答 | 1.3% |

問13 あなたは、ふだんの生活の中で、生涯学習活動※を行っていますか。

(あてはまる番号1つだけ)

1. 行っている 28.0%

2. 行っていない 70.1%

無回答 1.9%

※「生涯学習活動」とは…

人々がいつでもどこでも、自由に行う学習活動のことで、次のようなものがあります。

- ◎趣味として行う軽い運動・スポーツ、文化・学習活動やボランティア活動
- ◎校区コミュニティセンターでの講座など社会教育における学習活動

問14 あなたは、地域をよりよくするために、校区コミュニティ活動や自治会活動、ボランティア活動などの市民活動※に参加したいと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

1. そう思う 12.7%

2. どちらかといえばそう思う 39.5%

3. どちらかといえばそう思わない 29.3%

4. そう思わない 16.6%

無回答 1.9%

※「市民活動」とは…

◎校区コミュニティ活動

(小学校区単位の校区コミュニティ組織による活動や防犯協会などの各種住民団体による活動)

◎自治会活動(自治会、町内会、隣組、班などでの活動)

◎ボランティア活動

問15 あなたは、オンライン開催※での参加も含めて、この1年間に、市民活動にどの程度参加しましたか。

(あてはまる番号1つだけ)

1. 週に1回以上 0.9%

2. 月に2～3回程度 3.0%

3. 月に1回程度 5.0%

4. 年に数回程度 12.4%

5. 年に1回程度 4.7%

6. まったく参加していない 72.6%

無回答 1.5%

※「オンライン開催」とは…

インターネットを通じ、Web会議ツールを用いて開催されるもの。

付問1 問15で1. から5. と回答した人に

あなたは、この1年間にオンライン開催による市民活動に参加しましたか。

(あてはまる番号1つだけ)

1. はい 12.8%

2. いいえ 80.9%

無回答 6.3%

問16 近年、久留米市において差別事件や人権侵害事案が発生しています。

あなたは、同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、自分自身の人権に対する感覚を高めたいと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

- | | | |
|-------------------|-------|----------|
| 1. そう思う | 22.6% | |
| 2. どちらかといえばそう思う | 39.4% | |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 25.8% | |
| 4. そう思わない | 10.1% | 無回答 2.1% |

付問1 問16で1. または2. と回答した人に

あなたは、人権に対する感覚を高めるために、どのようなことをしたいと思いますか。

(あてはまる番号いくつでも)

- | | | |
|------------------------------|-------|----------|
| 1. 市などが主催する人権問題の講演会、学習会に参加する | 18.3% | |
| 2. 地域で開催する講演会、学習会に参加する | 15.2% | |
| 3. PTAや学校の講座、研修に参加する | 11.5% | |
| 4. 職場の講座や研修に参加する | 20.9% | |
| 5. 市の広報紙やホームページで人権に関する記事を読む | 51.9% | |
| 6. 書籍などで自主学習をする | 23.2% | |
| 7. 家族や友人など身近な人と人権問題について話をする | 36.9% | |
| 8. その他(具体的に:) | 4.1% | 無回答 1.6% |

問17 ご家庭で使用する水の種類は何ですか。(あてはまる番号1つだけ)

- | | | |
|--------------------------|-------|----------|
| 1. 水道水(上水道)のみ | 80.3% | |
| 2. 地下水(井戸水)のみ | 7.0% | |
| 3. 水道水(上水道)と地下水(井戸水)との併用 | 11.1% | 無回答 1.6% |

問18 久留米市では、市民のニーズを的確に把握し、政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、次の(ア)～(エ)の取り組みについておたずねします。あなたは、これらの取り組みにどの程度満足していますか。(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

		1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
(ア)家のまわりの生活道路や側溝の整備	無回答 1.4%	15.0%	34.6%	26.8%	19.7%	2.5%
(イ)水道水の安全性や水質	無回答 1.6%	35.9%	40.7%	9.1%	3.5%	9.1%
(ウ)水害やがけ崩れ・山崩れの防止などの防災対策および 総合防災訓練の充実	無回答 1.6%	7.6%	23.0%	27.9%	23.2%	16.7%
(エ)花や緑、水辺等の魅力の向上	無回答 1.5%	14.2%	44.8%	19.2%	5.9%	14.5%

【市の情報発信】についておたずねします

問19 あなたは、「広報久留米」を読んでいますか。(あてはまる番号1つだけ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 毎号必ず読む 32.7% | 2. ときどき読む 34.0% |
| 3. あまり読まない 13.9% | 4. まったく読まない 17.7% |

付問4へ

付問1～付問3へ

付問1 問19で1.または2.と回答した人に

広報久留米の見やすさについて感想をお聞きます。(あてはまる番号1つだけ)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 満足している 21.0% | 2. どちらかという満足している 66.3% |
| 3. どちらかという満足していない 9.7% | 4. 満足していない 2.0% |

無回答 0.8%

付問2 問19で1.または2.と回答した人に

読みやすいと感じる部分を教えてください。(あてはまる番号いくつでも)

- | |
|--|
| 1. 文字の大きさ 40.0% |
| 2. 全体の構成(特集、撮っておきニュース、情報ほっとライン等) 52.9% |
| 3. カラー印刷 41.6% |
| 4. 内容が面白い 7.4% |
| 5. レイアウトやデザイン 15.5% |
| 6. 文章が簡潔で分かりやすい 26.7% |
| 7. 写真が分かりやすい 26.0% |
| 8. その他(具体的に:) 1.8% |

無回答 4.5%

付問3 問19で1.または2.と回答した人に

広報久留米で必ず目を通す紙面は何ですか。(あてはまる番号いくつでも)

- | |
|--|
| 1. 表紙 50.6% |
| 2. 撮っておきニュース 36.9% |
| 3. 市の施策や事業(市の予算や決算、環境や人権などの取り組み記事) 34.6% |
| 4. 連載シリーズ(久留米入城 400 年モノ語りや共に生きるなど) 15.7% |
| 5. イベントカレンダー 47.9% |
| 6. 日曜在宅医 41.9% |
| 7. 情報ほっとライン 36.5% |
| 8. 裏表紙「これ知ってる!」 19.2% |

無回答 6.3%

付問4 問19で3.または4.と回答した人に

読まない理由を教えてください。(あてはまる番号いくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 内容が面白くない 14.6% |
| 2. 広報紙以外で情報を得ることができる 21.5% |
| 3. 知りたい情報がない 27.8% |
| 4. 読む時間がない 41.3% |
| 5. その他(具体的に:) 19.9% |

無回答 6.7%

問20 「広報久留米」は、どの頻度で発行したら良いと思いますか。(あてはまる番号1つだけ)

- 1. 月1回 **65.0%**
- 2. 月2回 **6.6%**
- 3. 隔月 **13.5%**
- 4. 4半期に1回 **9.7%**
- 5. その他(具体的に:) **3.5%** **無回答 1.8%**

問21 市の情報はどこから入手しますか？(あてはまる番号いくつでも)

- 1. 広報久留米(広報紙) **58.9%**
- 2. 市公式ホームページ **33.9%**
- 3. 市公式LINE **27.9%**
- 4. 市公式Facebook **1.0%**
- 5. 市公式YouTube **0.9%**
- 6. dボタン広報誌(KBCテレビdボタン) **3.5%**
- 7. 市が作成するポスター、チラシなど **14.5%**
- 8. 校区だよりや総合支所からのお知らせなどの地域情報 **22.3%**
- 9. 新聞やテレビなど **24.7%**
- 10. ケーブルテレビ(くーみんテレビ) **2.7%**
- 11. コミュニティFM(ドリームスFM) **0.9%**
- 12. その他(具体的に:) **4.0%** **無回答 2.0%**

在宅医療・介護に関する意識についておたずねします

問 22 あなたが、病気などで治る見込みがない状態になった場合、どこで療養生活を送り最期を迎えたいですか。(あてはまる番号1つだけ)

- 1. 居宅(自宅、子供や親族の家等) 45.1%
- 2. 医療機関(病院等) 39.5%
- 3. 介護施設(老人ホーム等) 13.9% 無回答 1.6%

問 23 あなた自身や同居の人が人生の最終段階を迎えた場合に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができますか。(あてはまる番号1つだけ)

- 1. できると思う 15.9%
- 2. できないと思う 44.6%
- 3. わからない 37.7% 無回答 1.8%

付問1 問23で2. または3. と回答した人に

安心して居宅で療養し、最期を迎えることができないと思う・わからない理由は何ですか。
(あてはまる番号いくつでも)

- 1. 往診してくれるかかりつけの医師がいない 27.9%
- 2. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていない 14.0%
- 3. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていない 10.5%
- 4. 24 時間相談にのってくれるところがない 14.7%
- 5. 介護できる家族がいない 31.3%
- 6. 介護する家族に負担がかかる 65.3%
- 7. 症状が急に悪くなったときの対応に不安がある 41.3%
- 8. 症状が急に悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である 31.7%
- 9. 居住環境が整っていない 19.9%
- 10. 経済的な負担が大きい 46.0%
- 11. 自分の意向がどれだけ尊重されるかが分からない 18.5%
- 12. 人生の最終段階について考える年齢ではない 17.6%
- 13. その他(具体的に:) 2.3% 無回答 1.3%

問24 あなたは、今までに家族等の身近な人を居宅で看取った経験がありますか。
(あてはまる番号1つだけ)

↓ 1. ある 16.9% 2. ない 81.6% 無回答 1.4%

付問1 問24で1.と回答した人に

身近な人を看取ったご経験の中で、どのようなことが大変でしたか。

(あてはまる番号いくつでも)

1. 本人の意思・意向の確認が取りづらくなったり、分からなくなったりした 37.1%
2. 医師やケアマネジャー等、医療・介護従事者とのコミュニケーションが取りづらかった 12.9%
3. 家族・親族内で意思がばらばらだった 15.1%
4. 本人家族の望んだ医療・介護サービスの提供が不十分だった 16.5%
5. 経済的な負担が大きかった 25.7%
6. 特になかった 28.0%
7. その他(具体的に:) 10.8% 無回答 4.9%

問25 あなたは人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)※について知っていますか。
(あてはまる番号1つだけ)

- ↓ 1. 言葉も内容も知っている 6.6% 2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない 16.1%
3. 言葉も内容も知らない 75.8% 無回答 1.4%

※人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)とは…

最後まで自分らしく生きるために、人生の最終段階に自分が望む医療やケアについて
前もって考え、家族や医療・介護の専門職など信頼できる人と繰り返し話し合うこと。

付問1 問25で1.と回答した人に

あなたが人生会議について知ったきっかけを教えてください。(あてはまる番号いくつでも)

1. 市民公開講座、出前講座 6.5%
2. 市の作成した冊子「私の生き方ノート」 5.0%
3. テレビ、書籍等のメディアの情報 28.5%
4. 医療・介護従事者から受けた説明や相談の機会 23.0%
5. 医療・介護従事者等向けの研修 43.5%
6. その他(具体的に:) 15.0% 無回答 2.0%

こころの健康についておたずねします

問26 あなたは、ここ 1 か月くらいの間に、不安や悩み、ストレスをかかえたことがありますか。
(あてはまる番号1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 大いにある 29.3% | 2. 多少ある 42.0% |
| 3. あまりない 21.5% | 4. まったくない 5.4% |
- 無回答 1.7%

付問1 問26で1. または2. と回答した人に

それはどのようなことが原因ですか。(あてはまる番号いくつでも)

1. 家庭に関すること(家族関係、子育て、家族の介護など) 45.3%
 2. 健康に関すること(身体・こころの病気など) 39.0%
 3. 経済的な問題に関すること(金銭関係など) 41.2%
 4. 仕事に関すること(仕事の悩み、職場の人間関係など) 48.6%
 5. 恋愛、結婚に関すること 7.4%
 6. 学校に関すること(学校での人間関係、進路など) 7.0%
 7. その他(具体的に:) 4.6%
- 無回答 4.1%

問27 あなたが、不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰かに相談したり助けを求めたりすることに、ためらいますか。(あてはまる番号1つだけ)

- | | | |
|-----------------------|----------------------|---------------|
| 1. 感じる 15.9% | 2. どちらかといえば感じる 29.1% | |
| 3. どちらかといえば感じない 29.2% | 4. 感じない 18.3% | 5. わからない 5.6% |
- 無回答 1.9%

付問1 問27で1. または2. と回答した人に

それはどのようなことが原因ですか(あてはまる番号いくつでも)

1. 家族や友達など身近な人には、相談したくない(できない)悩みだから 28.6%
 2. 相談することで相手に心配をかけたり、困らせてしまうと思うから 61.0%
 3. 病院や支援機関等(行政の相談窓口、保健所など)の専門家に相談したいと思っ
ているが、相談するハードルが高く感じるから 15.4%
 4. 過去に、身近な人に相談したが、解決しなかった(嫌な思いをした)から 12.1%
 5. 過去に、病院や支援機関等に相談したが、解決しなかった(嫌な思いをした)から 7.0%
 6. 自分の悩みを解決できるところはないと思っているから 22.3%
 7. 根本的な問題の解決にはならないから 36.1%
 8. 受診などお金が掛かることは避けたいから 9.2%
 9. 時間の都合がつかないから 8.4%
 10. どの相談窓口を利用したらよいか分からないから 13.3%
 11. その他(具体的に:) 2.4%
- 無回答 1.4%

問 28 あなたが、不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰に(どこに)相談しますか。
(あてはまる番号いくつでも)

- 1. 同居の家族や親族 **60.2%**
 - 2. 別居の家族や親族 **34.0%**
 - 3. 友人・知人 **47.2%**
 - 4. 学校の先生 **1.3%**
 - 5. 学校のカウンセラー **0.6%**
 - 6. 職場の上司・同僚 **16.7%**
 - 7. 職場の健康管理センター **0.8%**
 - 8. かかりつけ医の医療機関(精神科や心療内科を除く) **8.8%**
 - 9. 精神科や心療内科などの医療機関 **6.3%**
 - 10. 薬局 **0.9%**
 - 11. 地域包括支援センター・障害者基幹相談支援センター **2.3%**
 - 12. 民間ボランティアの電話相談 **0.5%**
 - 13. SNS相談(LINE ほか) **1.1%**
 - 14. 民生委員・児童委員 **0.9%**
 - 15. 市役所・保健所などの公的機関 **3.9%**
 - 16. 相談する相手はいない **3.1%**
 - 17. 相談しない **9.5%**
 - 18. その他(具体的に:) **2.3%**
- 無回答 1.7%**

障害者福祉についておたずねします

問29 障害のある人もない人も地域で共に生活するにあたって、次の(ア)～(ケ)について、あなたの考えや行動に最も近いものを選んでください。(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	無 回 答
(ア)精神科病院や障害者施設に入院、入所している障害者が多数いる。	17.1%	34.8%	27.6%	17.4%	3.0%
(イ)住んでいる地域(自治会等)では、障害者が地域づくりに参加しやすいように合理的配慮が進められている。	3.7%	26.8%	46.8%	19.3%	3.4%
(ウ)公共交通機関では乗降の際のスロープや乗務員による手助けなど、合理的配慮が進んできている。	10.8%	45.4%	30.8%	10.1%	2.9%
(エ)これまでの人生で、障害のある人となない人が一緒に過ごしたり、学んだりする機会はなかった。	20.5%	28.3%	22.4%	25.9%	2.8%
(オ)地域のイベント(講演会や避難訓練など)に障害者も参加している。	7.1%	28.3%	39.0%	22.1%	3.4%
(カ)障害者自身が希望するならば地域で共に生活できる社会であるべきだ。	47.5%	42.6%	5.3%	1.9%	2.7%
(キ)障害の程度によらず、幼少期から共に学び、生活することが大事だ。	38.7%	40.9%	13.3%	4.3%	2.8%
(ク)障害のある人もない人も、地域で役割をもって活動する地域の一員であるべきだ。	38.7%	45.6%	10.1%	3.0%	2.5%
(ケ)公的な福祉サービスに加え、障害者を支援する市民団体や障害者が参加するサークルなどの活動が重要である。	35.3%	52.1%	7.1%	2.5%	3.0%

問30 あなたは、障害者差別解消法(不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供など)及び、障害者虐待防止法(虐待の禁止や発見時の通報義務など)について知っていますか。

(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

	1. 内容まで 知っている	2. 言葉は聞いた ことがある	3. 知らない	無 回 答
(ア)障害者差別解消法	8.3%	32.7%	56.8%	2.2%
(イ)障害者虐待防止法	9.9%	40.8%	46.7%	2.6%

無回答 2.7%

無回答 3.2%

A stylized illustration of a green frog. The frog has a large yellow flower with a bright yellow center on its head. It has two small black eyes, two pink cheeks, and a wide yellow mouth with a simple line for a tongue. The frog is sitting on a small green base.

令和5年度
久留米市民意識調査報告書
令和6年3月

編集・発行／久留米市協働推進部
広聴・相談課

久留米市城南町15番地3

TEL 0942-30-9015

FAX 0942-30-9711

E-mail sodan@city.kurume.lg.jp